

岡山県院内がん登録報告書

2022 年版



2025 年 3 月

発行：岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）

写真提供：岡山県観光連盟

目 次

はじめに	2
岡山県院内がん登録の概況	3
2022 年岡山県院内がん登録集計対象等	5
参加施設（13 施設）・担当者	12
岡山県院内がん登録 全登録数・初回治療数 集計結果	16
胃	30
大腸	38
肝臓	46
肺	54
乳房	62
膵臓	70
子宮（頸部）	76
子宮（体部）	82
前立腺	88
血液腫瘍	94
小児・AYA 世代	98
希少がん	104
施設別集計（13 施設）	108
岡山大学病院	108
岡山済生会総合病院	116
岡山赤十字病院	124
岡山医療センター	132
倉敷中央病院	140
川崎医科大学附属病院	148
津山中央病院	156
金田病院	164
高梁中央病院	172
岡山労災病院	180
岡山市立市民病院	188
川崎医科大学総合医療センター	196
倉敷成人病センター	204
(奥付)	

はじめに

昨年に続き、岡山県院内がん登録集計報告書（2022年版）を上梓致します。平成18年6月に成立したがん対策基本法に基づき平成19年6月に第1期がん対策推進基本計画が閣議決定され、現在は令和5年3月に閣議決定された第4期がん対策推進基本計画が始まり、来年度はその中間報告が予定されています。第4期計画においても、第3期に引き続き「がんとの共生」の項目に希少がん、難治がん、小児がん、AYA（Adolescent and Young Adult）世代のがんへの対策が重点項目として挙げられています。2022年版でもこのことをふまえ、これらのがんについての統計を追加しています。

近年、がん医療においてもリアルワールドデータ（RWD）の重要性が指摘されています。RWDを活用することで、より現実に応じた治療法や新たな医薬品の開発につながるなどが期待されますが、がん対策においても実際の地域のがん患者の動態を把握し対策を立てるための重要な指標を与えてくれることが期待されます。院内がん登録データはがん診療のRWDです。本報告書のデータを是非今後のがん対策やがん医療に活用いただきたいと存じます。本報告書が岡山県のがん対策推進の一助となることを祈念いたしまして巻頭の挨拶とさせていただきます。

末尾になりましたが、本報告書の作成にご尽力を頂きました、岡山県がん診療連携協議会がん登録部会、および岡山大学病院関係者の皆様に深謝申し上げます。

岡山大学病院腫瘍センター

センター長 田端 雅弘

岡山県院内がん登録の概況

【全体の動向】

2022 年の全登録数（自施設における院内がん登録数）は 18,095 件（前年比 320 件増）、初回治療数（自施設診断他施設診断関わらず、自施設で初回治療を開始した症例数）は 14,435 件（前年比 13 件増）と、前年と大きく変わりませんでした。

【初回治療全体の動向】

全体を部位別でみると、大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、血液腫瘍の順に多く、初回治療数が最も多い年齢階級は 70 - 74 歳となっています。また、65 歳以上が占める割合は、全体で 72.1%となっています。

男性では、肺がん、大腸がん、前立腺がん、胃がん、血液腫瘍の順に多く、甲状腺がんを除く全ての部位において、70 - 79 歳の年齢階級で初回治療を受ける方が最も多くなっています。

女性では、乳がん、大腸がん、肺がん、血液腫瘍、胃がん・子宮頸がんの順に多く、部位により様々ですが、総数としては 70 - 79 歳の年齢階級で初回治療を受ける方が最も多くなっています。女性特有のがん（乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん）においては、増加を始める年齢やボリュームゾーンが他の部位よりも低年齢であり、これらを考慮した検診が必要になります。

希少がん（9 頁に定義）は 1,042 件で全体の 7.2%、小児がん（15 歳未満）は 31 件で全体の 0.2%、AYA 世代（15 ～ 39 歳）のがんは、497 件で全体の 3.4%となっています。AYA 世代では、特に 30 歳代で子宮頸がんや乳がんの割合が高くなっています。

【二次保健医療圏別登録数の動向】

二次保健医療圏別にみると、県南東部・県南西部保健医療圏で約 78%の登録があります。

【がん種別にみた初回治療の動向】

29 頁からは、がん種別ごとの集計結果が紹介されています。

胃がんは、男女共に 70 - 74 歳での初回治療が最も多くなっています。年次推移を見ると、男性は全ての年齢階級で前年よりも減少していますが、女性は 50 歳代以上で前年よりも増加が認められます。発見経緯別に見てみると、がん検診等で発見された場合は 86.7%がⅠ期での発見でした。一方、その他（自覚症状による受診を含む）の場合はⅠ期での発見が 40.1%、Ⅳ期での発見が 31.9%となっていました。早期発見のためには、自覚症状がなくても検診を受けることが重要です。

大腸がんは、男女ともに 40 歳代から増え始め、70 - 74 歳が初回治療のピークとなっています。早期の段階では自覚症状はほとんどないとされており、その他（自覚症状による受診を含む）が発見経緯の場合だと、0 期・Ⅰ期で発見される方の割合は 22.4%と低くなっています。がん検診等が発見経緯の場合は、0 期・Ⅰ期で発見される方の割合は 62.1%と高まっており、早期発見には検診等の有用性が明らかです。全体を年次推移で見ると、早期発見（0 期・Ⅰ期）の割合が減少しており（2020 年 47.7%、2021 年 43.4%、2022 年 41.5%）、注視すべき課題かと思われます。

肝臓がんは、男女共に 70 歳代での初回治療が最も多くなっています。全体の 71.8%が他疾患経過観察中

に偶然発見され、その 35.9%がⅡ期以上のがんであることから、肝機能障害を有するなどのハイリスク高齢者の一般診療においては、定期的な検査が望まれます。発見経緯別の年次推移を見ると、がん検診等での発見が 2020 年 3.4%、2021 年 5.3%、2022 年 7.2%と少しずつ向上しています。また、Ⅱ期以上のがんで見つかる割合が 2020 年 49.4%、2021 年 43.3%、2022 年 44.3%とやや減少傾向にあります。

肺がんは、男女とも 70 歳代での発見が最も多くなっています。発見経緯別では、がん検診等 15.5%、他疾患経過観察中の偶然発見 57.9%、その他（自覚症状による受診を含む）26.1%となっています。がん検診等が発見経緯の場合は、Ⅱ期以下のがんで発見される方の割合は 67.8%で、その他（自覚症状による受診を含む）の場合は 18.6%となっています。Ⅱ期以下のがんで発見される方の割合は、全体で 53.9%となっていますが、2021 年と比べ 2.6 ポイント上昇しています。

乳がんは 30 歳代後半から増え始め、45 - 49 歳と 70 - 74 歳にピークが認められますが、幅広い年代で発見されています。がん検診等で発見される割合は 31.7%で他のがんよりは多く、その 73.6%が 0 期・Ⅰ期で発見されています。一方、その他（自覚症状による受診を含む）では 0 期・Ⅰ期で発見された方は 37.8%のみとなっており、検診での早期発見が求められます。

膵臓がんは、男女とも 60 歳代から増加し始め、70 歳代が発見のピークとなっています。全体では、Ⅲ期が 11.7%、Ⅳ期が 38.9%とⅢ期以上での発見が約半数を占めています。また、その他（自覚症状による受診を含む）での発見ステージの内訳は、Ⅲ期以上の進行がんの割合が 64.8%と大変高くなっています。早期発見が困難な疾患ではありますが、がん検診等では 61.1%が 0 期～Ⅱ期の早期での発見となっています。

子宮頸がんは、20 歳代後半から増え始め、多くが 30 - 40 歳代に集中していますが、幅広い年齢で罹患しています。がん検診等で発見される割合は 31.3%で、他のがんよりは多く、その 97.4%が 0 期・Ⅰ期での発見となっています。一方、その他（自覚症状による受診を含む）での発見のうち、50%がⅡ期以上のステージとなっています。早期での発見のために、検診受診率の向上が望まれます。

子宮体がんは、40 歳代前半から増え始め、50 - 60 歳代がボリュームゾーンとなっていますが、幅広い年代で発見されています。Ⅰ期での発見が 69.6%を占めており、また発見経緯では、その他（自覚症状による受診を含む）が 66.9%と高くなっています。気になる自覚症状がある場合には放置せず、早期発見につなげることが重要です。

前立腺がんは、50 歳代後半から増え始め、60 歳代後半から 80 歳代前半にかけて発見される方が多くなっています。発見経緯別で見ると、がん検診等の割合は 26.6%となっており、その 93.2%が、予後が良いとされるⅠ期～Ⅲ期での発見となっています。一方、その他（自覚症状による受診を含む）での発見の場合は、Ⅰ期～Ⅲ期での発見が 63.3%にとどまっています。

血液腫瘍の内訳は、悪性リンパ腫が 50.1%、白血病が 19.4%、多発性骨髄腫が 9.4%となっています。60 - 80 歳代がボリュームゾーンとなっていますが、幅広い年齢で罹患しています。発見時Ⅲ期以上の進行がんが半数近くを占め、他疾患経過観察中の偶然発見やその他（自覚症状による受診）で発見される割合が多くなっています。

小児がん（15 歳未満）は、男児 21 件、女児 11 件の発見がありました。AYA 世代のがんは、男性 89 件、女性 408 件の発見があり、20 歳代から女性の発見が一気に増えています。AYA 世代の女性で、47.8%を占めている子宮頸がんの発見がその要因です。若い年齢からの定期的な子宮頸がん検診受診について啓発が必要です。

2022 年岡山県院内がん登録集計対象等

I 収集の対象

厚生労働省から指定されている岡山県内の都道府県がん診療連携拠点病院 1 施設及びがん診療連携拠点病院 6 施設、地域がん診療病院 2 施設と、岡山県から認定されている岡山県がん診療連携推進病院 4 施設に院内がん登録データの集計への協力を依頼した。提出を依頼したデータは入院・外来を問わず、2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの 1 年間に登録された匿名化データとした。

また、集計対象は 1 腫瘍 1 登録の原則に基づく初発症例のみとし、多重がんについては国立がん研究センターの登録ルールに基づいて登録された症例とした。自施設で診断され治療を開始した、または他施設で既に診断されたのち自施設を対象期間内に初診し治療を開始した悪性新生物及び下記Ⅱの 2 の 2) に該当する腫瘍の登録データとし、診断時年齢が 15 歳未満の症例は小児がんの集計に用い、それ以外の症例を各部位の集計に使用した。24、25 ページの集計については、小児がん、希少がん抽出後部位別に集計した。

ただし、16～17 ページの施設別全登録数の集計については各施設で対象期間内に院内がん登録された全データを対象としているので、当該腫瘍に対して初診、診断、治療を行った全症例について集計しており、再発症例、診断のみ行った症例も含んでいる。同一患者が同じがんで複数の施設を受診した場合は、それぞれの施設で登録されている可能性があるが、本報告書の全登録数においては各施設別に集計した。

II 収集項目と定義

1. 収集項目

収集項目は「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録標準登録様式 2016 年度版」において定義された標準項目とした（個人情報項目は除く）。

2. 収集項目の定義

1) 年齢

年齢は自施設診断日及び他施設診断の場合は当該腫瘍初診日の時点での年齢とした。

小児がんについては 15 歳未満、15～39 歳は AYA 世代として集計した。

2) 部位と形態コード

「国際疾病分類－腫瘍学第 3 版 (3.2)」(ICD-O-3)における部位分類に基づく悪性腫瘍（性状コード 3）、上皮性悪性腫瘍（性状コード 2）について作成した。ただし、脳腫瘍、中枢神経系腫瘍については C70.0、C70.1、C70.9、C71.0-C71.9、C72.0-C72.9、C75.1-C75.3 の良性（性状コード 0）及び良性又は悪性の別不詳（性状コード 1）も集計対象とし、胃腸間質腫瘍については偶発的発見で、その後加療していない症例は集計対象外としている。

卵巣を原発とする 8442/1、8313/1、8451/1、8442/1、8472/1 の境界悪性腫瘍は集計対象とする。

また、ICD-O-3.1 から ICD-O-3.2 への移行に伴い、性状コードが 3 から 1 に変更となった形態コードについては全て登録集計対象とした。

16～23 ページの全登録数・初回治療数の集計では集計対象部位以外と小児がんを「その他のがん」として集計した。また、乳房腫瘍については女性のみを集計対象とし、男性の乳房腫瘍は「その他のがん」に集計した。

3) ステージ

本報告書では UICC TNM 分類に準じ、治療前および術後病理学的ステージを集計した。総合ステージは術後病理学的ステージを優先とし、腫瘍切除を行っていない症例、術前治療が行われた症例、術後病理学的ステージが不詳であった症例については治療前ステージを用いて算出した。また、肝臓については併せて取扱い規約の治療前ステージも集計した。

適用のない部位等については除外して集計した。

表1 病期分類対象コード

	局在コード	組織形態コード								
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8158	8160-8162	8170-8231	8244	8246-8247	8250-8551	8560-8576	8940-8941	8980-8981
		(但し、8153 を除く)								
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8158	8160-8162	8170-8231	8244	8246-8247	8250-8551	8560-8576	8940-8941	8980-8981
		(但し、8153 を除く)								
肝細胞癌	C220	8170-8175, 8020								
肝内胆管癌	C221	8140/2, 8148/2, 8160-8163, 8180, 8470, 8480, 8503, 8560, 8032, 8033, 8430, 8490, 8070, 8041								
肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8158	8160-8162	8170-8231	8240-8245	8246-8247, 8249	8250-8551	8560-8576	8940-8941, 8972, 8980-8981	
乳癌	C500-509	8000-8158	8160-8162	8170-8231		8246-8247, 8249	8250-8551	8560-8576	8940-8941, 8982	8980-8981
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8158	8160-8163	8170-8231	8243-8245	8246-8247	8250-8551, 8552	8560-8576	8940-8941, 8971	8980-8981
前立腺癌	C619	8000, 8010, 8013, 8020, 8041, 8140-8384, 8400, 8408, 8410, 8413, 8420, 8441, 8450, 8460, 8470, 8480-8482, 8490, 8500, 8503-8504, 8520, 8525, 8530, 8550, 8560, 8570, 8571-8574, 8576, 9070, 9110								
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8158	8160-8162	8170-8231	8240	8246-8247, 8249	8250-8551	8560-8576	8940-8941, 8980-8981	

4) 治療方法

・手術

外科的治療と体腔鏡的治療のいずれか、あるいは両方が施行された症例。

・放射線療法

その目的に関わらず腫瘍に対して放射線療法が施行された全ての症例。

・薬物療法

化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法（前立腺がんに対する除睾丸術を含む）のいずれかが施行された症例。

・その他の治療

肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、その他の治療のいずれかが施行された症例。

集計用の治療方法の分類は、下記のとおりとした。

1. 手術のみ
2. 内視鏡のみ
3. 手術＋内視鏡
4. 放射線のみ
5. 薬物療法のみ
6. 放射線＋薬物
7. 薬物＋その他
8. 手術 / 内視鏡＋放射線
9. 手術 / 内視鏡＋薬物
10. 手術 / 内視鏡＋その他
11. 手術 / 内視鏡＋放射線＋薬物
12. 他の組み合わせ
13. 治療無し

III 集計対象の抽出

集計は以下の段階を追って抽出した。

1) 小児がん

集計対象症例全体から診断時年齢 15 歳未満に発生した、表 2 にあがる悪性新生物及び一部の良性新生物を小児がんとして抽出した。

表 2 小児がん 集計コード

病名	組織コード	部位コード
白血病	980-994	C421
その他の造血器腫瘍	995-998, 999	
脳・中枢神経系		C700、C709
		C710-C719
		C722-C729
		C751-C753
神経芽腫	9490/3、9500/3、9522/3	
その他の癌	上記以外の症例	

2) 部位別集計

小児がんを抽出の後、表 3 の形態コードにより「悪性リンパ腫」「白血病」「その他の血液腫瘍」を抽出し、残りの症例から同じく表 3 の局在コードを用い、各部位を集計した。ステージ別については表 1 の組織形態コードを用いた。

98 ～ 102 ページの AYA 世代の集計についても 15 歳から 39 歳を抽出し、同じ方法で部位別に集計した。

表3 局在コードおよび悪性リンパ腫、白血病形態コード

部位名	I C D - O - 3 形態コード（上位3桁）	I C D - O - 3 局在コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
大腸		C18-C20
結腸		C18
直腸		C19-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
肺		C34
骨・軟部組織		C40-C41、C47、C49
皮膚		C44
乳房		C50
子宮（頸部）		C53
子宮（体部）		C54
卵巣		C56
前立腺		C61
腎		C64
膀胱・その他の尿路系		C65-C68
甲状腺		C73
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
白血病	980-994	
その他の血液腫瘍	973、976 995-998、999	C421
その他	上記以外の症例	

3) 希少がん

我が国においては希少がんについては明確な定義がなく、本報告書では表3にあげる部位および組織コードに相当する症例を集計対象とした。小児がんを抽出し終えたものから表4にあげるものを希少がんとして抽出した。

（参考：Surveillance of Rare Cancers in Europe）

表4 希少がん

Tumour	Topography code	Morphology code
EPITHELIAL TUMOURS OF NASAL CAVITY AND SINUSES (鼻腔、副鼻腔の上皮性腫瘍)	C30.0, C31	8000, 8001, 8004, 8010, 8011, 8020-8022, 8032, 8050-8076, 8078, 8082-8084, 8123, 8144, 8560, 8980
EPITHELIAL TUMOURS OF NASOPHARYNX (鼻咽頭の上皮性腫瘍)	C11	8000-8001, 8004, 8010-8011, 8020-8022, 8032, 8050-8076, 8078, 8082-8084, 8123, 8260, 8560, 8980
EPITHELIAL TUMOURS OF MAJOR SALIVARY GLANDS AND SALIVARY-GLAND TYPE TUMOURS (大唾液腺、唾液腺の上皮性腫瘍)	C00-C14, C30.0, C31, C32	(For C00-C14, C30.0, C31, C32) 8140, 8147, 8200, 8290, 8310, 8430, 8440, 8450, 8480, 8500, 8525, 8550, 8562, 8941, 8982; (For C7, C8) 8004, 8012, 8020-8022, 8032, 8050-8076, 8082, 8211, 8230, 8255, 8260, 8262, 8290, 8310, 8320, 8323, 8410, 8980
Squamous cell carcinoma with variants of oral cavity (口腔の上皮性腫瘍)	C02.0-C02.3, C02.9, C03.0-C05.0, C06.0-C06.9	8004, 8020-8022, 8032, 8050-8076, 8078, 8082-8084, 8123, 8560, 8980
EPITHELIAL TUMOURS OF SMALL INTESTINE (小腸の上皮性腫瘍)	C17	8000-8001, 8004, 8010-8011, 8020-8022, 8032, 8050-8076, 8078, 8082-8084, 8140-8141, 8143, 8147, 8190, 8201, 8210-8211, 8221, 8230-8231, 8255, 8260-8263, 8290, 8310, 8315, 8320, 8323, 8333, 8380-8384, 8401, 8430, 8440-8441, 8450, 8480-8482, 8490, 8500, 8503-8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560, 8562, 8571-8576, 8980
EPITHELIAL TUMOURS OF ANAL CANAL (肛門管の上皮性腫瘍)	C21	8000-8001, 8004, 8010-8011, 8020-8022, 8032, 8050-8076, 8078, 8082-8084, 8123-8124, 8140-8141, 8143, 8147, 8190, 8201, 8210-8211, 8215, 8221, 8230-8231, 8255, 8260-8263, 8290, 8310, 8315, 8320, 8323, 8333, 8380-8384, 8401, 8430, 8440-8441, 8450, 8480-8482, 8490, 8500, 8503-8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560, 8562, 8571-8576, 8980
EPITHELIAL TUMOUR OF TRACHEA (気管の上皮性腫瘍)	C33	8000-8001, 8004, 8010-8011, 8044, 8020-8022, 8031-8032, 8050-8076, 8078, 8082-8084, 8140-8141, 8143-8144, 8147, 8190, 8200-8201, 8210-8211, 8221, 8230-8231, 8255, 8260-8263, 8290, 8310, 8315, 8320, 8323, 8333, 8380-8384, 8430, 8440-8441, 8470, 8480-8482, 8490, 8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560, 8562-8576, 8980, 8982
EPITHELIAL TUMOURS OF THYMUS (胸腺の上皮性腫瘍)	C37	8000-8001, 8010-8011, 8020-8022, 8032, 8050-8076, 8078, 8082-8084, 8140-8141, 8143-8144, 8147, 8190, 8200-8201, 8210-8211, 8221, 8230-8231, 8255, 8260-8263, 8290, 8310, 8315, 8320, 8323, 8333, 8380-8384, 8430, 8440-8441, 8480-8482, 8490, 8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560, 8562-8576, 8580-8586
MIXED EPITHELIAL AND MESENCHYMAL TUMOURS OF UTERUS (子宮の上皮間葉系の混合性腫瘍)	C53.0-C55.9	8933, 8950-8951, 8980
NON EPITHELIAL TUMOURS OF OVARY (卵巣の非上皮性腫瘍)	C56	8600, 8620, 8630-8631, 8634, 8640, 8650, 8670, 8933, 8950-8951, 8980, 9060-9065, 9070-9072, 9080-9085, 9090, 9100-9102, 9391, 9440, 9473, 9501
EPITHELIAL TUMOURS OF VULVA AND VAGINA (外陰、膣の上皮性腫瘍)	C51, C52	8000, 8001, 8010, 8011, 8020-8022, 8050-8084, 8140-8141, 8143, 8147, 8190-8211, 8230-8231, 8255-8263, 8290, 8310, 8315, 8320, 8323, 8333, 8380-8384, 8390-8420, 8430, 8480-8490, 8500, 8503-8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560, 8562-8576
TROPHOBLASTIC TUMOUR OF PLACENTA (胎盤のトロボプラスト性腫瘍)	C58.9	9100, 9105
TUMOURS OF TESTIS AND PARATESTIS (精巣、精巣上体の腫瘍)	C62, C63.0, C63.1, C63.8	8000, 8001, 8010, 8011, 8120, 8123, 8140-8141, 8147, 8190, 8210-8211, 8221, 8231, 8255, 8260, 8261-8263, 8290, 8310, 8320, 8323, 8333, 8380-8384, 8401, 8430, 8440-8441, 8470, 8480-8490, 8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560, 8562-8576, 8590, 8630-8640, 8650, 8670, 9060-9102
EPITHELIAL TUMOURS OF PENIS (陰茎の上皮性腫瘍)	C60	8000-8001, 8010-8011, 8020-8022, 8050-8084, 8090, 8094, 8120-8121, 8123, 8130, 8140, 8147, 8190, 8200-8201, 8210-8211, 8221, 8230-8231, 8255-8263, 8290, 8310, 8320, 8323, 8333, 8410, 8430-8440, 8480-8490, 8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560-8576, 8940
EPITHELIAL TUMOURS OF EYE AND ADNEXA (眼と付属器の上皮性腫瘍)	C69	8000-8001, 8010-8011, 8020, 8050-8084, 8090, 8094, 8120-8121, 8123, 8130, 8140-8141, 8147, 8190, 8210-8211, 8200-8201, 8221, 8230-8231, 8255-8263, 8290, 8310, 8320, 8323, 8333, 8410, 8430-8440, 8480-8490, 8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560-8576
EPITHELIAL TUMOURS OF MIDDLE EAR (中耳の上皮性腫瘍)	C30.1	8000-8001, 8010-8011, 8020, 8050-8084, 8090, 8094, 8120-8121, 8123, 8130, 8140-8141, 8147, 8190, 8200-8201, 8210-8211, 8221, 8230-8231, 8255-8263, 8290, 8310, 8320, 8323, 8333, 8410, 8430-8440, 8480-8490, 8504, 8510, 8512, 8514, 8525, 8542, 8550-8551, 8560-8576
MALIGNANT MESOTHELIOMA (悪性中皮腫)	全ての部位	9050-9053
MALIGNANT SKIN MELANOMA (皮膚のメラノーマ)	C44	8720-8780
MALIGNANT MELANOMA OF MUCOSA (粘膜のメラノーマ)	C7-C8, C22, C25, C37-C50, C54, C55.9, C56, C58.9, C64, C69-C80.9を除く全ての部位	8720-8780
MALIGNANT MELANOMA OF UVEA (ぶどう膜のメラノーマ)	C69.3-C69.4	8720-8780
ADNEXAL CARCINOMA OF SKIN (皮膚付属器腫瘍)	C44, C63.2	8100-8110, 8200, 8211, 8390-8420, 8480, 8542, 8940
EMBRYONAL NEOPLASMS (胎芽性腫瘍)	C71, C72.0, C72.8-C72.9, C47.0-C47.9を除く全ての部位	8960, 8970-8973, 9490, 9500, 9510-9514
EXTRAGONADAL GERM CELL TUMOURS (性腺外胚細胞腫瘍)	C56, C62を除く全ての部位	9060-9072, 9080-9085, 9101, and 9100 if not in placenta (C589)
SOFT TISSUE SARCOMA(軟部肉腫)	C40.0-C41.9を除く全ての部位	8800-8935, 8940, 8950-8959, 8963-8964, 8990-8991, 9020-9044, 9120-9133, 9150, 9170, 9180, 9231, 9240, 9251, 9364-9372, 9540, 9560-9571, 9580-9581 (includes sarcoma of unknown primary sites)
BONE SARCOMA(骨肉腫)	C40.0-C41.9	8800-8920, 9040-9044, 9120-9133, 9150, 9170, 9180-9250, 9260-9261, 9370, 9540-9581
GASTROINTESTINAL STROMAL SARCOMA(GIST、悪性)	全ての部位	8936
KAPOSI'S SARCOMA(カポジ肉腫)	全ての部位	9140
NEUROENDOCRINE TUMOURS(神経内分泌腫瘍)	C34を除く全ての部位	8013, 8041-8045, 8150-8157, 8240-8247, 8249, 8345-8347, 8510,
GLIAL TUMOURS OF CENTRAL NERVOUS SYSTEM (CNS) (中枢神経のグリオーマ)	C71, C72.0, C72.8-C72.9	9380-9384, 9391-9460
NON GLIAL TUMOURS OF CNS AND PINEAL GLAND (中枢神経、松果体の非グリオーマ)	C71, C72.0, C75.3	9362, 9390, 9470-9474, 9490, 9500-9505, 9508
MALIGNANT MENINGIOMAS(髄膜腫)	C70	9530, 9538-9539
GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM (末梢神経、脳神経、自律神経のグリオーマ)	C47.0-C47.9, C72.1-C72.5	9391-9393, 9400-9442, 9505
NON-GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM AND PARAGANGLIA (末梢神経、脳神経、自律神経、傍神経節の非グリオーマ)	C47.0-C47.9, C72.1-C72.5 C30.0-C31.9 (olfactory tumours)(嗅神経腫瘍) 全ての部位 (paraganlioma)(傍神経節腫)	9473, 9490, 9500, 9502-9503 9520-9523 8680, 8693
Non Hodgkin Mature T cell and NK-cell neoplasms (T及びNK細胞リンパ腫)	全ての部位	9700-9702, 9705, 9708-9709, 9714, 9716-9719, 9827, 9831, 9834, 9948
MYELODYSPLASTIC/MYELOPROLIFERATIVE DISEASES (骨髄異形成/骨髄増殖性疾患)	全ての部位	9876, 9945-9946, 9975
HISTIOCYTIC AND DENDRITIC CELL NEOPLASMS (組織球、樹状細胞性腫瘍)	全ての部位	9750-9758

*CNS=central nervous system C71, C72.0, C72.8-C72.9

**ANS=autonomic nervous system and peripheral nerves C47.0-C47.9

Source: Adapted from RARECARE project's RARECARE list: <http://www.rarecare.eu/rarecancers/rarecancers.asp> Rare_Cancers_list_March2011-2.xls retrieved on Nov 13,2014

4) 血液腫瘍

血液腫瘍は表3の「悪性リンパ腫」「白血病」「その他の血液腫瘍」を集計した。また、表5を用い詳細に集計した。

表5 血液腫瘍 形態コードの詳細分類

悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	9680
			9688
			9712
		濾胞性リンパ腫	9597
			9690-9698
		辺縁層B細胞性リンパ腫	9699
		成熟B細胞リンパ腫	9599
			9670-9679
			9684-9687
			9689
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫		9700-9709
			9714-9719
	ホジキンリンパ腫		9650-9667
	悪性リンパ腫他		9590-9596
9724-9729			
9740-9759			
多発性骨髄腫			9732-9733
			9760-9764
			9731
			9734-9735
			9737-9738
成人T細胞白血病/リンパ腫			9827
白血病	慢性骨髄性白血病	9863	
		9875-9876	
	急性骨髄性白血病	9840	
		9861	
		9865-9874	
		9891-9931	
	慢性リンパ性白血病		9823
	急性リンパ性白血病	9811-9818	
		9832-9837	
	白血病他	9800-9809	
		9820	
		9826	
		9831	
		9860	
9940-9948			
その他の血液腫瘍	骨髄異形成症候群	9980-9987	
		9989	
	慢性骨髄増殖性疾患	9950-9964	
		9975	
	他※	9965-9967	
		9971	
		9988	
9991-9992			

※上記に分類されない組織コードを含める

5) 年次推移

本報告書では 2022 年症例のほかに 2020 年症例、2021 年症例を再集計した。抽出条件は本報告書と統一する。

参考

国立がん研究センター がん情報サービス

http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html

国立がん研究センター 希少がんセンター

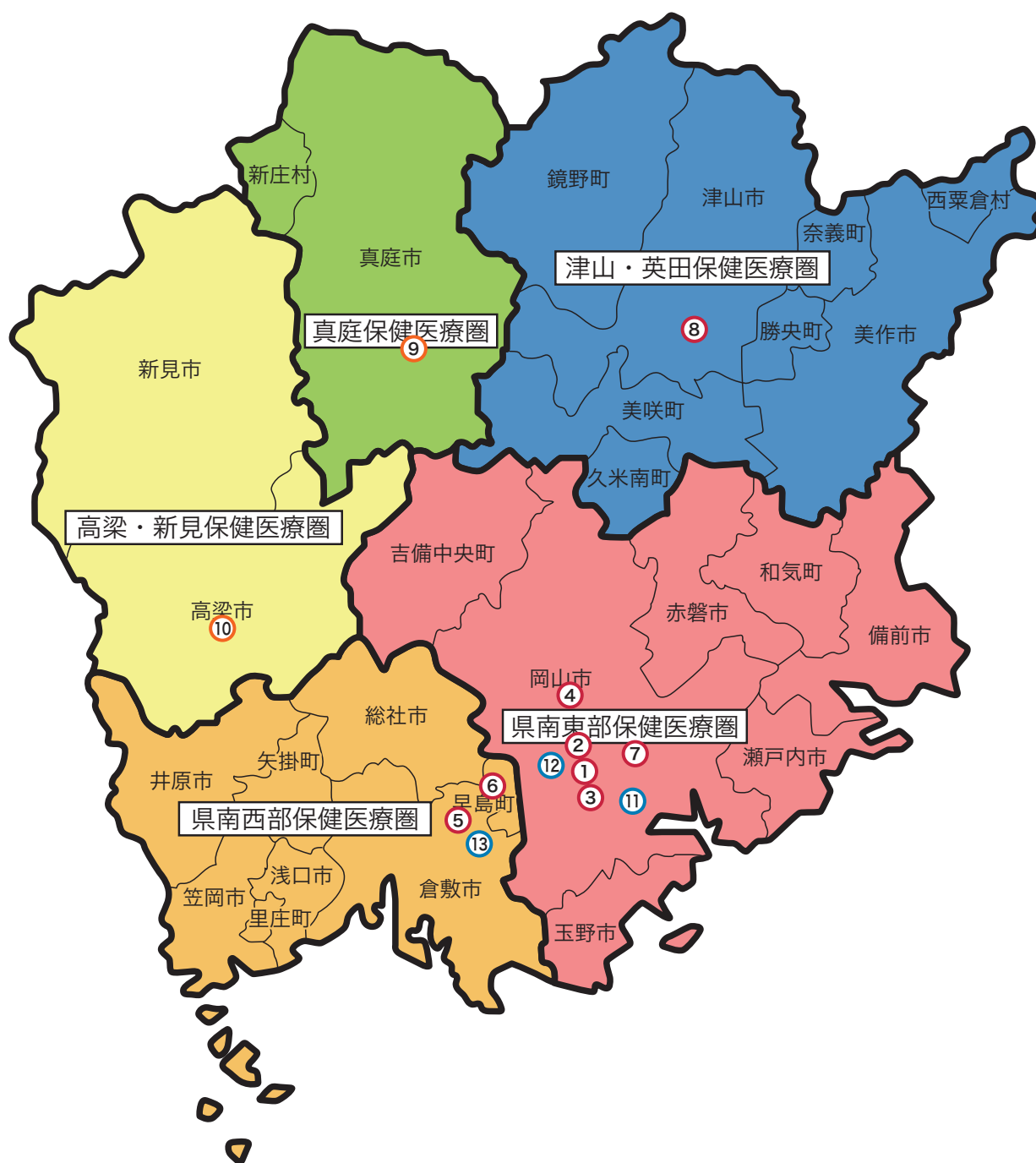
<https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/index.html>

岡山県 保健福祉部 医療推進課

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/34/>

Surveillance of Rare Cancers in Europe

参加施設（13 施設）・担当者



地域がん診療病院（2 施設）

- ⑨ 社会医療法人 緑社会 金田病院**
 海野正俊 田中聖隆 長田寛子 高田真奈美
- ⑩ 医療法人 清梁会 高梁中央病院**
 滝澤宏和

がん診療連携拠点病院（8施設）

① 岡山大学病院

田端雅弘 郷原英夫 山本晃 瀬浪尚子 上原亜希 大塚理可 杉野理紗子
大木康佑 貝原沙紀

② 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院

元木崇之 仁熊健文 高畑隆臣 近藤裕香

③ 岡山赤十字病院

別所昭宏 小田美恵 田中裕子

④ 独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター

市川孝治 藤原慶一 戸村悦子 清水由里恵

⑤ 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

河本和幸 岡部道雄 山部幸子 長久倫子 成友麻紀 白根澤沙由里
矢野春奈 伊藤友美 武並修平 宮永典子

⑥ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院

上野富雄 中田昌男 湯浅加奈子 小西和子 浅雄真由美 白川愛未
松下綾乃

⑦ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学総合医療センター ※ 2024 年度より指定

岸野由紀子

⑧ 一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

林同輔 尾形毅 富岡貴美男 出原雄太

がん診療連携推進病院（3施設）

⑪ 独立行政法人 労働者健康安全機構 岡山労災病院

古澤卓也 原修宙 平井靖子

⑫ 地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院

能祖一裕 西村守 佃和憲 山本和彦 濱田昇 田尾友哉

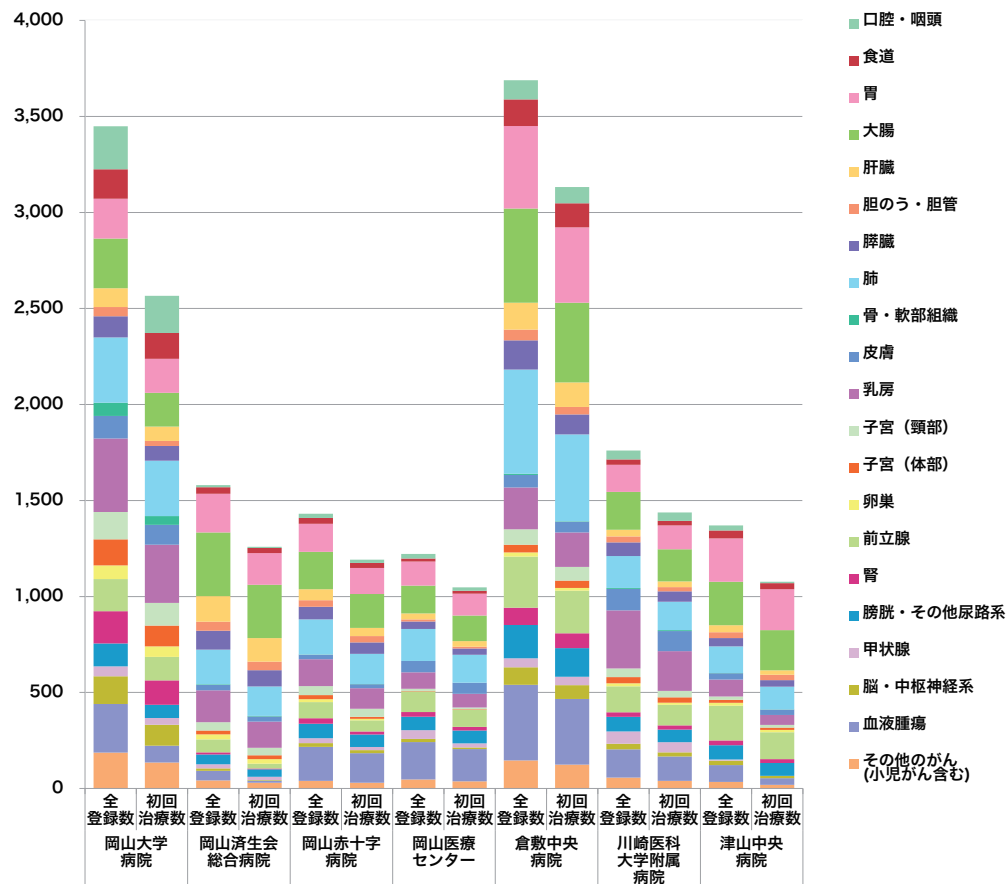
⑬ 一般財団法人 倉敷成人病センター

松本なみ 富田恭平

**岡山県院内がん登録
全登録数・初回治療数
集計結果**

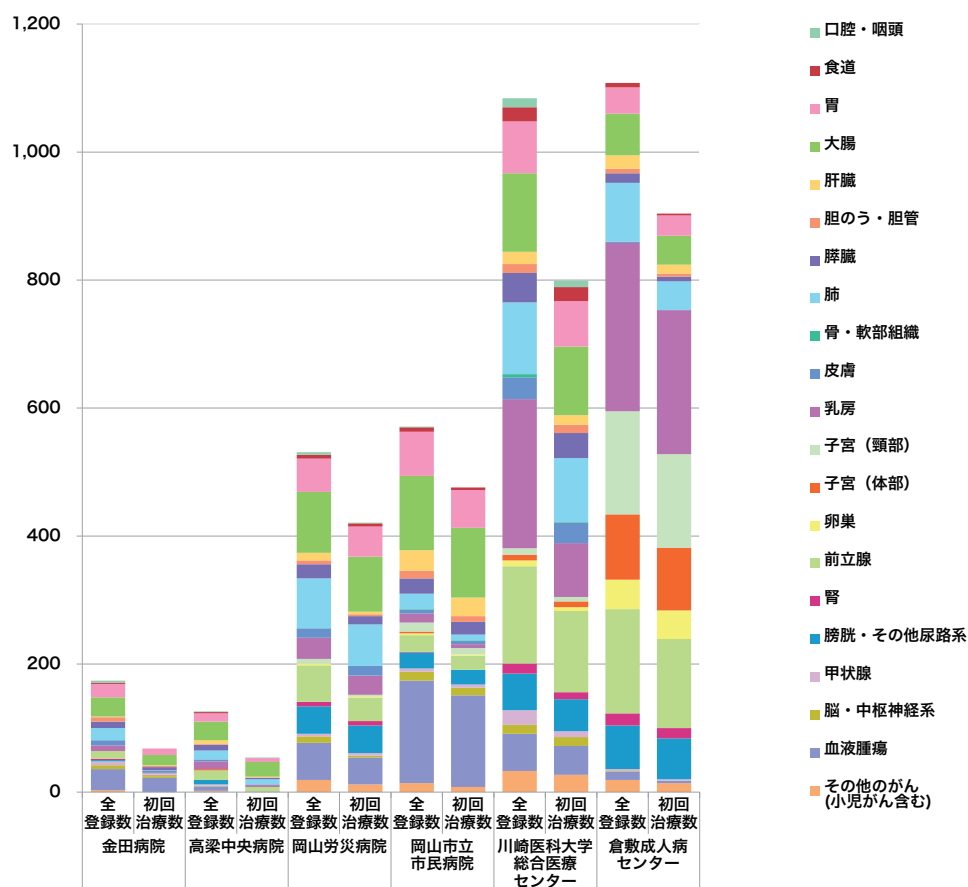
施設別 全登録数・初回治療数

がん診療連携拠点病院



部位	岡山大学病院		岡山済生会総合病院		岡山赤十字病院		岡山医療センター		倉敷中央病院		川崎医科大学附属病院		津山中央病院	
	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数
口腔・咽頭	224	194	11	6	22	17	24	18	100	85	46	44	26	7
食道	153	134	34	27	30	26	16	15	139	125	28	24	41	32
胃	208	177	201	165	146	136	125	114	429	393	141	124	226	213
大腸	259	176	332	277	195	176	145	133	491	415	197	167	226	210
肝臓	98	75	133	124	57	43	31	30	140	128	35	30	37	23
胆のう・胆管	48	26	47	44	34	33	11	9	56	39	31	22	30	28
膵臓	110	77	99	85	66	60	39	33	152	104	71	54	44	34
肺	340	288	180	153	183	157	167	145	543	452	166	148	139	118
骨・軟部組織	69	46	3	3	1	1			6	2	5	5	1	1
皮膚	117	103	29	27	24	21	59	58	65	56	112	105	33	28
乳房	383	303	166	136	140	107	86	71	218	180	303	207	88	52
子宮(頸部)	142	118	43	39	47	42	11	9	80	71	45	33	17	14
子宮(体部)	136	109	20	20	21	10	2	2	40	38	32	28	16	12
卵巣	71	55	26	24	15	8			22	14	16	11	15	12
前立腺	167	122	68	25	84	58	108	90	266	222	135	107	181	140
腎	168	127	11	4	29	16	24	19	90	78	24	22	25	20
膀胱・その他尿路系	120	69	51	39	75	65	70	67	174	149	76	66	74	67
甲状腺	52	35	21	17	26	16	46	21	47	44	64	53	6	1
脳・中枢神経系	144	109	13	3	19	16	16	9	91	72	29	21	23	11
血液腫瘍	253	88	50	11	177	154	195	168	394	342	147	127	88	35
その他のがん(小児がん含む)	187	135	42	30	40	30	47	37	146	124	57	40	34	19
総計	3,449	2,566	1,580	1,259	1,431	1,192	1,222	1,048	3,689	3,133	1,760	1,438	1,370	1,077

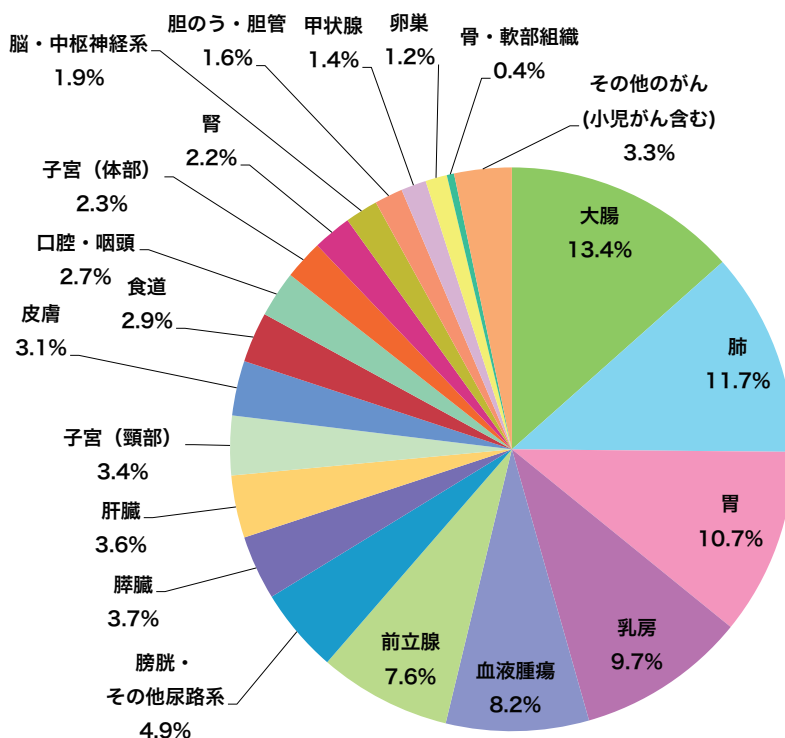
地域がん診療病院・がん診療連携推進病院



部位	金田病院		高梁中央病院		岡山労災病院		岡山市立市民病院		川崎医科大学総合医療センター		倉敷成人病センター	
	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数	全登録数	初回治療数
口腔・咽頭	3		1	1	4	1	1		14	10		
食道	2		2		6	5	7	4	22	22	7	3
胃	21	10	13	6	52	47	69	59	81	71	41	32
大腸	30	16	29	23	95	86	116	109	123	107	65	45
肝臓	1	1	6	1	12	4	32	29	19	15	21	14
胆のう・胆管	7	2	1	1	6	3	12	9	14	13	7	5
膵臓	10	5	9	2	22	13	24	20	46	39	15	7
肺	19	1	14	8	78	65	24	9	112	100	92	45
骨・軟部組織							1	1	5	1		
皮膚	8	3	3	1	15	15	6	5	34	32	2	
乳房	9	1	12	3	33	30	14	6	233	84	263	225
子宮(頸部)					7	3	14	10	10	7	161	146
子宮(体部)			2				3		9	9	102	98
卵巣					3	2	3	2	9	6	46	45
前立腺	12	2	15	7	57	36	26	22	152	127	163	139
腎	2	1			7	7	1		16	11	19	16
膀胱・その他尿路系	2		7		43	43	25	23	57	50	68	64
甲状腺	6	1	2		4	4	5	5	23	9	3	2
脳・中枢神経系	6	3	1		10	3	14	12	14	14	1	
血液腫瘍	33	22	7	1	58	42	160	143	58	45	13	4
その他のがん(小児がん含む)	3		2		19	12	14	8	33	27	19	14
総計	174	68	126	54	531	421	571	476	1,084	799	1,108	904

部位別 初回治療数

部位別 全体

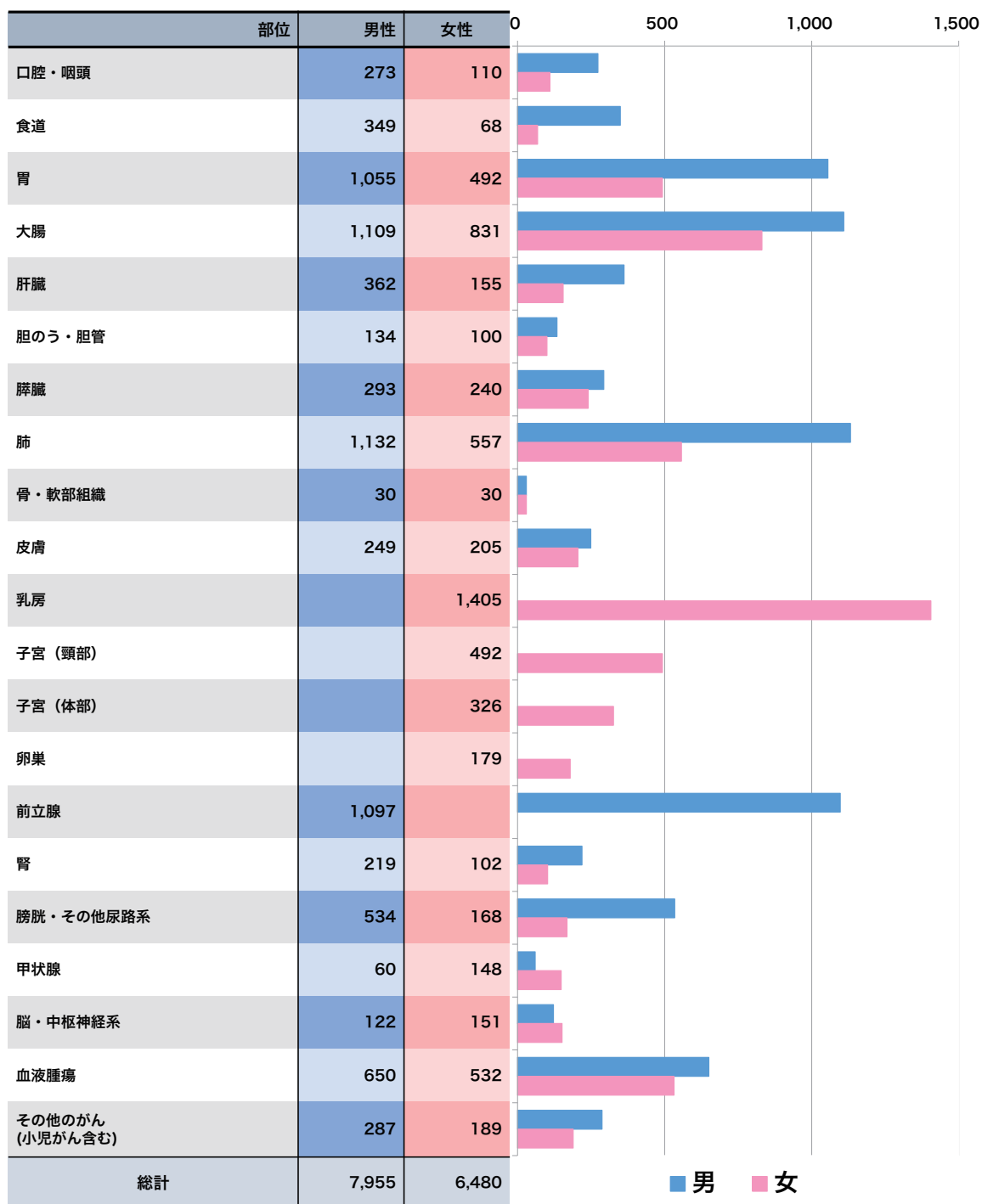


部位	登録数
大腸	1,940
肺	1,689
胃	1,547
乳房	1,405
血液腫瘍	1,182
前立腺	1,097
膀胱・その他尿路系	702
脾臓	533
肝臓	517
子宮（頸部）	492
皮膚	454
食道	417
口腔・咽頭	383
子宮（体部）	326
腎	321
脳・中枢神経系	273
胆のう・胆管	234
甲状腺	208
卵巣	179
骨・軟部組織	60
その他のがん	476
総計	14,435

その他のがん 内訳

部位	登録数
小児がん	31
その他のがん	445
総計	476

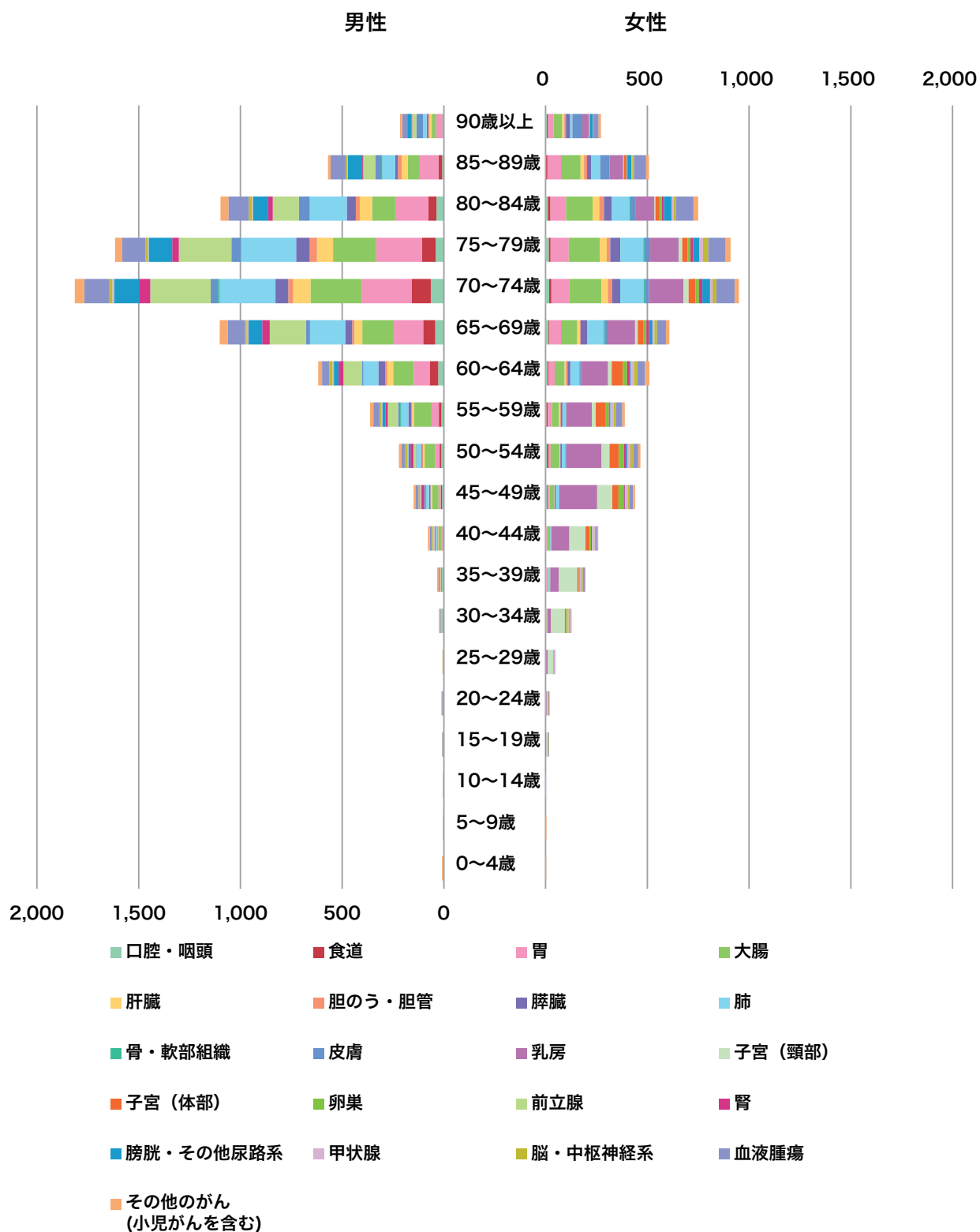
部位別 性別



その他のがん 内訳

部位	男性	女性
小児がん	20	11
その他のがん	267	178
総計	287	189

部位別 年齢階級別 性別



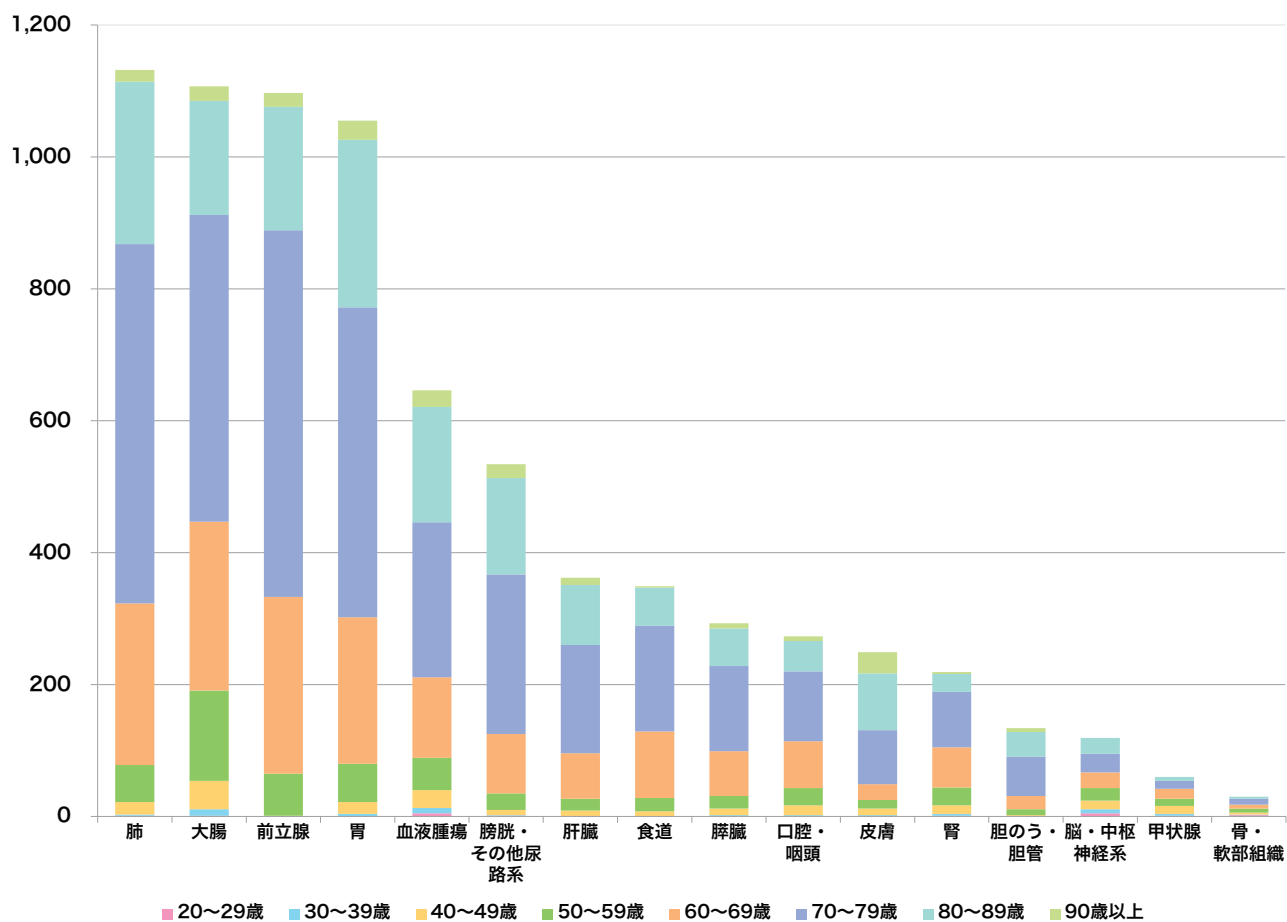
部位別 年齢階級別 男性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	前立腺	腎	膀胱・その他泌尿系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん	合計
90歳以上	7	2	29	22	11	6	8	18		32	21	3	21			25	11	216
85～89歳	9	18	92	59	30	18	13	64	2	33	59	4	72	2	7	75	13	570
80～84歳	37	40	162	114	61	19	44	182	1	53	128	23	74	4	17	100	39	1,098
75～79歳	41	67	225	212	79	36	66	271	1	46	259	32	116	4	11	114	36	1,616
70～74歳	65	93	245	253	85	24	63	274	8	36	297	52	126	8	17	121	47	1,814
65～69歳	43	59	144	155	39	11	34	172	4	17	178	37	67	9	8	86	39	1,102
60～64歳	28	42	78	101	30	9	34	73	2	7	90	24	23	6	16	36	19	618
55～59歳	13	12	35	86	10	4	15	35	5	10	51	12	15	5	7	32	16	363
50～54歳	13	8	23	51	8	5	4	21	1	3	13	15	10	6	12	17	11	221
45～49歳	10	6	11	31	7	1	7	14	2	8		10	6	4	8	16	8	149
40～44歳	5	2	7	12	2	1	3	5	1	2	1	3	2	8	5	11	9	79
35～39歳	1		2	5			1	1	1	1		3		2	4	5	8	34
30～34歳	1		2	5			1	1		1			1	1	2	3	7	25
25～29歳								1					1	1	2	1	1	7
20～24歳				1					2			1			3	4	2	13
15～19歳				2											3	4	1	10
10～14歳																	5	5
5～9歳																	5	5
～4歳																	10	10
総計	273	349	1,055	1,109	362	134	293	1,132	30	249	1,097	219	534	60	122	650	287	7,955

部位別 年齢階級別 女性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	乳房	子宮(頸部)	子宮(体部)	卵巣	腎	膀胱・その他泌尿系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん	合計
90歳以上	6	4	29	43	10	8	21	11		49	32	2	1	1	2	12		2	28	11	272
85～89歳	3	6	67	96	17	15	19	45	1	45	68	3	10	4	5	19	3	9	59	14	508
80～84歳	12	12	77	130	33	23	39	87	4	27	91	5	20	11	11	38	8	12	87	23	750
75～79歳	16	9	89	152	35	17	50	112	6	28	140	18	25	15	13	31	17	27	85	24	909
70～74歳	18	11	89	157	31	21	40	115	6	19	170	26	33	18	16	38	13	18	90	21	950
65～69歳	15	3	58	80	13	3	32	81	6	14	135	13	26	17	13	16	10	13	44	16	608
60～64歳	10	5	30	49	6	8	14	44	4	8	129	18	54	22	12	4	17	17	37	22	510
55～59歳	5	6	20	36	4	4	8	16	2	1	125	20	46	18	5	3	16	10	32	12	389
50～54歳	7	7	11	43	4	1	7	17		5	173	39	46	25	11	6	15	15	23	11	466
45～49歳	7	5	7	24	1		7	15		2	186	74	30	26	5	1	15	6	19	10	440
40～44歳	4		6	11			2	4		2	88	79	21	6	5		14	5	7	5	259
35～39歳	3		6	6				6		2	41	92	8	3	1		9	6	9	4	196
30～34歳	3		2	2				2		1	17	68	6	5			7	7	4	4	128
25～29歳				2	1						7	28		4	1		1		3		47
20～24歳	1							1	1	1	2	5		3	2			1	2		19
15～19歳			1				1	1		1	1	2		1			3	3	3	1	18
10～14歳																				2	2
5～9歳																				5	5
～4歳																				4	4
総計	110	68	492	831	155	100	240	557	30	205	1,405	492	326	179	102	168	148	151	532	189	6,480

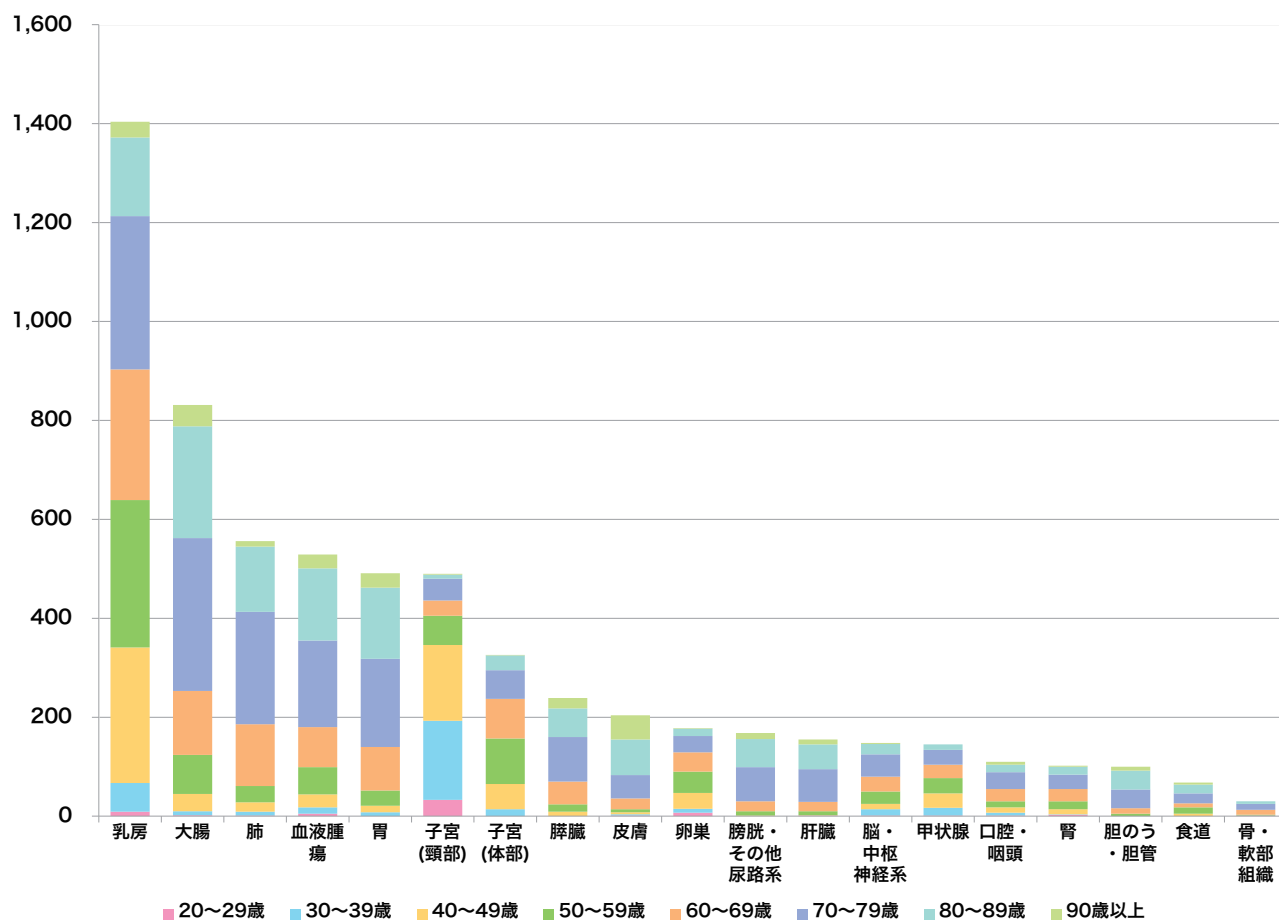
部位別 年齢階級別 男性



	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
肺	1	2	19	56	245	545	246	18	1,132
大腸	1	10	43	137	256	465	173	22	1,107
前立腺			1	64	268	556	187	21	1,097
胃		4	18	58	222	470	254	29	1,055
血液腫瘍	5	8	27	49	122	235	175	25	646
膀胱・ その他尿 路系	1	1	8	25	90	242	146	21	534
肝臓			9	18	69	164	91	11	362
食道			8	20	101	160	58	2	349
膵臓		2	10	19	68	129	57	8	293
口腔・咽頭		2	15	26	71	106	46	7	273
皮膚		2	10	13	24	82	86	32	249
腎	1	3	13	27	61	84	27	3	219
胆のう・胆管			2	9	20	60	37	6	134
脳・中 枢神経系	5	6	13	19	24	28	24		119
甲状腺	1	3	12	11	15	12	6		60
骨・軟部組織	2	1	3	6	6	9	3		30
その他のがん	3	15	17	27	58	83	52	11	266
総計	20	59	228	584	1,720	3,430	1,668	216	7,925

注) その他のがんについては数値のみ表記

部別別 年齢階級別 女性

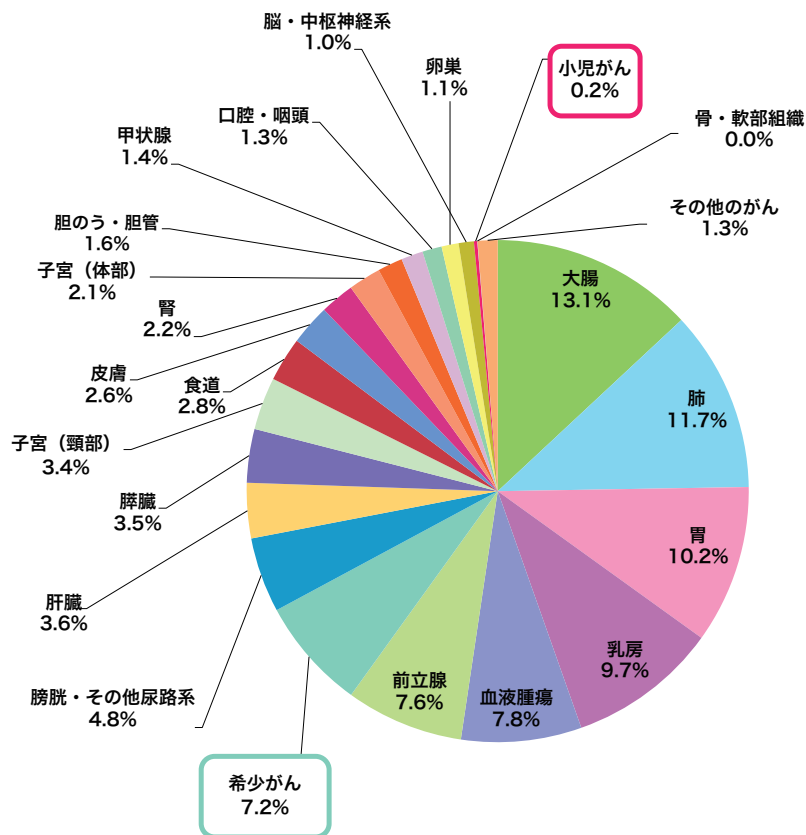


	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
乳房	9	58	274	298	264	310	159	32	1,404
大腸	2	8	35	79	129	309	226	43	831
肺	1	8	19	33	125	227	132	11	556
血液腫瘍	5	13	26	55	81	175	146	28	529
胃		8	13	31	88	178	144	29	491
子宮 (頭部)	33	160	153	59	31	44	8	2	490
子宮 (体部)		14	51	92	80	58	30	1	326
膵臓			9	15	46	90	58	21	239
皮膚	1	3	4	6	22	47	72	49	204
卵巣	7	8	32	43	39	33	15	1	178
膀胱・ その他 尿路系			1	9	20	69	57	12	168
肝臓	1		1	8	19	66	50	10	155
脳・ 中枢神経系	1	13	11	25	30	45	21	2	148
甲状腺	1	16	29	31	27	30	11		145
口腔・咽頭	1	6	11	12	25	34	15	6	110
腎	3	1	10	16	25	29	16	2	102
胆のう・胆管				5	11	38	38	8	100
食道			5	13	8	20	18	4	68
骨・軟部組織	1			2	10	12	5		30
その他のがん		8	15	23	38	45	37	11	177
総計	66	324	699	855	1,118	1,859	1,258	272	6,451

注) その他のがんについては数値のみ表記

部位別 初回治療数（小児がん・希少がん別集計）

部位別 全体



部位	登録数
大腸	1,885
肺	1,686
胃	1,471
乳房	1,395
血液腫瘍	1,119
前立腺	1,094
希少がん	1,042
膀胱・その他尿路系	698
肝臓	513
脾臓	499
子宮（頸部）	489
食道	411
皮膚	379
腎	318
子宮（体部）	301
胆のう・胆管	233
甲状腺	203
口腔・咽頭	181
卵巣	158
脳・中枢神経系	142
小児がん	31
骨・軟部組織	2
その他のがん	185
総計	14,435

希少がん 内訳

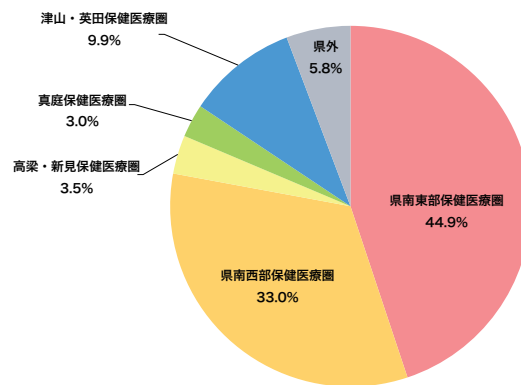
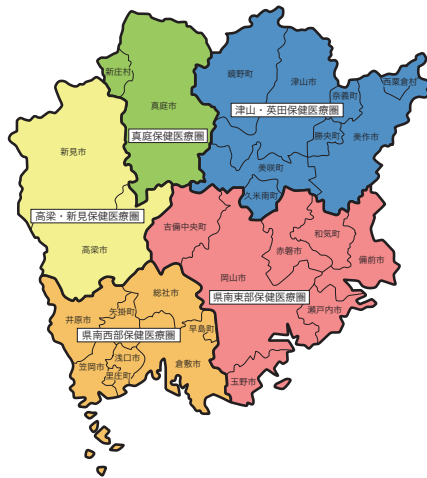
希少がん 種類	登録数
鼻腔、副鼻腔の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASAL CAVITY AND SINUSES)	15
鼻咽頭の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASOPHARYNX)	6
大唾液腺、唾液腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MAJOR SALIVARY GLANDS AND SALIVARY-GLAND TYPE TUMOURS)	26
口腔の上皮性腫瘍 (Squamous cell carcinoma with variants of oral cavity)	168
小腸の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF SMALL INTESTINE)	45
肛門管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF ANAL CANAL)	10
気管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOUR OF TRACHEA)	3
胸腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF THYMUS)	50
子宮の上皮間葉系の混合性腫瘍 (MIXED EPITHELIAL AND MESENCHYMAL TUMOURS OF UTERUS)	16
卵巣の非上皮性腫瘍 (NON EPITHELIAL TUMOURS OF OVARY)	19
外陰、膣の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF VULVA AND VAGINA)	23
胎盤のトロボプラスト性腫瘍 (TROPHOBLASTIC TUMOUR OF PLACENTA)	1
精巣、精巣上体の腫瘍 (TUMOURS OF TESTIS AND PARATESTIS)	19
陰茎の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF PENIS)	7
眼と付属器の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF EYE AND ADNEXA)	3
中耳の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MIDDLE EAR)	0
悪性中皮腫 (MALIGNANT MESOTHELIOMA)	14
皮膚のメラノーマ (MALIGNANT SKIN MELANOMA)	35
粘膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF MUCOSA)	9
ぶどう膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF UVEA)	0
皮膚付属器腫瘍 (ADNEXAL CARCINOMA OF SKIN)	30
胎芽性腫瘍 (EMBRYONAL NEOPLASMS)	1
性腺外胚細胞腫瘍 (EXTRAGONADAL GERM CELL TUMOURS)	5
軟部肉腫 (SOFT TISSUE SARCOMA)	131
骨肉腫 (BONE SARCOMA)	15
GIST、悪性 (GASTROINTESTINAL STROMAL SARCOMA)	78
カポジ肉腫 (KAPOSI'S SARCOMA)	0
神経内分泌腫瘍 (NEUROENDOCRINE TUMOURS)	148
中枢神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CENTRAL NERVOUS SYSTEM (CNS))	47
中枢神経、松果体の非グリオーマ (NON GLIAL TUMOURS OF CNS AND PINEAL GLAND)	1
髄膜腫 (MALIGNANT MENINGIOMAS)	52
末梢神経、脳神経、自律神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM)	0
末梢神経、脳神経、自律神経、傍神経節の非グリオーマ (NON-GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM AND PARAGANGLIA)	3
T及びNK細胞リンパ腫 (Non Hodgkin Mature T cell and NK-cell neoplasms)	48
骨髄異形成症候群 (MYELODYSPLASTIC/MYELOPROLIFERATIVE DISEASES)	15
組織球、樹状細胞性腫瘍 (HISTIOCYTIC AND DENDRITIC CELL NEOPLASMS)	0

※複数該当の場合は両方でカウント

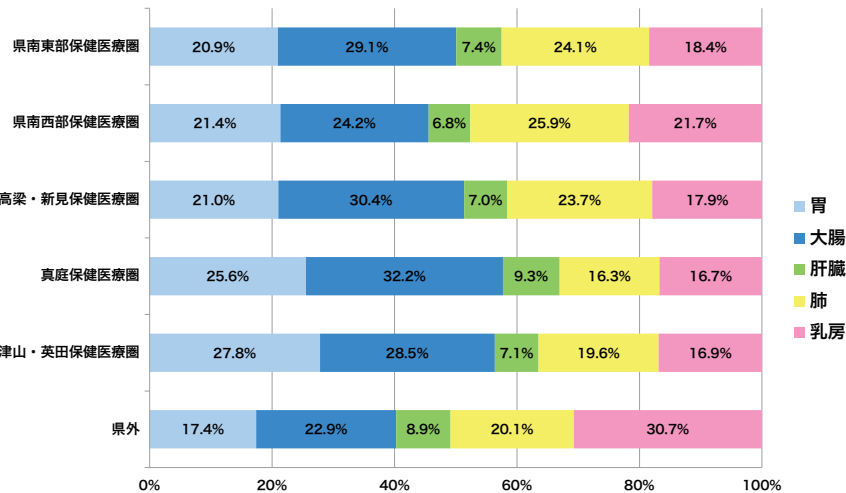
二次保健医療圏別の登録数

二次保健医療圏別 登録数と登録割合

圏域名	市町村名	13施設登録数	割合
県南東部保健医療圏	岡山市北区 岡山市中区 岡山市南区 岡山市東区 玉野市 備前市 瀬戸内市 赤磐市 和気郡和気町 加賀郡吉備中央町	6,479	44.9%
県南西部保健医療圏	倉敷市 笠岡市 井原市 総社市 浅口市 都窪郡早島町 浅口郡里庄町 小田郡矢掛町	4,767	33.0%
高梁・新見保健医療圏	高梁市 新見市	500	3.5%
真庭保健医療圏	真庭市 真庭郡新庄村	431	3.0%
津山・英田保健医療圏	津山市 美作市 苫田郡鏡野町 勝田郡勝央町 勝田郡奈義町 英田郡西粟倉村 久米郡久米南町 久米郡美咲町	1,427	9.9%
県外		831	5.8%
合計		14,435	100.0%



二次保健医療圏別 登録数と登録割合 (5 大がん 医療圏別)

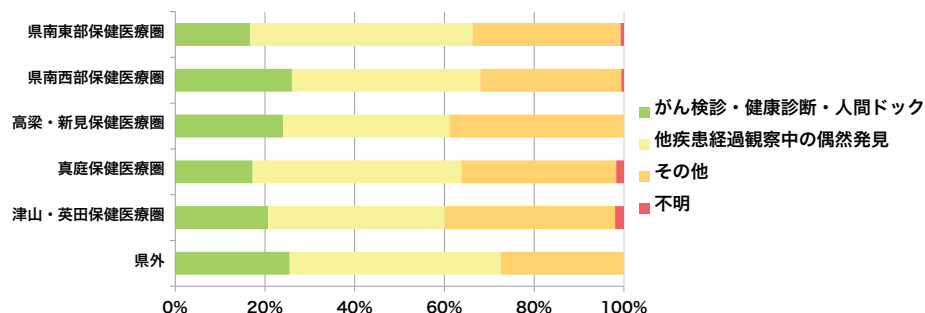


二次保健医療圏別 登録数と登録割合 (5 大がん 部位別)

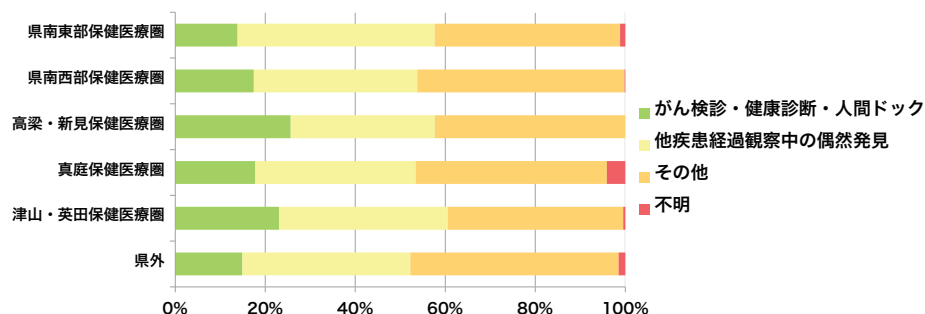
保健医療圏	医療圏別合計	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
県南東部	3,251	681 (44.0%)	947 (48.8%)	241 (46.6%)	783 (46.4%)	599 (42.6%)
県南西部	2,341	500 (32.3%)	567 (29.2%)	159 (30.8%)	606 (35.9%)	509 (36.2%)
高梁・新見	257	54 (3.5%)	78 (4.0%)	18 (3.5%)	61 (3.6%)	46 (3.3%)
真庭	227	58 (3.7%)	73 (3.8%)	21 (4.1%)	37 (2.2%)	38 (2.7%)
津山・英田	729	203 (13.1%)	208 (10.7%)	52 (10.1%)	143 (8.5%)	123 (8.8%)
県外	293	51 (3.3%)	67 (3.5%)	26 (5.0%)	59 (3.5%)	90 (6.4%)

二次保健医療圏別 部位別 発見経緯

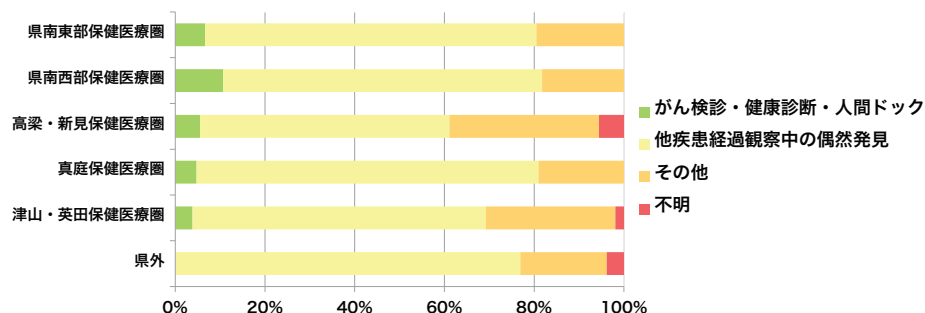
胃



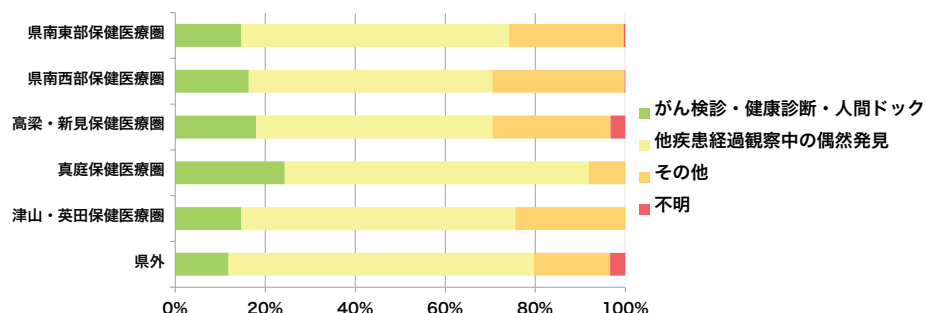
大腸



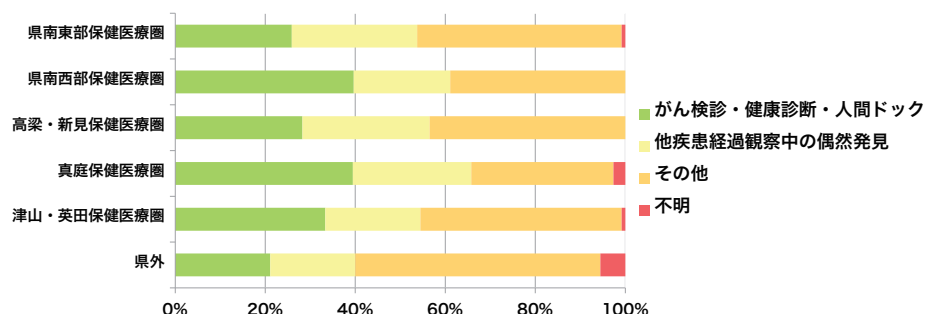
肝臓



肺



乳房



胃

胃がんの現在の傾向であるが、罹患数は 2020 年の統計から男性では前立腺がん、大腸がん、肺がんに次いで第 4 位で、女性でも乳がん、大腸がん、肺がんに次いで第 4 位です。死亡数は 2022 年の統計から男性では肺がん、大腸がんについて第 3 位で、女性では大腸がん、肺がん、膵臓がん、乳がんについて第 5 位です。しかしながら胃がんは早期発見、早期治療の進歩が著しいため死亡率は減少傾向にあります。

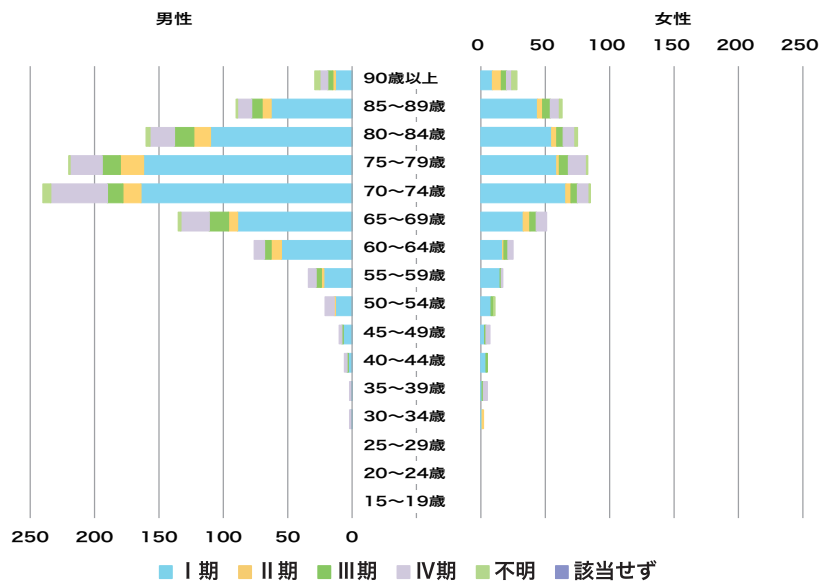
胃がんの治療には内視鏡治療、手術療法、化学療法、放射線治療があります。胃にがんが限局して胃周囲のリンパ節に転移のない早期がんの場合は内視鏡治療の適応となります。それより進んで胃周囲のリンパ節に転移の可能性がある段階であれば手術療法の適応となります。昨今、腹腔鏡やロボット手術の技術革新が目覚ましく胃がん領域でもそのような低侵襲手術が拡大してきています。化学療法や放射線治療は遠隔転移などを伴う進行がんにおいて適応となることが多いですが、近年化学療法の進歩から切除不能進行胃がんであっても化学療法が著効した症例など根治切除が可能となるような症例も散見されるようになってきました。

胃がんの検診は以前はバリウム検査が主流でしたが、近年は内視鏡検査を検診に取り入れている自治体も増えてきており、検診自体の受診率の増加も合いまって早期発見の頻度が増えてきています。

胃がんの予防に関してはヘリコバクター・ピロリ菌（以下 HP 菌）の除菌がすべてです。内視鏡検診の普及と受診率の上昇に伴い HP 菌陽性患者のスクリーニングができるようになってきたため除菌率の増加へとつなげることができるようになってきました。

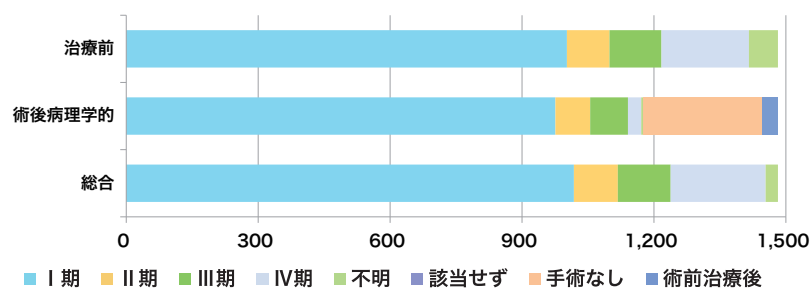
胃がんは HP 菌の除菌療法で発生を減らすことが可能であり、検診受診率のさらなる増加から早期発見、早期治療につなげることで今後も死亡数の減少を目指すことが可能です。

胃 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



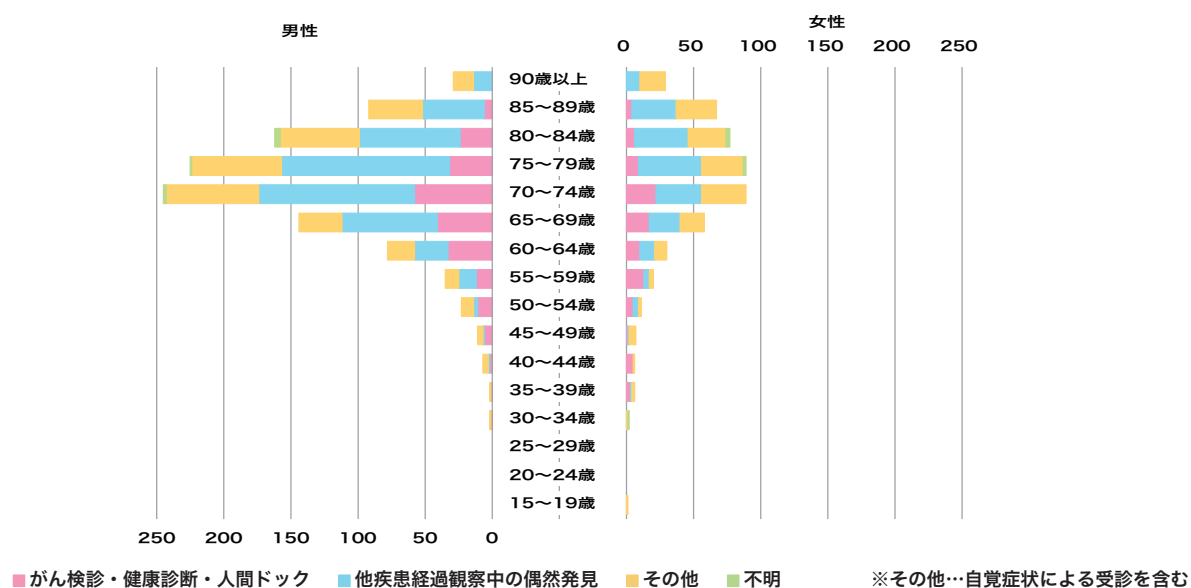
	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明		該当せず		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上	13	9	2	7	4	4	6	4	4	4			29	28	57
85～89歳	63	44	7	4	8	6	11	7	1	2			90	63	153
80～84歳	110	55	13	4	15	5	19	9	3	2			160	75	235
75～79歳	162	59	18	2	14	7	25	14	1	1			220	83	303
70～74歳	164	66	14	4	12	5	44	9	6	1			240	85	325
65～69歳	89	33	7	5	15	5	22	8	2				135	51	186
60～64歳	55	17	8	1	5	3	8	4					76	25	101
55～59歳	22	15	2		4	1	6	1					34	17	51
50～54歳	13	8	1			2	7			1			21	11	32
45～49歳	7	3			1	1	2	3					10	7	17
40～44歳	3	4			1	1	2						6	5	11
35～39歳	1	1				1	1	3					2	5	7
30～34歳	1	1		1			1						2	2	4
25～29歳													0	0	0
20～24歳													0	0	0
15～19歳													0	0	0
総計	703	315	72	28	79	41	154	62	17	11	0	0	1,025	457	1,482

胃 ステージ 全体 病期分類対象のみ



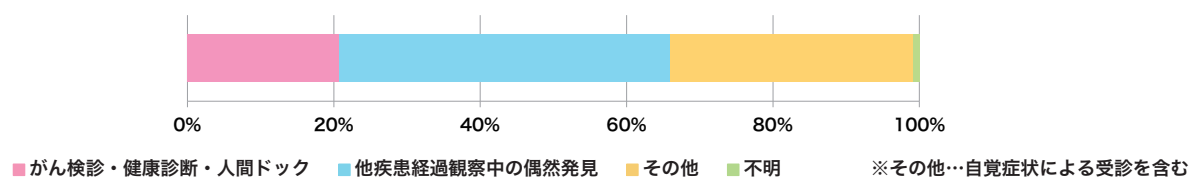
ステージ	治療前	術後病理学的	総合
I期	1,002	976	1,018
II期	97	79	100
III期	118	86	120
IV期	199	30	216
不明	66	4	28
該当せず			
手術なし		271	
術前治療後		36	
合計	1,482	1,482	1,482

胃 発見経緯 年齢階級別



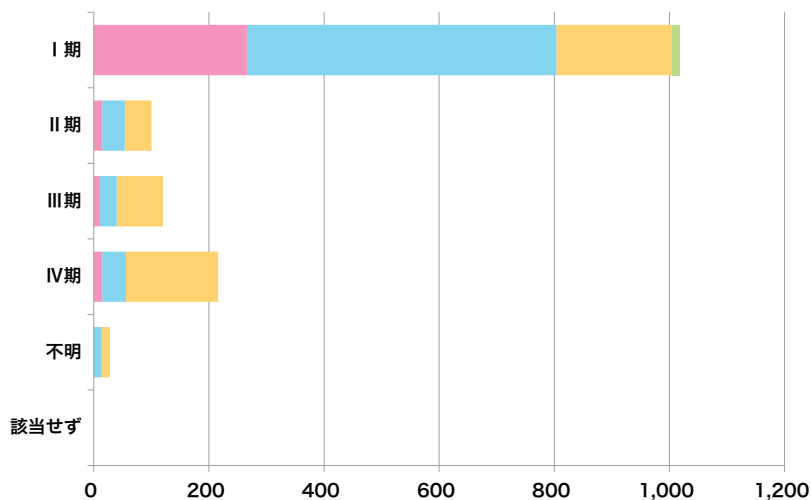
	がん検診・健康診断・ 人間ドック		他疾患経過観察中 の偶然発見		その他		不明		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			14	10	15	19			29	29	58
85～89歳	6	4	46	33	40	30			92	67	159
80～84歳	24	6	75	40	59	28	4	3	162	77	239
75～79歳	32	9	125	47	67	31	1	2	225	89	314
70～74歳	58	22	116	34	69	33	2		245	89	334
65～69歳	41	17	71	23	32	18			144	58	202
60～64歳	33	10	25	11	20	9			78	30	108
55～59歳	12	13	13	4	10	3			35	20	55
50～54歳	11	5	3	4	9	2			23	11	34
45～49歳	6	1	1	1	4	5			11	7	18
40～44歳	2	5	1		4	1			7	6	13
35～39歳	1	3		1	1	2			2	6	8
30～34歳	1				1	1		1	2	2	4
25～29歳									0	0	0
20～24歳									0	0	0
15～19歳						1			0	1	1
総計	227	95	490	208	331	183	7	6	1,055	492	1,547

胃 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	322
他疾患経過観察中の偶然発見	698
その他	514
不明	13
合計	1,547

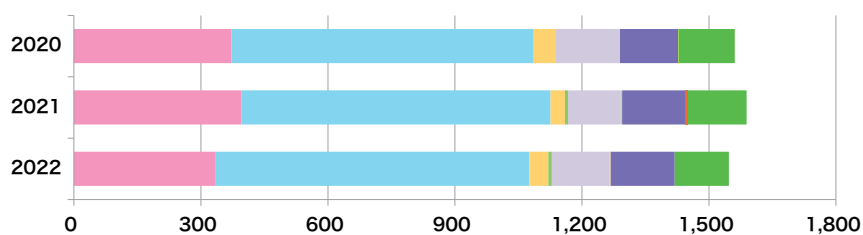
胃 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
I期	266	538	201	13
II期	15	39	46	
III期	11	29	80	
IV期	15	41	160	
不明		14	14	
該当せず				
合計	307	661	501	13

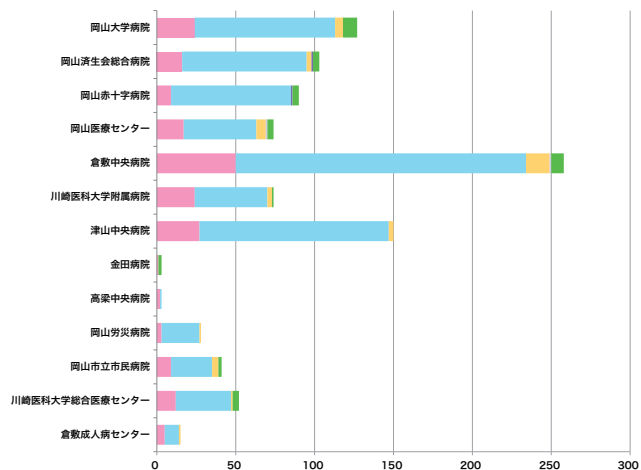
胃 初回治療法 年次推移



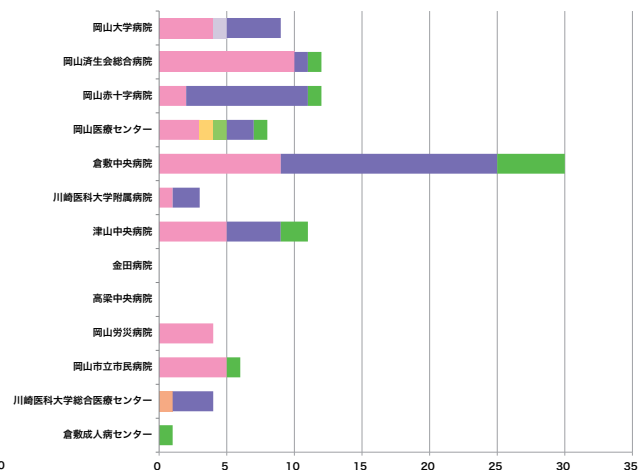
■手術のみ ■内視鏡のみ ■放射線のみ
 ■手術+内視鏡 ■手術/内視鏡+放射線
 ■薬物療法のみ ■手術/内視鏡+その他
 ■薬物+その他 ■手術/内視鏡+放射線+薬物
 ■手術/内視鏡+薬物 ■他の組み合わせ
 ■手術/内視鏡+放射線+薬物
 ■治療無し

胃 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

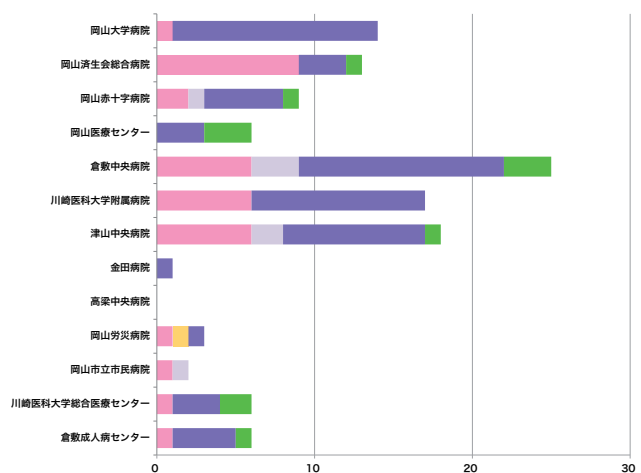
【Ⅰ期】



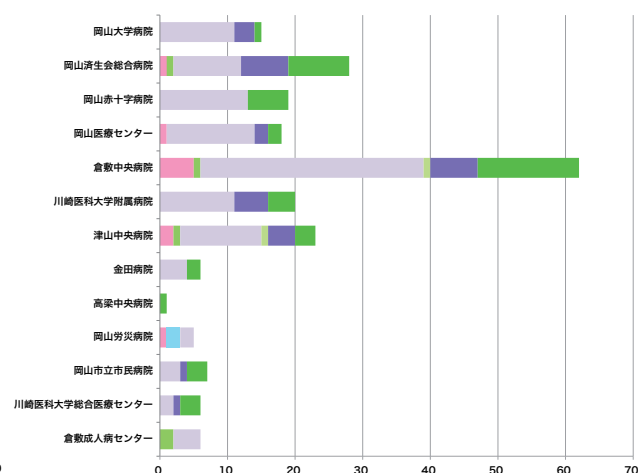
【Ⅱ期】



【Ⅲ期】

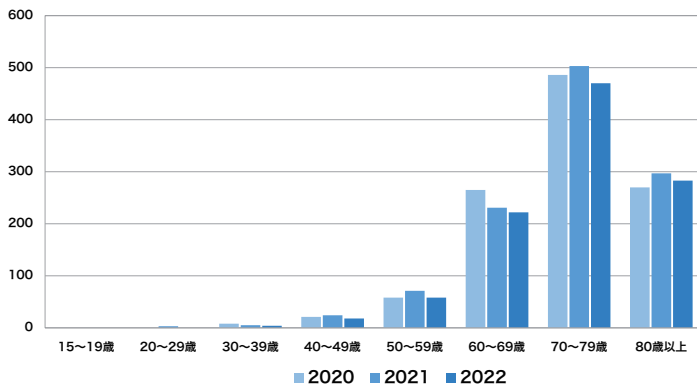


【Ⅳ期】



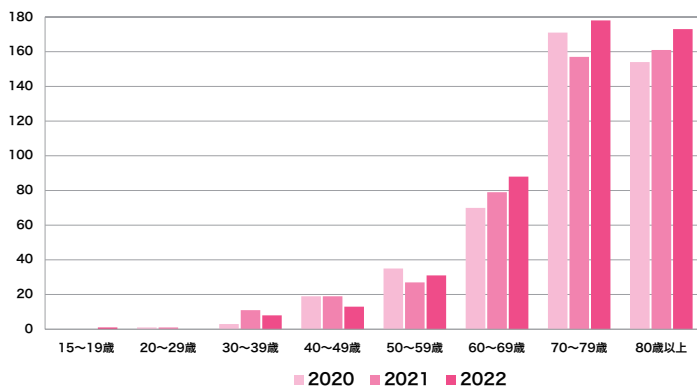
- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

胃 年齢階級別 男性 年次推移



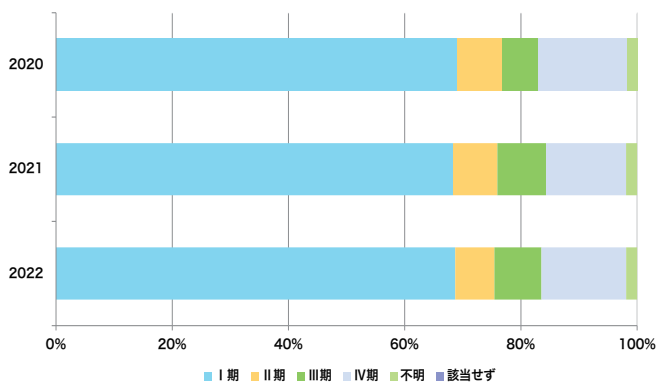
	2020	2021	2022
80歳以上	270	297	283
70～79歳	486	503	470
60～69歳	265	231	222
50～59歳	58	71	58
40～49歳	21	24	18
30～39歳	8	5	4
20～29歳	0	3	0
15～19歳	0	0	0
総計	1,108	1,134	1,055

胃 年齢階級別 女性 年次推移



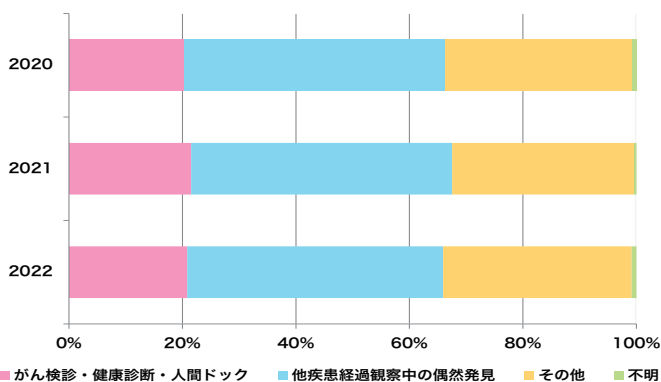
	2020	2021	2022
80歳以上	154	161	173
70～79歳	171	157	178
60～69歳	70	79	88
50～59歳	35	27	31
40～49歳	19	19	13
30～39歳	3	11	8
20～29歳	1	1	0
15～19歳	0	0	1
総計	453	455	492

胃 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



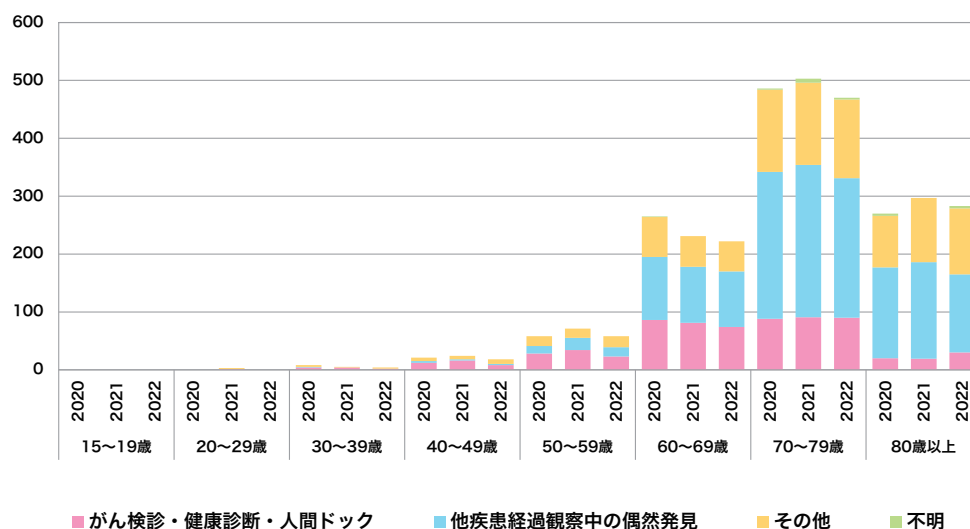
	2020	2021	2022
I期	1,036	1,045	1,018
II期	115	117	100
III期	94	128	120
IV期	228	211	216
不明	26	29	28
該当せず	0	0	0
合計	1,499	1,530	1,482

胃 発見経緯別 年次推移

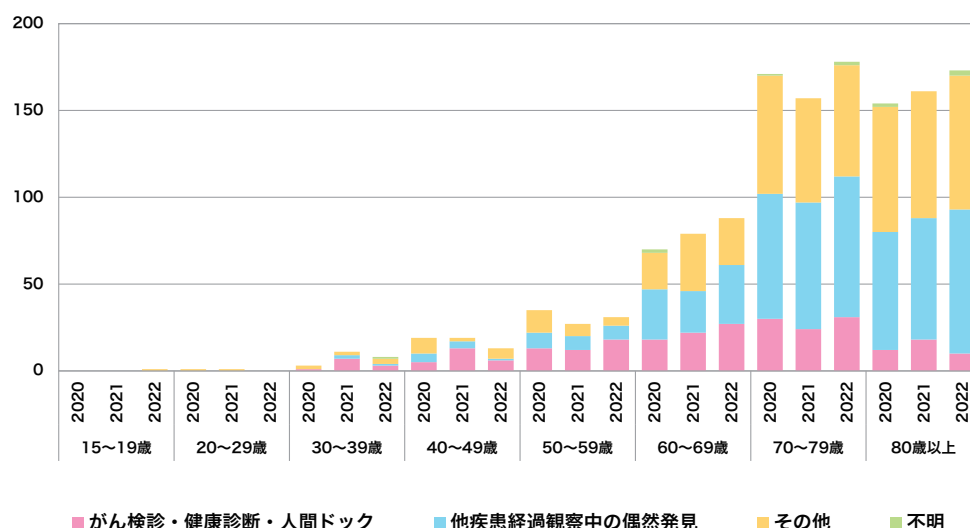


	2020	2021	2022
がん検診・健康診断・人間ドック	317	342	322
他疾患経過観察中の偶然発見	720	731	698
その他	512	509	514
不明	12	7	13
合計	1,561	1,589	1,547

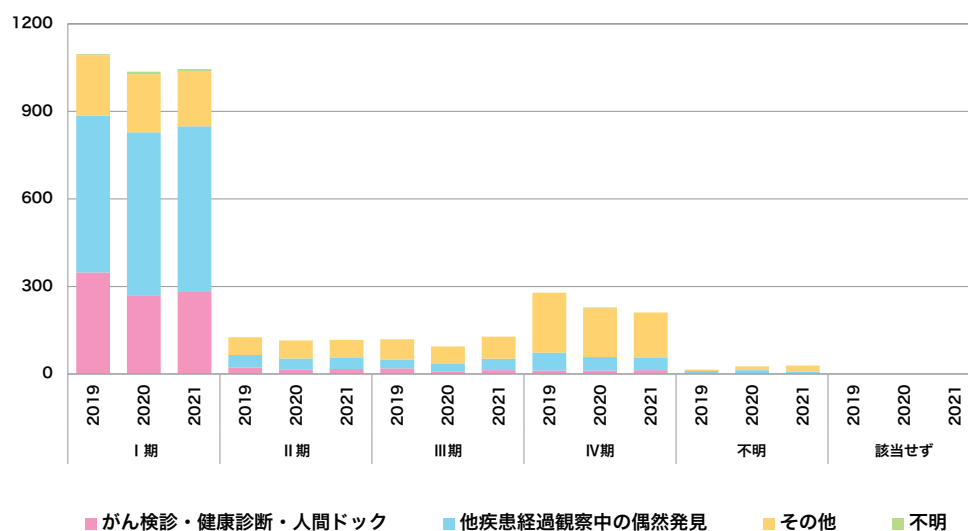
胃 年齢階級別 発見経緯 男性 年次推移



胃 年齢階級別 発見経緯 女性 年次推移



胃 発見経緯 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



その他・・・自覚症状による受診を含む

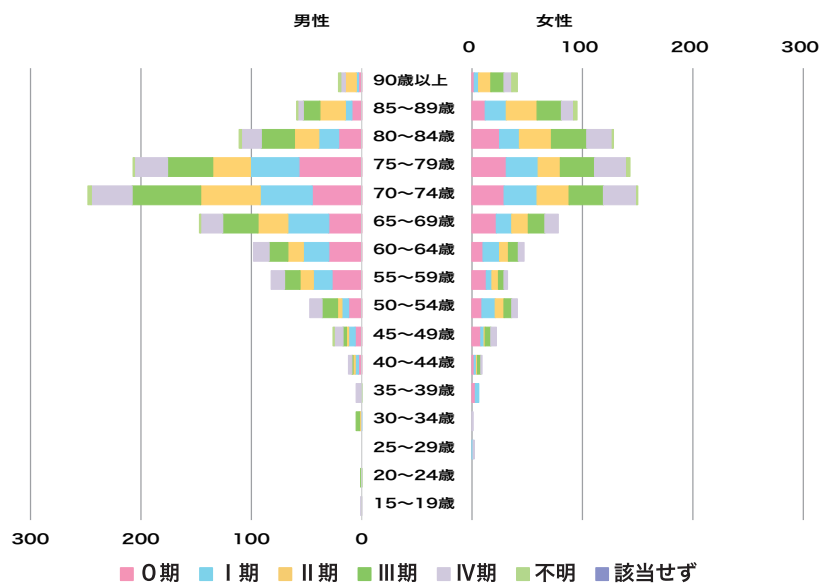
大腸

2022 年の岡山県の大腸がん登録者数は 1,940 人であり、全がん種のなかで最多となっている。性別で見ると、男性では肺がん、女性では乳がんに次いで 2 番目に多くなっている。ここ 3 年間（2020－2022 年）の年次推移では、男性は減少傾向、女性は増加傾向を示している。年齢階級別に見ると 40 代から増え始め、70－74 歳でピークとなる単峰性の分布となっている。

ステージを年次推移で見ると、0 期、I 期ともに減少し、Ⅲ期、Ⅳ期が増加傾向となっている。この傾向には注意を要する。ステージ 0 期であれば県内の多くの病院で内視鏡治療のみが行われ、ステージ I 期であれば手術のみが行われている。一方、ステージⅢ期には手術と薬物療法、ステージⅣ期では薬物療法などが多くなり治療法が大きく異なるとともにがんの治癒率も異なる。がん検診・健康診断・人間ドックで発見された人の 62% がステージ 0 期もしくは I 期であったことは検診の重要性を示唆するものである。しかし、発見経緯別の年次推移で検診は減少傾向となっており、このことがステージ 0 期および I 期での発見の減少につながっている可能性があり今後注視する必要があると考える。

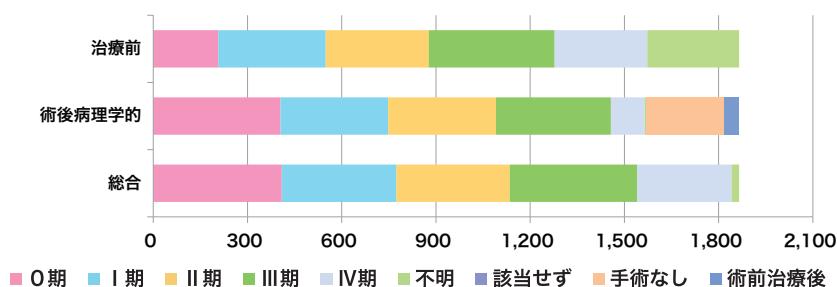
倉敷中央病院 外科 横田 満（外科部長）

大腸 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



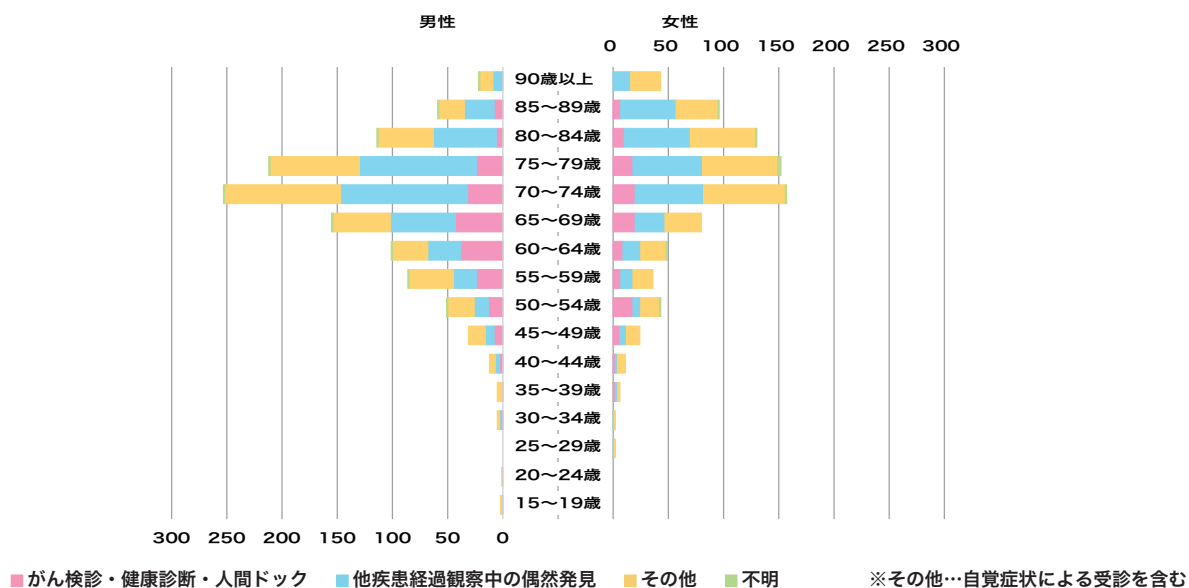
	0期		I期		II期		III期		IV期		不明		該当せず		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上	3	2	2	4	10	11	12	4	7	2	5				21	41	62
85～89歳	9	12	6	19	23	28	15	22	5	11	1	3			59	95	154
80～84歳	21	25	18	18	22	29	30	32	18	23	2	1			111	128	239
75～79歳	57	31	44	29	34	20	41	31	30	29	1	3			207	143	350
70～74歳	45	29	47	30	54	29	62	31	37	30	3	1			248	150	398
65～69歳	30	22	37	14	27	15	32	15	20	12	1				147	78	225
60～64歳	30	10	23	15	14	8	17	9	14	5					98	47	145
55～59歳	27	13	17	5	12	6	14	5	12	3					82	32	114
50～54歳	12	9	6	12	4	8	14	7	11	5					47	41	88
45～49歳	6	8	6	3	2	1	3	5	8	5	1				26	22	48
40～44歳	3	2	3	2	2	1	1	3	3	1					12	9	21
35～39歳			3		3		1		4						5	6	11
30～34歳			1		1		3		1						5	1	6
25～29歳				1					1						0	2	2
20～24歳							1								1	0	1
15～19歳									1						1	0	1
総計	243	166	210	155	205	156	234	172	167	133	11	13	0	0	1,070	795	1,865

大腸 ステージ 全体 病期分類対象のみ



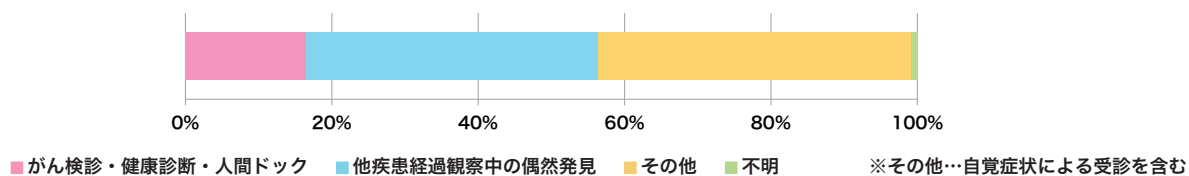
ステージ	治療前	術後病理学的	総合
0期	207	405	409
I期	342	343	365
II期	328	343	361
III期	401	366	406
IV期	295	108	300
不明	292	4	24
該当せず			
手術なし		249	
術前治療後		47	
合計	1,865	1,865	1,865

大腸 発見経緯 年齢階級別



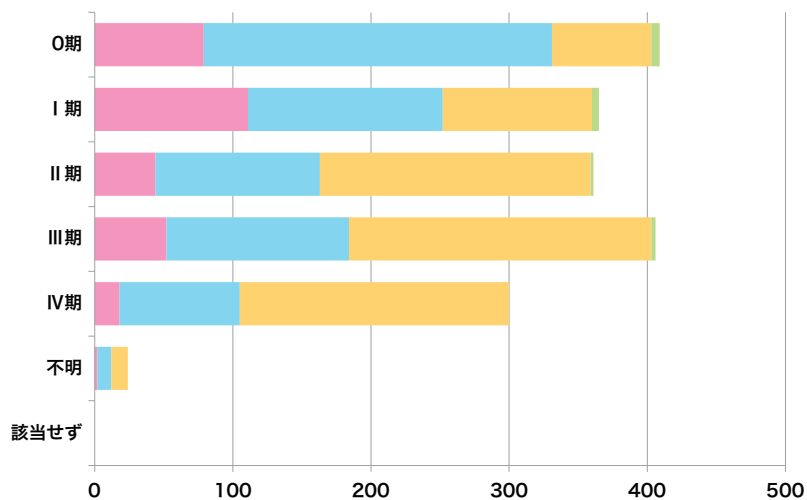
	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		その他		不明		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			9	16	12	27	1		22	43	65
85～89歳	8	7	27	50	23	38	1	1	59	96	155
80～84歳	6	10	57	60	50	59	1	1	114	130	244
75～79歳	24	18	106	63	81	68	1	3	212	152	364
70～74歳	32	20	115	62	105	74	1	1	253	157	410
65～69歳	43	20	59	27	52	33	1		155	80	235
60～64歳	38	9	30	16	32	23	1	1	101	49	150
55～59歳	24	7	21	11	40	18	1		86	36	122
50～54歳	13	18	13	7	24	17	1	1	51	43	94
45～49歳	8	6	8	6	15	12			31	24	55
40～44歳	3	2	4	2	5	7			12	11	23
35～39歳	1	2		2	4	2			5	6	11
30～34歳	2		1	1	2	1			5	2	7
25～29歳				1		1			0	2	2
20～24歳					1				1	0	1
15～19歳			1		1				2	0	2
総計	202	119	451	324	447	380	9	8	1,109	831	1,940

大腸 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	321
他疾患経過観察中の偶然発見	775
その他	827
不明	17
合計	1,940

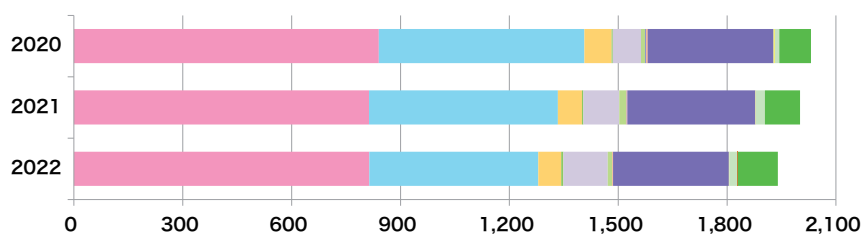
大腸 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
O期	79	252	72	6
I期	111	141	108	5
II期	44	119	196	2
III期	52	132	219	3
IV期	18	87	195	
不明	2	10	12	
該当せず				
合計	306	741	802	16

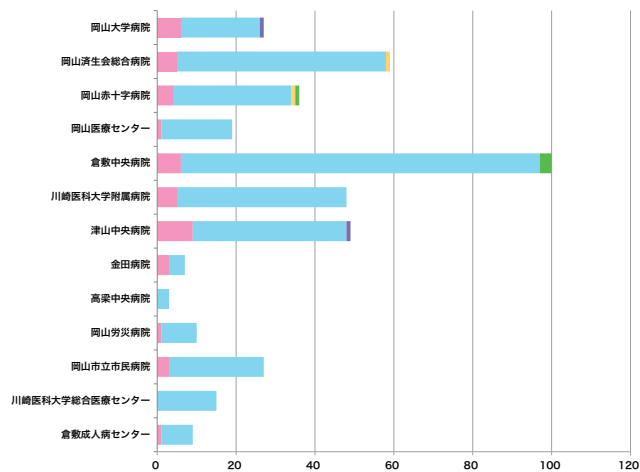
大腸 初回治療法 年次推移



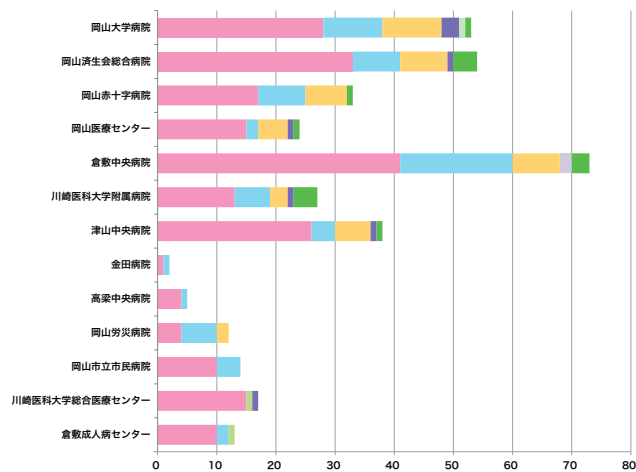
■手術のみ ■内視鏡のみ ■放射線のみ
 ■手術+内視鏡 ■手術/内視鏡+放射線 ■放射線+薬物
 ■薬物療法のみ ■手術/内視鏡+その他 ■手術/内視鏡+放射線+薬物
 ■薬物+その他 ■手術/内視鏡+放射線+薬物
 ■手術/内視鏡+放射線+薬物
 ■治療無し
 ■他の組み合わせ

大腸 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

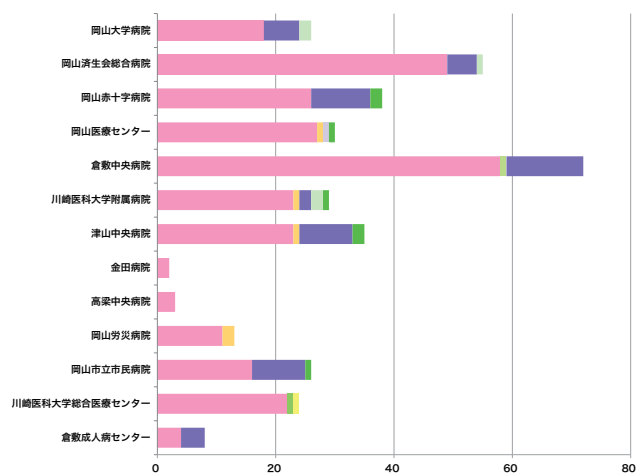
【Ⅰ期】



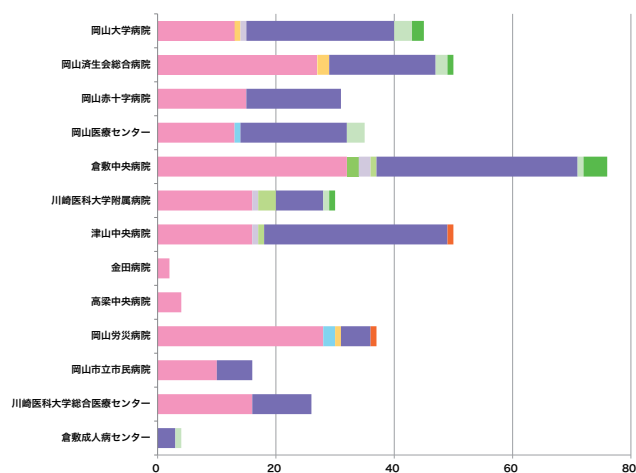
【Ⅱ期】



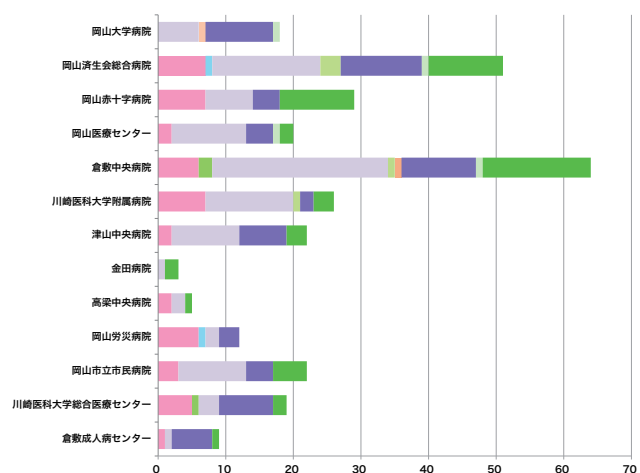
【Ⅲ期】



【Ⅳ期】

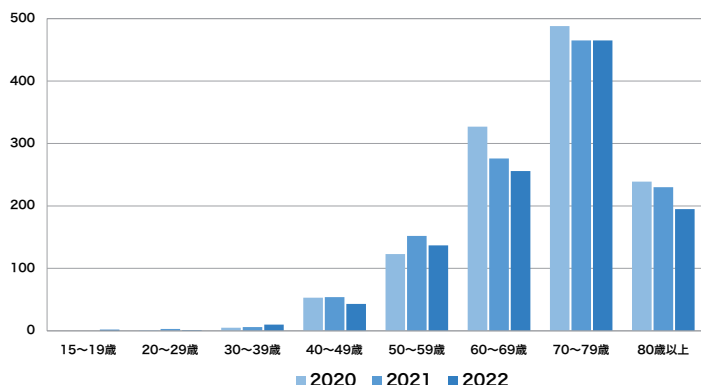


【Ⅴ期】



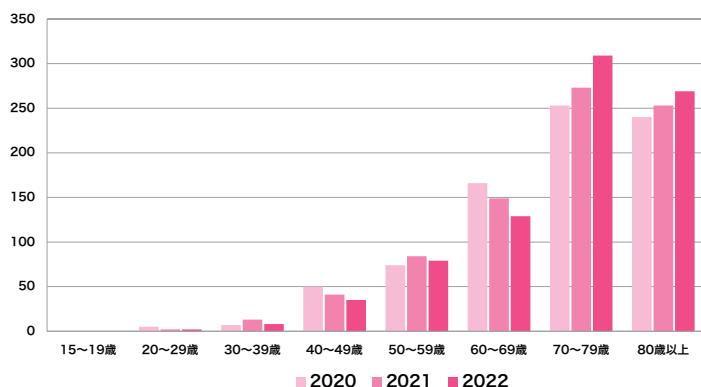
- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

大腸 年齢階級別 男性 年次推移



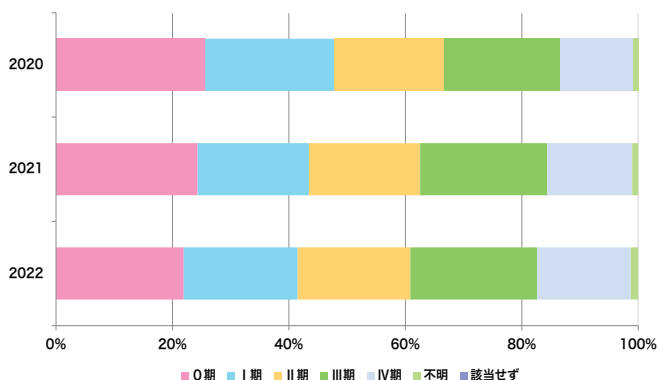
	2020	2021	2022
80歳以上	239	230	195
70～79歳	488	465	465
60～69歳	327	276	256
50～59歳	123	152	137
40～49歳	53	54	43
30～39歳	5	6	10
20～29歳	1	3	1
15～19歳			2
総計	1,236	1,186	1,109

大腸 年齢階級別 女性 年次推移



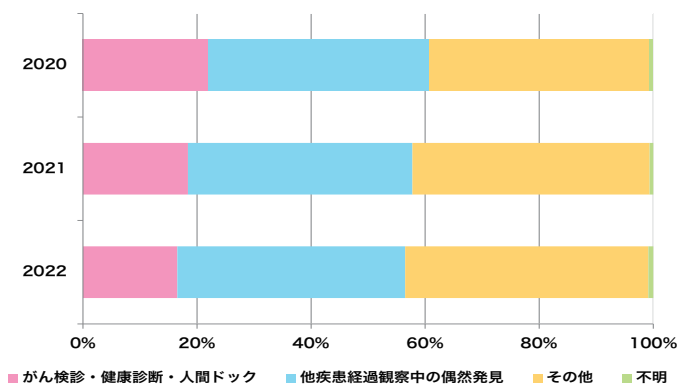
	2020	2021	2022
80歳以上	240	253	269
70～79歳	253	273	309
60～69歳	166	149	129
50～59歳	74	84	79
40～49歳	50	41	35
30～39歳	7	13	8
20～29歳	5	2	2
15～19歳			
総計	795	815	831

大腸 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



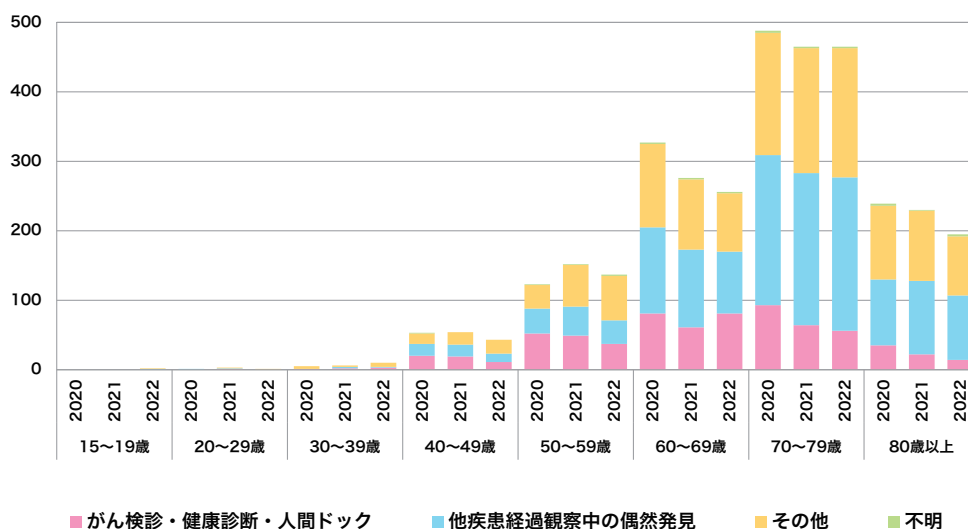
	2020	2021	2022
0期	503	472	409
I期	435	371	365
II期	372	371	361
III期	392	423	406
IV期	246	284	300
不明	17	20	24
該当せず			
合計	1,965	1,941	1,865

大腸 発見経緯別 年次推移

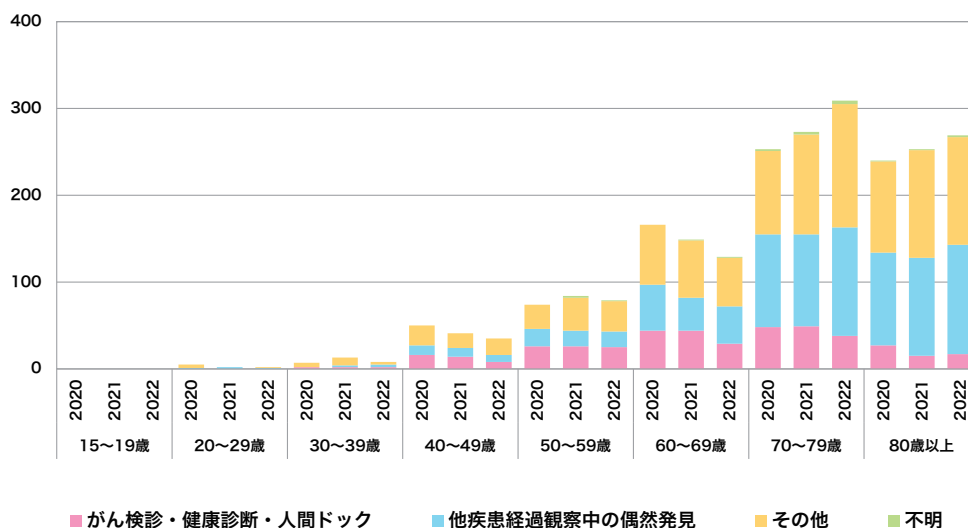


	2020	2021	2022
がん検診・健康診断・人間ドック	445	368	321
他疾患経過観察中の偶然発見	788	788	775
その他	785	832	827
不明	13	13	17
合計	2,031	2,001	1,940

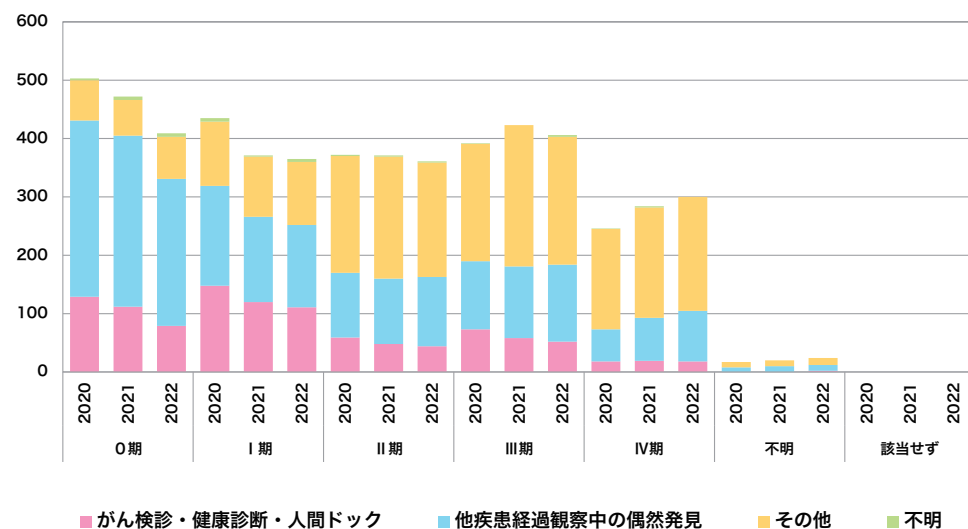
大腸 年齢階級別 発見経緯 男性 年次推移



大腸 年齢階級別 発見経緯 女性 年次推移



大腸 発見経緯 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



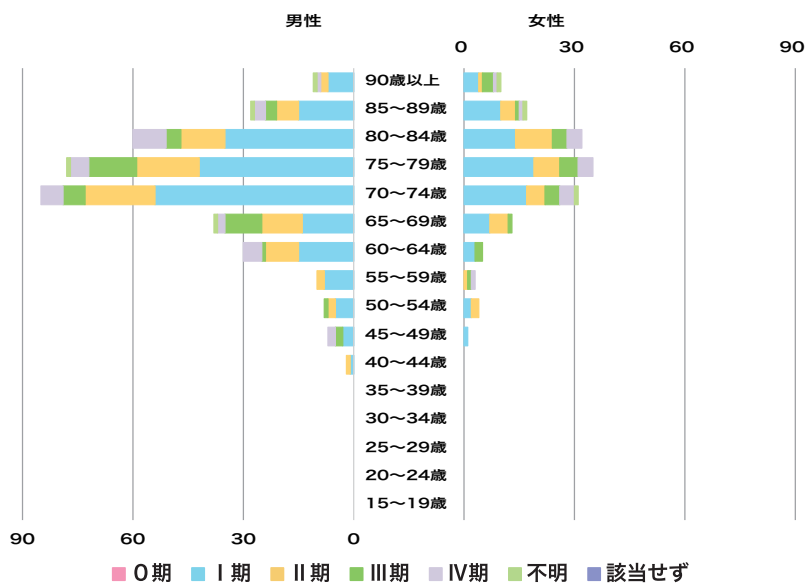
その他・・・自覚症状による受診を含む

肝臓

岡山県でも、肝臓がんは重要な健康課題のひとつです。肝臓がんには肝細胞がん、肝内胆管がん、転移性肝がんがありますが、ここでは主に肝細胞がんについてお伝えします。肝細胞がんの主な原因は、B型・C型肝炎ウイルスの感染、過剰な飲酒、肥満、糖尿病などです。早期発見が難しく、発見時には進行していることが多いため、定期的な検診が不可欠です。岡山県では、肝炎ウイルス検査や超音波検査が推奨されており、特に肝炎ウイルスのキャリアやアルコール摂取量が多い方には、定期的な検診が勧められます。近年では、ウイルスやアルコールの関与がない肝細胞がんの増加も問題視されています。治療法としては、手術（切除・肝移植）、焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法、薬物療法、放射線治療などがあり、患者の肝機能や腫瘍の状態に応じた治療が選ばれます。最近では分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬が保険適用となり、治療成績も向上しています。予防としては、バランスの良い食事、適度な運動、飲酒量の抑制が効果的です。さらに、肝炎ウイルスによる慢性肝疾患には核酸アナログ製剤や抗ウイルス療法も有効です。また、コーヒー摂取が肝がん発症リスクを低減する可能性も指摘されています。

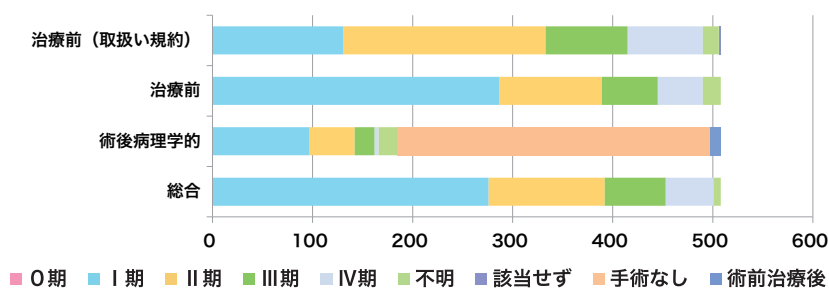
川崎医科大学附属病院 消化器外科 上野 富雄

肝臓 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



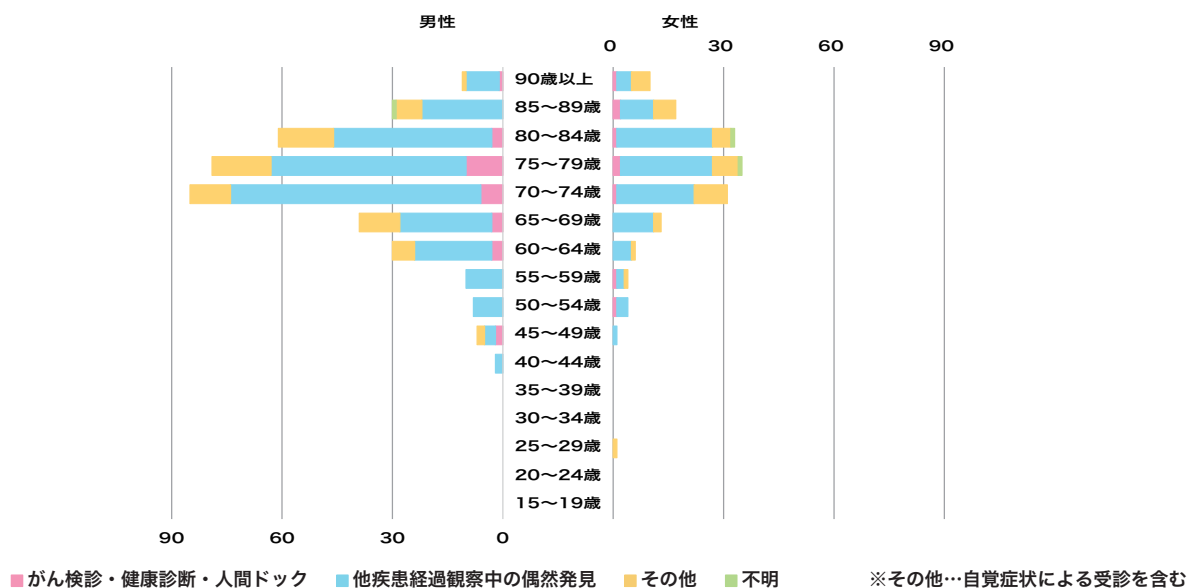
	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明		該当せず		合計				
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			7	4	2	1		3	1	1	1	1			11	10	21
85～89歳			15	10	6	4	3	1	3	1	1	1			28	17	45
80～84歳			35	14	12	10	4	4	9	4					60	32	92
75～79歳			42	19	17	7	13	5	5	4	1				78	35	113
70～74歳			54	17	19	5	6	4	6	4		1			85	31	116
65～69歳			14	7	11	5	10	1	2		1				38	13	51
60～64歳			15	3	9		1	2	5						30	5	35
55～59歳			8		2	1		1		1					10	3	13
50～54歳			5	2	2	2	1								8	4	12
45～49歳			3	1			2		2						7	1	8
40～44歳			1		1										2	0	2
35～39歳															0	0	0
30～34歳															0	0	0
25～29歳															0	0	0
20～24歳															0	0	0
15～19歳															0	0	0
総計	0	0	199	77	81	35	40	21	33	15	4	3	0	0	357	151	508

肝臓 ステージ 全体 病期分類対象のみ



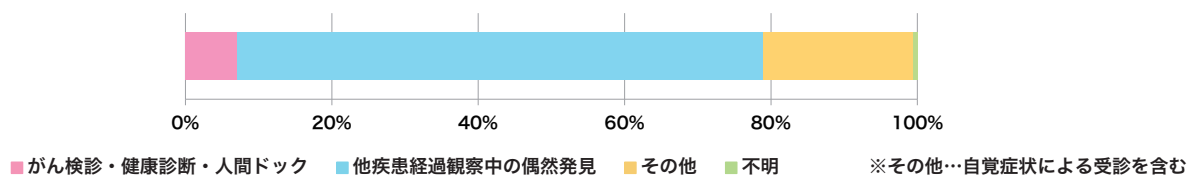
ステージ	治療前 (取扱い規約)	治療前	術後病理学的	総合
0期				
I期	131	287	97	276
II期	202	102	45	116
III期	82	56	20	61
IV期	75	45	4	48
不明	16	18	19	7
該当せず	2			
手術なし			312	
術前治療後			11	
合計	508	508	508	508

肝臓 発見経緯 年齢階級別



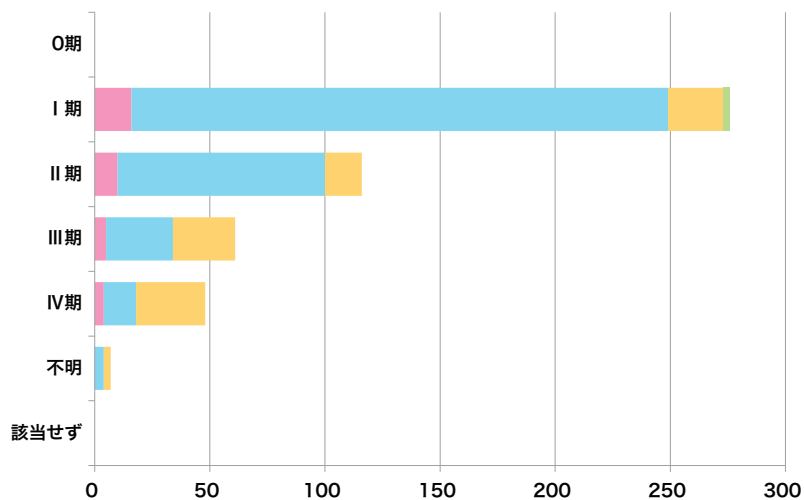
	がん検診・健康診断・ 人間ドック				他疾患経過観察中 の偶然発見		その他		不明		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上	1	1	9	4	1	5					11	10	21
85～89歳		2	22	9	7	6	1				30	17	47
80～84歳	3	1	43	26	15	5		1			61	33	94
75～79歳	10	2	53	25	16	7		1			79	35	114
70～74歳	6	1	68	21	11	9					85	31	116
65～69歳	3		25	11	11	2					39	13	52
60～64歳	3		21	5	6	1					30	6	36
55～59歳		1	10	2		1					10	4	14
50～54歳		1	8	3							8	4	12
45～49歳	2		3	1	2						7	1	8
40～44歳			2								2	0	2
35～39歳											0	0	0
30～34歳											0	0	0
25～29歳						1					0	1	1
20～24歳											0	0	0
15～19歳											0	0	0
総計	28	9	264	107	69	37	1	2			362	155	517

肝臓 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	37
他疾患経過観察中の偶然発見	371
その他	106
不明	3
合計	517

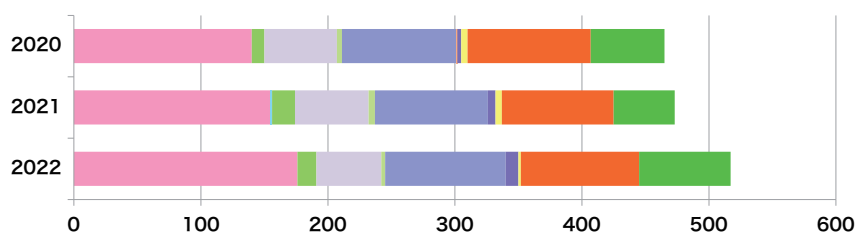
肝臓 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
O期				
I期	16	233	24	3
II期	10	90	16	
III期	5	29	27	
IV期	4	14	30	
不明		4	3	
該当せず				
合計	35	370	100	3

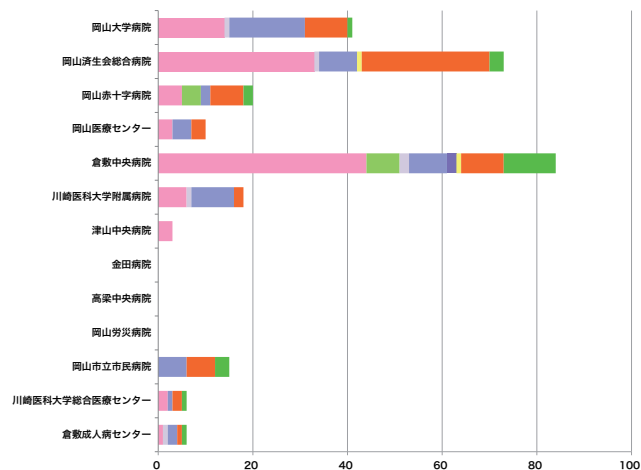
肝臓 初回治療法 年次推移



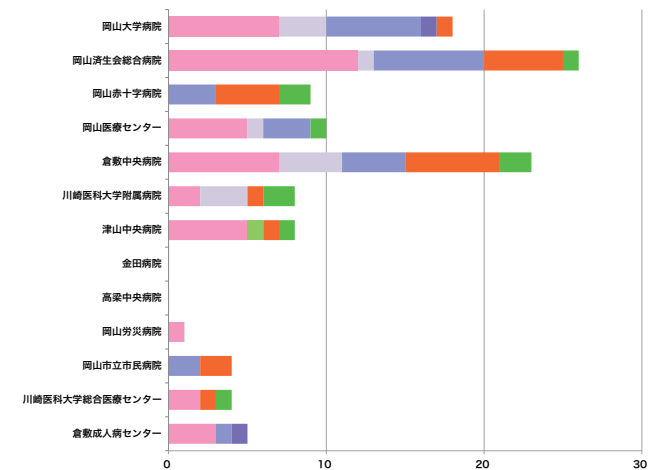
■手術のみ ■内視鏡のみ
 ■手術+内視鏡 ■放射線のみ
 ■薬物療法のみ ■放射線+薬物
 ■薬物+その他 ■手術/内視鏡+放射線
 ■手術/内視鏡+薬物 ■手術/内視鏡+その他
 ■手術/内視鏡+放射線+薬物 ■他の組み合わせ
 ■治療無し

肝臓 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

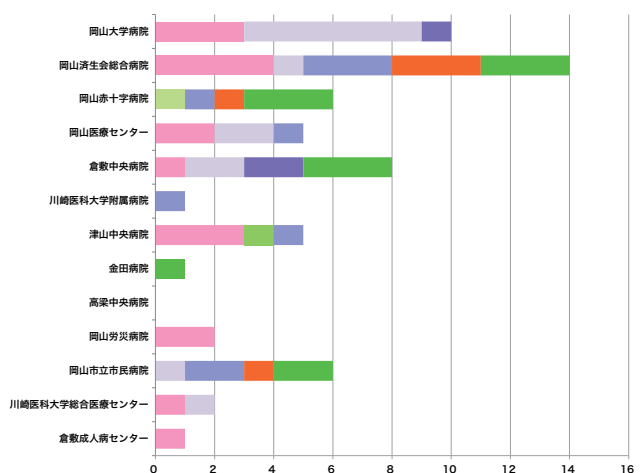
【Ⅰ期】



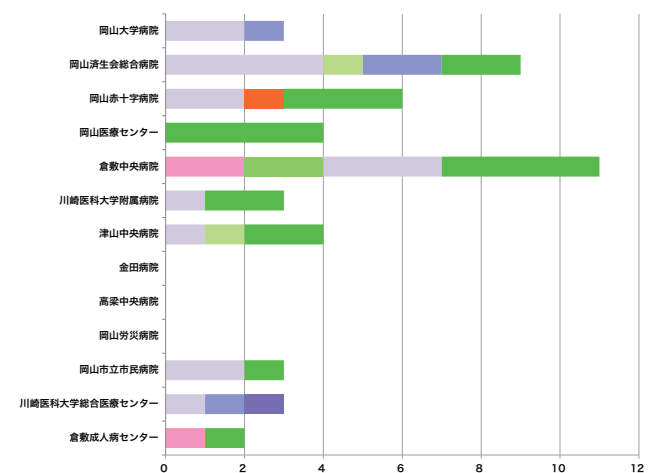
【Ⅱ期】



【Ⅲ期】

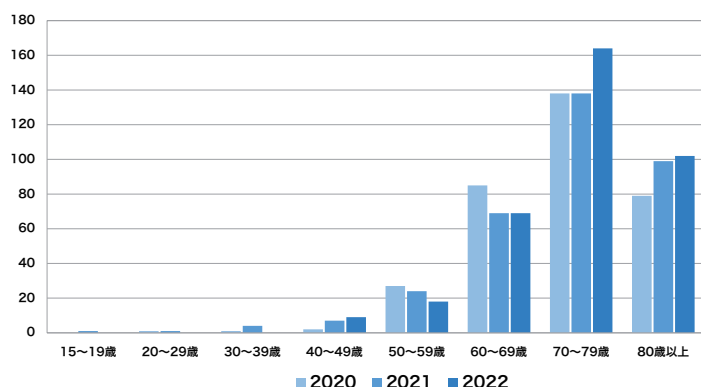


【Ⅳ期】



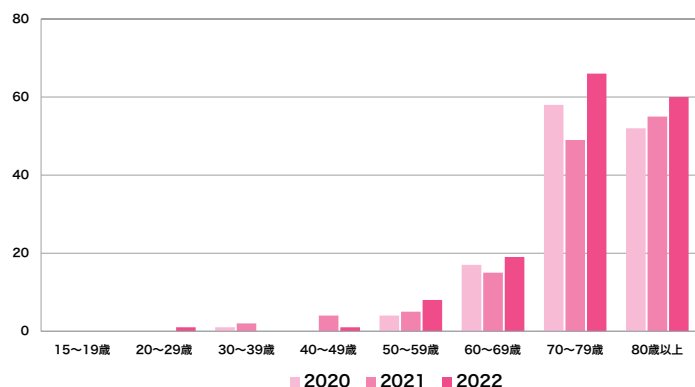
- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

肝臓 年齢階級別 男性 年次推移



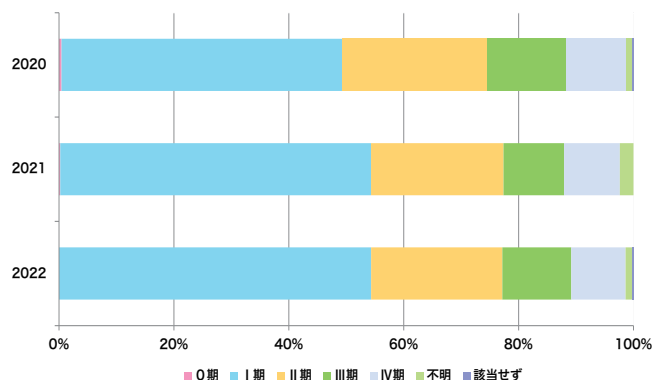
	2020	2021	2022
80歳以上	79	99	102
70～79歳	138	138	164
60～69歳	85	69	69
50～59歳	27	24	18
40～49歳	2	7	9
30～39歳	1	4	
20～29歳	1	1	
15～19歳		1	
総計	333	343	362

肝臓 年齢階級別 女性 年次推移



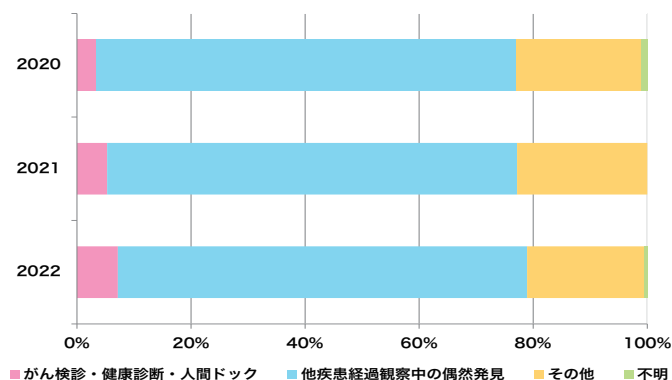
	2020	2021	2022
80歳以上	52	55	60
70～79歳	58	49	66
60～69歳	17	15	19
50～59歳	4	5	8
40～49歳		4	1
30～39歳	1	2	
20～29歳			1
15～19歳			
総計	132	130	155

肝臓 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



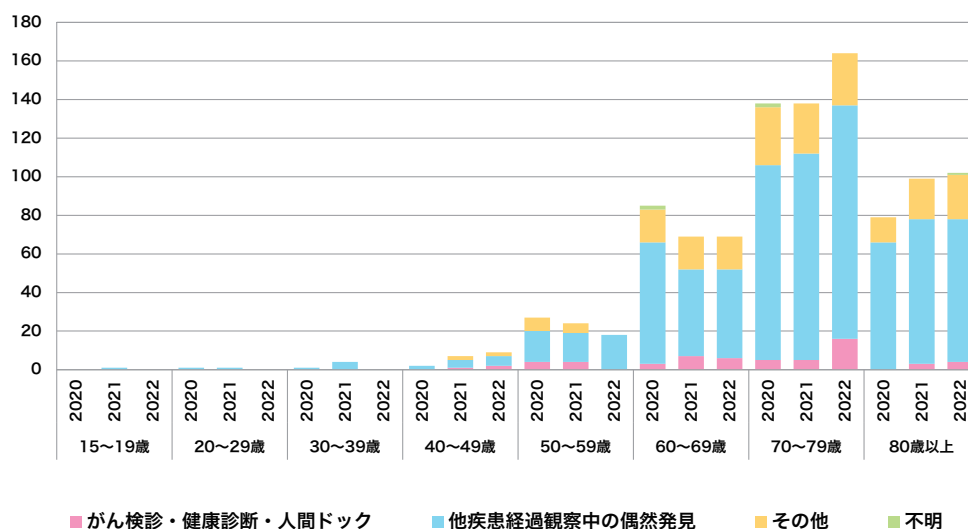
	2020	2021	2022
O期	2	1	
I期	226	251	276
II期	116	107	116
III期	64	49	61
IV期	48	45	48
不明	5	11	6
該当せず	1		1
合計	462	464	508

肝臓 発見経緯別 年次推移

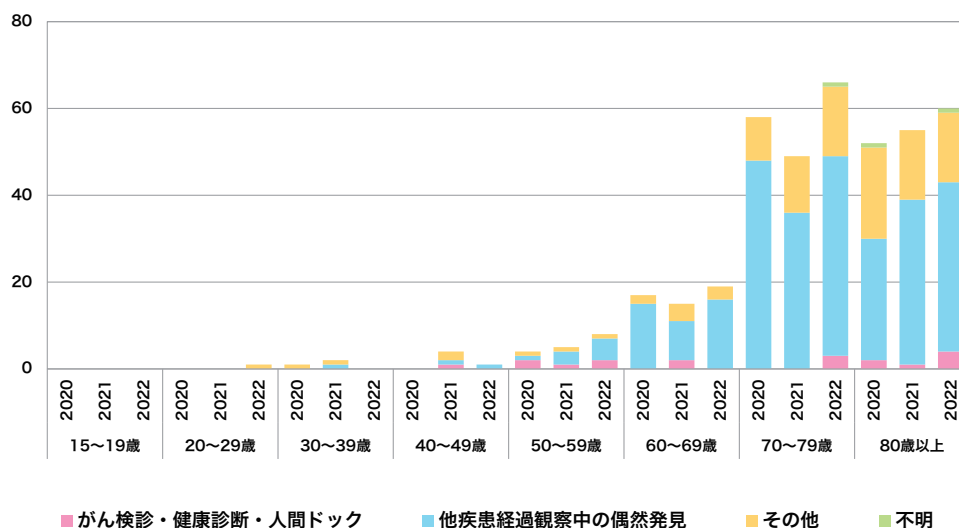


	2020	2021	2022
がん検診・健康診断・人間ドック	16	25	37
他疾患経過観察中の偶然発見	342	340	371
その他	102	108	106
不明	5	0	3
合計	465	473	517

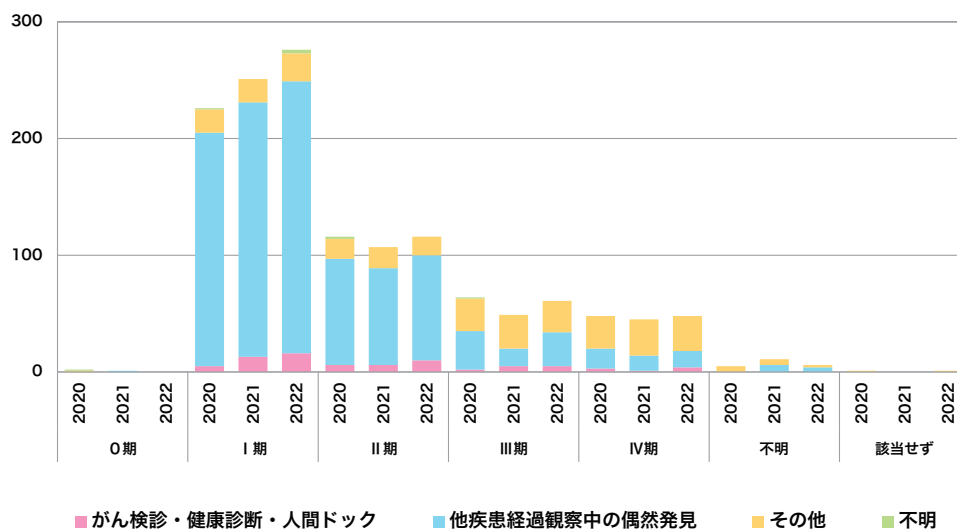
肝臓 年齢階級別 発見経緯 男性 年次推移



肝臓 年齢階級別 発見経緯 女性 年次推移



肝臓 発見経緯 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



その他・・・自覚症状による受診を含む

肺

肺がんの新規登録数はがん種別では男性で1位、女性で3位であり、全体で大腸がんに次いで2番目に多い登録数です。年齢別では70歳代が最も多く、全国的にも高齢者の発症が多くなっています。また肺がんは従来喫煙との関連が指摘されていますが、喫煙と関連のない方にも多く発生します。

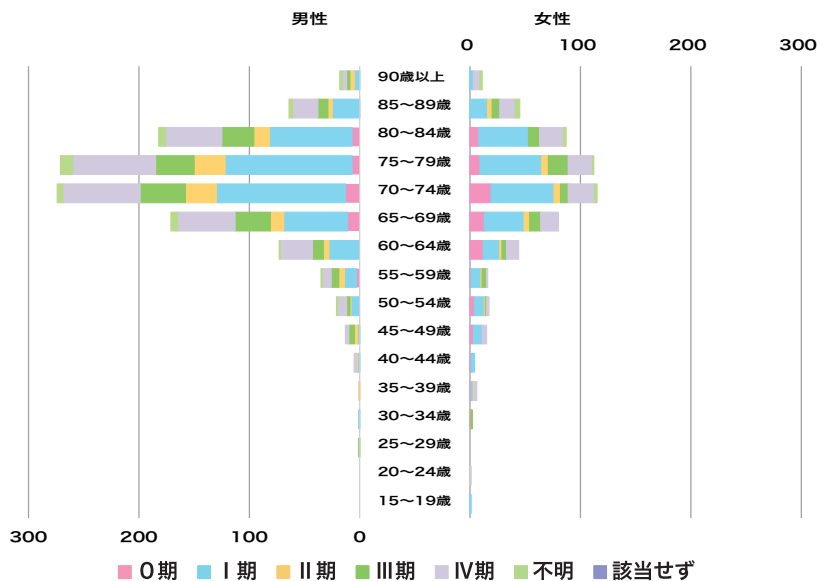
肺がんは早期に診断された場合は手術による切除が可能ですが、進行期の場合、Ⅲ期では手術、放射線治療、化学療法の組み合わせによる治療、またⅣ期では薬物療法が治療の主体となります。薬物療法においては分子標的治療、免疫療法の進歩が目覚ましく治療成績は大きく改善されつつありますが、まだまだ予後不良ながんと言えます。

肺がんでは、臨床病期Ⅰ期、Ⅱ期の、いわゆる早期発見例の割合が低いことが特徴であり、今回の登録データでも約半数にとどまっています。

またⅠ期症例の発見経緯はがん検診・健康診断・人間ドックに加え他疾患の経過観察中の偶然発見が多くなっています。肺がんはⅠ期ないしⅡ期の早期では自覚症状を来すことが少ないため、症状が生じる前の発見・診断が極めて重要であり、引き続き禁煙に加え、がん検診・健康診断の受診を進めていくことが重要です。

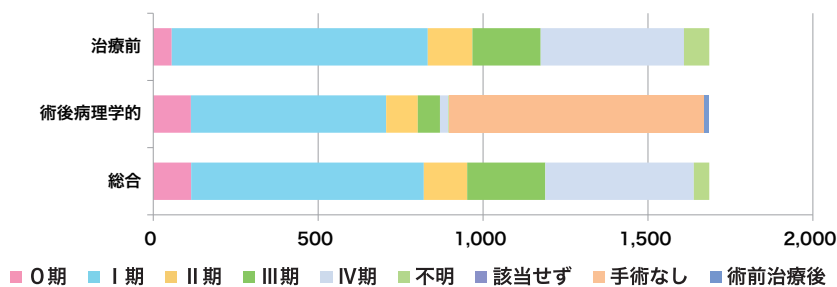
岡山労災病院 腫瘍内科 藤本 伸一

肺 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



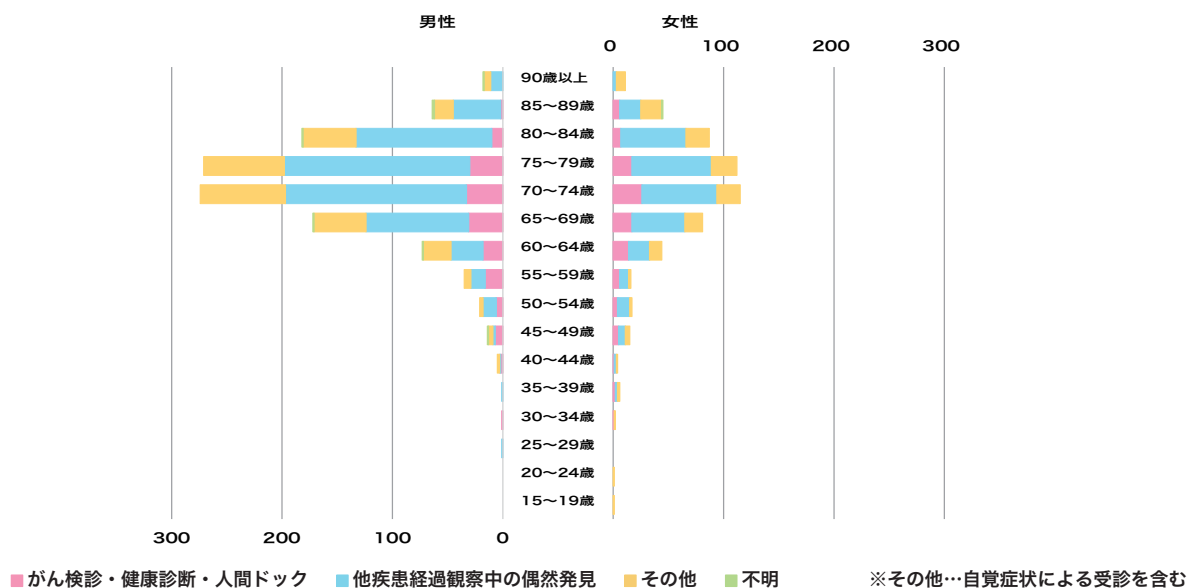
	0期		I期		II期		III期		IV期		不明		該当せず		合計		計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
90歳以上			5	3	4		3		4	6	2	2			18	11	29
85～89歳			25	16	4	4	9	7	23	14	3	4			64	45	109
80～84歳	7	8	75	45	14		29	10	51	22	6	2			182	87	269
75～79歳	7	9	115	56	28	6	35	18	75	22	11	1			271	112	383
70～74歳	13	19	117	57	28	6	41	7	70	24	5	2			274	115	389
65～69歳	11	13	58	36	12	5	32	10	52	16	6				171	80	251
60～64歳	1	12	27	15	5	2	10	4	29	11	1				73	44	117
55～59歳	3	1	11	9	5	1	7	4	8	1	1				35	16	51
50～54歳	1	4	7	9	1	1	3	1	8	2	1				21	17	38
45～49歳		3	2	8	3		5		3	4					13	15	28
40～44歳		1	2	3	1				2						5	4	9
35～39歳		1		2	1	1				2					1	6	7
30～34歳		1	1					1							1	2	3
25～29歳							1								1		1
20～24歳										1					0	1	1
15～19歳				1											0	1	1
総計	43	72	445	260	106	26	175	62	325	125	36	11	0	0	1,130	556	1,686

肺 ステージ 全体 病期分類対象のみ



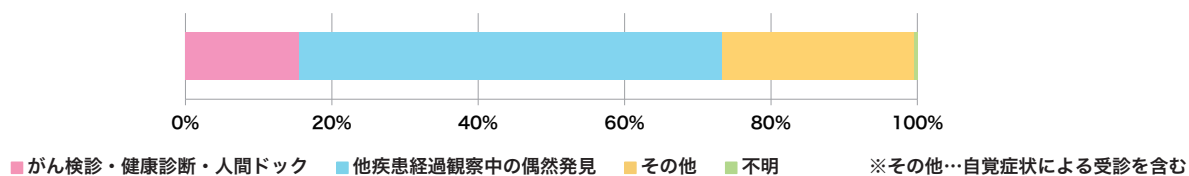
ステージ	治療前	術後病理学的	総合
0期	56	114	115
I期	776	592	705
II期	136	96	132
III期	207	67	237
IV期	434	25	450
不明	77	2	47
該当せず			
手術なし		775	
術前治療後		15	
合計	1,686	1,686	1,686

肺 発見経緯 年齢階級別



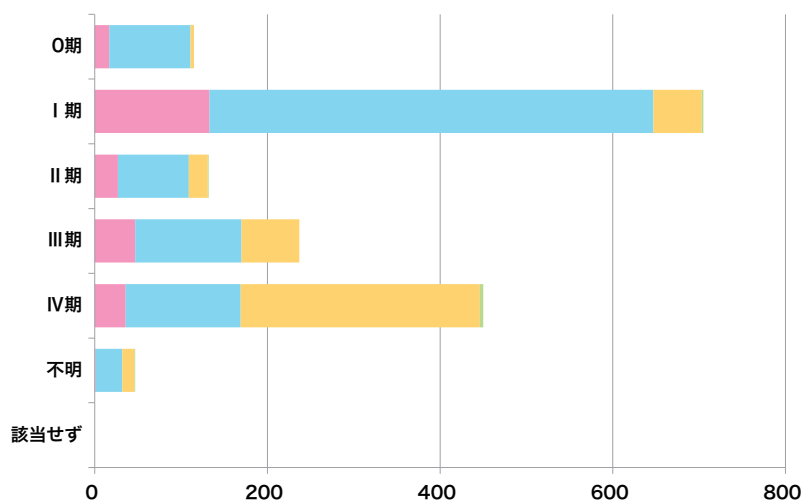
	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		その他		不明		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			11	3	6	8	1		18	11	29
85～89歳	2	6	43	19	17	19	2	1	64	45	109
80～84歳	10	7	123	59	48	21	1		182	87	269
75～79歳	30	17	168	72	73	23			271	112	383
70～74歳	33	26	164	68	77	21			274	115	389
65～69歳	31	17	93	48	47	16	1		172	81	253
60～64歳	18	14	29	19	25	11	1		73	44	117
55～59歳	16	6	13	8	6	2			35	16	51
50～54歳	6	4	12	11	3	2			21	17	38
45～49歳	7	5	2	6	4	4	1		14	15	29
40～44歳	2	1	1	2	2	1			5	4	9
35～39歳		2	1	2		2			1	6	7
30～34歳	1	1				1			1	2	3
25～29歳			1						1	0	1
20～24歳						1			0	1	1
15～19歳						1			0	1	1
総計	156	106	661	317	308	133	7	1	1,132	557	1,689

肺 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	262
他疾患経過観察中の偶然発見	978
その他	441
不明	8
合計	1,689

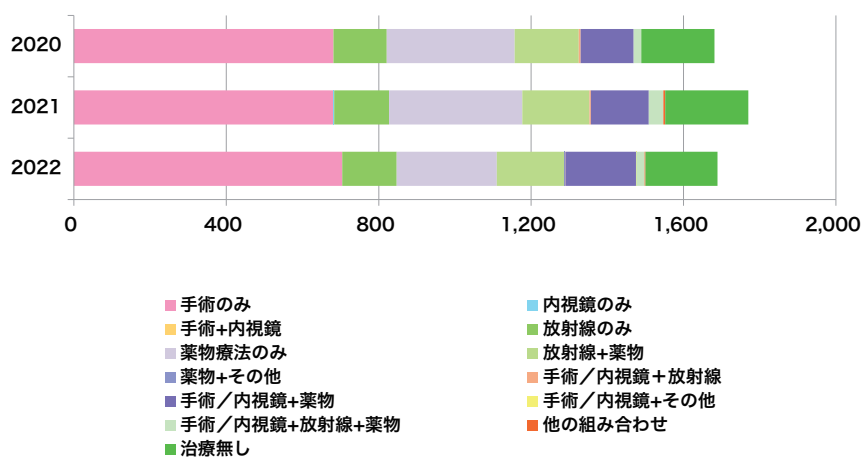
肺 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

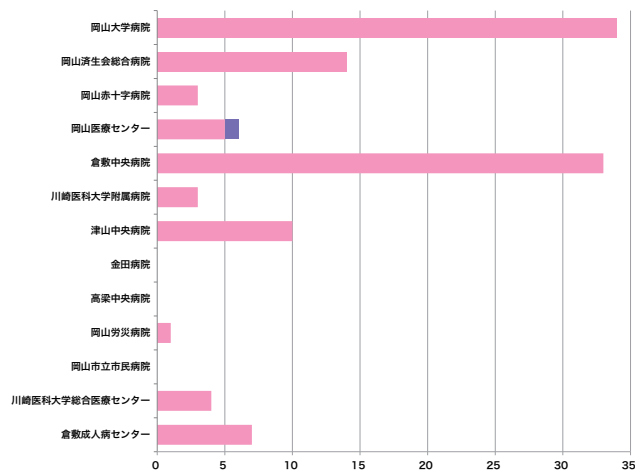
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
O期	17	94	4	
I期	133	514	56	2
II期	27	82	22	1
III期	47	123	67	
IV期	36	133	277	4
不明	1	31	14	1
該当せず				
合計	261	977	440	8

肺 初回治療法 年次推移

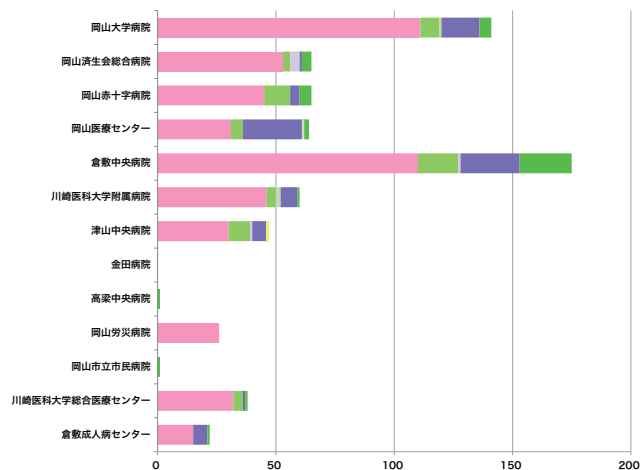


肺 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

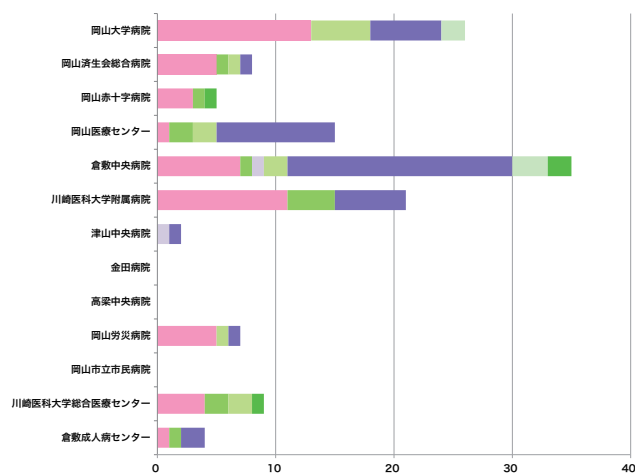
【0期】



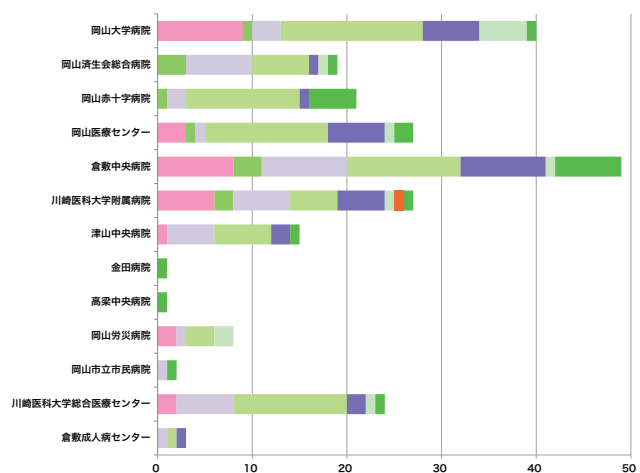
【Ⅰ期】



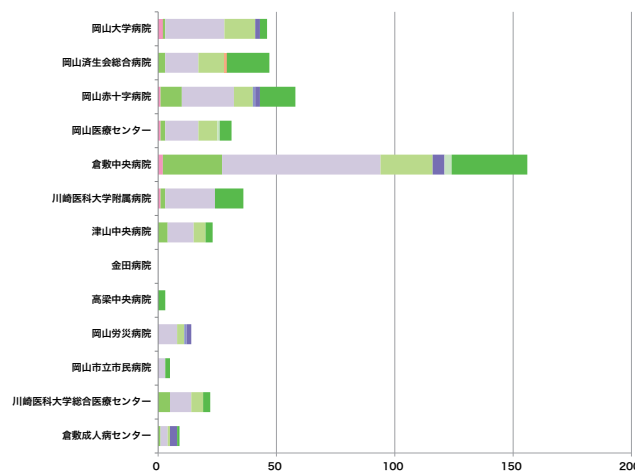
【Ⅱ期】



【Ⅲ期】

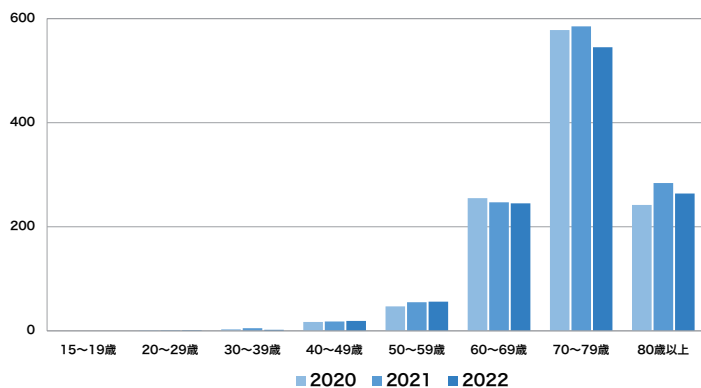


【Ⅳ期】



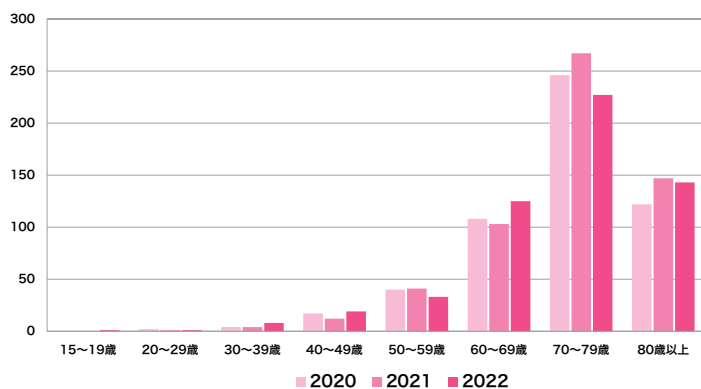
- 手術のみ
- 手術＋内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物＋その他
- 手術／内視鏡＋薬物
- 手術／内視鏡＋放射線＋薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線＋薬物
- 手術／内視鏡＋放射線
- 手術／内視鏡＋その他
- 他の組み合わせ

肺 年齢階級別 男性 年次推移



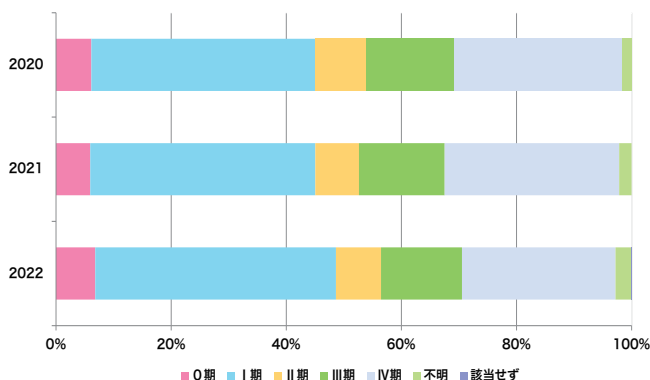
	2020	2021	2022
80歳以上	242	284	264
70~79歳	578	585	545
60~69歳	255	247	245
50~59歳	47	55	56
40~49歳	17	18	19
30~39歳	3	5	2
20~29歳	1	1	1
15~19歳	0	0	0
総計	1,143	1,195	1,132

肺 年齢階級別 女性 年次推移



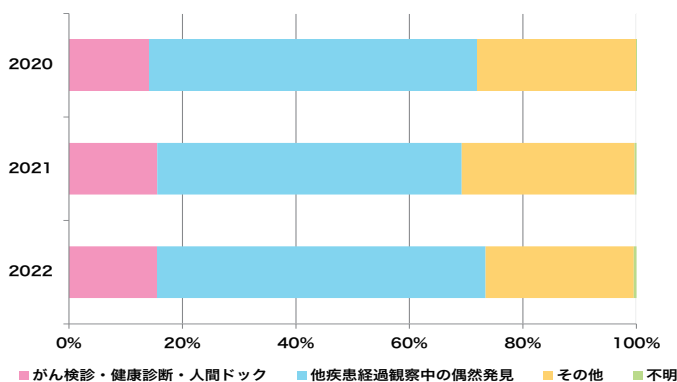
	2020	2021	2022
80歳以上	122	147	143
70~79歳	246	267	227
60~69歳	108	103	125
50~59歳	40	41	33
40~49歳	17	12	19
30~39歳	4	4	8
20~29歳	2	1	1
15~19歳	0	0	0
総計	539	575	557

肺 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



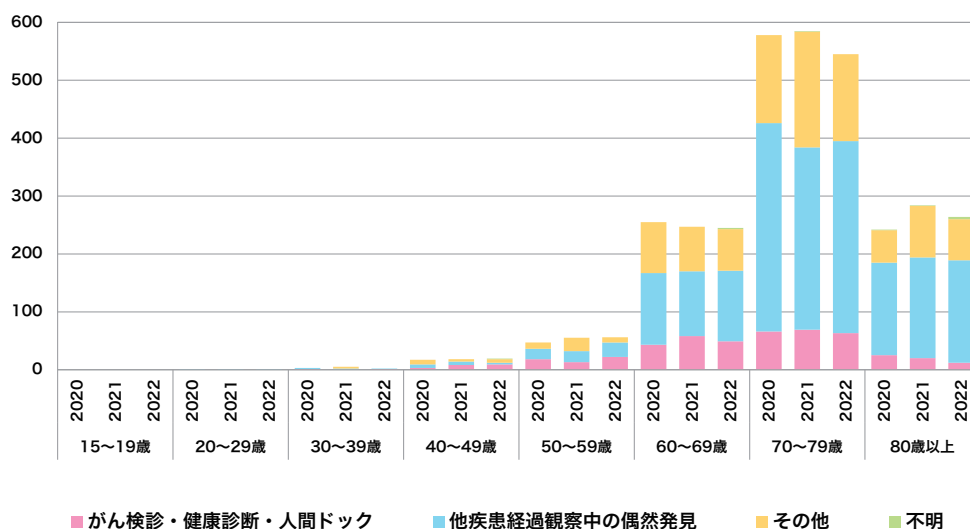
	2020	2021	2022
O期	103	105	115
I期	654	691	705
II期	149	134	132
III期	257	263	237
IV期	491	536	450
不明	27	38	46
該当せず	0	0	1
合計	1,681	1,767	1,686

肺 発見経緯別 年次推移

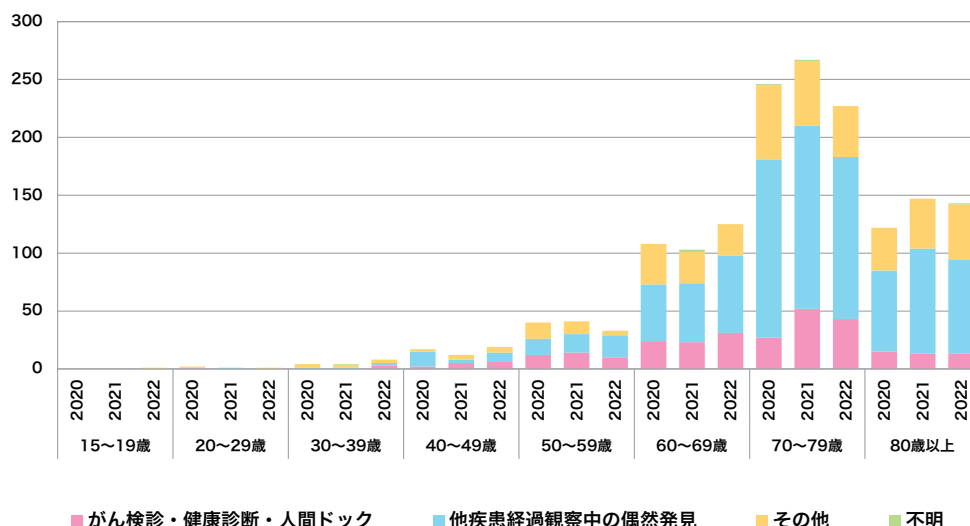


	2020	2021	2022
がん検診・健康診断・人間ドック	237	275	262
他疾患経過観察中の偶然発見	972	950	978
その他	471	539	441
不明	2	6	8
合計	1,682	1,770	1,689

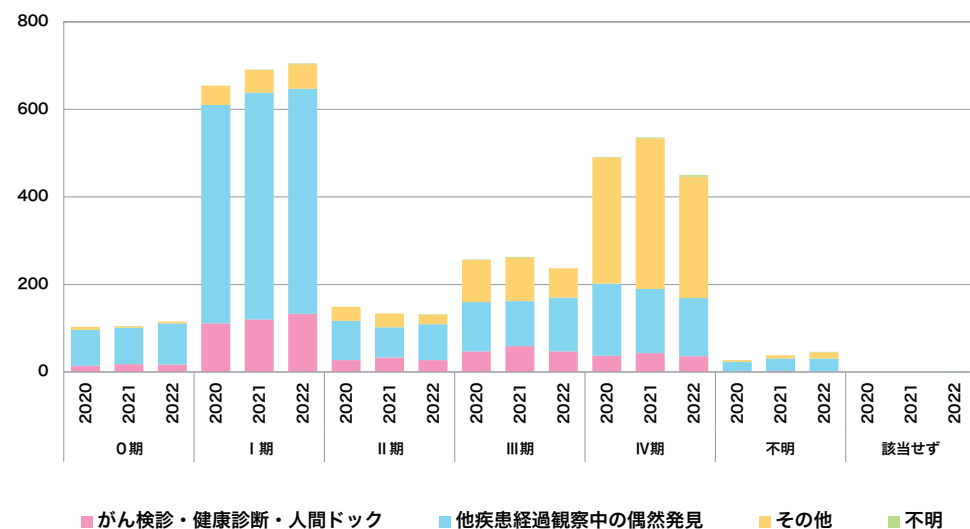
肺 年齢階級別 発見経緯 男性 年次推移



肺 年齢階級別 発見経緯 女性 年次推移



肺 発見経緯 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



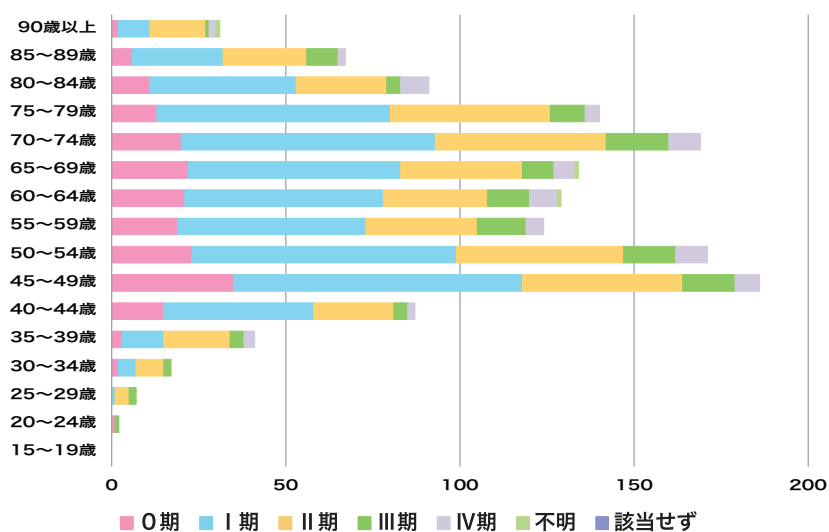
その他・・・自覚症状による受診を含む

乳房

近年、日本人女性の乳がん罹患率は増加しており、日本人女性の9人に1人が乳がんを発症しています。近年の増加の背景には、食生活やライフスタイルの変化があると考えられています。乳がんになる危険性は30歳代後半から40歳代にかけて急増します。しかし、どの年代にも発症の可能性はあります。「まだ若いから」「出産・授乳経験があるから」「もう閉経したから」といった理由で安心することはできません。乳がんは乳腺に発生する悪性腫瘍です。時間の経過とともに、がん細胞が増殖して乳腺の外へも広がっていきます。そして血管やリンパ管へ入って全身をめぐり、乳腺以外のさまざまな組織や臓器へ転移します。乳がんから命を守るために、少しでも早く発見して治療を行うことがとても重要です。乳がんは身体の表面に近いところに発生するため、自分で観察したり触れたりするセルフチェックによって発見できる可能性があります。また、乳がんから体を守るためには、日ごろのセルフチェックに加え、定期的に検診を受けることが大切です。治療はがんの進行度（ステージ）やがんの性質に基づいて決定します。主な治療法は手術、薬物治療（抗がん薬、内分泌治療薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤など）、放射線治療があります。薬物治療では新規薬剤や適応拡大によって使用できる薬剤が増えており、予後の改善が期待されています。

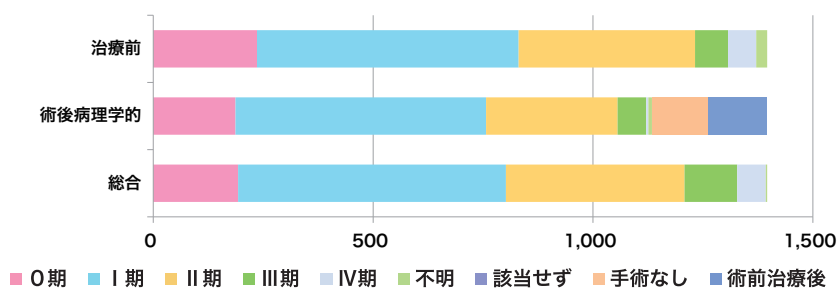
岡山赤十字病院 乳腺・内分泌外科 吉富 誠二（消化器外科部長）

乳房 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



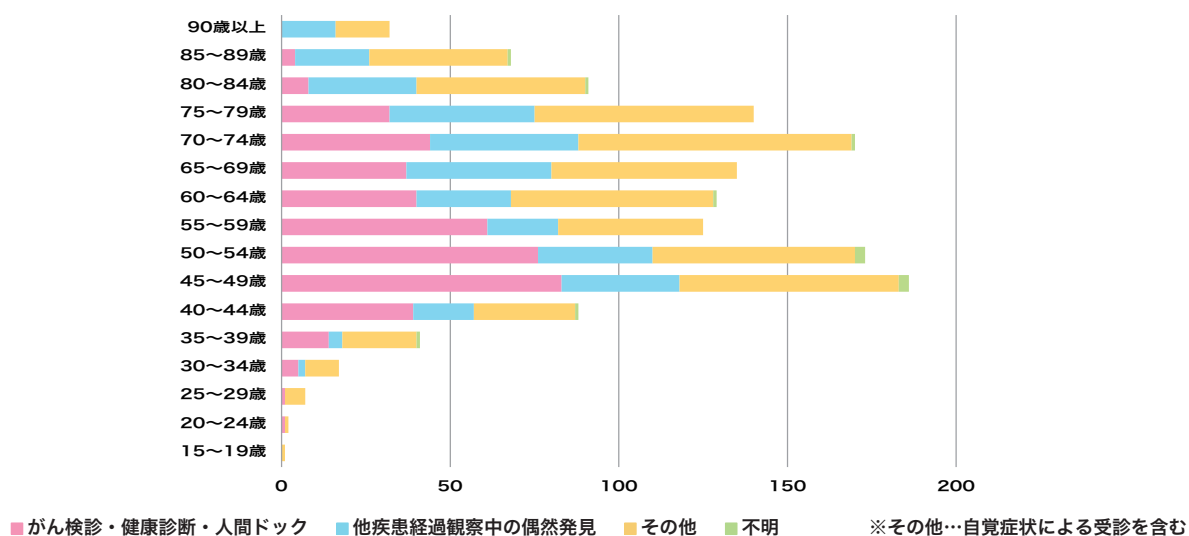
	O期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
90歳以上	2	9	16	1	2	1		31
85～89歳	6	26	24	9	2			67
80～84歳	11	42	26	4	8			91
75～79歳	13	67	46	10	4			140
70～74歳	20	73	49	18	9			169
65～69歳	22	61	35	9	6	1		134
60～64歳	21	57	30	12	8	1		129
55～59歳	19	54	32	14	5			124
50～54歳	23	76	48	15	9			171
45～49歳	35	83	46	15	7			186
40～44歳	15	43	23	4	2			87
35～39歳	3	12	19	4	3			41
30～34歳	2	5	8	2				17
25～29歳		1	4	2				7
20～24歳	1			1				2
15～19歳								0
総計	193	609	406	120	65	3	0	1,396

乳房 ステージ 全体 病期分類対象のみ

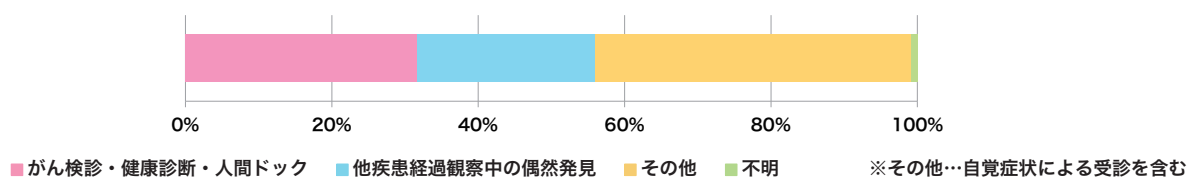


ステージ	治療前	術後病理学的	総合
O期	236	187	193
I期	595	570	609
II期	401	299	406
III期	75	65	120
IV期	64	5	65
不明	25	8	3
該当せず			
手術なし		128	
術前治療後		134	
合計	1,396	1,396	1,396

乳房 発見経緯 年齢階級別

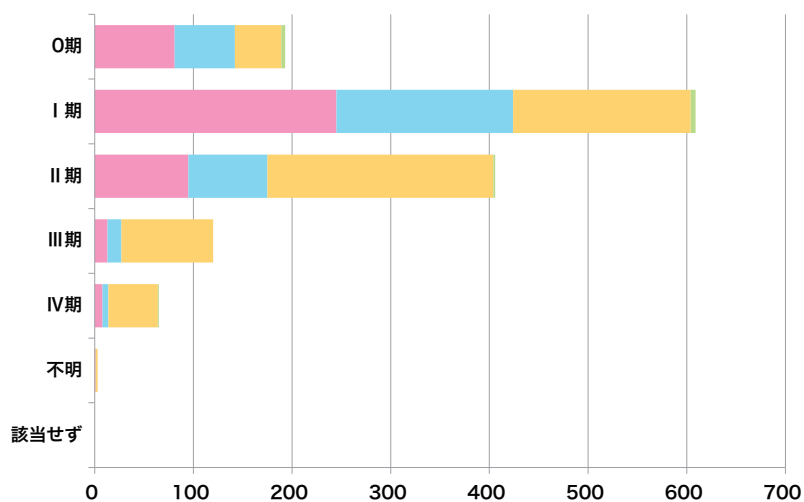


乳房 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	445
他疾患経過観察中の偶然発見	342
その他	606
不明	12
合計	1,405

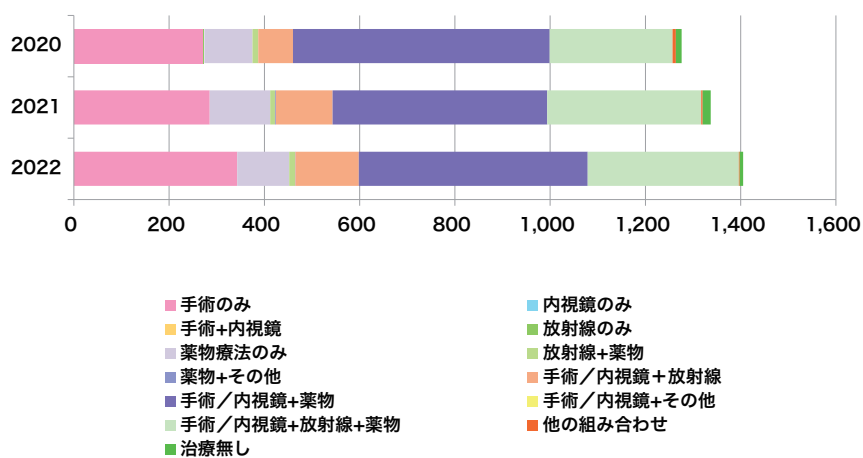
乳房 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

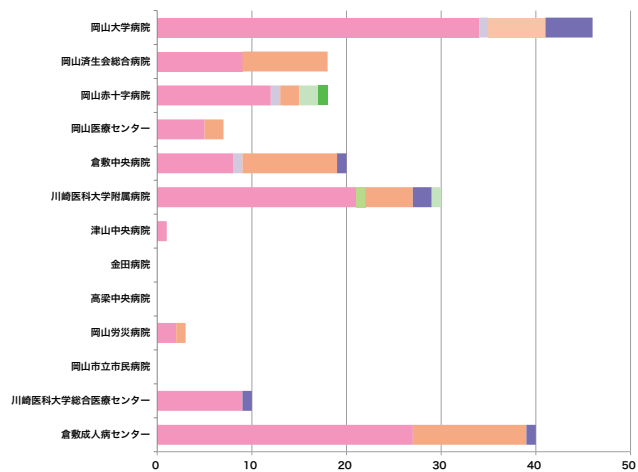
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
O期	81	61	47	4
I期	245	179	180	5
II期	95	80	229	2
III期	13	14	93	
IV期	8	6	50	1
不明	1		2	
該当せず				
合計	443	340	601	12

乳房 初回治療法 年次推移

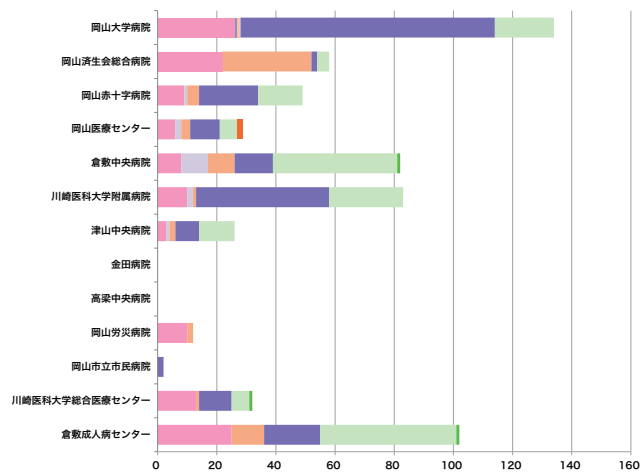


乳房 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

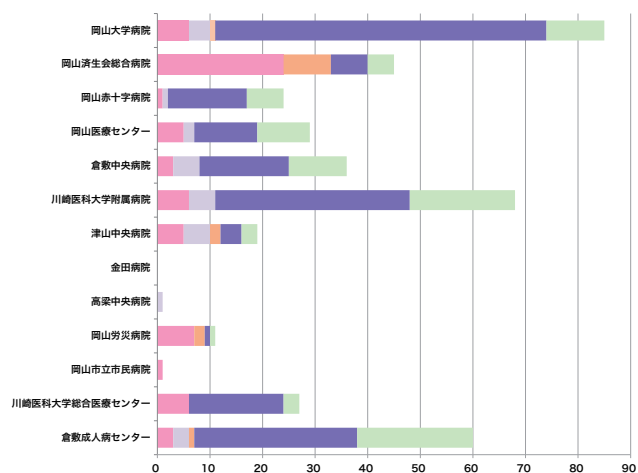
【0期】



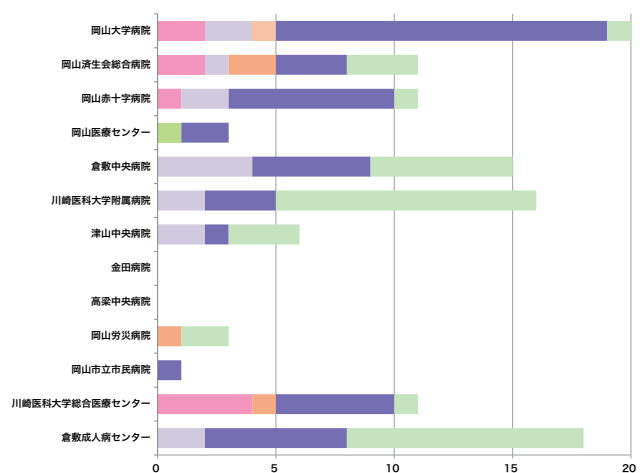
【Ⅰ期】



【Ⅱ期】



【Ⅲ期】

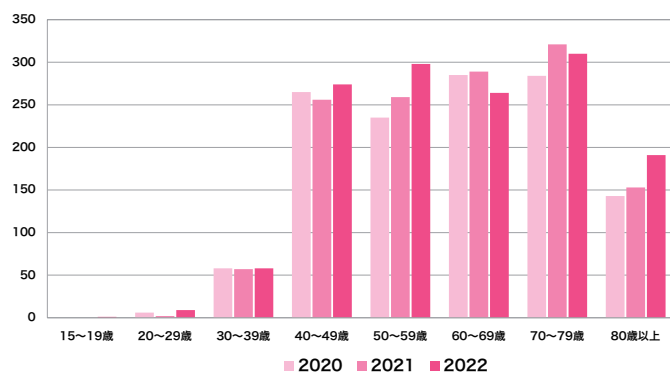


【Ⅳ期】



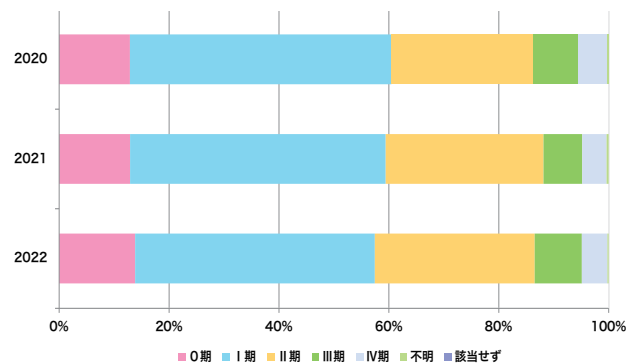
- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

乳房 年齢階級別 年次推移



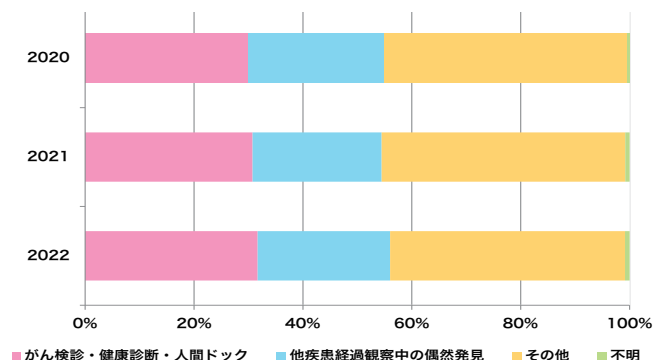
	2020	2021	2022
80歳以上	143	153	191
70~79歳	284	321	310
60~69歳	285	289	264
50~59歳	235	259	298
40~49歳	265	256	274
30~39歳	58	57	58
20~29歳	6	2	9
15~19歳			1
総計	1,276	1,337	1,405

乳房 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



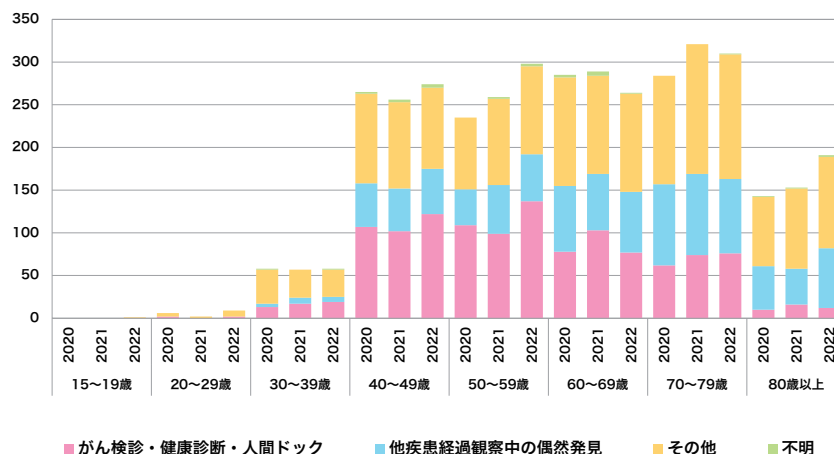
	2020	2021	2022
0期	164	172	193
I期	607	620	609
II期	329	383	406
III期	104	94	120
IV期	67	59	65
不明	4	5	3
該当せず			
合計	1,275	1,333	1,396

乳房 発見経緯別 年次推移

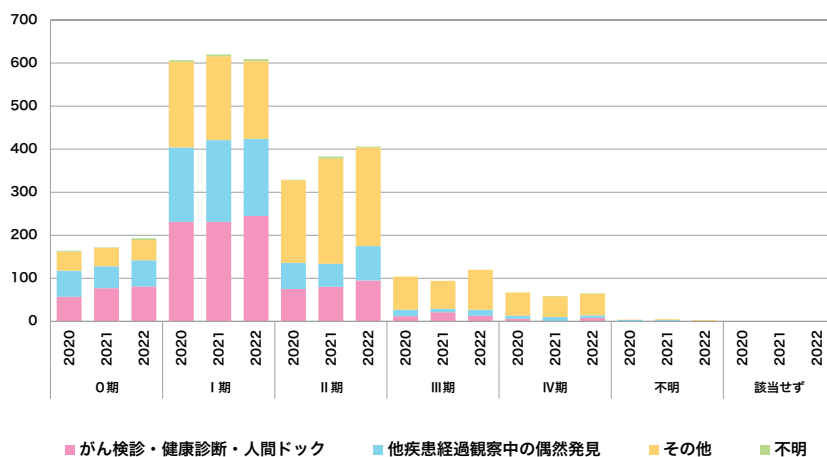


	2020	2021	2022
がん検診・健康診断・人間ドック	381	411	445
他疾患経過観察中の偶然発見	320	317	342
その他	568	598	606
不明	7	11	12
合計	1,276	1,337	1,405

乳房 年齢階級別 発見経緯 年次推移



乳房 発見経緯 総合ステージ 全体 年次推移 病期分類対象のみ



その他・・・自覚症状による受診を含む

膵臓

本邦における膵臓がんの罹患率は増加傾向にあり、2020年の国立がん研究センターの統計によれば、男性では前立腺、肺、大腸、胃、肝臓に次ぐ6番目で、女性では乳房、大腸、肺、胃に次ぐ5番目でした。5年相対生存率（2009年～2011年）は8.5%（男性8.9%、女性8.1%）と、報告されている中では最も予後不良のがんとなります。

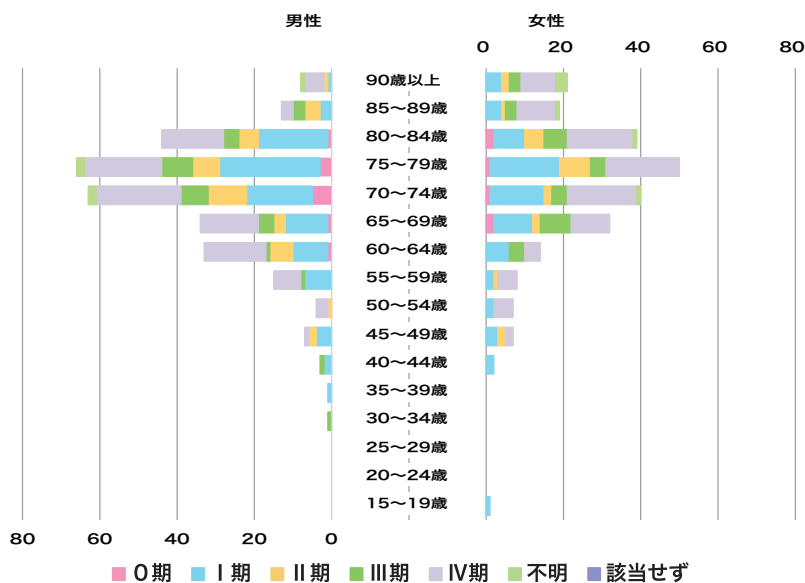
現在、手術療法と薬物療法、状況により放射線療法の組み合わせによる集学的治療や、根治の期待できるStage 0、Iでの発見のための取り組み（病診連携を生かした膵臓がん早期診断、がん検診・健康診断・人間ドックの推進等）にて徐々にではありますが、予後は改善してきています。

手術療法については症例にもよりますが低侵襲手術（腹腔鏡下切除またはロボット支援下切除）が行われています。

岡山県院内がん登録の結果では2022年の膵臓がんは男性293名、女性240名の計533名でした。年齢別では男女ともに75-79歳の割合が最多となっています。発見の経緯としてはがん検診・健康診断・人間ドックでの発見は36名（6.8%）と少ない状況ですが、この36名中手術可能なStage 0～Ⅱの割合は22名（61.1%）と高く、検診・健診・人間ドックの役割は重要と考えられます。

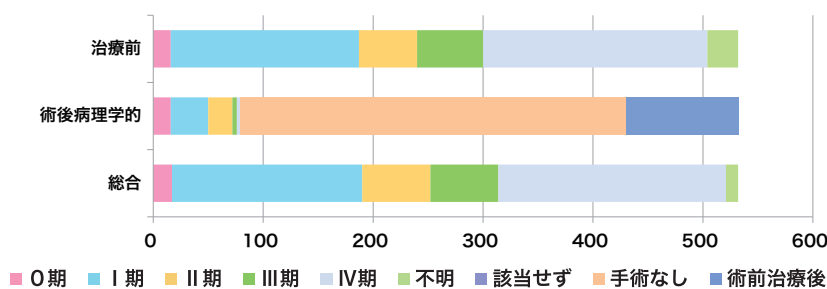
津山中央病院 外科 篠浦 先（副院長／肝胆膵センター長）

膵臓 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



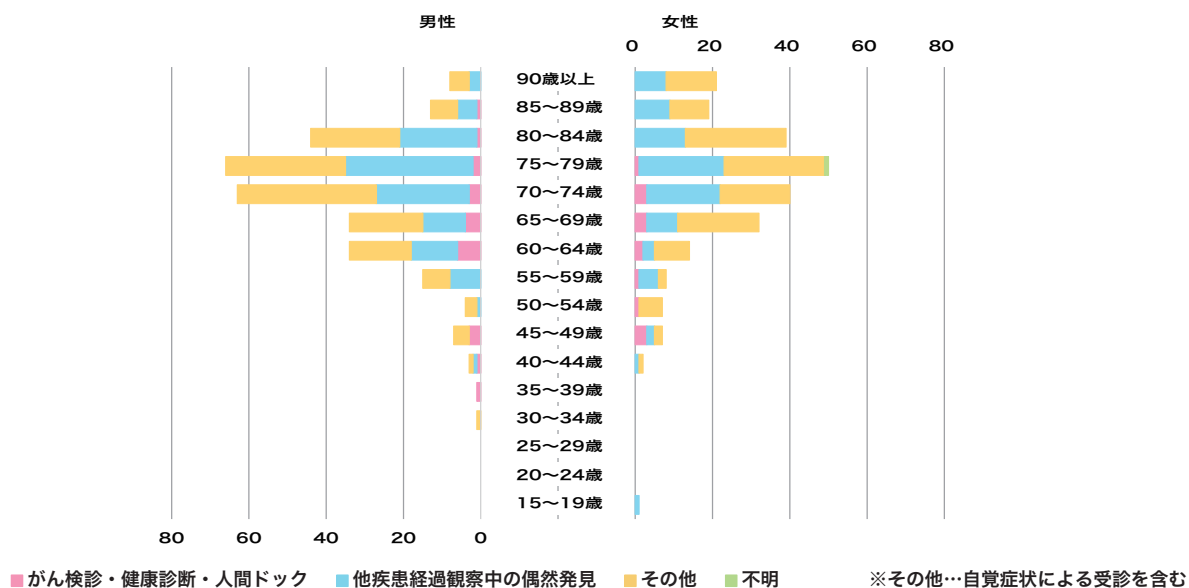
	0期		I期		II期		III期		IV期		不明		該当せず		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			1	4	1	2	3	5	9	1	3				8	21	29
85～89歳			3	4	1	3	3	3	10		1				13	19	32
80～84歳	1	2	18	8	5	5	4	6	16	17		1			44	39	83
75～79歳	3	1	26	18	7	8	8	4	20	19	2				66	50	116
70～74歳	5	1	17	14	10	2	7	4	22	18	2	1			63	40	103
65～69歳	1	2	11	3	2	4	8	15	10						34	32	66
60～64歳	1		9	6	6		1	4	16	4					33	14	47
55～59歳			7	2		1	1		7	5					15	8	23
50～54歳				2	1				3	5					4	7	11
45～49歳			4	3	2	2			1	2					7	7	14
40～44歳			2	2			1								3	2	5
35～39歳			1												1	0	1
30～34歳							1								1	0	1
25～29歳															0	0	0
20～24歳															0	0	0
15～19歳				1											0	1	1
総計	11	6	99	74	39	23	30	32	108	99	5	6	0	0	292	240	532

膵臓 ステージ 全体 病期分類対象のみ



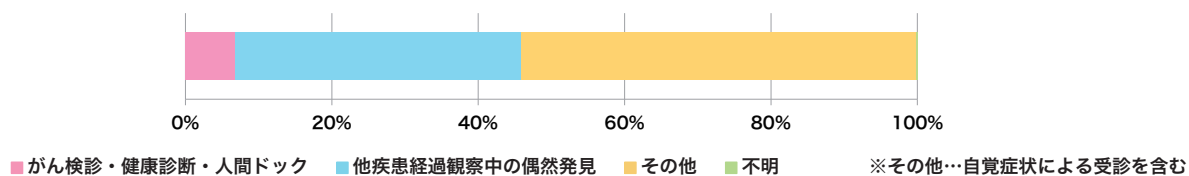
ステージ	治療前	術後病理学的	総合
0期	16	16	17
I期	171	34	173
II期	53	22	62
III期	60	4	62
IV期	204	3	207
不明	28		11
該当せず			
手術なし		351	
術前治療後		102	
合計	532	532	532

脾臓 発見経緯 年齢階級別



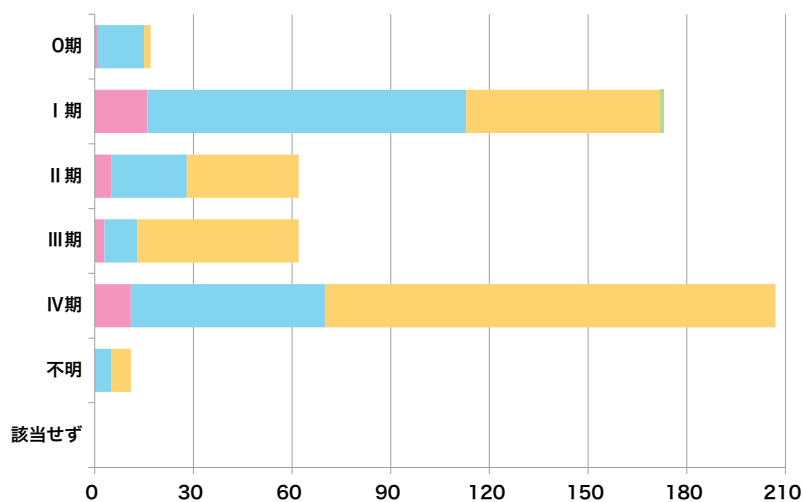
	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		その他		不明		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			3	8	5	13			8	21	29
85～89歳	1		5	9	7	10			13	19	32
80～84歳	1		20	13	23	26			44	39	83
75～79歳	2	1	33	22	31	26		1	66	50	116
70～74歳	3	3	24	19	36	18			63	40	103
65～69歳	4	3	11	8	19	21			34	32	66
60～64歳	6	2	12	3	16	9			34	14	48
55～59歳		1	8	5	7	2			15	8	23
50～54歳			1		3	6			4	7	11
45～49歳	3	3		2	4	2			7	7	14
40～44歳	1		1	1	1	1			3	2	5
35～39歳	1								1	0	1
30～34歳					1				1	0	1
25～29歳									0	0	0
20～24歳									0	0	0
15～19歳				1					0	1	1
総計	22	14	118	91	153	134	0	1	293	240	533

脾臓 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	36
他疾患経過観察中の偶然発見	209
その他	287
不明	1
合計	533

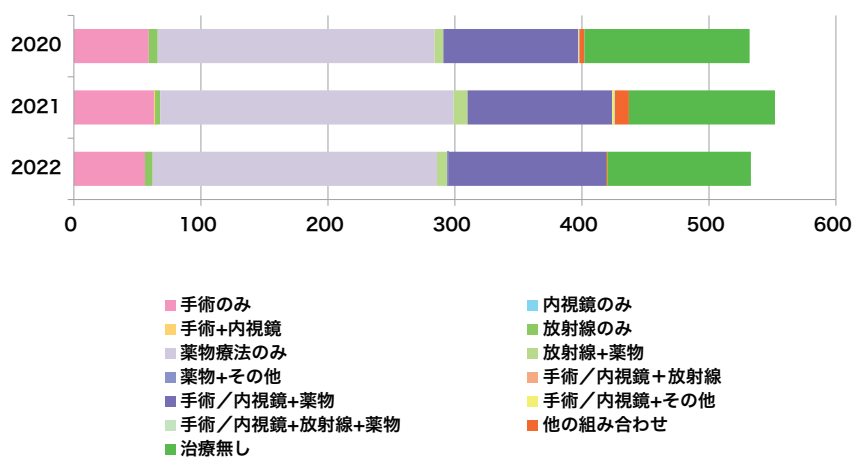
膵臓 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

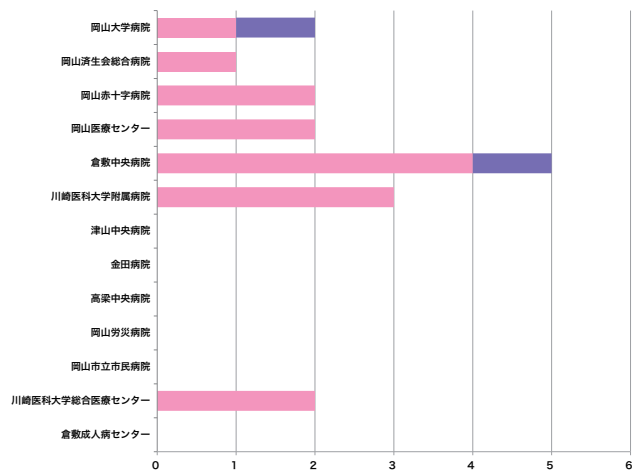
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
O期	1	14	2	
I期	16	97	59	1
II期	5	23	34	
III期	3	10	49	
IV期	11	59	137	
不明		5	6	
該当せず				
合計	36	208	287	1

膵臓 初回治療法 年次推移

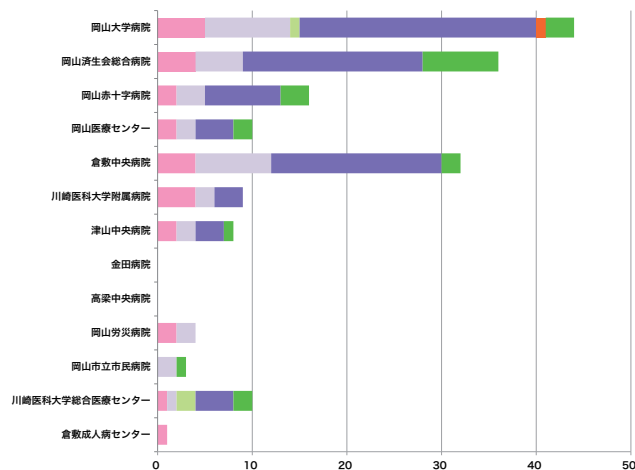


脾臓 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

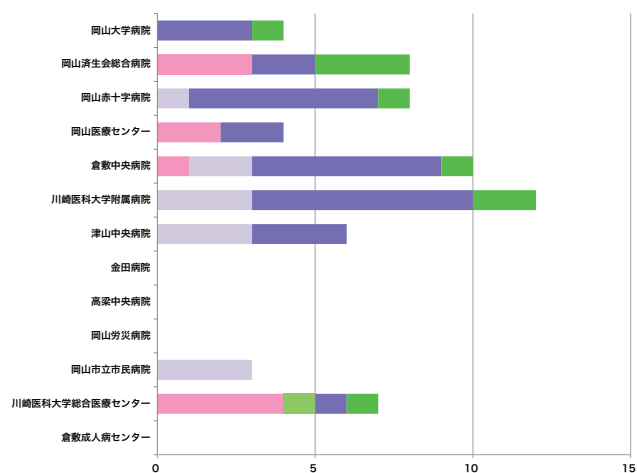
【0期】



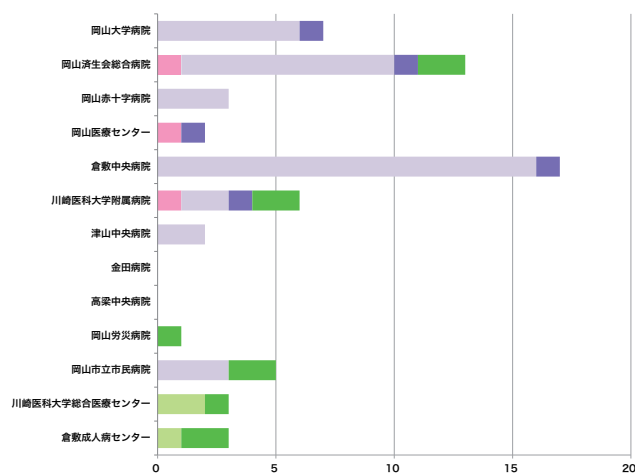
【Ⅰ期】



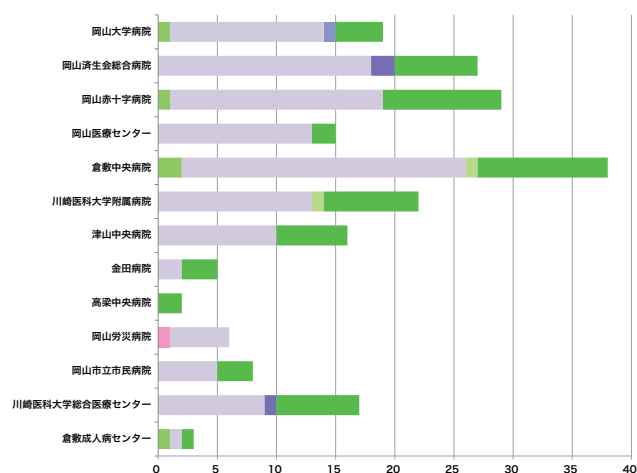
【Ⅱ期】



【Ⅲ期】



【Ⅳ期】



- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

子宮（頸部）

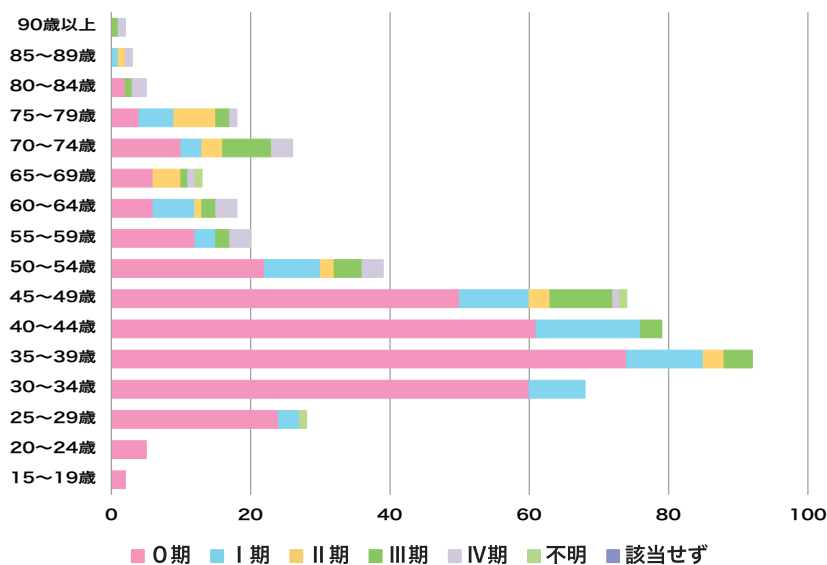
我が国では年間約 10,000 人が子宮頸がん罹患し、3,000 人が亡くなっています。特に 20 代から 30 代の女性では最も罹患率の高いがんです。子宮頸がんは、子宮頸部にヒトパピローマウイルス（HPV）が感染することによって発生しますが、世界的には HPV ワクチンの接種により罹患数が減少し始めている国もあります。HPV ワクチンの接種が遅れている日本では、子宮頸がんの罹患数は少しずつ増加しています。

子宮頸がんは、進行具合に応じて手術や放射線、抗がん剤を単独、あるいは組み合わせて治療します。近年、免疫療法の導入により進行した状態の患者さんの予後は大きく改善しつつあります。子宮頸がんは若年女性が子宮を失う原因になりますが、早期診断によって子宮を温存することが可能です。そのためには、定期的に子宮がん検診を受けることが非常に大切です。

WHO は HPV ワクチンの接種と子宮がん検診の確実な実施によって子宮頸がんの撲滅を目指しています。日本でも若年者に対する HPV ワクチン接種の公費助成やより精度の高い子宮頸部から HPV を検出する新たな子宮がん検診の導入が進められており、今後罹患数の減少が期待されています。

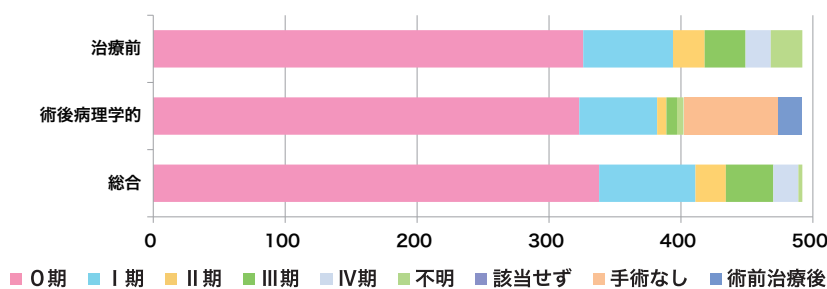
岡山大学病院 産科婦人科 長尾 昌二

子宮（頸部） 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



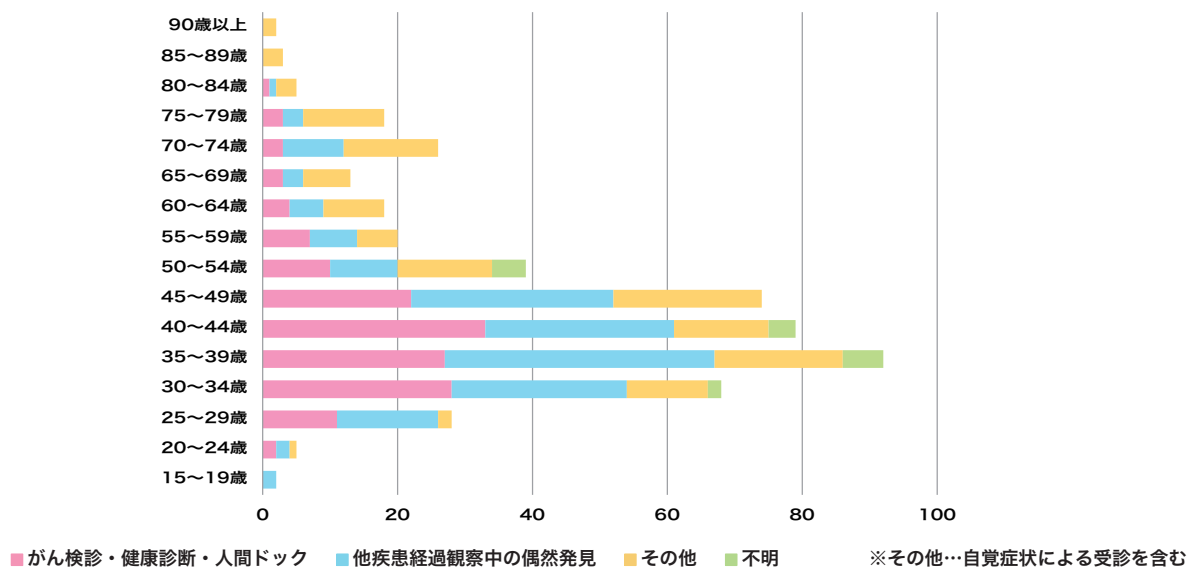
	O期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
90歳以上				1	1			2
85～89歳		1	1		1			3
80～84歳	2			1	2			5
75～79歳	4	5	6	2	1			18
70～74歳	10	3	3	7	3			26
65～69歳	6		4	1	1	1		13
60～64歳	6	6	1	2	3			18
55～59歳	12	3		2	3			20
50～54歳	22	8	2	4	3			39
45～49歳	50	10	3	9	1	1		74
40～44歳	61	15		3				79
35～39歳	74	11	3	4				92
30～34歳	60	8						68
25～29歳	24	3				1		28
20～24歳	5							5
15～19歳	2							2
総計	338	73	23	36	19	3	0	492

子宮（頸部） ステージ 全体 病期分類対象のみ

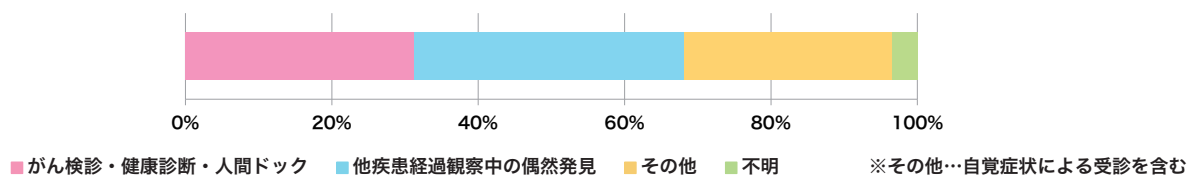


ステージ	治療前	術後病理学的	総合
O期	326	323	338
I期	68	59	73
II期	24	7	23
III期	31	8	36
IV期	19		19
不明	24	5	3
該当せず			
手術なし		72	
術前治療後		18	
合計	492	492	492

子宮（頸部） 発見経緯 年齢階級別

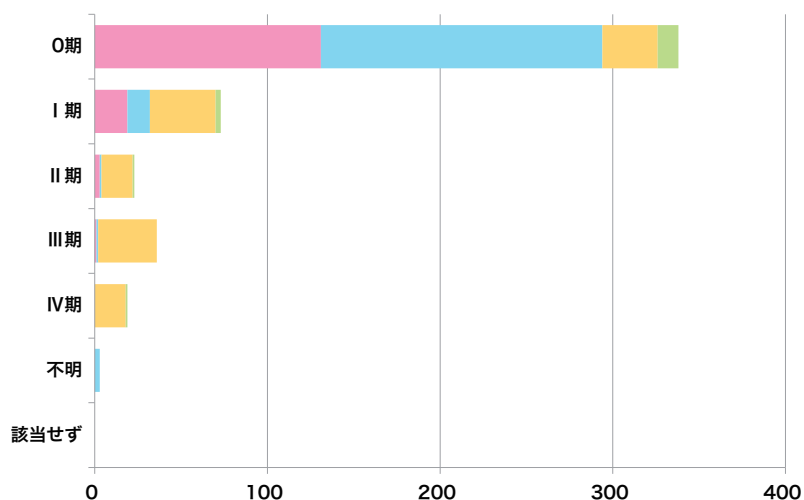


子宮（頸部） 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	154
他疾患経過観察中の偶然発見	181
その他	140
不明	17
合計	492

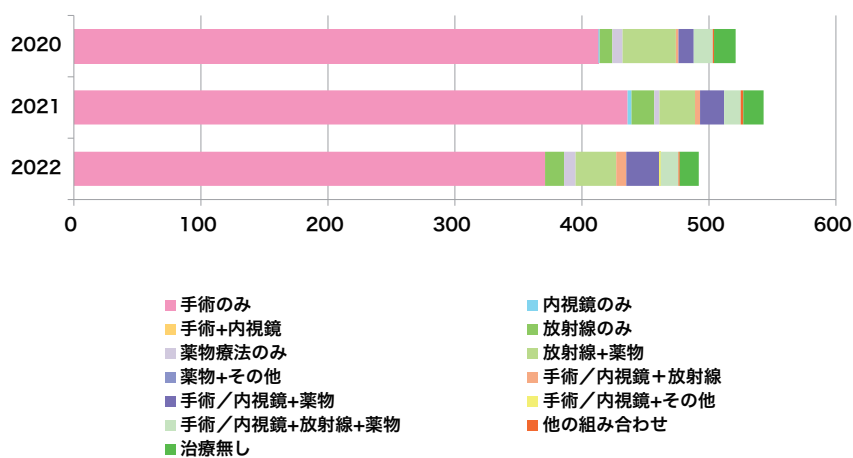
子宮（頸部） 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

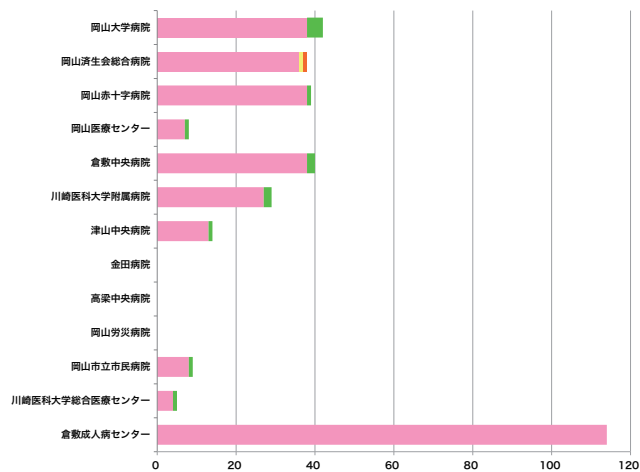
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
0期	131	163	32	12
I期	19	13	38	3
II期	3	1	18	1
III期	1	1	34	
IV期			18	1
不明		3		
該当せず				
合計	154	181	140	17

子宮（頸部） 初回治療法 年次推移

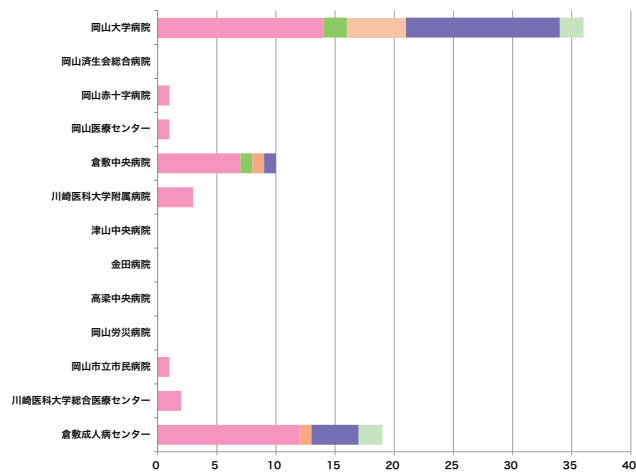


子宮（頸部） 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

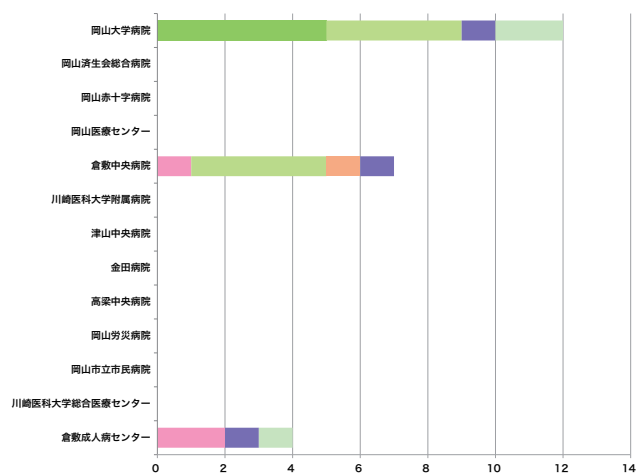
【0期】



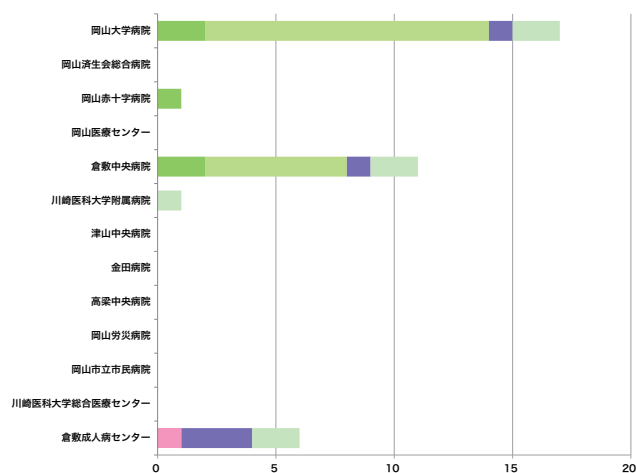
【Ⅰ期】



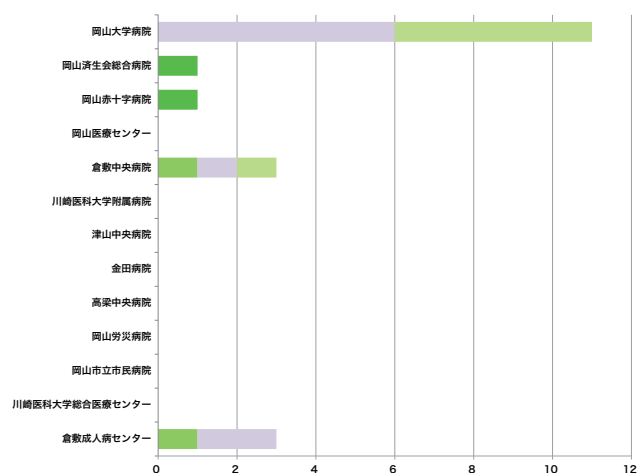
【Ⅱ期】



【Ⅲ期】



【Ⅳ期】



- 手術のみ
- 手術＋内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物＋その他
- 手術／内視鏡＋薬物
- 手術／内視鏡＋放射線＋薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線＋薬物
- 手術／内視鏡＋放射線
- 手術／内視鏡＋その他
- 他の組み合わせ

子宮（体部）

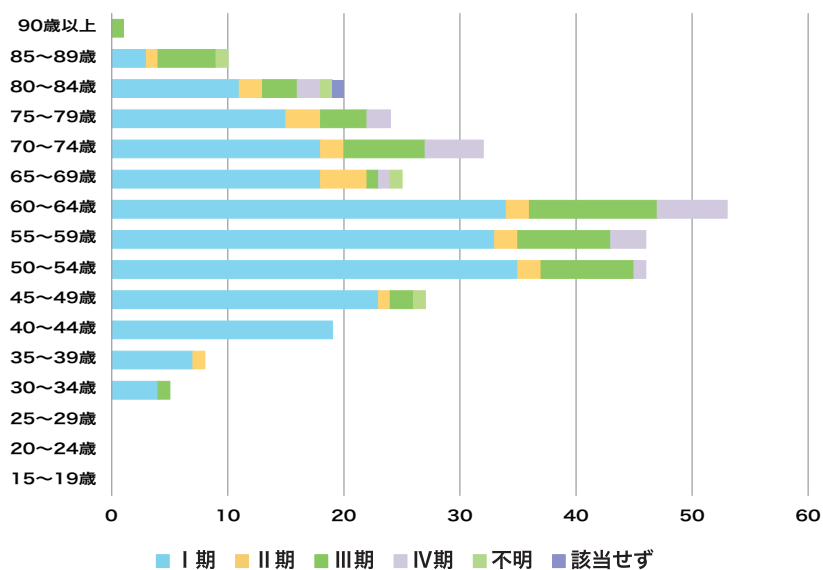
子宮体がんは女性の40代後半の周閉経期から増加するがんで、婦人科臓器では最も多いがんです。

近年、食生活の欧米化や肥満人口の増加、妊娠回数の減少に伴い日本では増加傾向にあり、この20年で3倍以上の患者数となっています。子宮頸がんとは異なり、通常のがん検診では体部の細胞診は行いませんので、自覚症状による早期の受診が重要です。初発症状が不正出血である場合が多く、迅速に受診し精密検査をうければ大部分が早期に診断可能です。岡山県のデータでも7割程度がステージⅠ期の段階で診断されています。早期に治療できれば比較的予後の良いがんです。

治療は、ごく早期で妊孕能温存が必要な場合に限ってホルモン治療がおこなわれますが、基本的には子宮摘出を含む手術療法と、進行期に応じて薬物療法や放射線療法を組み合わせで行います。早期症例では低侵襲手術（腹腔鏡やロボット手術）の適応があり、岡山県でも多くの医療機関で行われています。薬物療法では近年、進行再発子宮体がんに対して免疫チェックポイント阻害剤などの新しい薬が適応され、治療の幅が広がっています。

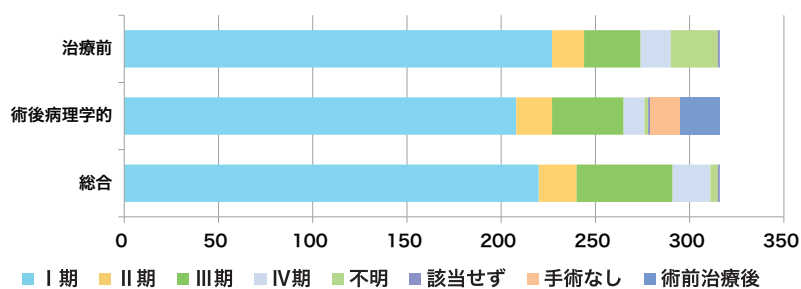
倉敷成人病センター 婦人科 柳井 しおり

子宮（体部） 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



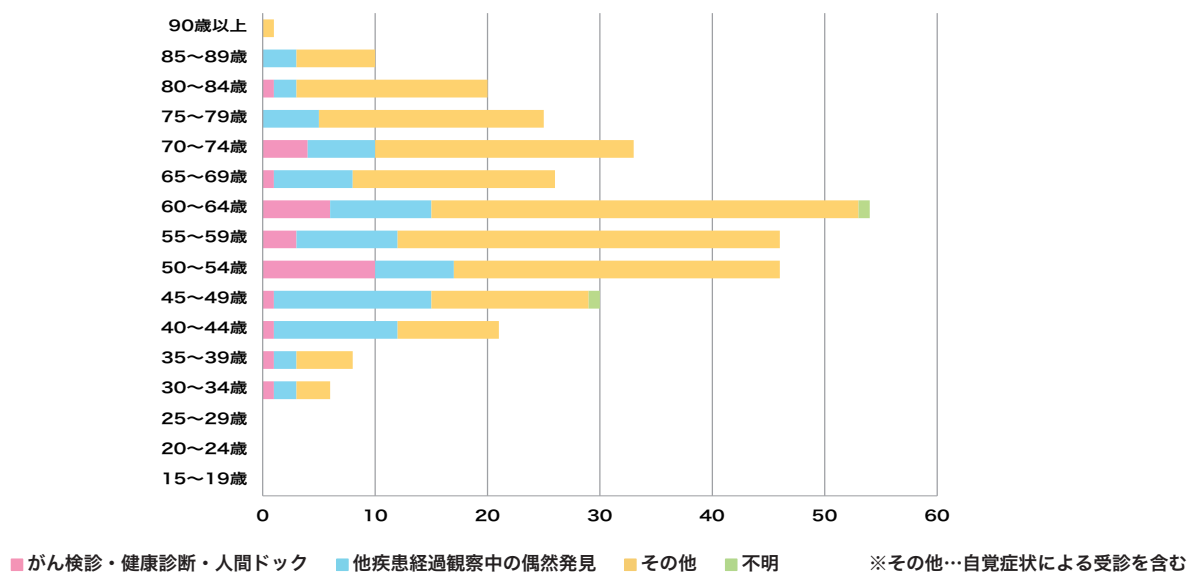
	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
90歳以上			1				1
85～89歳	3	1	5		1		10
80～84歳	11	2	3	2	1	1	20
75～79歳	15	3	4	2			24
70～74歳	18	2	7	5			32
65～69歳	18	4	1	1	1		25
60～64歳	34	2	11	6			53
55～59歳	33	2	8	3			46
50～54歳	35	2	8	1			46
45～49歳	23	1	2		1		27
40～44歳	19						19
35～39歳	7	1					8
30～34歳	4		1				5
25～29歳							0
20～24歳							0
15～19歳							0
総計	220	20	51	20	4	1	316

子宮（体部） ステージ 全体 病期分類対象のみ



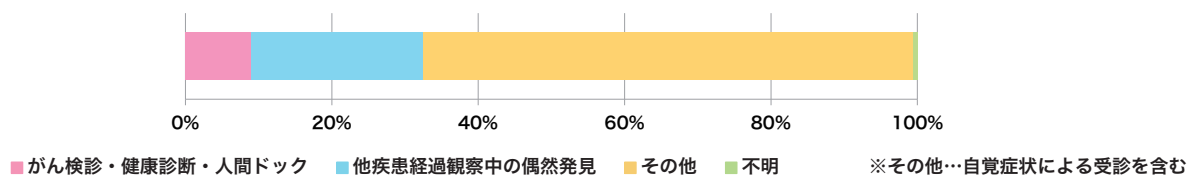
ステージ	治療前	術後病理学的	総合
I期	227	208	220
II期	17	19	20
III期	30	38	51
IV期	16	11	20
不明	25	2	4
該当せず	1	1	1
手術なし		16	
術前治療後		21	
合計	316	316	316

子宮（体部） 発見経緯 年齢階級別



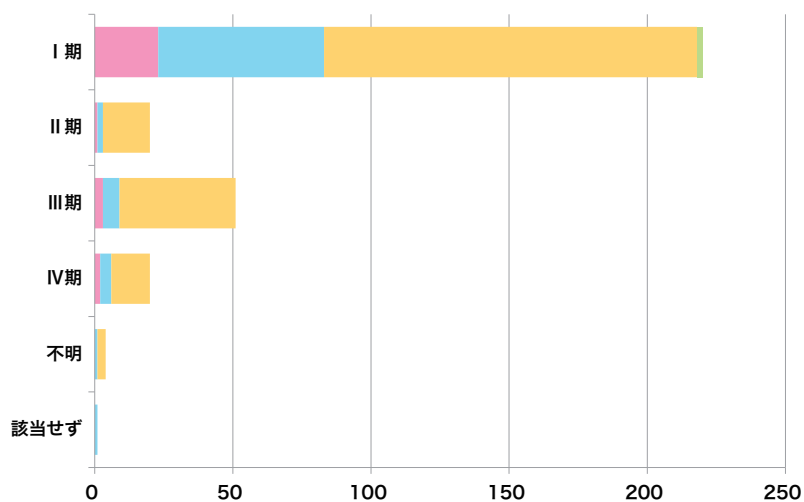
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明	合計
90歳以上			1		1
85～89歳		3	7		10
80～84歳	1	2	17		20
75～79歳		5	20		25
70～74歳	4	6	23		33
65～69歳	1	7	18		26
60～64歳	6	9	38	1	54
55～59歳	3	9	34		46
50～54歳	10	7	29		46
45～49歳	1	14	14	1	30
40～44歳	1	11	9		21
35～39歳	1	2	5		8
30～34歳	1	2	3		6
25～29歳					0
20～24歳					0
15～19歳					0
総計	29	77	218	2	326

子宮（体部） 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	29
他疾患経過観察中の偶然発見	77
その他	218
不明	2
合計	326

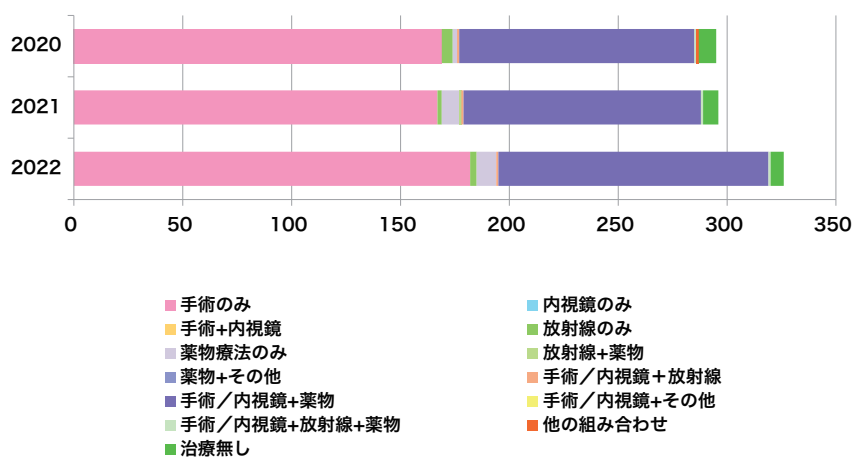
子宮（体部） 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

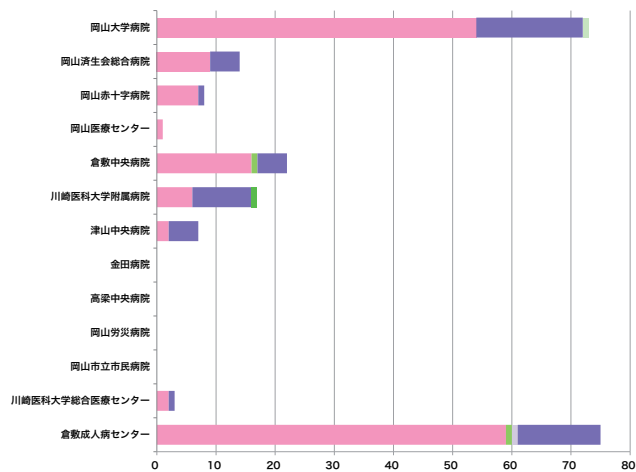
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
I期	23	60	135	2
II期	1	2	17	
III期	3	6	42	
IV期	2	4	14	
不明		1	3	
該当せず		1		
合計	29	74	211	2

子宮（体部） 初回治療法 年次推移

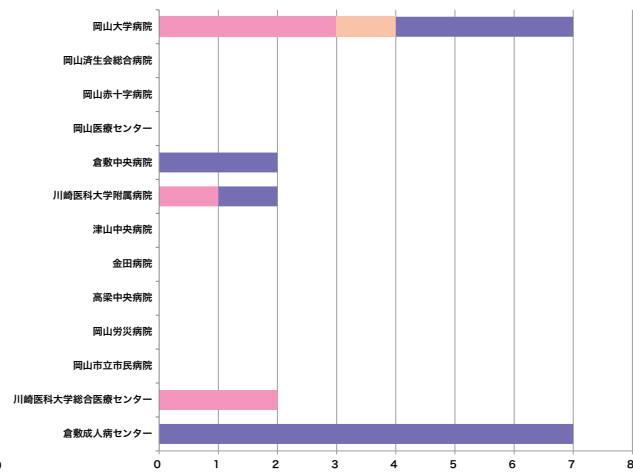


子宮（体部） 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

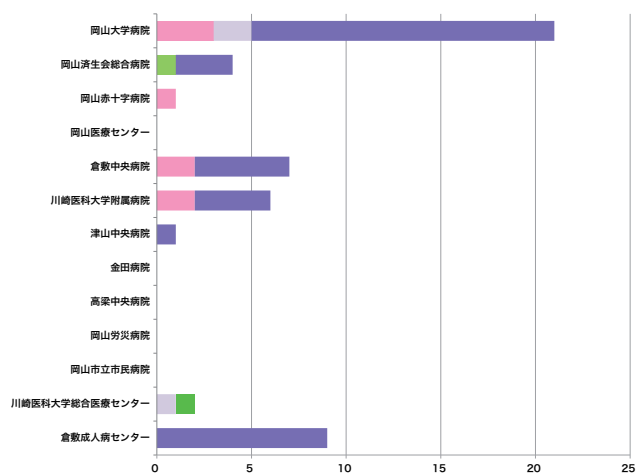
【Ⅰ期】



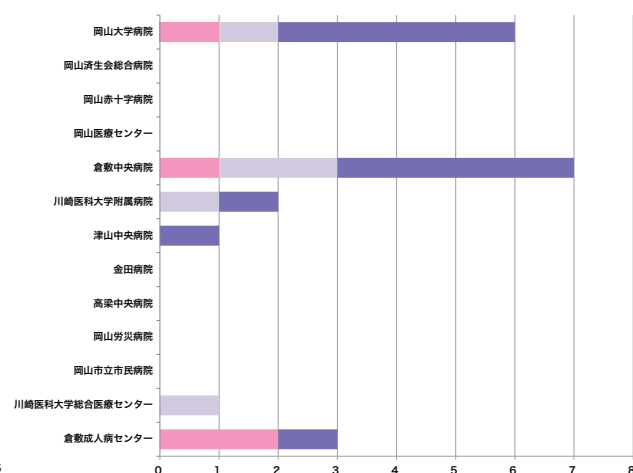
【Ⅱ期】



【Ⅲ期】



【Ⅳ期】



- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術+内視鏡+薬物
- 手術+内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術+内視鏡+放射線
- 手術+内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

前立腺

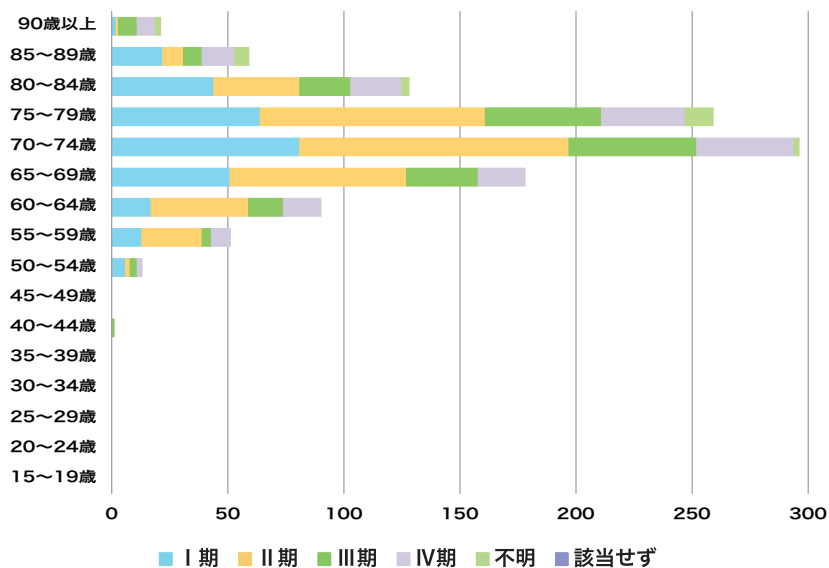
前立腺がんは、日本において男性のがんの中で最も多いがん種です。社会の高齢化に伴って、前立腺がんの罹患数は増加傾向にあります。全国的には70歳代が最も罹患率が高くなっていますが、岡山県でも70歳代が罹患数最多で、次に60歳代となっていました。

前立腺がん発見経緯では他疾患経過観察中の偶然発見が多く、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見がまだまだ多いとは言えません。さらなるがん検診・健康診断・人間ドックの啓蒙が大切であると思われます。これにより、早期発見と治療の機会が増え、生存率の向上が期待されます。

前立腺がんの治療は進歩しており、手術療法をはじめ、遺伝子を検査してゲノム医療も行えるようになっています。年齢にもよりますが、早期発見の場合は手術が可能で、これまでの開腹手術から最近ではロボット手術が行われています。手術以外では放射線治療も有効で完治が期待できます。またⅢ期、Ⅳ期で発見された場合でも、新規の薬物療法の登場により生存率は向上しています。

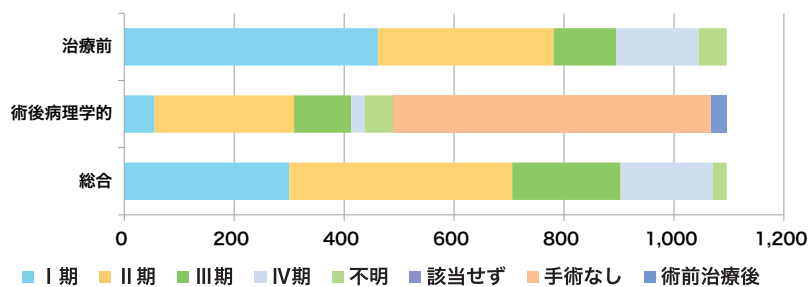
岡山医療センター 泌尿器科 市川 孝治（副統括診療部長）

前立腺 総合ステージ 年齢階級別 病期分類対象のみ



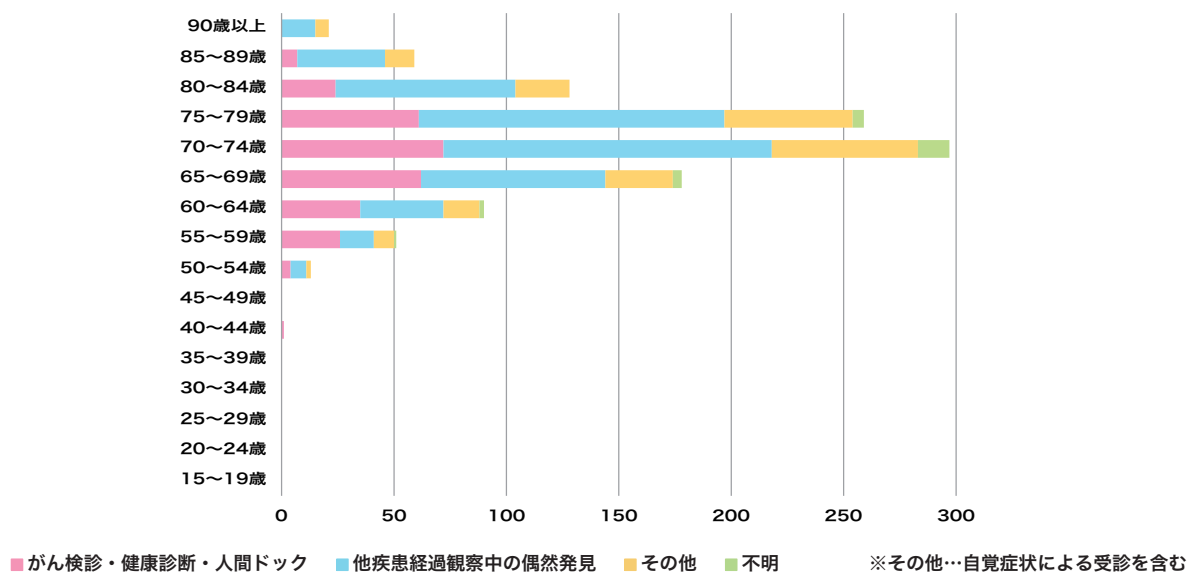
	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
90歳以上	2	1	8	8	2		21
85～89歳	22	9	8	14	6		59
80～84歳	44	37	22	22	3		128
75～79歳	64	97	50	36	12		259
70～74歳	81	116	55	42	2		296
65～69歳	51	76	31	20			178
60～64歳	17	42	15	16			90
55～59歳	13	26	4	8			51
50～54歳	6	2	3	2			13
45～49歳							0
40～44歳			1				1
35～39歳							0
30～34歳							0
25～29歳							0
20～24歳							0
15～19歳							0
総計	300	406	197	168	25	0	1,096

前立腺 ステージ 全体 病期分類対象のみ

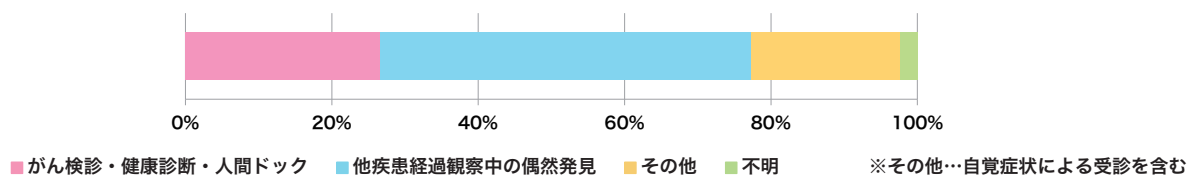


ステージ	治療前	術後病理学的	総合
I期	462	55	300
II期	319	254	406
III期	114	104	197
IV期	150	24	168
不明	51	53	25
該当せず			
手術なし		577	
術前治療後		29	
合計	1,096	1,096	1,096

前立腺 発見経緯 年齢階級別

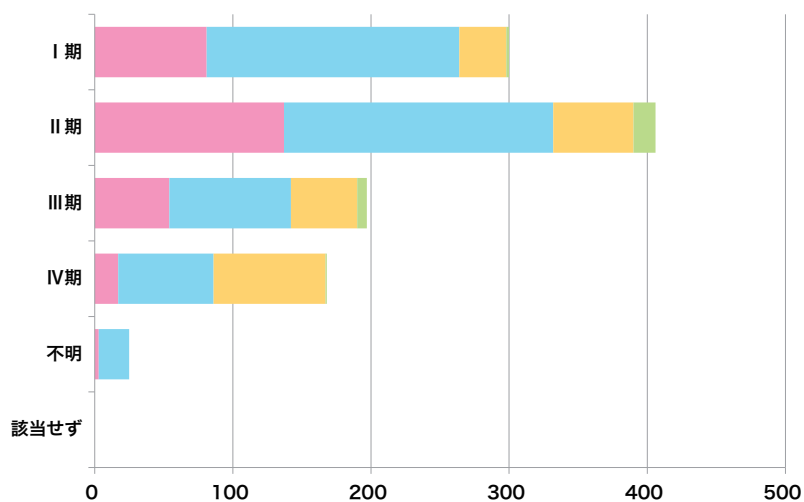


前立腺 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	292
他疾患経過観察中の偶然発見	557
その他	222
不明	26
合計	1,097

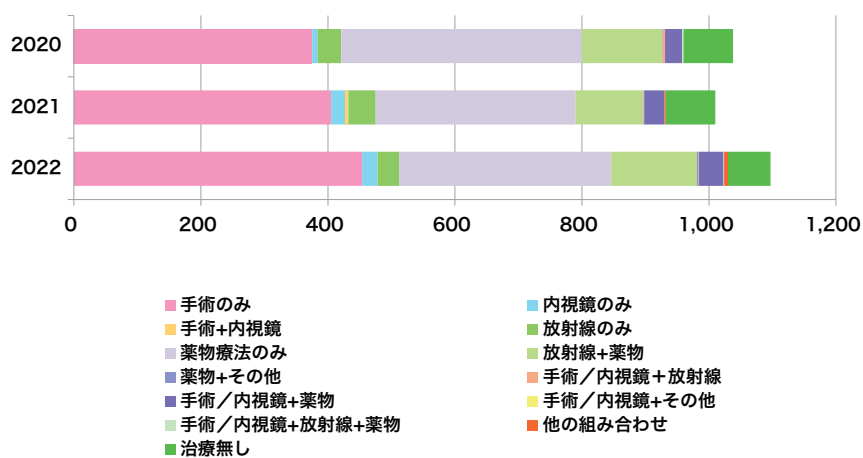
前立腺 総合ステージ 発見経緯 病期分類対象のみ



■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明 ※その他…自覚症状による受診を含む

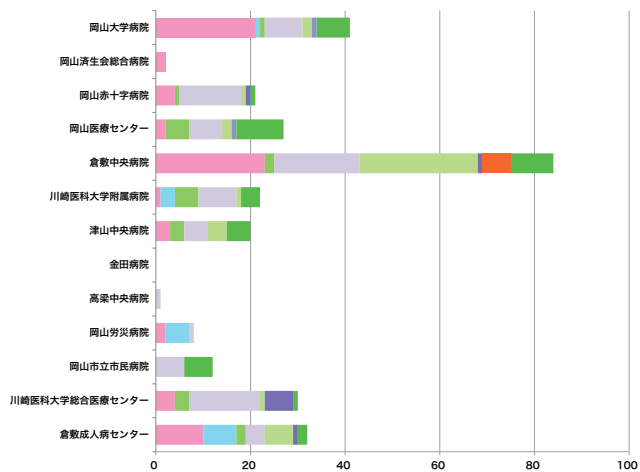
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	その他	不明
I期	81	183	34	2
II期	137	195	58	16
III期	54	88	48	7
IV期	17	69	81	1
不明	3	22		
該当せず				
合計	292	557	221	26

前立腺 初回治療法 年次推移

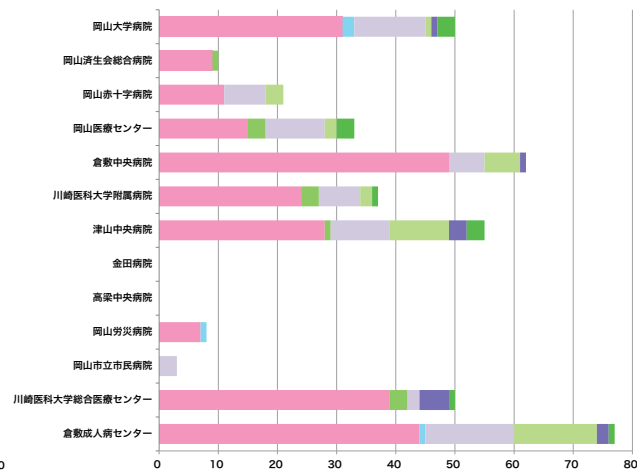


前立腺 初回治療法 総合ステージ 施設別 病期分類対象のみ

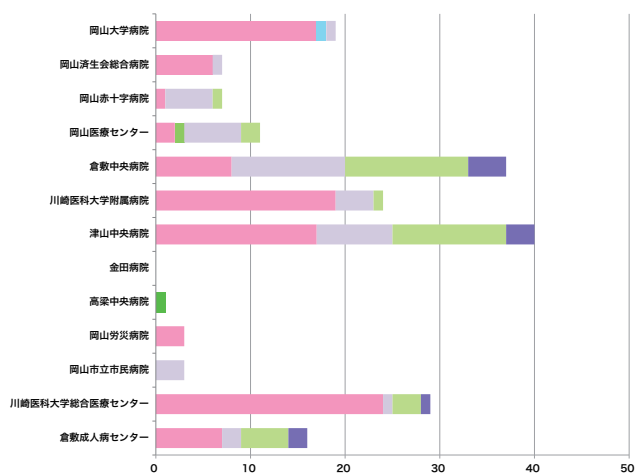
【Ⅰ期】



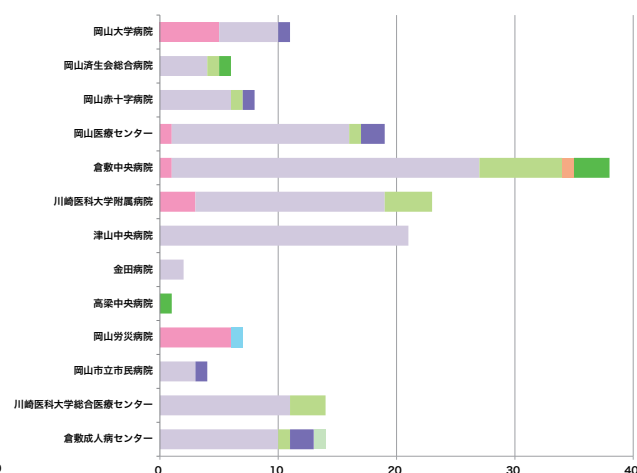
【Ⅱ期】



【Ⅲ期】



【Ⅳ期】



- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

血液腫瘍

血液領域の悪性腫瘍としては、白血病・リンパ腫・骨髄腫・骨髄異形成症候群が比較的頻度の高い物です。血液疾患は病的細胞の採取が比較的容易で以前は顕微鏡的な形態だけで分類できていましたが、最近の分子生物学の進歩により表面のタンパク質や遺伝子の変化を加味した分類がなされるようになりました。

もともと発生数の比較的少ない疾患で分類が子細に及び、更にその分類も数年ごとに更新されるために、なかなかとっつきにくい疾患ではありますが、その代わりに治療薬の進歩はめざましい物があります。

例えば代表的血液腫瘍の一つである慢性骨髄性白血病（中年以降の方は大相撲の蔵間さんが罹られた疾患と言えピンとくるでしょうか……）は、30年ほど前までは骨髄移植を行う以外に根治療法が無く、移植できるのは患者さんの1/3程、しかも移植後は合併症に悩むことも多いという疾患でした。しかし、2000年に開発されたイマチニブという飲み薬の発売以後はこの疾患で亡くなる方を見ることは殆ど無くなりました。

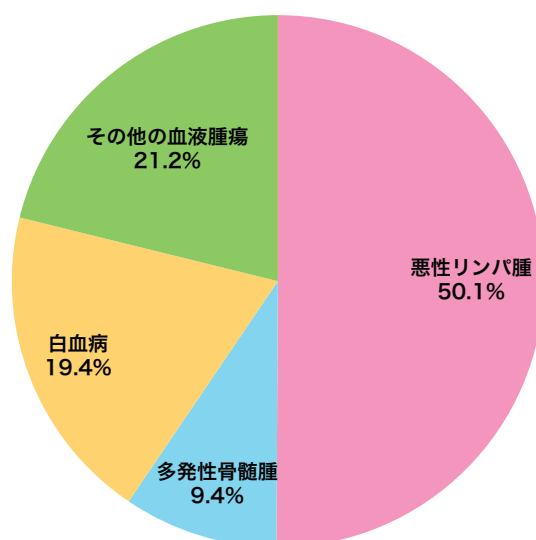
皆さんも健康診断などの採血で異常を言われたら、必ず医師に相談するようにしてください。

金田病院 内科 海野 正俊（内科部長）

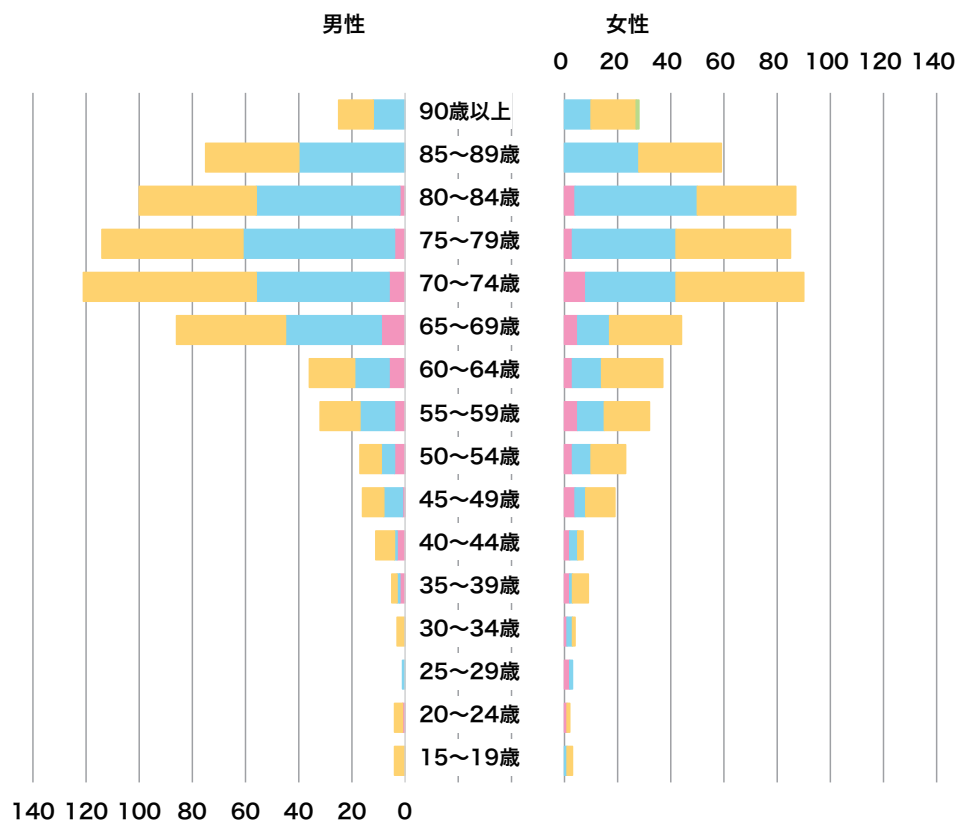
血液腫瘍 組織別登録数 年次推移

			2020	2021	2022
悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	294	267	311
		濾胞性リンパ腫	80	91	86
		辺縁層B細胞性リンパ腫	66	86	73
		成熟B細胞リンパ腫	16	13	31
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫		47	45	38
	ホジキンリンパ腫		27	34	15
	悪性リンパ腫他		32	47	38
多発性骨髄腫			93	111	111
成人T細胞白血病／リンパ腫			9	7	10
白血病	慢性骨髄性白血病		41	38	26
	急性骨髄性白血病		95	113	133
	慢性リンパ性白血病		11	14	11
	急性リンパ性白血病		26	23	30
	白血病他		17	12	19
その他の血液腫瘍	骨髄異形成症候群		145	132	177
	慢性骨髄増殖性疾患		86	44	70
	その他		5	5	3
合計			1,090	1,082	1,182

血液腫瘍 組織別登録数 割合（2022年症例）



血液腫瘍 発見経緯 年齢階級別

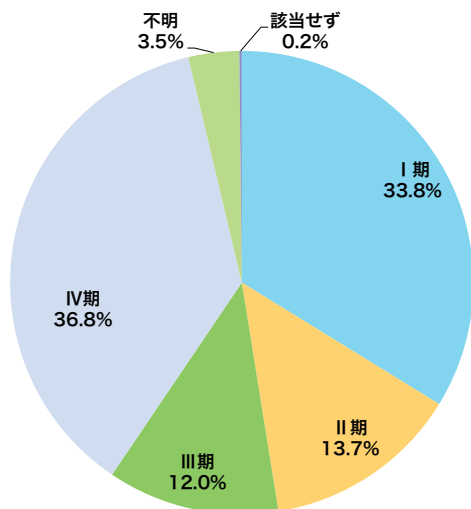


■がん検診・健康診断・人間ドック ■他疾患経過観察中の偶然発見 ■その他 ■不明

※その他…自覚症状による受診を含む

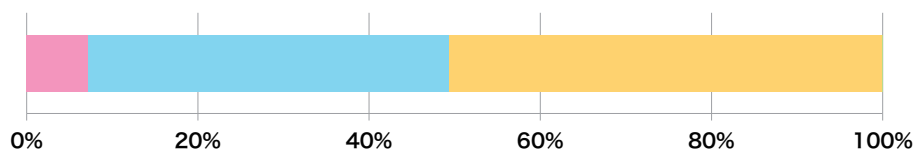
	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		その他		不明		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			12	10	13	17		1	25	28	53
85～89歳			40	28	35	31			75	59	134
80～84歳	2	4	54	46	44	37			100	87	187
75～79歳	4	3	57	39	53	43			114	85	199
70～74歳	6	8	50	34	65	48			121	90	211
65～69歳	9	5	36	12	41	27			86	44	130
60～64歳	6	3	13	11	17	23			36	37	73
55～59歳	4	5	13	10	15	17			32	32	64
50～54歳	4	3	5	7	8	13			17	23	40
45～49歳	1	4	7	4	8	11			16	19	35
40～44歳	3	2	1	3	7	2			11	7	18
35～39歳	2	2	1	1	2	6			5	9	14
30～34歳		1		2	3	1			3	4	7
25～29歳		2	1	1					1	3	4
20～24歳	1	1			3	1			4	2	6
15～19歳				1	4	2			4	3	7
総計	42	43	290	209	318	279	0	1	650	532	1,182

血液腫瘍（悪性リンパ腫）治療前 ステージ 全体



ステージ	登録数
I期	200
II期	81
III期	71
IV期	218
不明	21
該当せず	1
合計	592

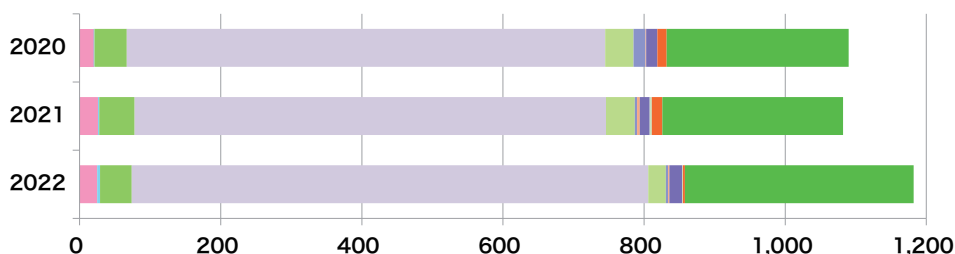
血液腫瘍 発見経緯 全体



■ がん検診・健康診断・人間ドック
 ■ 他疾患経過観察中の偶然発見
 ■ その他
 ■ 不明
 ※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	85
他疾患経過観察中の偶然発見	499
その他	597
不明	1
合計	1,182

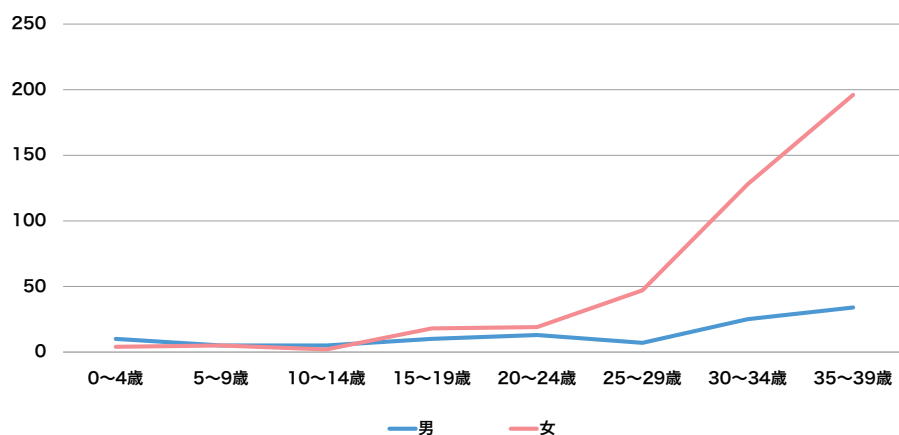
血液腫瘍 初回治療法 年次推移



- 手術のみ
 - 手術+内視鏡
 - 薬物療法のみ
 - 薬物+その他
 - 手術/内視鏡+薬物
 - 手術/内視鏡+放射線+薬物
 - 治療無し
 - 内視鏡のみ
 - 放射線のみ
 - 放射線+薬物
 - 手術/内視鏡+放射線
 - 手術/内視鏡+その他
 - 他の組み合わせ

小児・AYA 世代

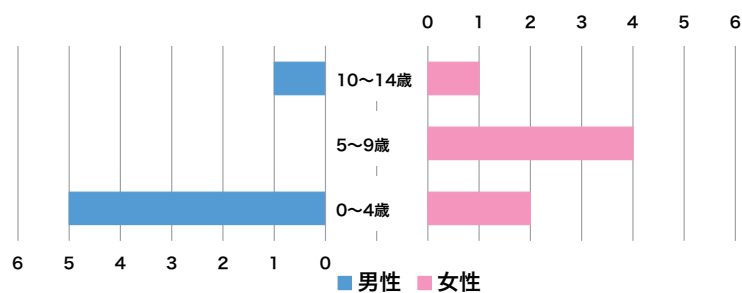
小児・AYA 世代 年齢階級別



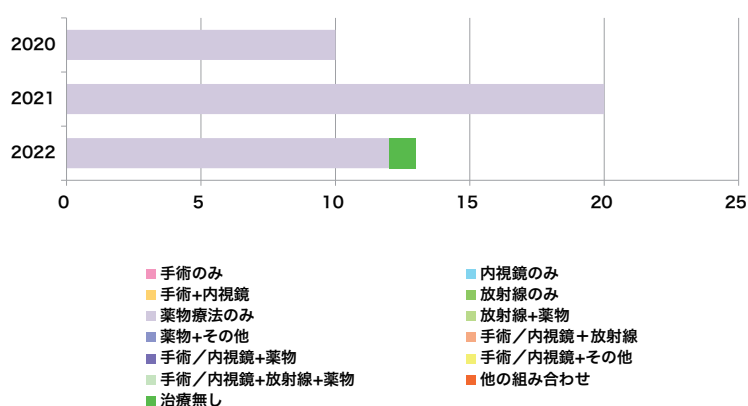
部位	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
小児がん（白血病）	5		1					
小児がん（その他の造血器がん）								
小児がん（神経芽腫）	2							
小児がん（脳腫瘍）	1	3	2					
小児がん（その他がん）	2	2	2					
口腔・咽頭							1	1
胃							2	2
大腸				1	1		5	5
肝臓								
肺						1	1	1
骨					2			
皮膚							1	1
軟部組織								1
精巣				1	2	1	5	4
腎					1			3
甲状腺						1	1	2
悪性リンパ腫							1	1
白血病				4	3	1	2	2
脳・中枢神経系				2	2		2	3
消化管間質腫瘍								
神経内分泌腫瘍				1				
その他のがん				1	2	3	4	8
総計	10	5	5	10	13	7	25	34

部位	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
小児がん（白血病）	2	4	1					
小児がん（その他の造血器がん）								
小児がん（神経芽腫）	1							
小児がん（脳腫瘍）			1					
小児がん（その他がん）	1	1						
口腔・咽頭					1		3	3
胃							2	5
大腸						2	1	6
肝臓								
肺				1	1		2	6
骨								
皮膚				1	1		1	2
軟部組織					1			
乳房					2	7	17	41
子宮（頸部）				2	5	28	68	92
卵巣				1	3	4	5	3
腎					2	1		1
甲状腺				3		1	7	9
悪性リンパ腫				2		1	2	4
白血病				1	1		1	4
脳・中枢神経系				3	1		6	6
消化管間質腫瘍				1				1
神経内分泌腫瘍				1			1	1
その他のがん				2	1	3	12	12
総計	4	5	2	18	19	47	128	196

小児 白血病 年齢階級別

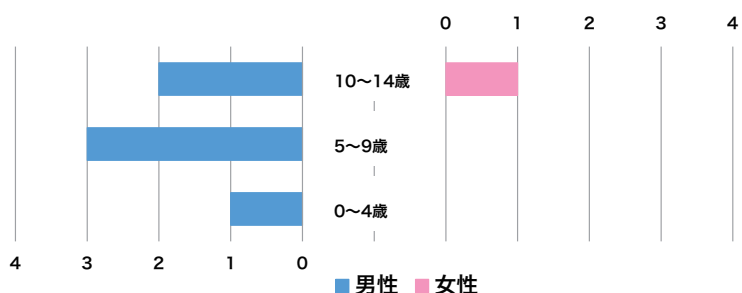


小児 白血病 初回治療法 全体 年次推移

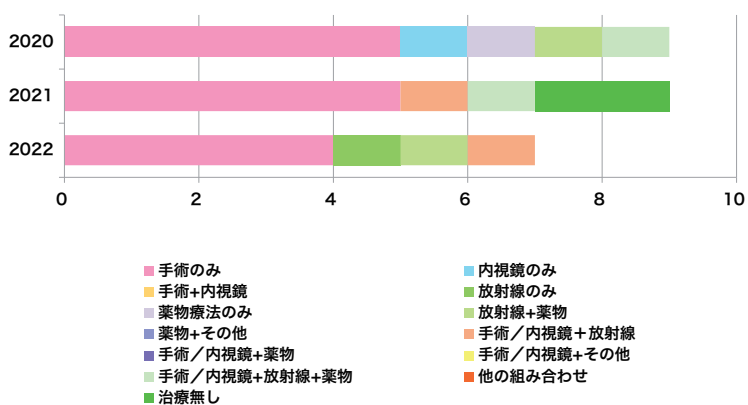


- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

小児 脳・中枢神経系 年齢階級別

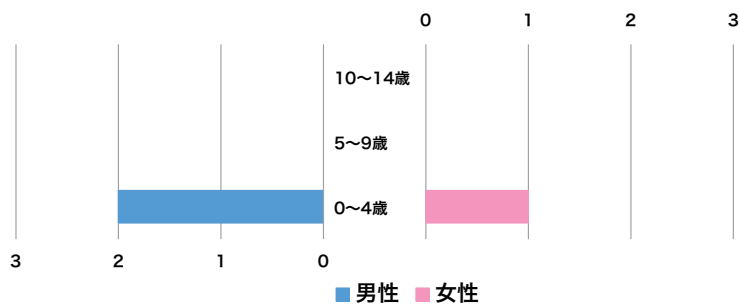


小児 脳・中枢神経系 初回治療法 全体 年次推移

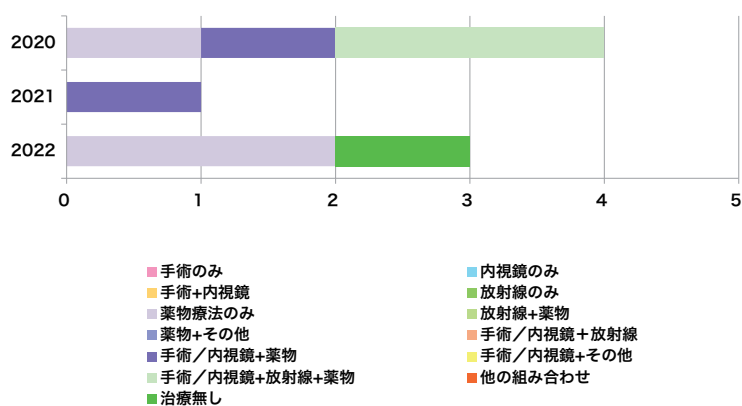


- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 薬物+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 他の組み合わせ

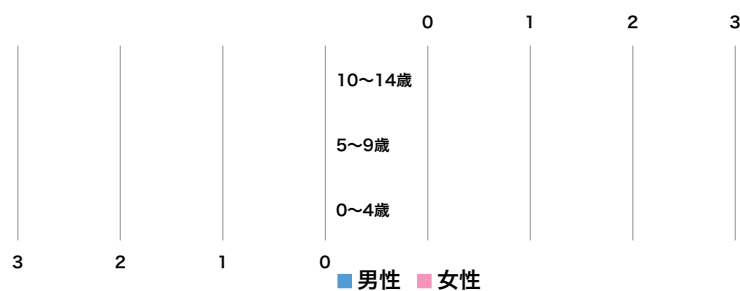
小児 神経芽腫 年齢階級別



小児 神経芽腫 初回治療法 全体 年次推移



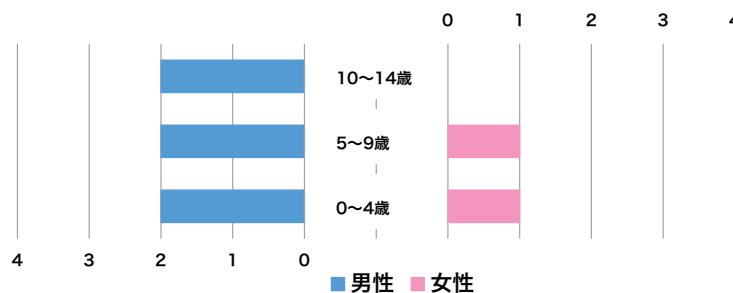
小児 その他の造血器 年齢階級別



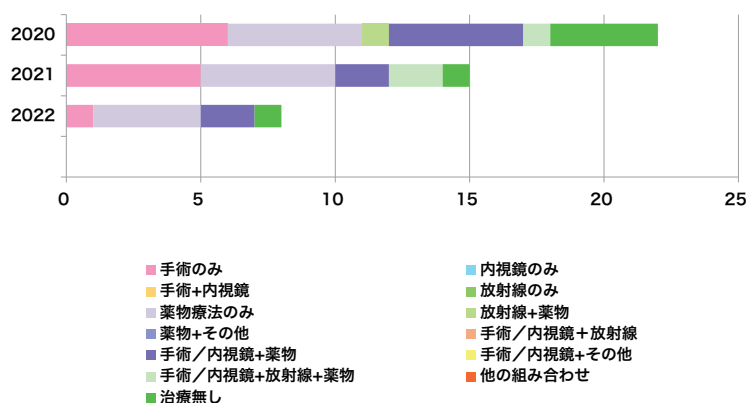
小児 その他の造血器 初回治療法 全体 年次推移



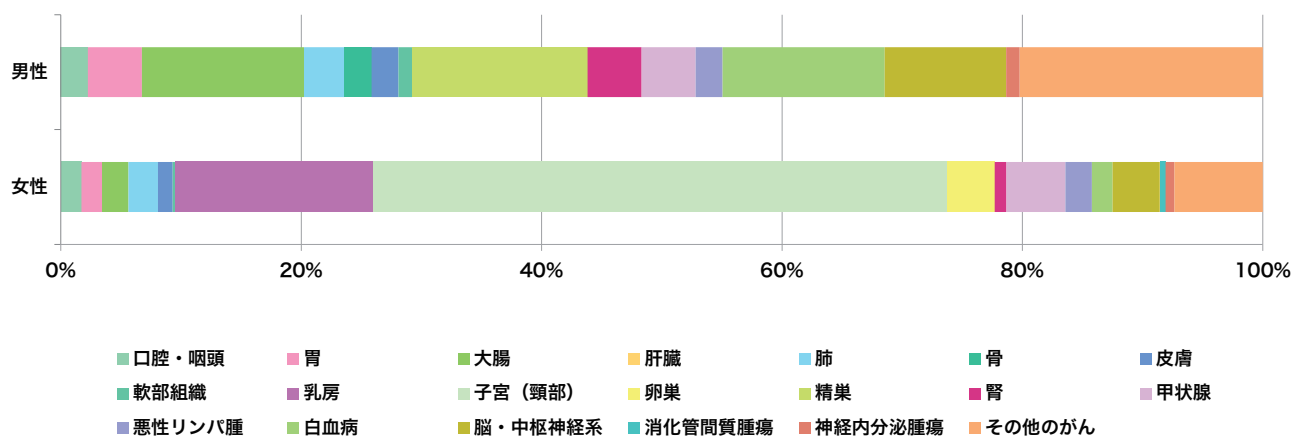
小児 その他のがん 年齢階級別

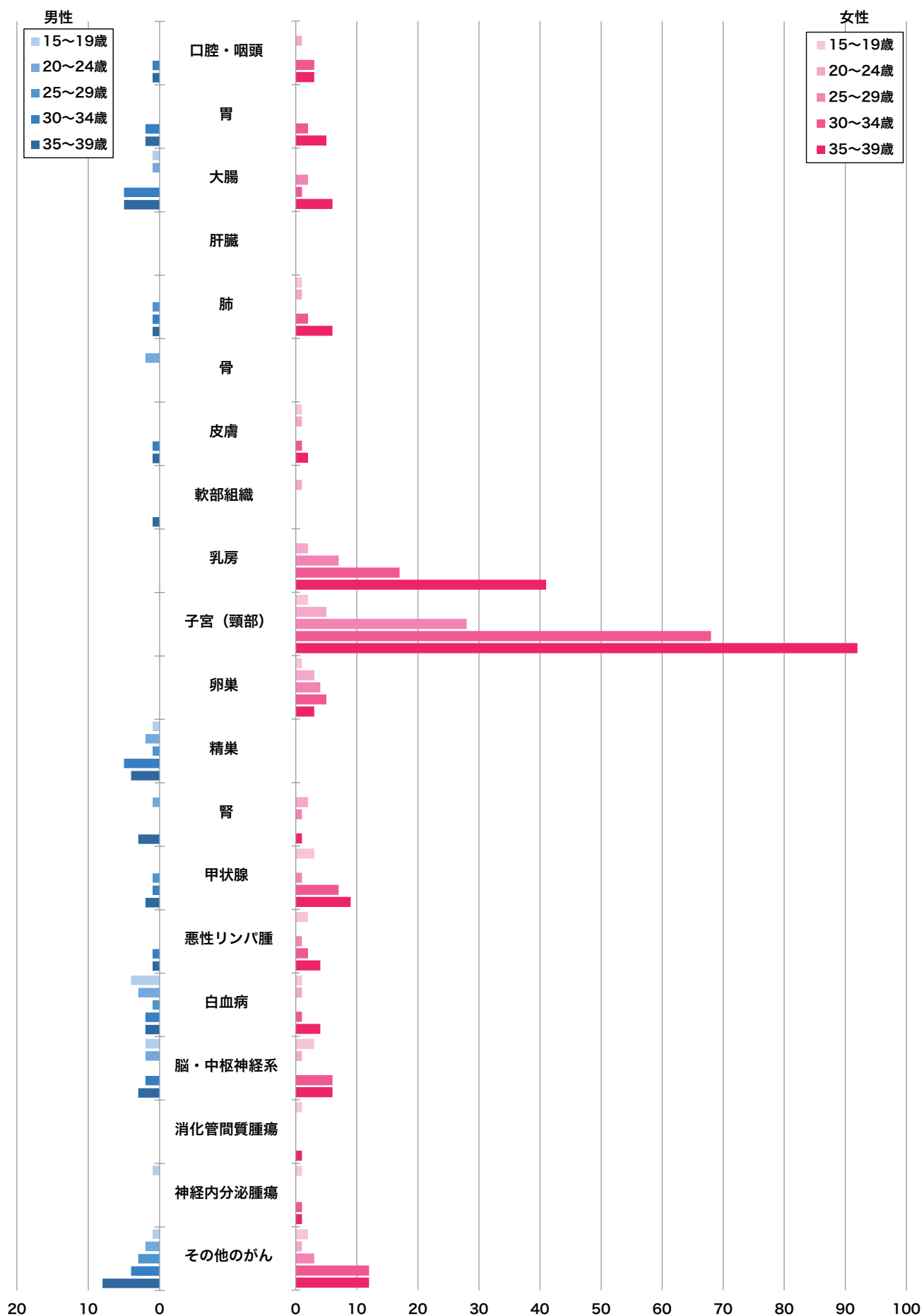


小児 その他のがん 初回治療法 全体 年次推移



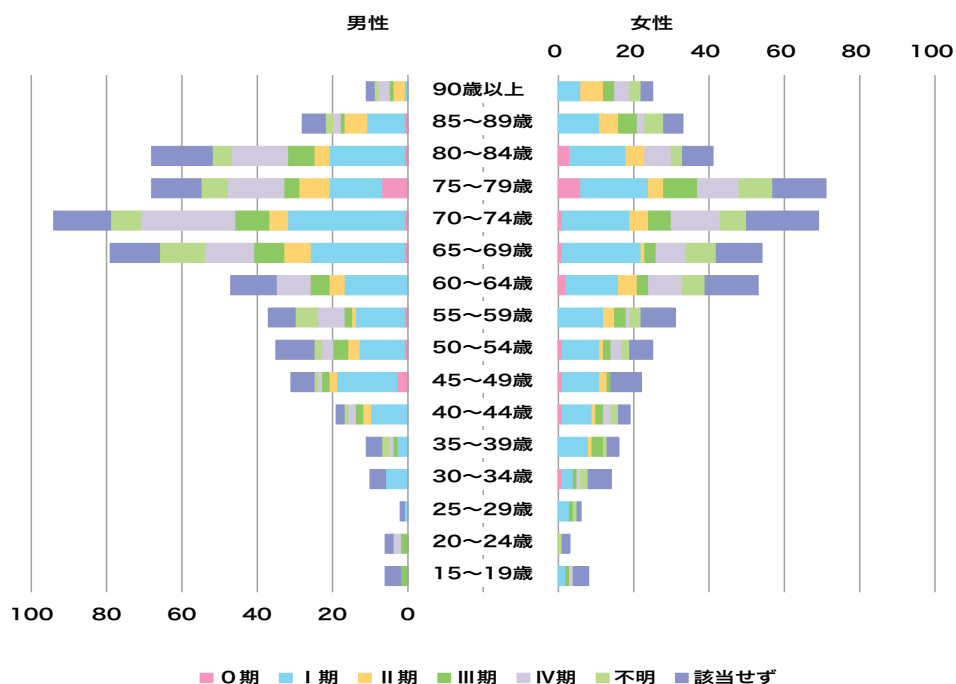
AYA 世代 性別 部位別割合





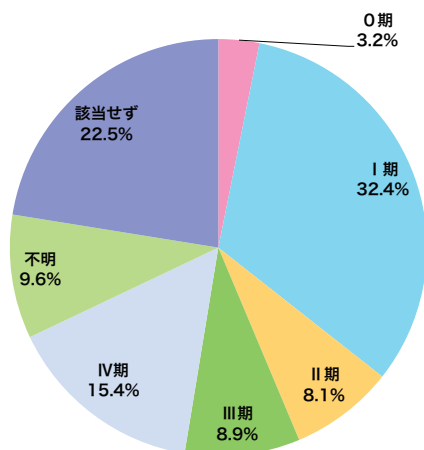
希少がん

希少がん ステージ 年齢階級別

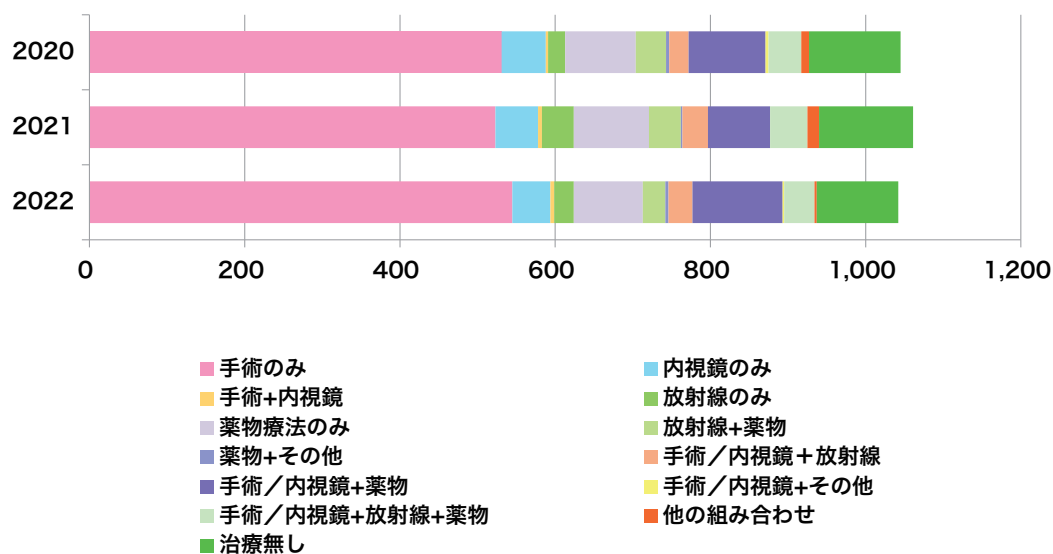


	O期		I期		II期		III期		IV期		不明		該当せず		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
90歳以上			1	6	3	6	1	3	3	4	1	3	2	3	11	25	36
85～89歳	1		10	11	6	5	1	5	2	2	2	5	6	5	28	33	61
80～84歳	1	3	20	15	4	5	7		15	7	5	3	16	8	68	41	109
75～79歳	7	6	14	18	8	4	4	9	15	11	7	9	13	14	68	71	139
70～74歳	1	1	31	18	5	5	9	6	25	13	8	7	15	19	94	69	163
65～69歳	1	1	25	21	7	1	8	3	13	8	12	8	13	12	79	54	133
60～64歳		2	17	14	4	5	5	3	9	9		6	12	14	47	53	100
55～59歳	1		13	12	1	3	2	3	7	1	6	3	7	9	37	31	68
50～54歳	1	1	12	10	3	1	4	2	3	3	2	2	10	6	35	25	60
45～49歳	3	1	16	10	2	2	2	1	1		1		6	8	31	22	53
40～44歳		1	10	8	2	1	2	2	2	2	1	2	2	3	19	19	38
35～39歳			3	8		1	1	3	1		2	1	4	3	11	16	27
30～34歳		1	6	3				1		1		2	4	6	10	14	24
25～29歳			1	3				1			1	1	1	1	2	6	8
20～24歳							2		2			1	2	2	6	3	9
15～19歳				2			2	1		1			4	4	6	8	14
総計	16	17	179	159	45	39	50	43	98	62	47	53	117	117	552	490	1,042

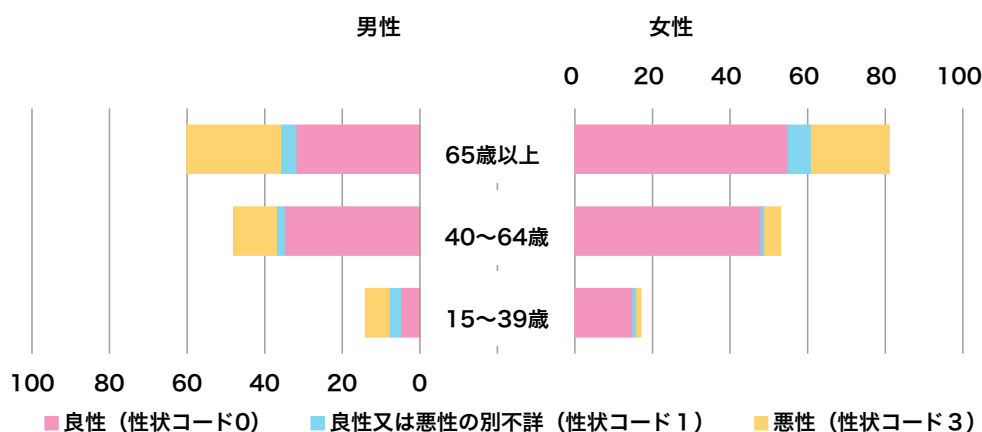
希少がん 総合ステージ 全体



希少がん 初回治療法 年次推移



希少がん 脳・中枢神経 年齢別



	良性 (性状コード0)		良悪性の別不詳 (性状コード1)		悪性 (性状コード3)		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
65歳以上	5	3	6	15	1	1	14	17	31
40~64歳	35	2	11	48	1	4	48	53	101
15~39歳	32	4	24	55	6	20	60	81	141
総計	72	9	41	118	8	25	122	151	273

施設別集計 (13 施設)

岡山大学病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山大学病院
所 在 地	〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1
電 話 (代 表)	086-223-7151
ホームページ	https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/
交通アクセス	岡山駅より車で 5 ～ 10 分、バスで約 10 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	総合内科・総合診療科、消化器内科、血液・腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、腎臓・糖尿病・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、循環器内科、脳神経内科、感染症内科、消化管外科、肝・胆・膵外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科、心臓血管外科、小児外科、小児心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、精神科神経科、脳神経外科、麻酔科蘇生科、小児科、小児循環器科、小児血液・腫瘍科、小児神経科、小児麻酔科、小児放射線科、小児心身医療科、産科婦人科、放射線科、救命救急科、病理診断科、緩和支援医療科、臨床遺伝子診療科、歯科 総合歯科部門 / 保存歯科部門 / 歯周科部門 / 口腔インプラント科部門 / 補綴科部門 / 予防歯科部門 / 歯科放射線科部門 / 歯科麻酔科部門、口腔外科 顎口腔再建外科部門 / 口腔顎顔面外科部門、矯正歯科、小児歯科 合計 50 診療科		
病 床 数※1	853 床	平均在院日数※2	10.1 日
入院患者延べ数※3	202,436 人	外来患者延べ数※4	516,650 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 3 名 (中級者 3 名、初級者 0 名)		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数 ÷ [(新入院患者数 + 退院患者数) × 0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	総合患者支援センター
電話番号	086-235-7744 (直通)
対応時間	平日 8:30 ～ 17:00
ホームページ	https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~iscps/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 (がん患者サロンなど)	☐
院内図書館	☐





岡山大学病院 病院長

前田 嘉信

1. がん診療連携拠点病院としての基本方針

岡山大学病院は平成 18 年 8 月に厚生労働大臣より岡山県の「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定され、地域における質の高いがん医療体制の整備、地域医療機関との診療連携の推進、がん患者と家族に対する相談支援及び情報提供に取り組んでまいりました。

岡山大学病院の理念は、「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人材を育て、社会・地域の持続的な健康増進に貢献する」です。当院は、1870（明治 3）年の岡山藩医学館大病院が開設して以来、150 年を超える長い歴史と伝統を受け継いできた病院ですが、私達は、これまでも、そしてこれからも患者さんに最良な医療を届けていきたいと考えています。

2. がん診療・治療の特徴

本院は臓器移植、小児心臓外科、幹細胞移植などの高度先進医療の推進、遺伝子細胞治療などの先端的治療の開発において、全国でもっとも進んだ施設です。今後も新しい医療の開発を続け、他の施設ではみられない先進的な医療を創造し、実践して参りたいと存じます。そのために、本院ではさまざまなセンターを立ち上げております。腫瘍センター、乳がん治療・再建センター、頭頸部がんセンター、臓器移植医療センター、ゲノム医療総合推進センターを始めとする大学病院のユニークな診療科連携を活かした集学的チーム治療を提供してまいります。2024 年には希少がんセンターを設立。サルコーマセンター、メラノーマセンターなどと連携し希少がんに対して大学病院ならではの特性を生かした高度な治療を提供すると共に地域の医療機関と密な連携を推進しております。

3. 今後の課題と展望

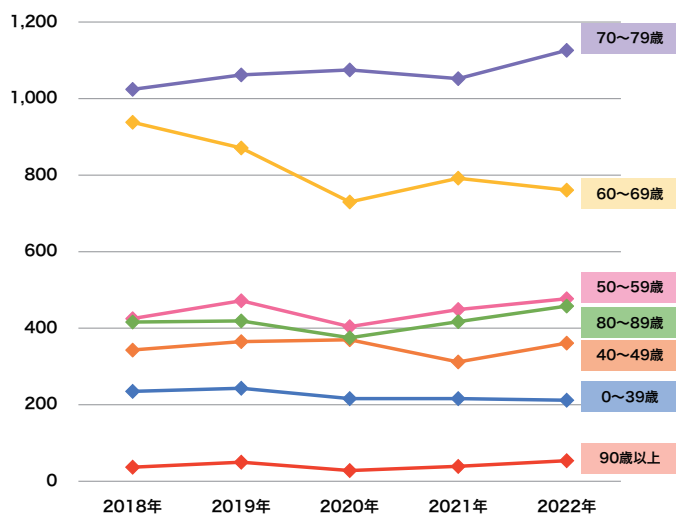
岡山大学病院はがんの個別化医療、遺伝子細胞治療、臓器・幹細胞移植などの高度先進医療を進めるとともに、がんゲノム医療を担う専門医療人の育成に努めます。さらに、中国四国地方で唯一の厚生労働省の臨床研究中核病院として、日本発の革新的な医薬品・医療機器等及び医療技術の開発を創出する体制の構築を目指します。

ゲノム医療総合推進センターを中心に、腫瘍センター、バイオバンク、臨床遺伝子診療科などが一体となって、がんゲノム医療の発展に取り組んでいます。

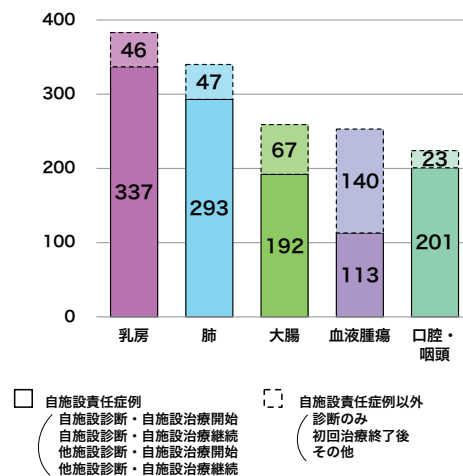
国・県の掲げるがんになっても安心して暮らせる社会の構築、全てのがん患者およびその家族等の療養生活の質の向上、誰一人取りこぼさないがん対策の達成に向け、患者・家族・市民に寄り添った情報の提供、緩和ケアマインドを有するがん専門職の養成と地域への輩出、IT を活用した医療過疎地域へのがん医療支援の強化に取り組みます。また、医療資源の乏しい希少がん、小児がんや AYA 世代のがん、妊孕性温存について希少がんセンターや小児 AYA がん総合センターを中心に高度な診療と支援を実施してまいります。

これからも職員一丸となって患者さんと社会・地域からの期待に応えられるよう全力で取り組んでまいりますので、今後とも岡山大学病院をよろしくお願いいたします。

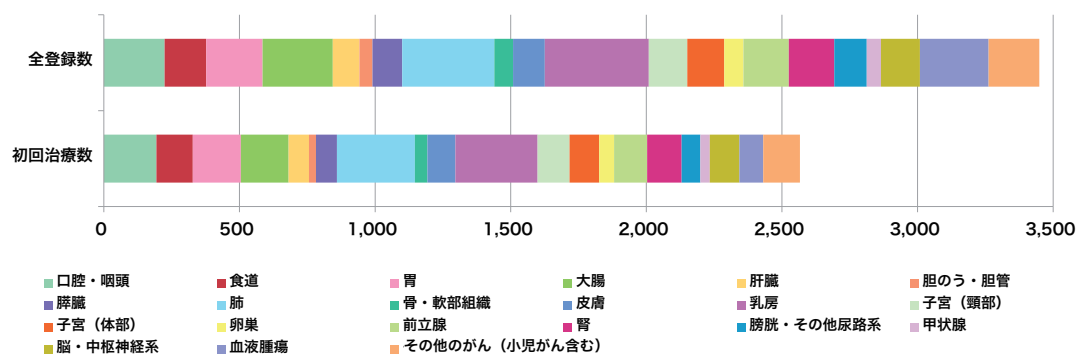
全登録数の推移



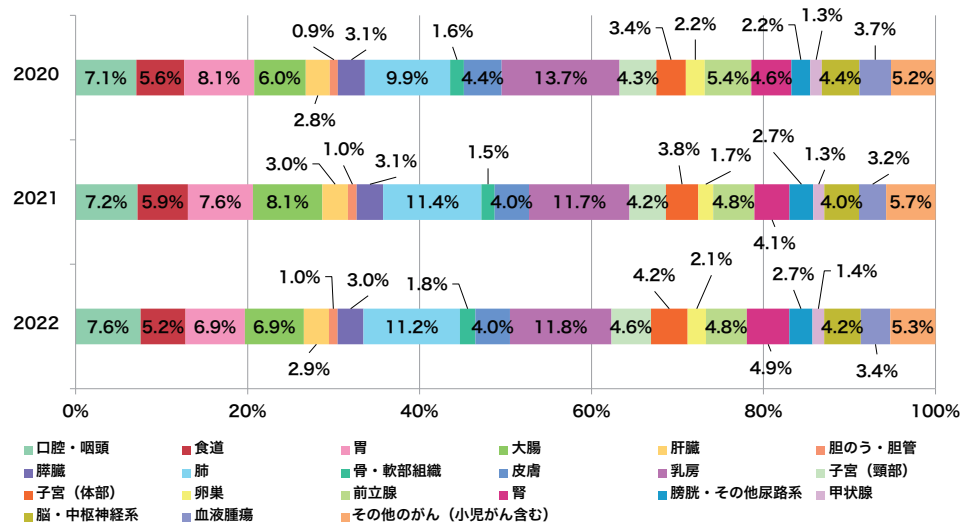
部位別登録数の上位 5 部位



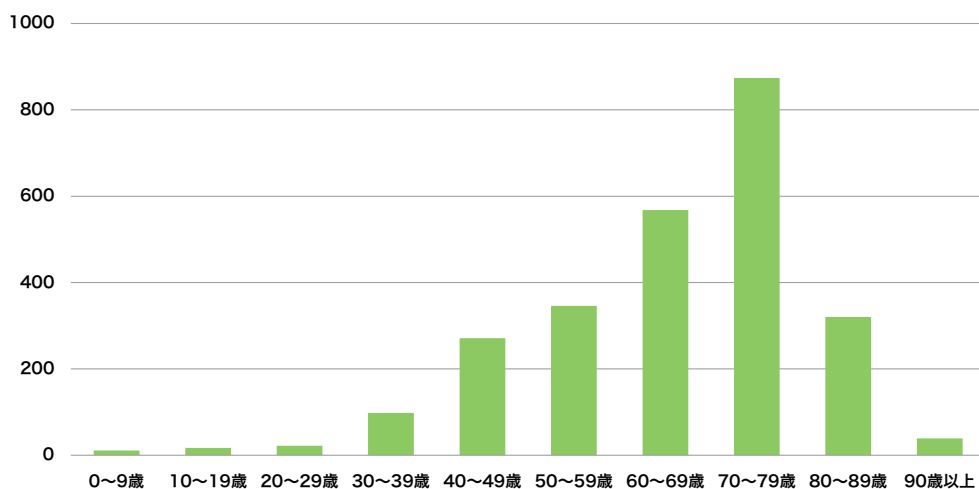
全登録数・初回治療数



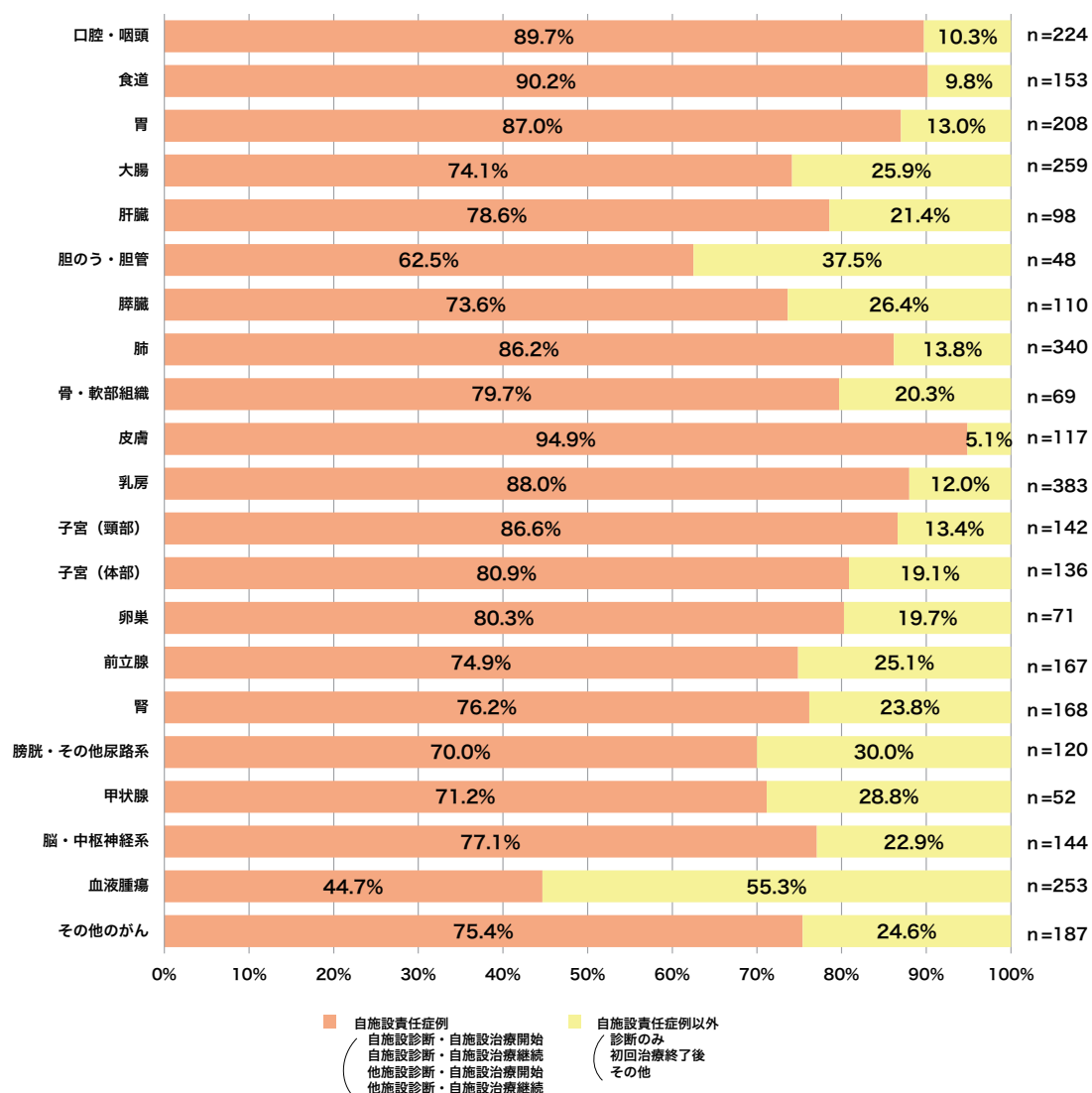
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

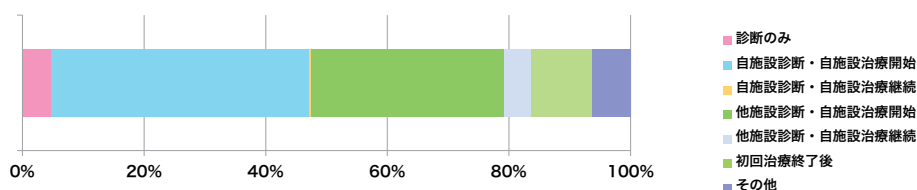


症例区分 部位別の責任症例の割合



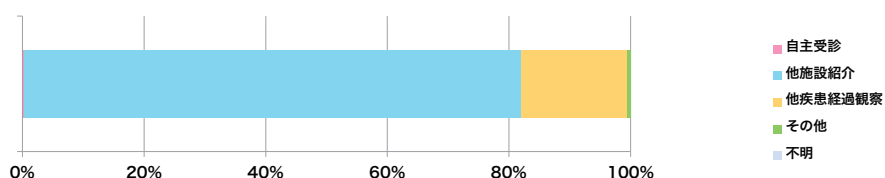
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	162 (4.7%)
自施設診断・自施設治療開始	1,467 (42.5%)
自施設診断・自施設治療継続	6 (0.2%)
他施設診断・自施設治療開始	1,099 (31.9%)
他施設診断・自施設治療継続	153 (4.4%)
初回治療終了後	346 (10.0%)
その他	216 (6.3%)
合計	3,449 (100.0%)



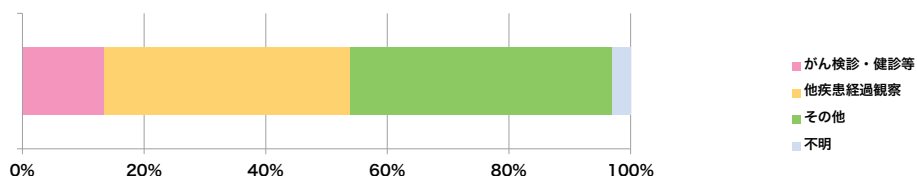
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	10 (0.4%)
他施設紹介	2,094 (81.6%)
他疾患経過観察	448 (17.5%)
その他	14 (0.5%)
不明	0 (0.0%)
合計	2,566 (100.0%)

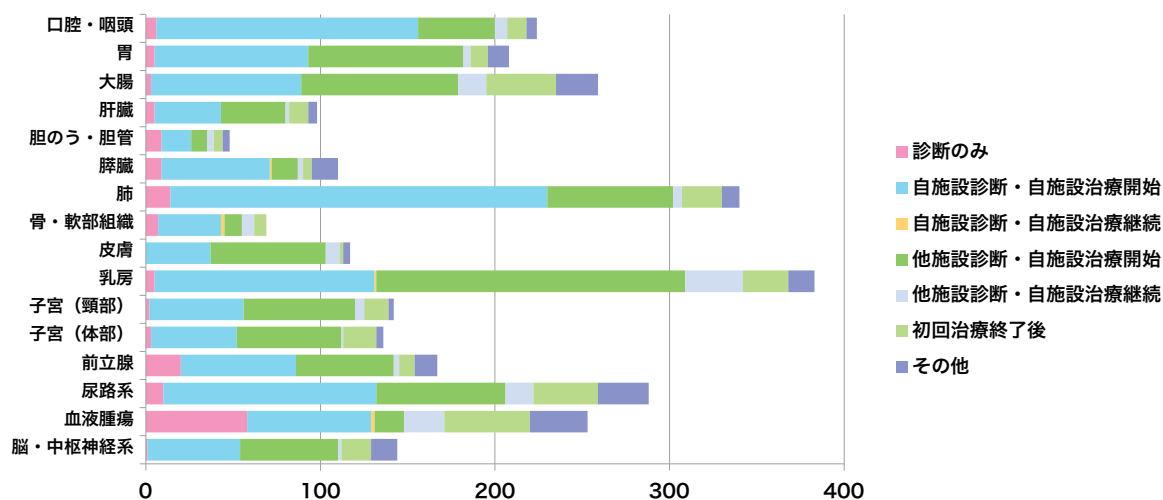


発見経緯別 初回治療数と登録割合

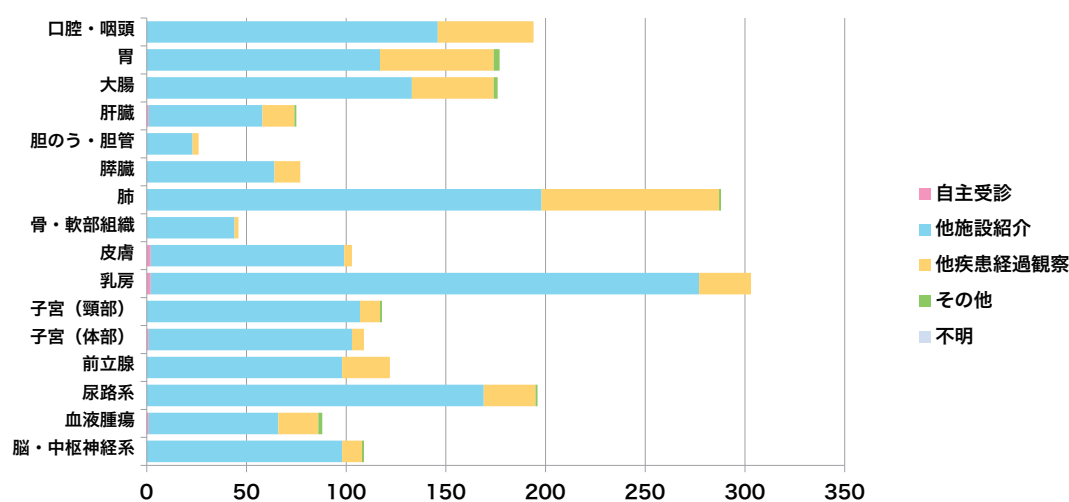
	登録数
がん検診・健診等	347 (13.5%)
他疾患経過観察	1,034 (40.3%)
その他	1,108 (43.2%)
不明	77 (3.0%)
合計	2,566 (100.0%)



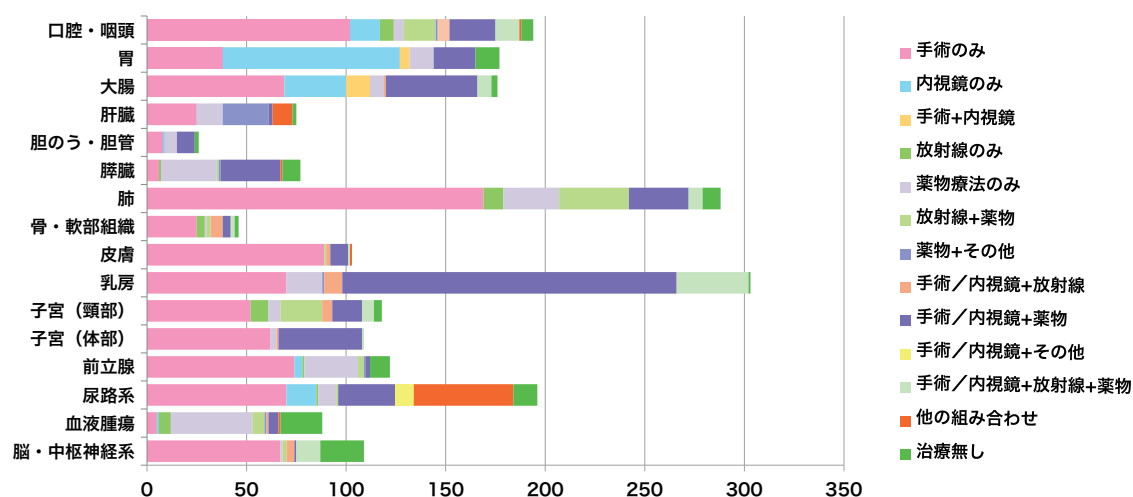
部位別 症例区分別 全登録数



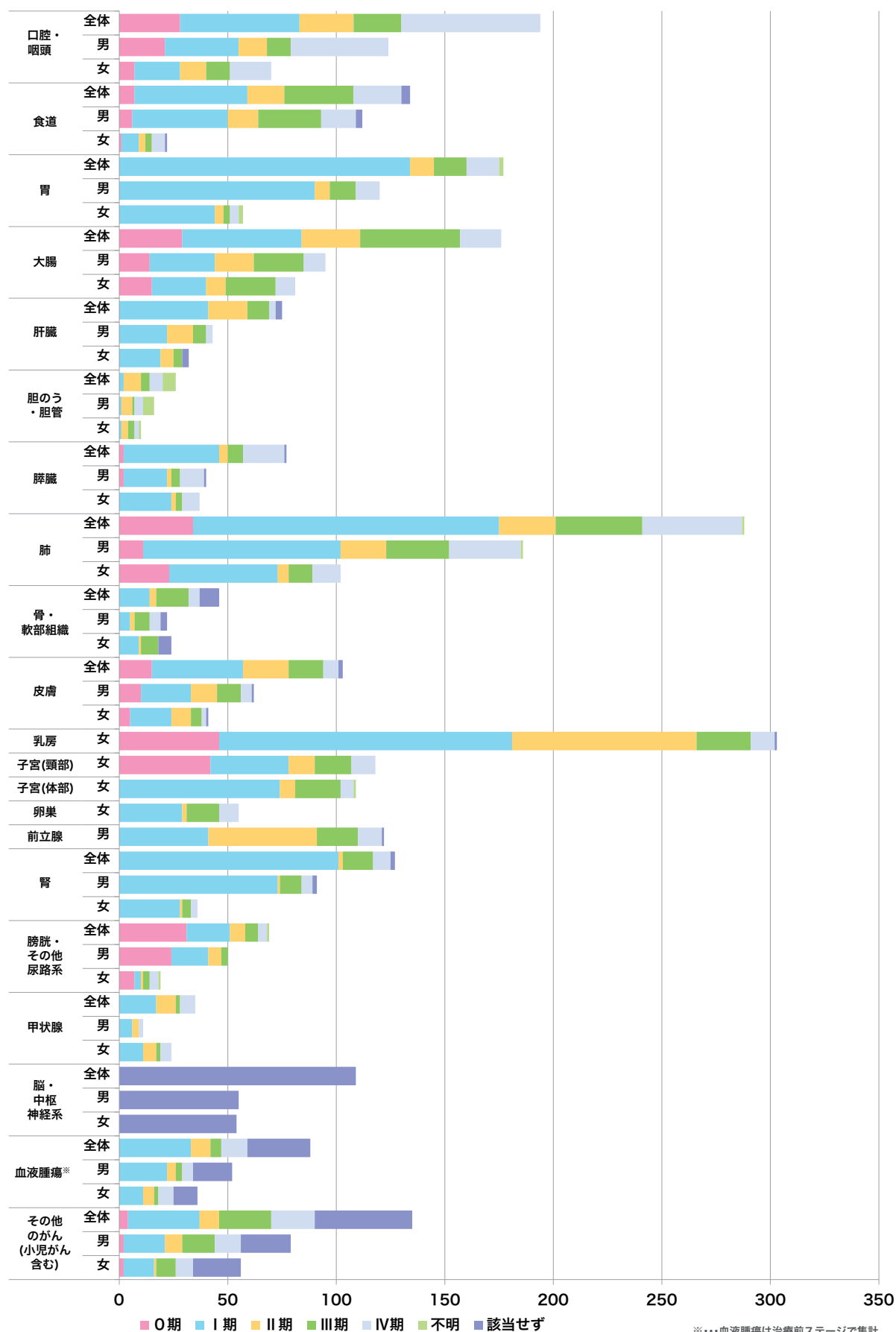
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



医療圏内 県内市町村内訳

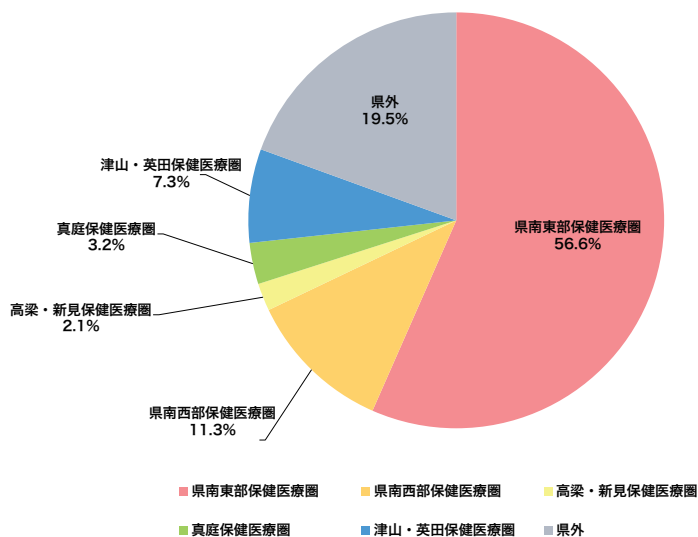
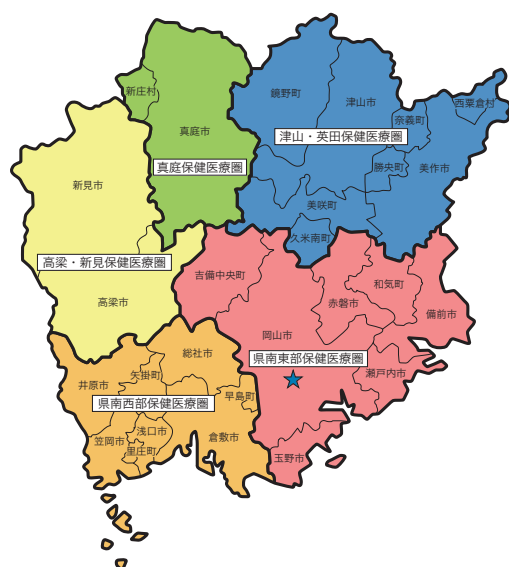
医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,952	56.6%	岡山市	1,474
			玉野市	160
			備前市	74
			瀬戸内市	99
			赤磐市	106
			和気郡和気町	27
			加賀郡吉備中央町	12
県南西部保健医療圏	390	11.3%	倉敷市	257
			笠岡市	25
			井原市	24
			総社市	33
			浅口市	25
			都窪郡早島町	12
			浅口郡里庄町	6
			小田郡矢掛町	8
高梁・新見保健医療圏	74	2.1%	高梁市	34
			新見市	40
真庭保健医療圏	111	3.2%	真庭市	109
			真庭郡新庄村	2
津山・英田保健医療圏	251	7.3%	津山市	136
			美作市	28
			苫田郡鏡野町	26
			勝田郡勝央町	19
			勝田郡奈義町	8
			英田郡西粟倉村	1
			久米郡久米南町	14
			久米郡美咲町	19
県外	671	19.5%		671
			合計	3,449

担当医療圏

担当医療圏
岡山県全域

県内患者住所の割合
80.5%

県外患者住所の割合
19.5%



岡山済生会総合病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山済生会総合病院
所 在 地	〒700-8511 岡山県岡山市北区国体町2番25号
電話（代表）	086-252-2211
ホームページ	http://www.okayamasaiseikai.or.jp/
交通アクセス	岡山駅（運動公園口）より北に徒歩9分／岡山インターチェンジより国道53号を岡山方面へ約15分、清心町交差点手前約200mを左折

集計期間：2023年4月1日～2024年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、食道外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、美容外科、心療内科、精神科、神経内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科 合計 35 診療科		
病 床 数※1	473 床	平均在院日数※2	10.1 日
入院患者延べ数※3	123,915 人	外来患者延べ数※4	32,299 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※1	実務者 1 名（中級者 1 名 初級者 0 名）		

※1 2024年11月1日現在

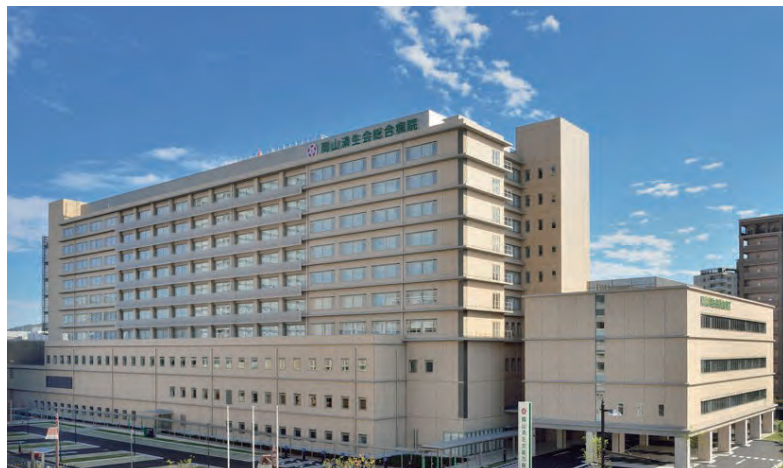
※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	岡山済生会総合病院
電話番号	086-252-2211（大代表）
対応時間	9：00～16：00（土日祝を除く）
ホームページ	https://www.okayamasaiseikai.or.jp/sector/cancer_consultation/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	☐
院内図書館	☐





岡山済生会総合病院 院長

仁 熊 健 文

岡山済生会総合病院は先進的ながん治療と、救急医療、各種専門医療を中心とした急性期病院です。がん診療に関しては、1998年7月に県下で初めて緩和ケア病棟を開設し、2002年には県下で最初の「地域がん拠点病院」に指定されました。2023年にはがんゲノム医療連携病院の指定を受けてがんゲノム外来、遺伝カウンセリング外来を開始しています。また、災害拠点病院としての機能を強化するために2016年1月に現在の国体町に免震構造の病院を新築移転し、最新の医療機器を備えた救急診療・入院診療を行う総合病院（473床）と、外来診療と地域包括ケア病床（80床）をもつ外来センター病院の2病院を一体として運用しています。さらに、岡山県済生会支部では予防医学として健診センターや、複数の福祉施設も運営しています。この総合的な医療・福祉の基盤のもとに、一連のがん診療体制を整えています。

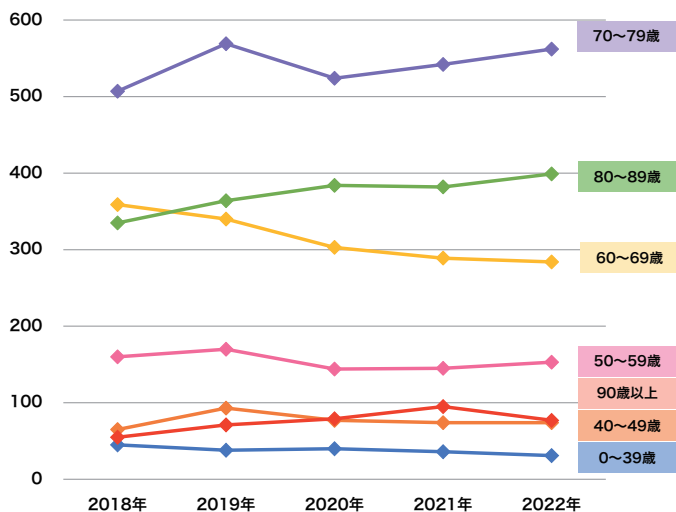
院内がん登録は診療圏の岡山県南東部では岡山大学病院に次ぐ件数で、2022年は1,580件を登録しています。部位別症例数では、大腸332件、胃201件、肝臓133件、膵臓99件、胆嚢・胆管47件、食道34件と消化器がんが全体の約半数を占めることが当院の特徴です。消化器以外では、肺180件、乳房166件、泌尿器科系130件、婦人科系89件でした。近年特に乳房と泌尿器系の件数の増加が著しい傾向にあります。

外科治療では高齢者社会を迎える中で、体に優しく開胸や開腹と同等あるいはそれ以上の精緻な手術が行えるロボット支援下内視鏡手術を、循環器を除くほぼすべての臓器に対して積極的に行っています。2024年のロボット支援下手術の件数は157件で年々増加しています。放射線治療は通常の治療に加え、がん組織に高い放射線量を照射し、正常組織への影響を低減するIMRT（強度変調放射線治療）も行っています。化学療法に関しては複数の専門医だけでなく薬剤師や認定看護師を交えた多職種のカンファレンスを行い、個々の患者さんに合わせた最適の治療をチーム医療で支えています。

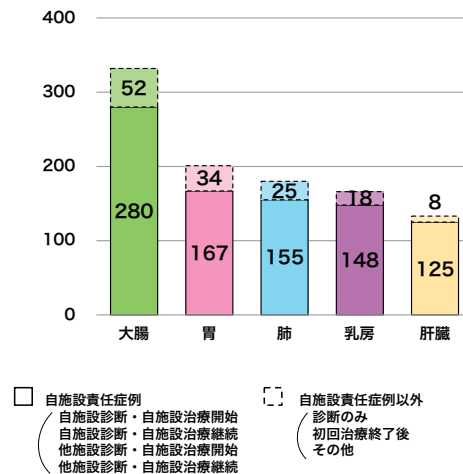
また、長い歴史のある緩和医療は緩和ケア病棟だけでなく、一般病棟でも緩和ケアチームとして治療介入しており、メンタルケアも含めた多職種による質の高い緩和医療を行っています。その他、がん相談支援センターやがんサロンでは、就労支援やAYA世代（Adolescent and Young Adult；思春期・若年成人）への支援も行っています。

先進的ながん治療から終末期医療、そして、救急医療、各種専門医療を中心とした急性期医療を通じて、「地域に信頼される総合病院であり続けること」を目指しています。

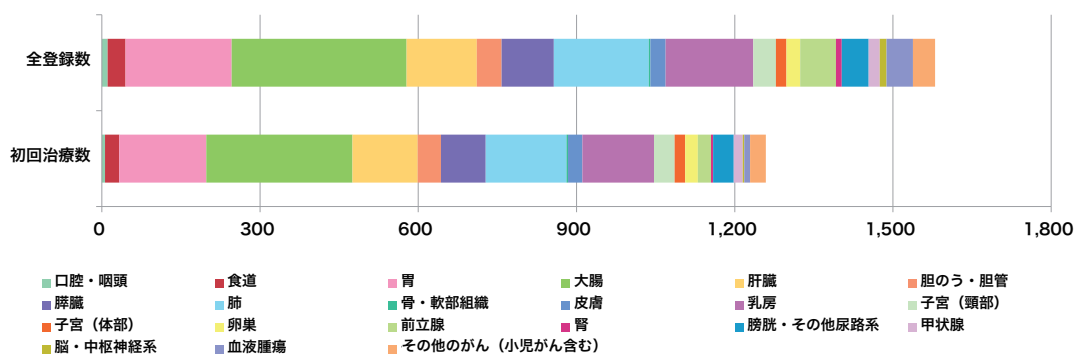
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



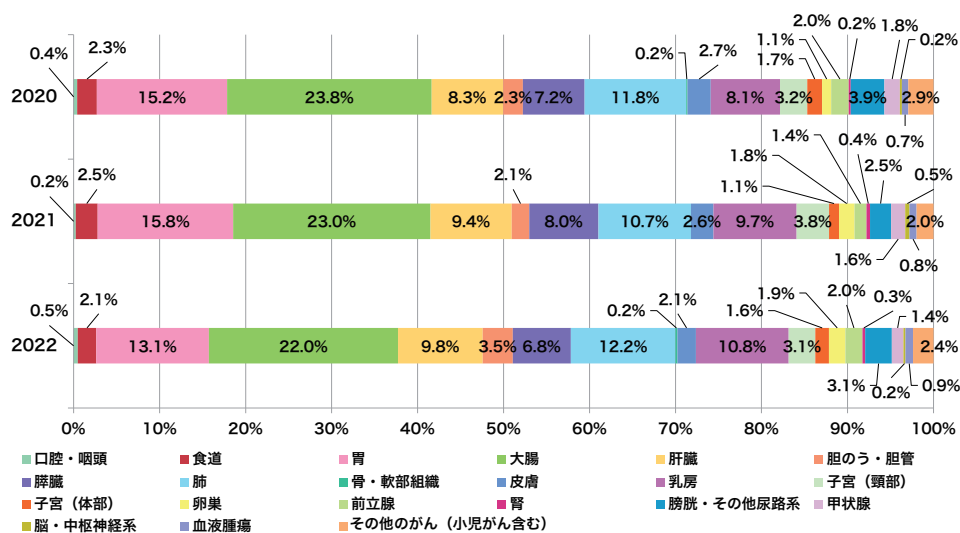
全登録数・初回治療数



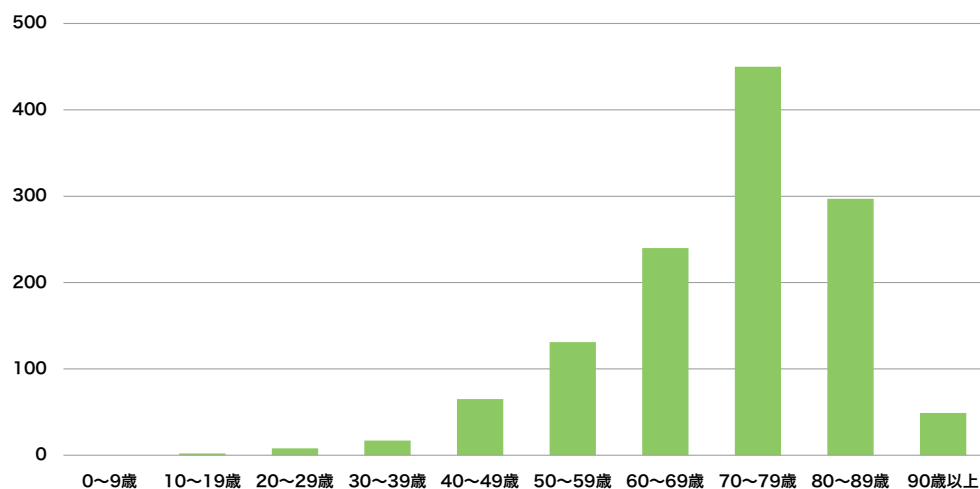
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

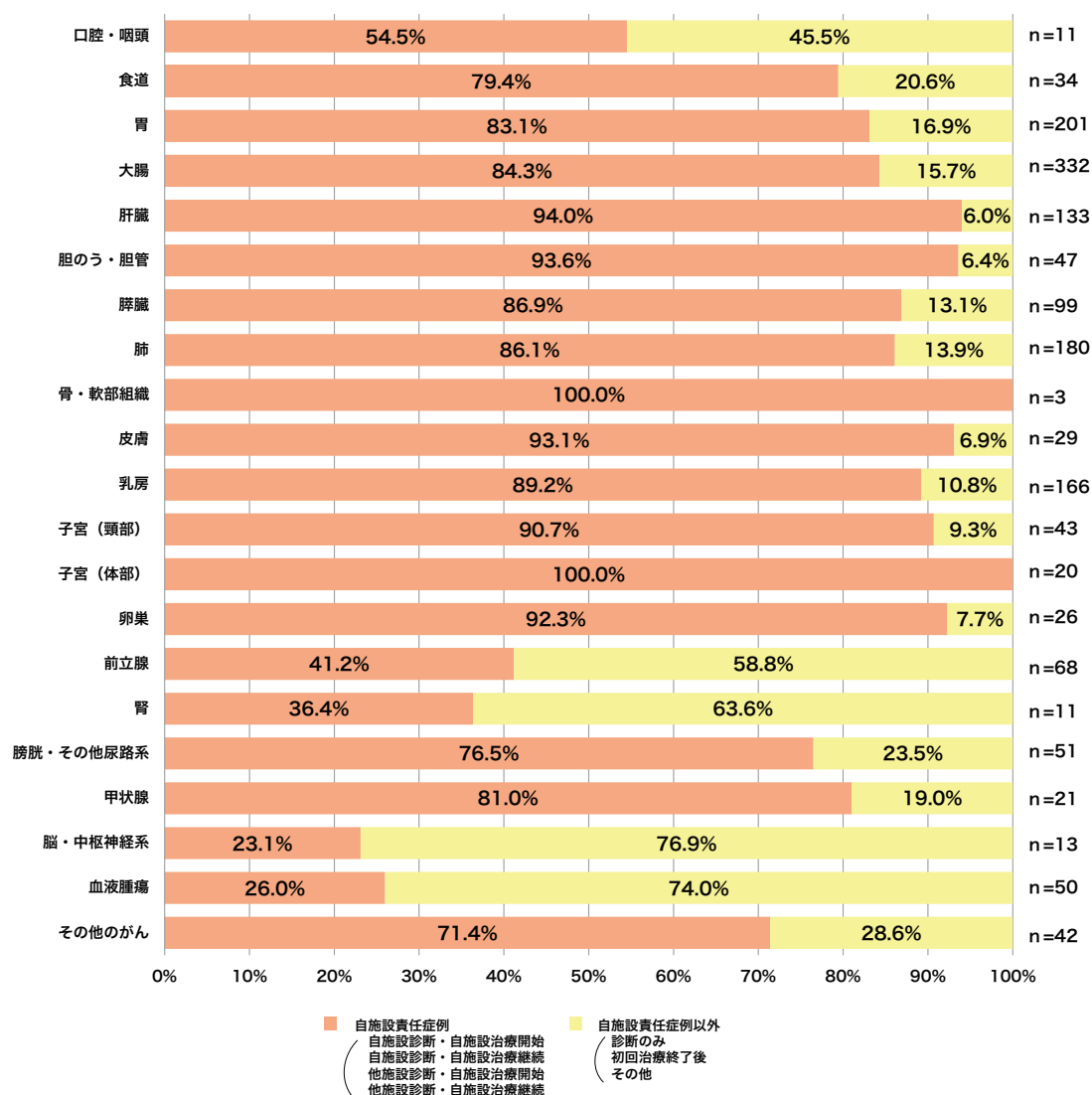
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

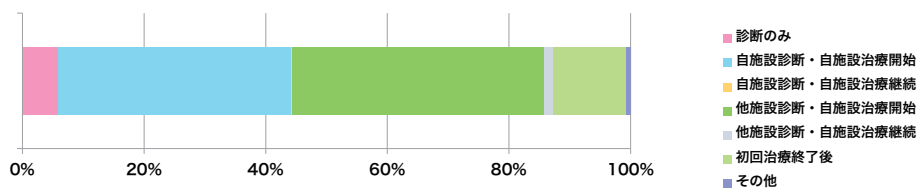


症例区分 部位別の責任症例の割合



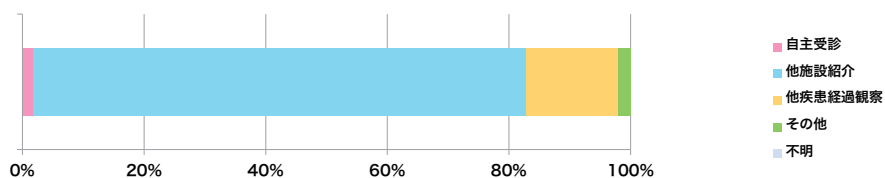
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	94 (5.9%)
自施設診断・自施設治療開始	604 (38.2%)
自施設診断・自施設治療継続	3 (0.2%)
他施設診断・自施設治療開始	655 (41.5%)
他施設診断・自施設治療継続	23 (1.5%)
初回治療終了後	188 (11.9%)
その他	13 (0.8%)
合計	1,580 (100.0%)



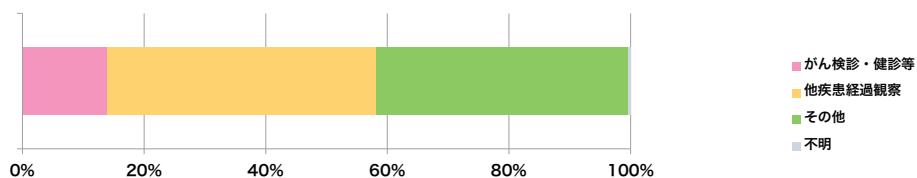
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	23 (1.8%)
他施設紹介	1,020 (81.0%)
他疾患経過観察	190 (15.1%)
その他	26 (2.1%)
不明	0 (0.0%)
合計	1,259 (100.0%)

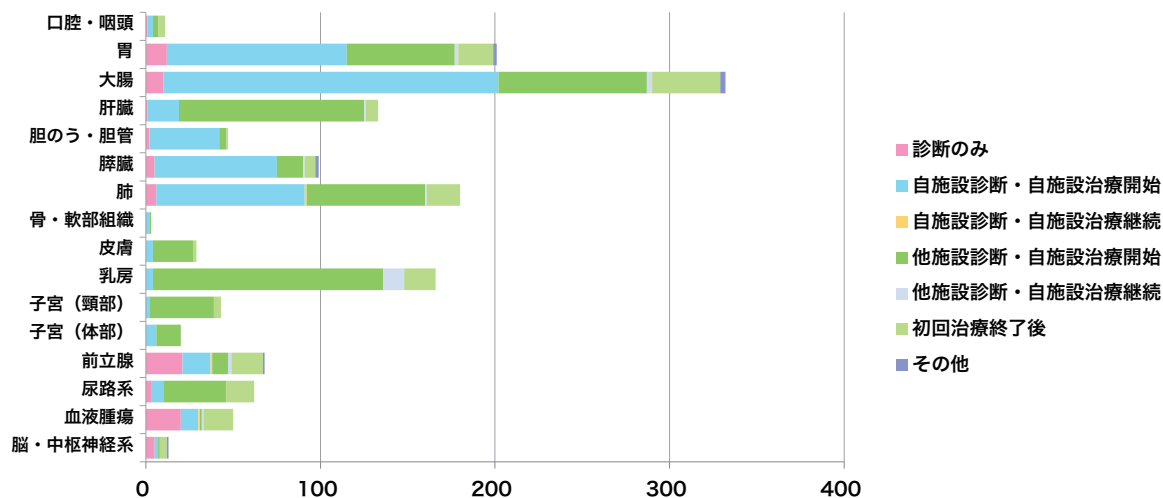


発見経緯別 初回治療数と登録割合

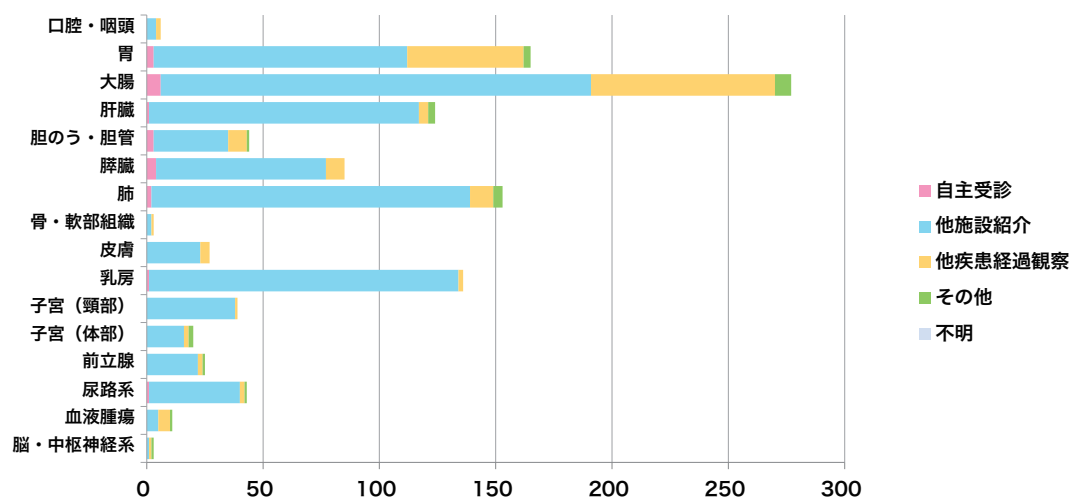
	登録数
がん検診・健診等	176 (14.0%)
他疾患経過観察	556 (44.2%)
その他	521 (41.4%)
不明	6 (0.5%)
合計	1,259 (100.0%)



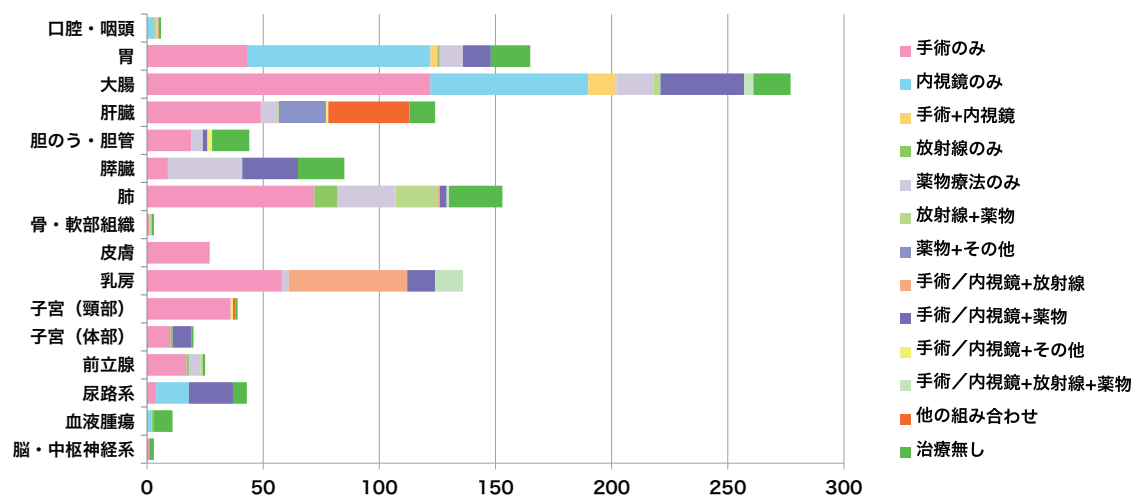
部位別 症例区分別 全登録数



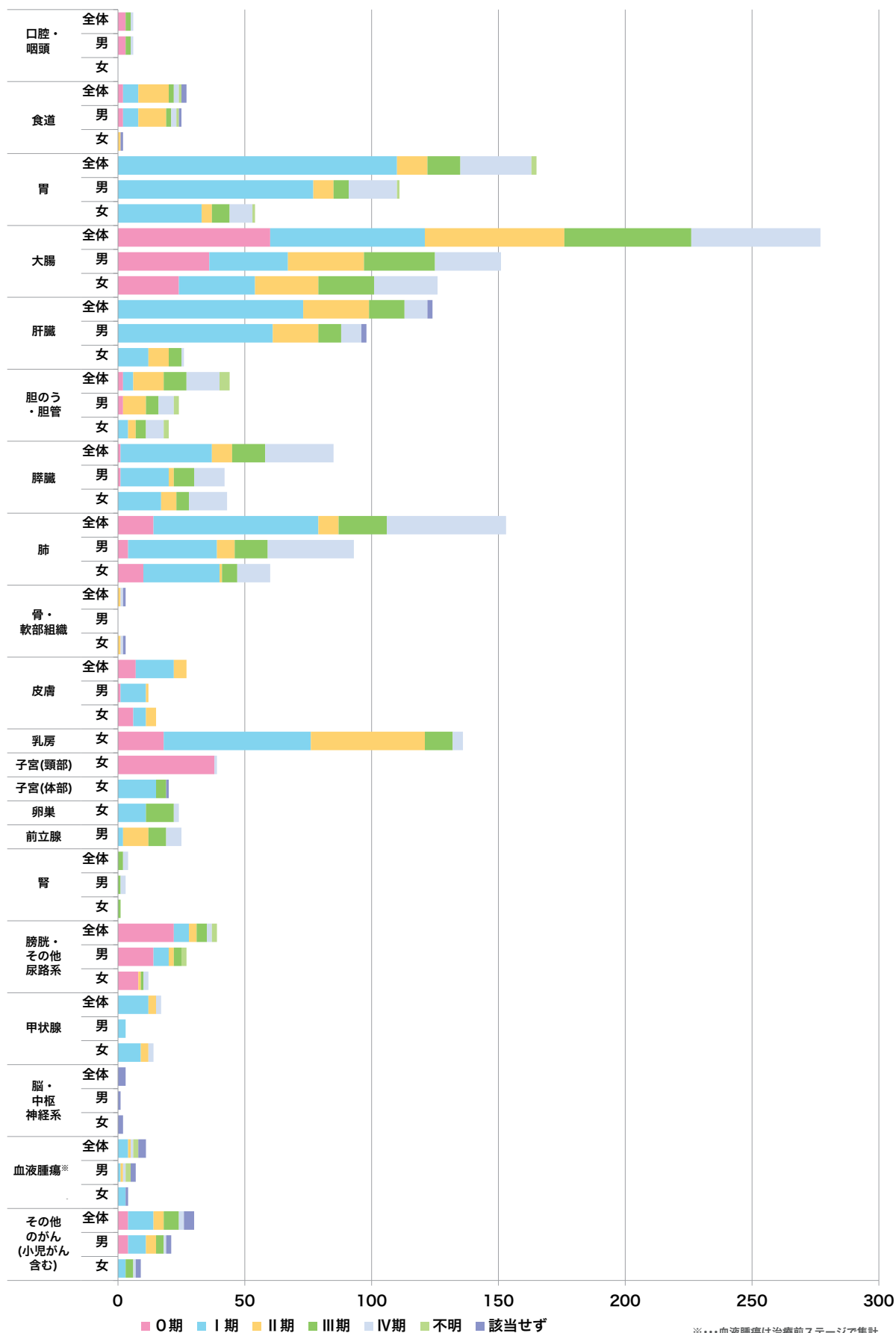
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,410	89.2%	岡山市	1,127
			玉野市	19
			備前市	47
			瀬戸内市	40
			赤磐市	134
			和気郡和気町	25
			加賀郡吉備中央町	18
県南西部保健医療圏	50	3.2%	倉敷市	26
			笠岡市	10
			井原市	1
			総社市	8
			浅口市	3
			都窪郡早島町	1
			浅口郡里庄町	1
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	26	1.6%	高梁市	9
			新見市	17
真庭保健医療圏	10	0.6%	真庭市	10
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	51	3.2%	津山市	19
			美作市	11
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	3
			勝田郡奈義町	3
			英田郡西栗倉村	0
			久米郡久米南町	6
			久米郡美咲町	9
県外	33	2.1%		33
			合計	1,580

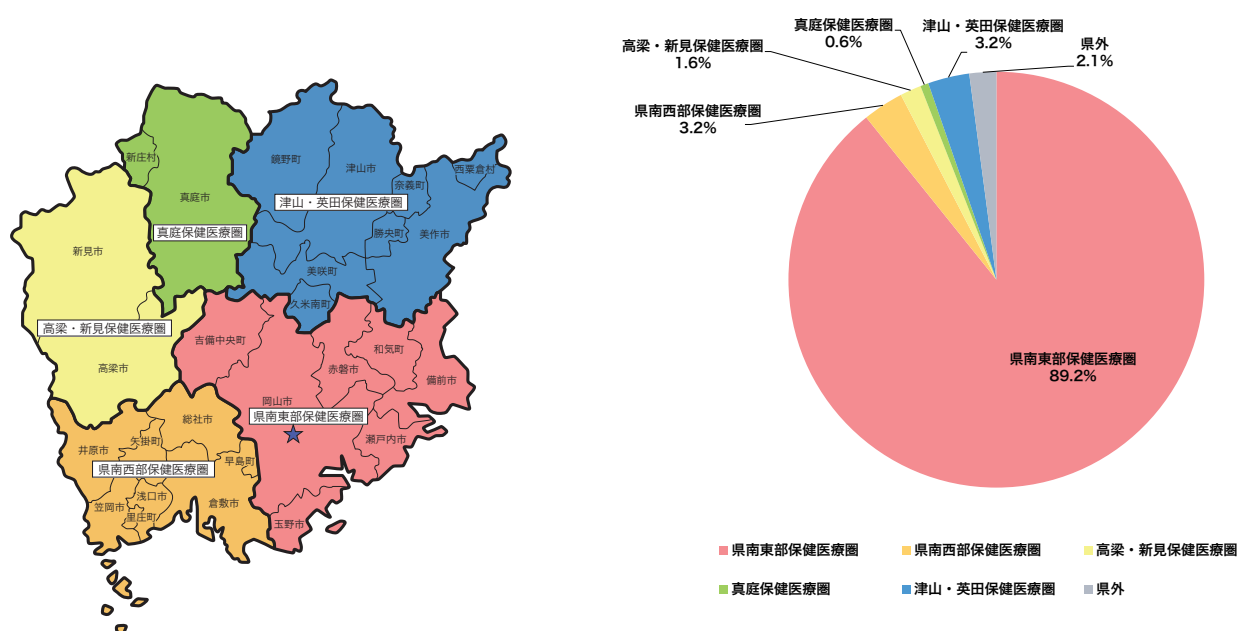
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
89.2%

県内担当医療圏外の割合
8.7%

県外患者住所の割合
2.1%



岡山赤十字病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山赤十字病院
所 在 地	〒700-8607 岡山県岡山市北区青江 2-1-1
電話（代表）	086-222-8811
ホームページ	https://www.okayama-med.jrc.or.jp/
交通アクセス	岡山駅より車で約 15 分、バスで約 20 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	総合内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、肝臓内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、緩和ケア科、膠原病・リウマチ内科、脳卒中科、精神神経科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、脳血管治療外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、形成外科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック科、歯科、救急科、病理診断科 合計 35 診療科		
病 床 数※1	500 床	平均在院日数※2	10.4 日
入院患者延べ数※3	138,943 人	外来患者延べ数※4	280,136 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※1	実務者 7 名（中級者 4 名 初級者 3 名）		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

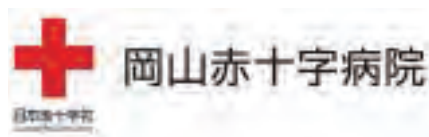
※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-222-8827
対応時間	月～金 9：00～12：00 と 13：00～16：00
ホームページ	https://www.okayama-med.jrc.or.jp/category/center_cancerSupport/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	☐
院内図書館	☐





岡山赤十字病院 院長

辻 尚 志

地域がん診療連携拠点病院としての基本方針

岡山赤十字病院は、基幹災害拠点病院・救命救急センター・地域がん診療連携拠点病院という3つの柱に加えて、患者さんのニーズに合わせて様々な疾患・症状に対応できるよう、36の診療科を構えて病院機能の充実を図っています。

「信頼され親しまれる病院に」という理念のもと、地域の『マザーホスピタル』として愛と心がかよう医療を提供していきます。

がん診療・治療の特徴

地域がん診療連携拠点病院として、高度な医療の提供とともに、チーム医療によるがん診療の充実と患者さんのトータルケアを目指しています。

院内にがんセンターを設置しており、遺伝子検査を含めた正確な組織診断とエビデンスに基づいて質の高い、そして個々の患者さんに合わせた最適な医療を行っています。

また、令和4年6月よりがんゲノム外来を開設しています。当院でのIC・患者登録と検査の後、情報は岡山大学病院がんゲノムセンターと共有され、適切な治療の検討とエキスパートパネルが行われます。当院でのがん腫では膵がんが多く、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、前立腺がん、卵巣がん、原発不明がん等が登録されており、今後も登録数増加を見込んでいます。

手術においては、鏡視下手術を積極的に行っておりますが、ダヴィンチ手術も行っています。合併症等の対応が難しい症例に対しても、36診療科の総合力で必要に応じた積極的な治療を実施しています。

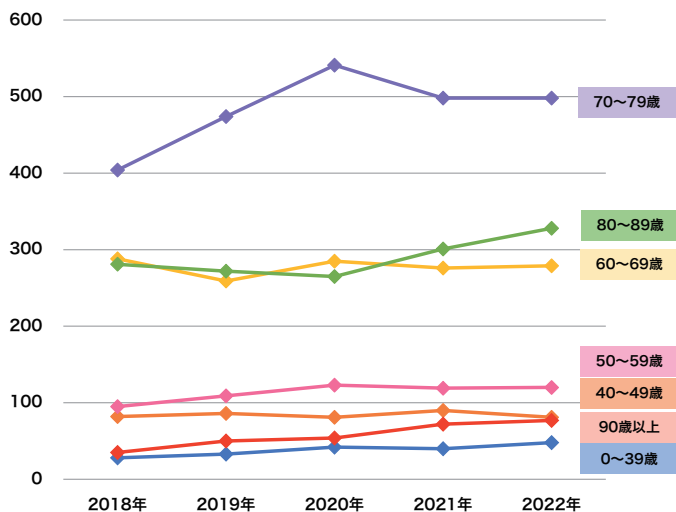
外来化学療法室では、患者さんが社会生活を維持しながらQOLを損なうことなく治療に専念できる環境を整え、年間約5,100件の治療を行っています。また、放射線治療室ではリニアックでIMRT、SBRTなども実施しており、約1,700件の入院治療と約2,400件の外来治療を行っています。

独立型緩和ケア病棟では、多職種で患者さんのサポートを行い、がんの進行によって生じる身体的な辛さ、精神的な辛さを和らげながら生きることを考える治療とケアを提供しています。また、地域の先生方との連携を重要視しながら、患者さんが病院と家を行き来できる関係を築いており、その時々体調に適した生活の場を一緒に考えていきます。暮らしやすい場所でその人らしく生きることを大事にして、地域住民のより良い生活を支えていくことを使命と考えています。

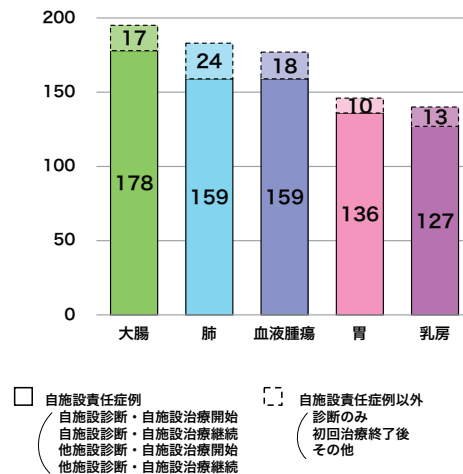
今後の課題と展望

がんで命を落とす人を少しでも減らせるように、がん検診体制のさらなる充実と、住民への啓発活動を継続し、有効な新規治療も積極的に取り入れていきます。そして、仮にがんに罹患したとしても高度医療の提供とガイドラインに準じた標準治療を実践します。さらに治療と生活の両立に向けた支援をすべく、患者サポートセンター内のがん相談支援センターにて、就労を含む療養環境の相談・調整などを行い、AYA世代のがん患者さんの支援においても、令和6年4月よりAYA世代支援チームを発足させ活動を開始しています。今後もこれらの窓口のさらなる充実が重要と考えます。

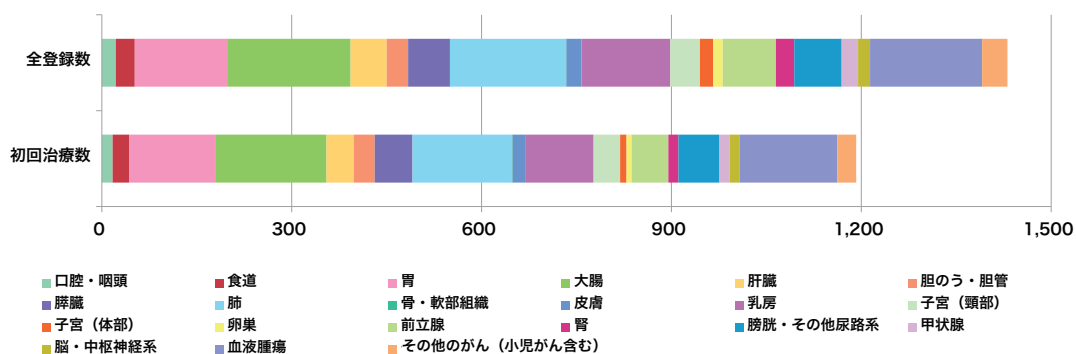
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



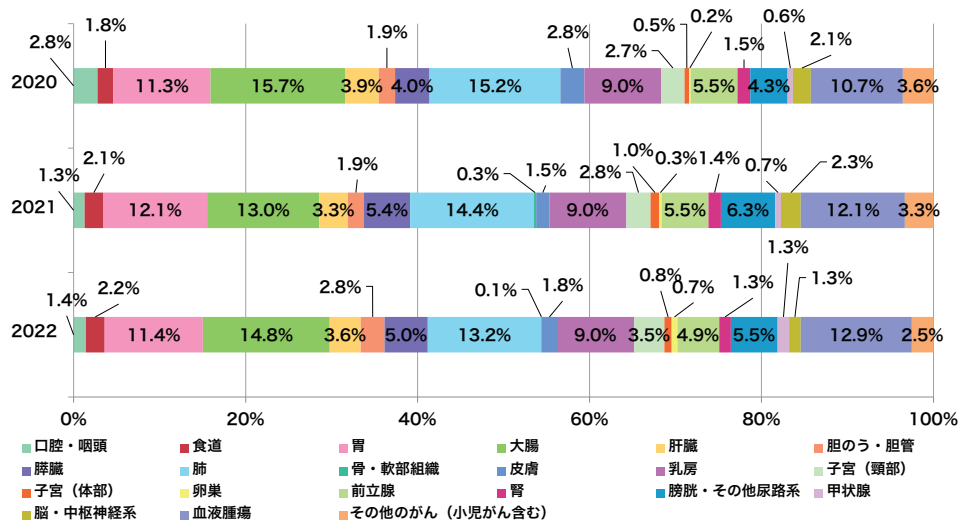
全登録数・初回治療数



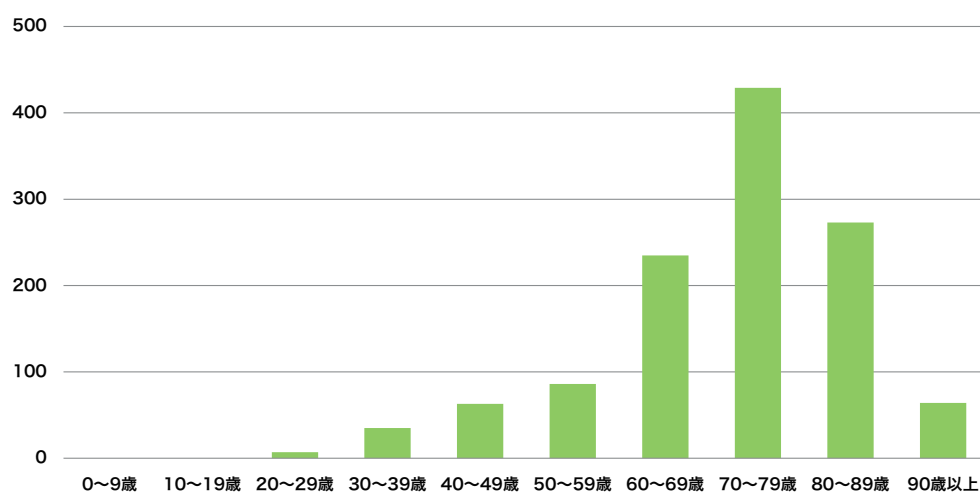
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

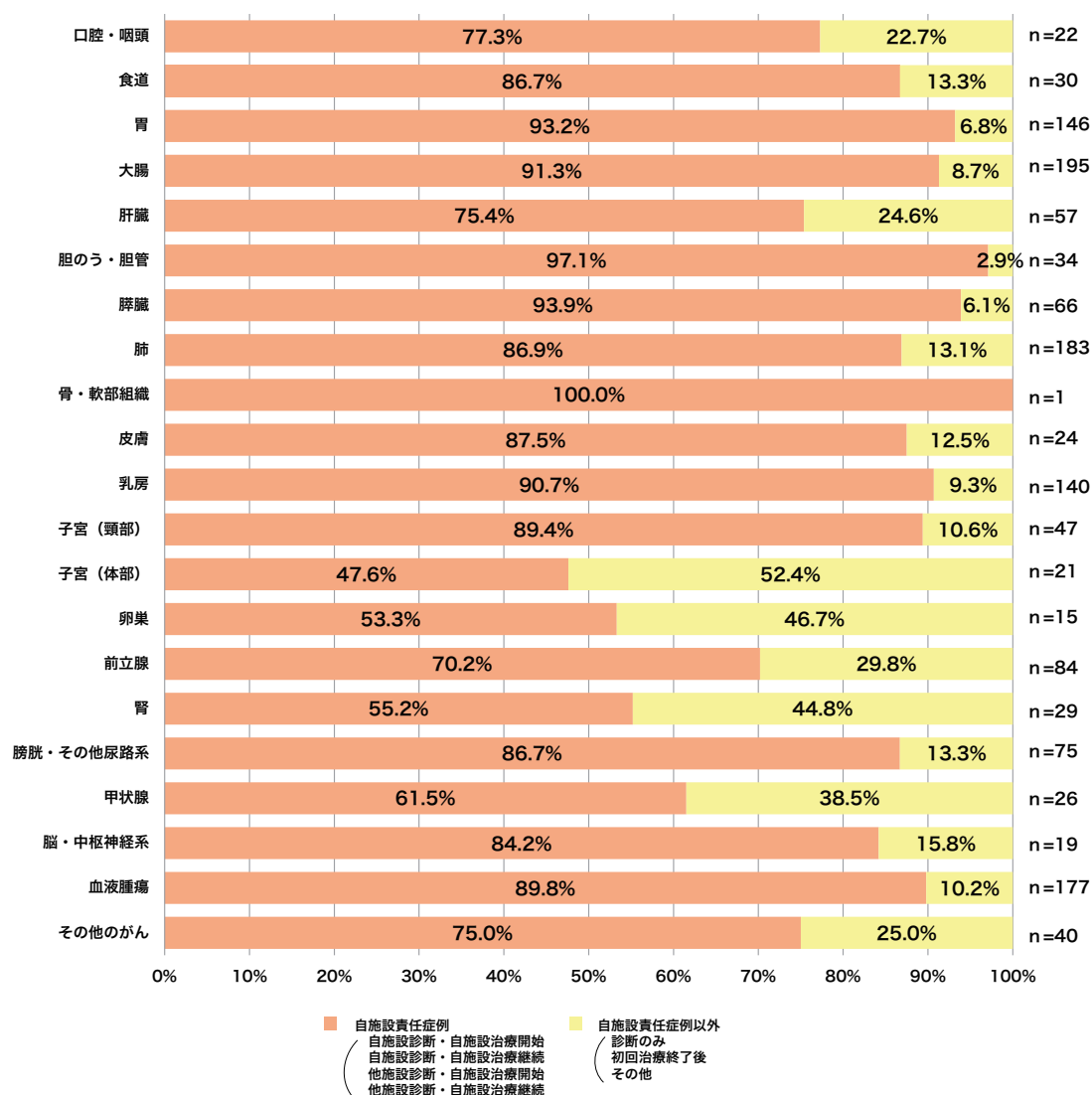
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

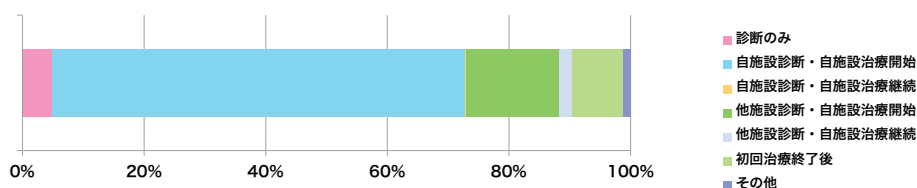


症例区分 部位別の責任症例の割合



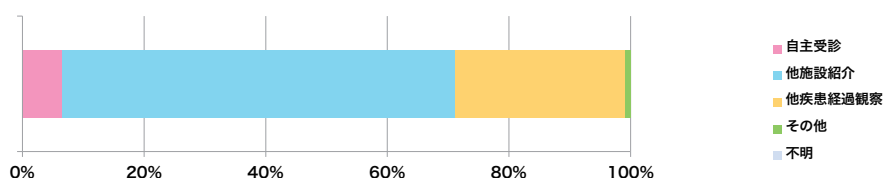
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	70 (4.9%)
自施設診断・自施設治療開始	973 (68.0%)
自施設診断・自施設治療継続	1 (0.1%)
他施設診断・自施設治療開始	219 (15.3%)
他施設診断・自施設治療継続	31 (2.2%)
初回治療終了後	120 (8.4%)
その他	17 (1.2%)
合計	1,431 (100.0%)



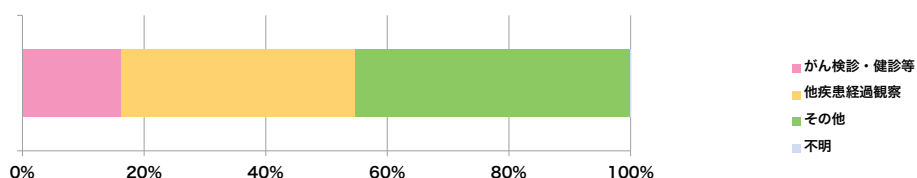
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	78 (6.5%)
他施設紹介	771 (64.7%)
他疾患経過観察	332 (27.9%)
その他	11 (0.9%)
不明	0 (0.0%)
合計	1,192 (100.0%)

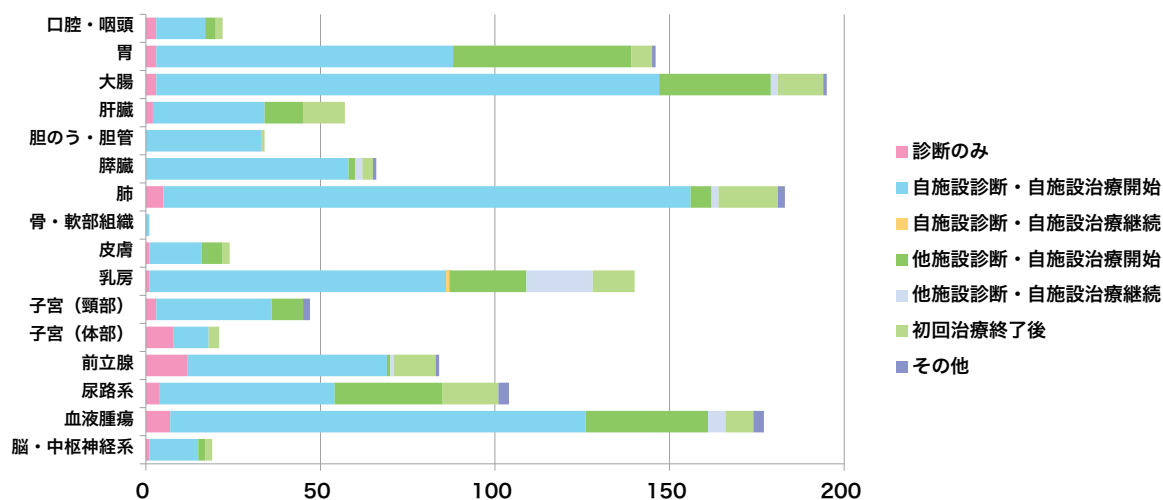


発見経緯別 初回治療数と登録割合

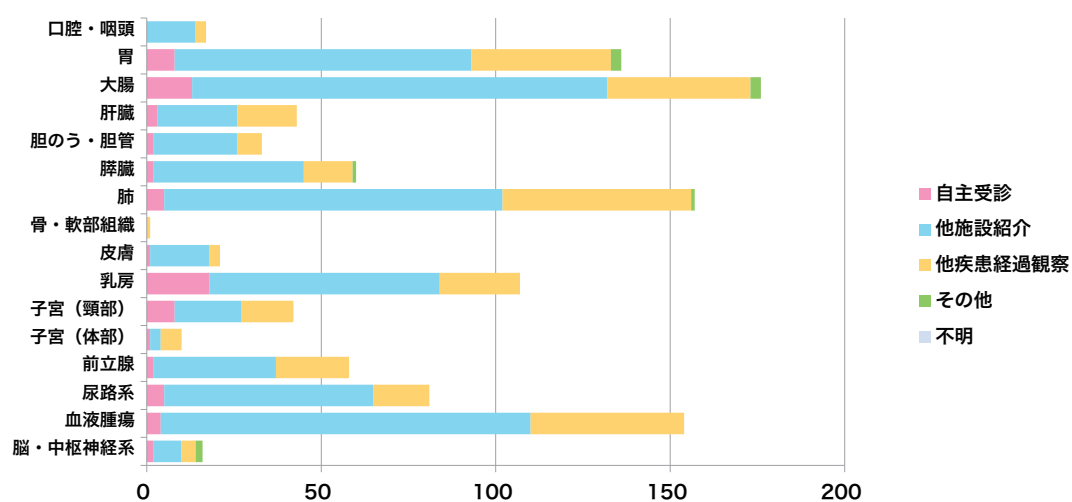
	登録数
がん検診・健診等	193 (16.2%)
他疾患経過観察	460 (38.6%)
その他	538 (45.1%)
不明	1 (0.1%)
合計	1,192 (100.0%)



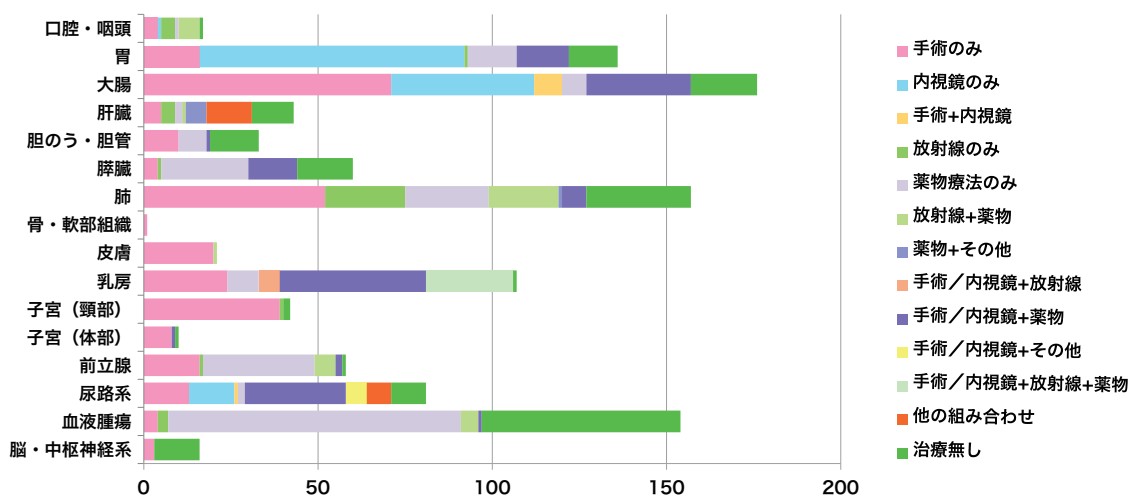
部位別 症例区分別 全登録数



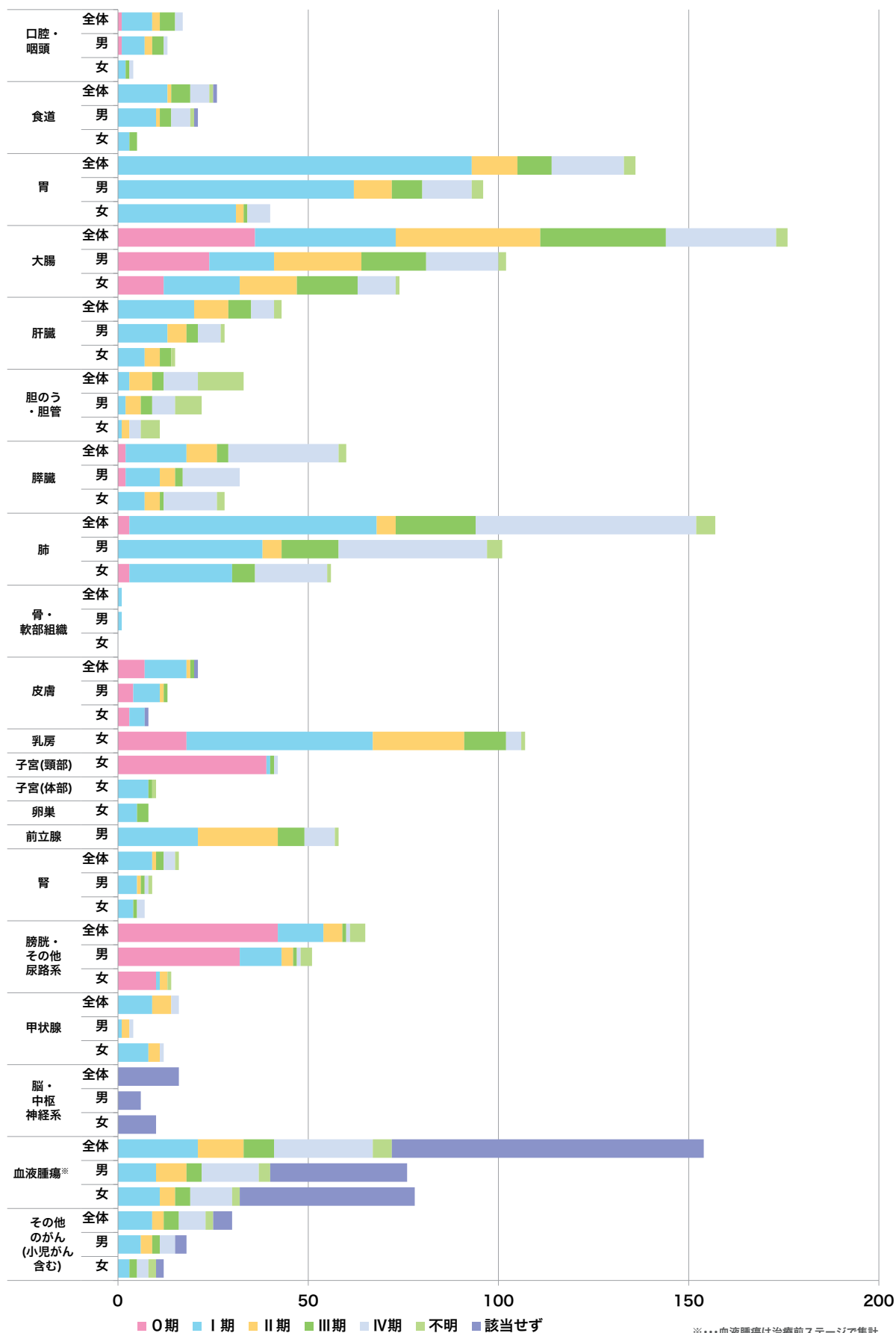
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※...血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,375	96.1%	岡山市	1,004
			玉野市	203
			備前市	50
			瀬戸内市	93
			赤磐市	17
			和気郡和気町	5
			加賀郡吉備中央町	3
県南西部保健医療圏	29	2.0%	倉敷市	25
			笠岡市	1
			井原市	1
			総社市	1
			浅口市	0
			都窪郡早島町	1
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	2	0.1%	高梁市	2
			新見市	0
真庭保健医療圏	1	0.1%	真庭市	1
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	7	0.5%	津山市	2
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	1
			勝田郡勝央町	4
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	0
県外	17	1.2%		17
			合計	1,431

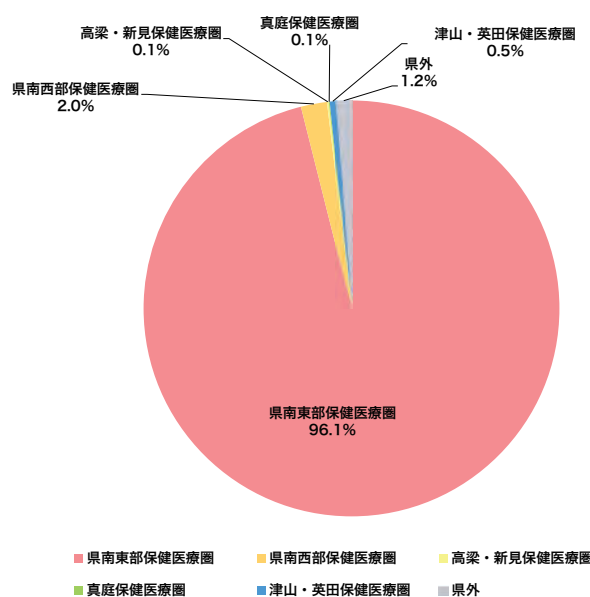
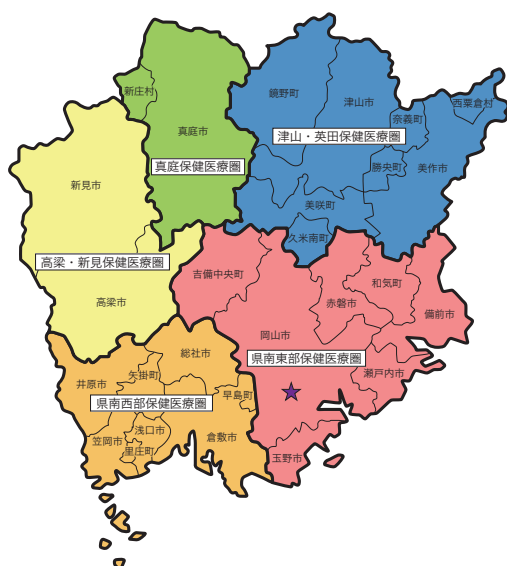
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
96.1%

県内担当医療圏外の割合
2.7%

県外患者住所の割合
1.2%



岡山医療センター

基 本 情 報

病 院 名	岡山医療センター
所 在 地	〒701-1192 岡山県岡山市北区田益 1711-1
電話（代表）	086-294-9911
ホームページ	https://okayama.hosp.go.jp
交通アクセス	バスの場合、岡山駅より約 25 分 車の場合、山陽自動車道 岡山インターより約 2 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内

診 療 科※1	内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科、感染症内科、救急科、リウマチ科、小児神経内科 合計 33 診療科		
病 床 数※1	609 床	平均在院日数※2	10.4 日
入院患者延べ数※3	152,847 人	外来患者延べ数※4	173,653 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※1	実務者 2 名（中級者 1 名 初級者 1 名）		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談

名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-294-9911
対応時間	9：00～17：00
ホームページ	https://okayama.hosp.go.jp/cancer/counter/

患者さん・ご家族用の設備

交流の場（がん患者サロンなど）	☐
院内図書館	☐





岡山医療センター 院長

柴 山 卓 夫

岡山医療センターは県南東部及び北部真庭保健医療圏の医療を支える、全 33 診療科を有する総合病院です。平成 20 年に「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、地域におけるがん診療連携体制の構築、相談支援及び情報提供等に取り組んでいます。

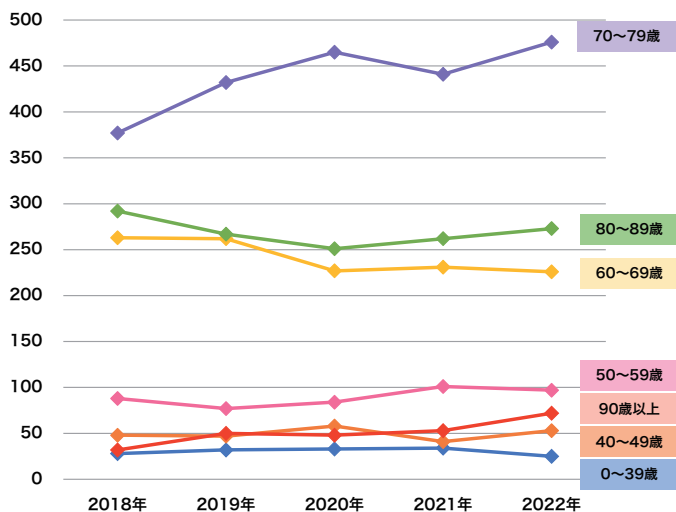
当院ではがん専門医が多種多様ながんに対して先進的で高度な診療に取り組んでいます。令和 2 年に岡山大学病院の協力病院として、がんゲノム医療連携病院の指定を受け、がん遺伝子パネル検査に基づいたがんゲノム医療を推進しています。また、令和 3 年度から小児内科の専門医を迎え、小児外科とタイアップして小児領域でのがん診療にも注力し、小児・AYA 世代のがんへの取り組みも積極的に行っています。さらに、令和 5 年 11 月に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入、ロボット支援下手術を開始し、患者さんの病態にあわせた安全かつ精密な手術が提供可能となりました。放射線治療に関しても、これまでの体幹部定位放射線治療に加え、令和 7 年度からは強度変調放射線治療を実施する予定です。

第 4 期がん対策推進基本計画においてはサバイバーシップ支援が追加されました。「がん相談支援センター」ではがんに関する様々な情報提供や、患者さんやご家族の不安・悩みなどに対応し、交流や情報交換の場として「ほのぼのサロン」を開設するとともに、妊孕性についての情報発信を行い、がん診療拠点病院生殖部会と連携し、妊孕性温存実施施設へと繋いでいます。就労支援に関しては、両立支援コーディネーター研修を受講したがん相談員を配置するとともに、令和元年より社会保険労務士の院内出張による就労継続支援や、ハローワーク岡山・岡山産業保健総合支援センターとの連携による再就職支援を行い、成果をあげています。また、患者さんに身近なアピアランス（特に脱毛・ウィッグ）相談についても、がん相談員がアピアランスケア研修を受講し、一人ひとりにあった具体的な助言に努め、相談件数が増加しています。

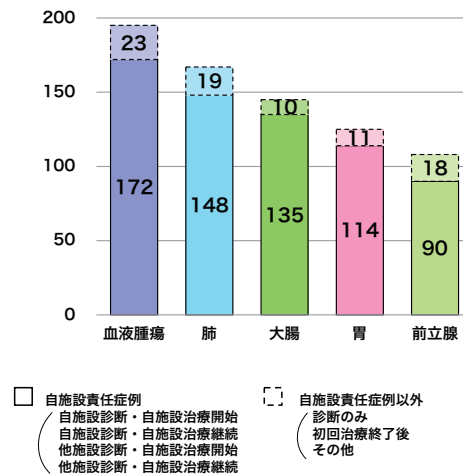
しかし、当院におけるがん診療の一番の特徴は、「がん診療を総合的に支える」の一言に尽きます。患者さんはがんを患っているだけでなく、多くの場合、循環器疾患や糖尿病など様々な疾患を併せ抱えています。そうした患者さんへのがん診療においては、専門的ながん診療だけでなく、様々な疾患を診療できる医療機関としての総合力が求められます。当院では総合病院の特長を生かして、各専門家が多種多様ながんに対して専門的な医療を行うのはもちろん、「緩和ケアチーム」を中心に患者さんの状態に応じて複数の診療科が協力し、最適な医療を提供できるよう努めています。

今後も一層先進的ながん診療に取り組みつつも、当院の理念である「今、あなたに、信頼される病院」をモットーに全人的な診療に力を注いでいきたいと思ひます。

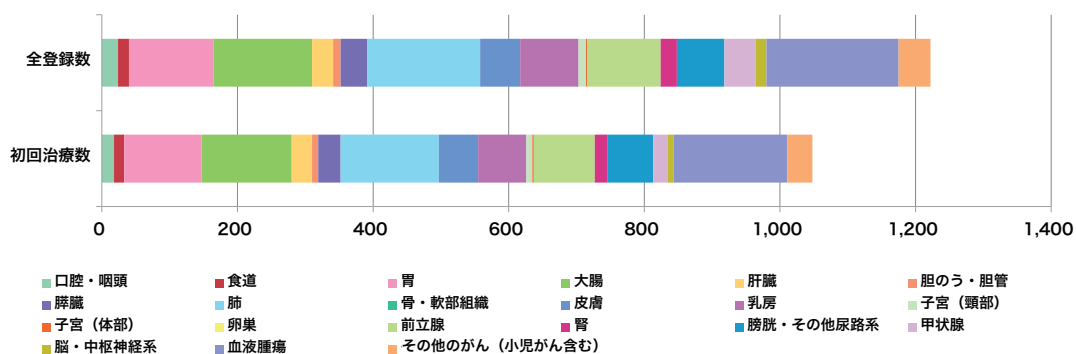
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



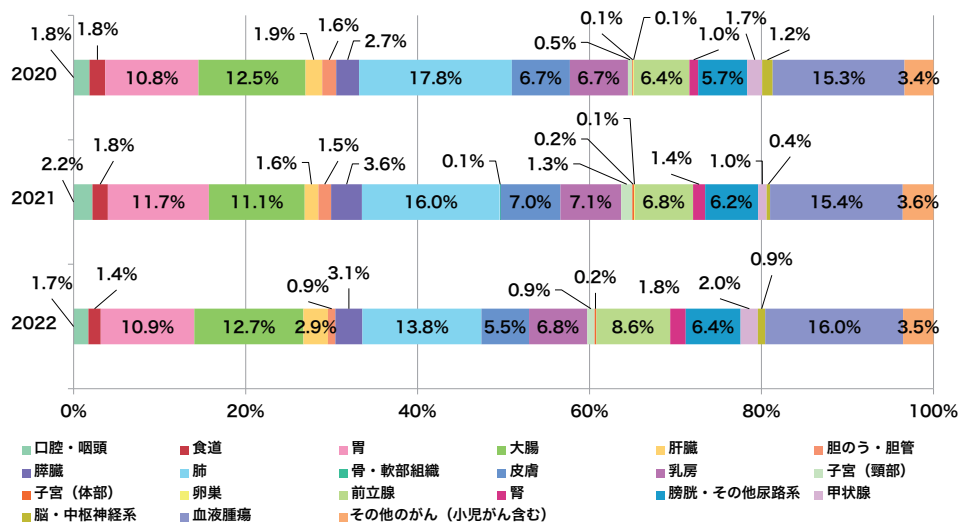
全登録数・初回治療数



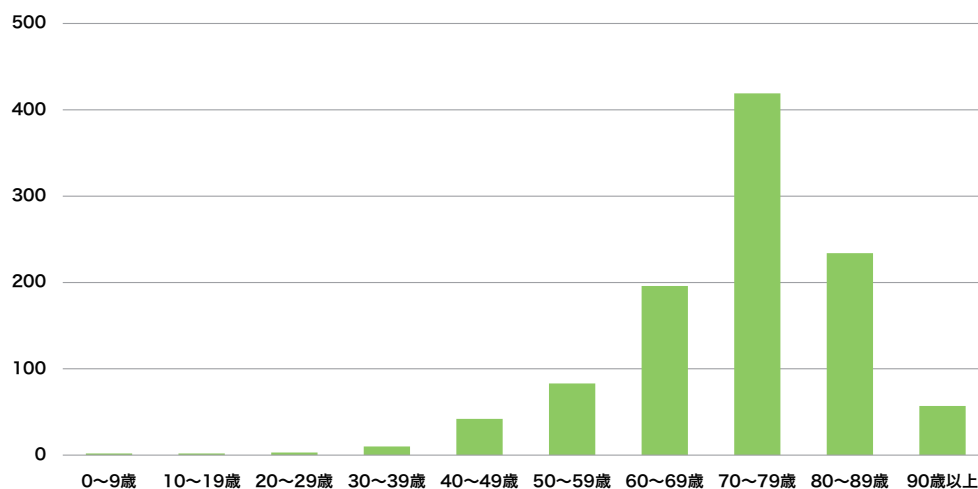
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

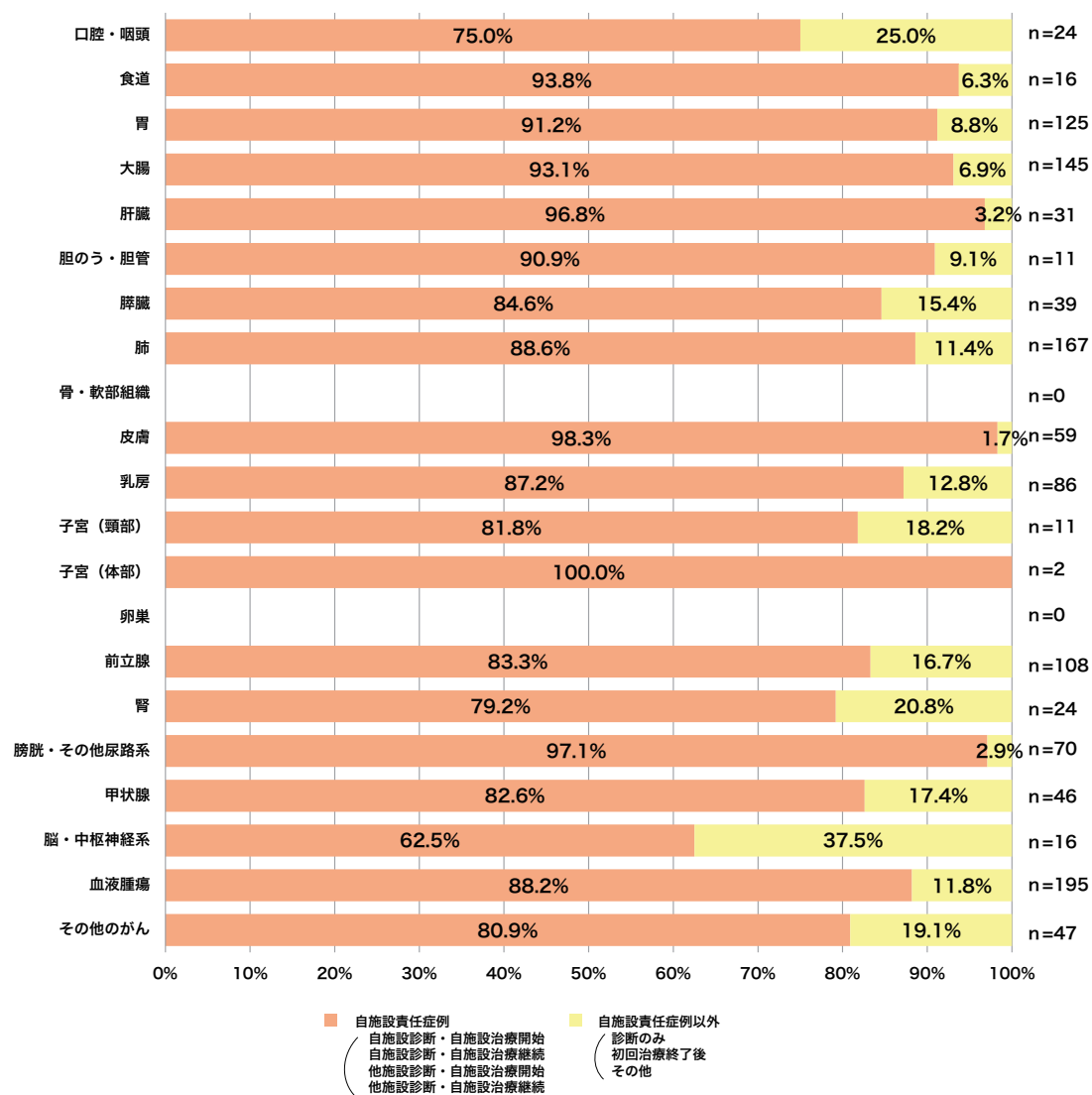
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

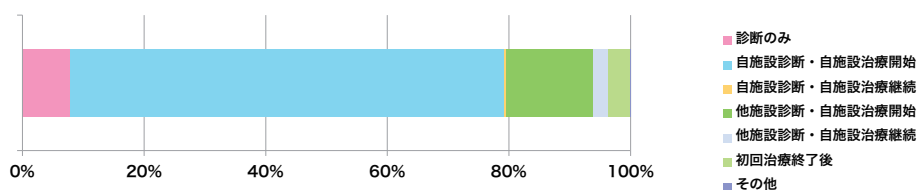


症例区分 部位別の責任症例の割合



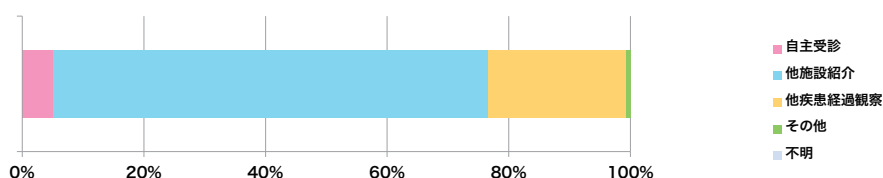
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	96 (7.9%)
自施設診断・自施設治療開始	873 (71.4%)
自施設診断・自施設治療継続	3 (0.2%)
他施設診断・自施設治療開始	175 (14.3%)
他施設診断・自施設治療継続	31 (2.5%)
初回治療終了後	43 (3.5%)
その他	1 (0.1%)
合計	1,222 (100.0%)



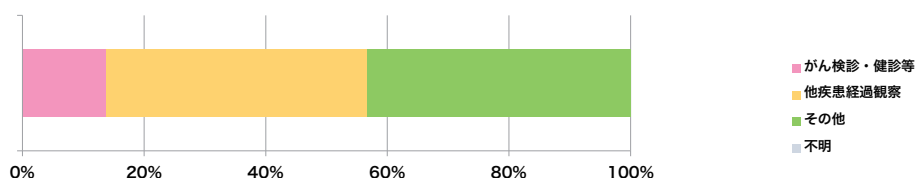
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	54 (5.2%)
他施設紹介	750 (71.6%)
他疾患経過観察	236 (22.5%)
その他	8 (0.8%)
不明	0 (0.0%)
合計	1,048 (100.0%)

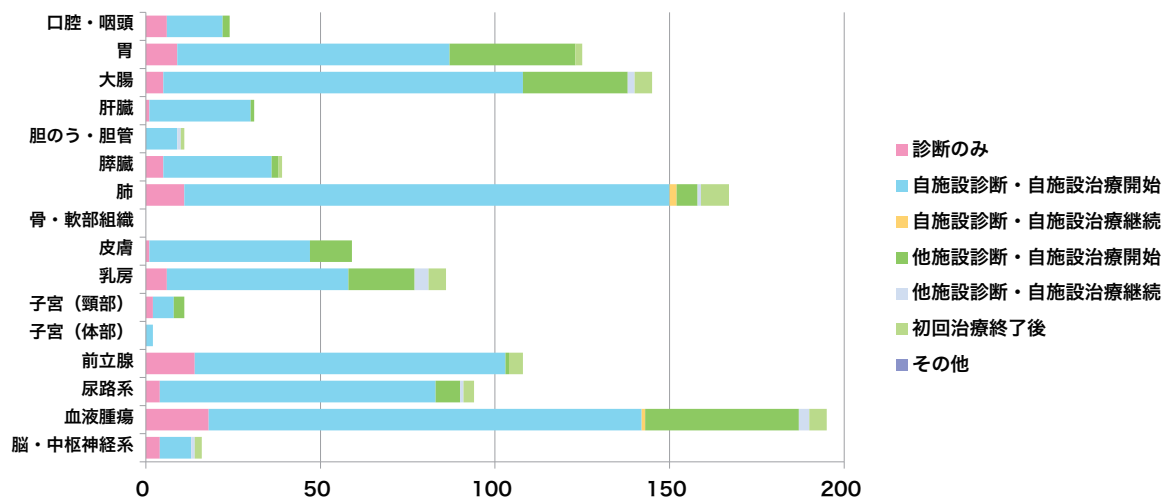


発見経緯別 初回治療数と登録割合

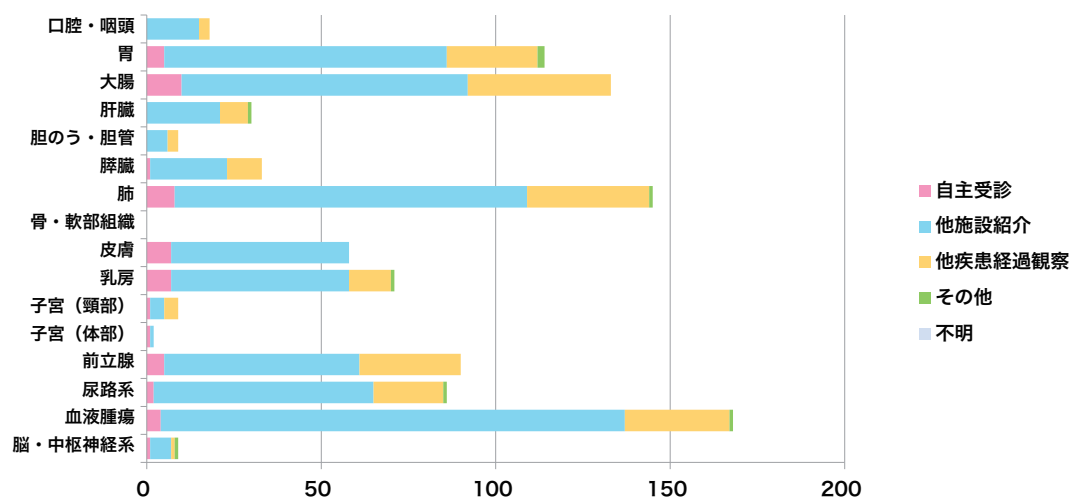
	登録数
がん検診・健診等	145 (13.8%)
他疾患経過観察	449 (42.8%)
その他	454 (43.3%)
不明	0 (0.0%)
合計	1,048 (100.0%)



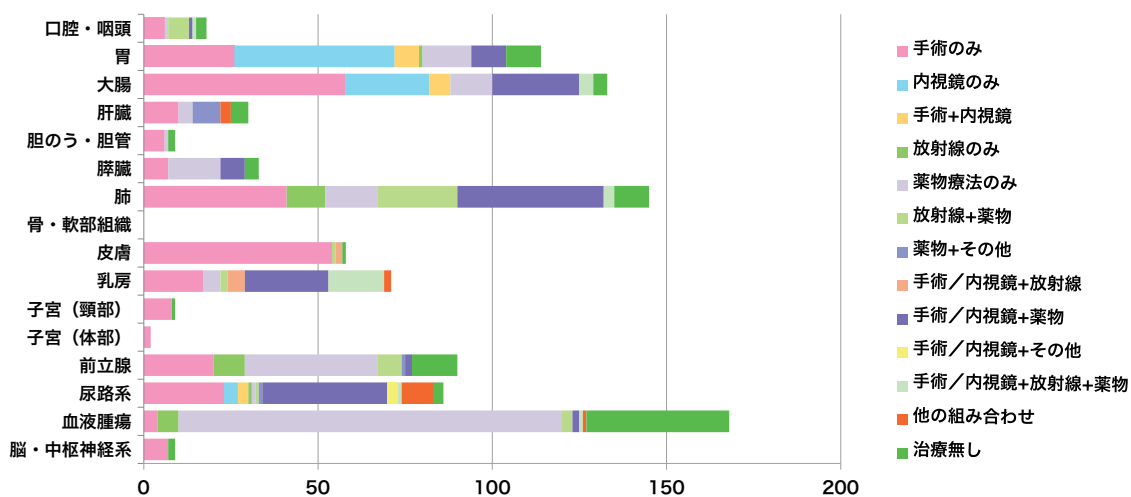
部位別 症例区分別 全登録数



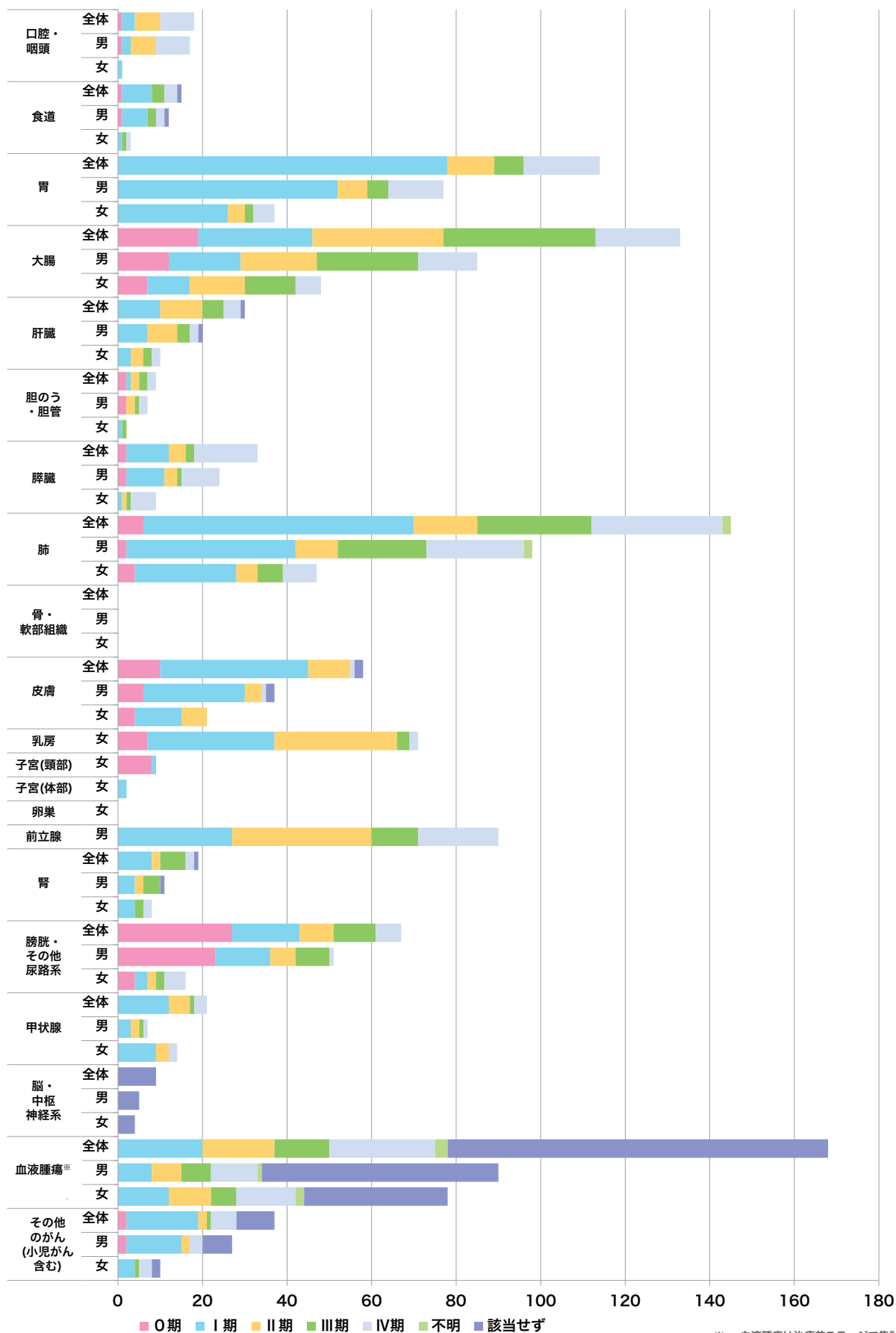
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部別別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※・・・血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	812	66.4%	岡山市	509
			玉野市	5
			備前市	50
			瀬戸内市	14
			赤磐市	96
			和気郡和気町	66
			加賀郡吉備中央町	72
県南西部保健医療圏	50	4.1%	倉敷市	22
			笠岡市	3
			井原市	3
			総社市	15
			浅口市	0
			都窪郡早島町	2
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	5
高梁・新見保健医療圏	37	3.0%	高梁市	12
			新見市	25
真庭保健医療圏	86	7.0%	真庭市	84
			真庭郡新庄村	2
津山・英田保健医療圏	186	15.2%	津山市	70
			美作市	21
			苫田郡鏡野町	18
			勝田郡勝央町	13
			勝田郡奈義町	6
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	25
			久米郡美咲町	33
県外	51	4.2%		51
			合計	1,222

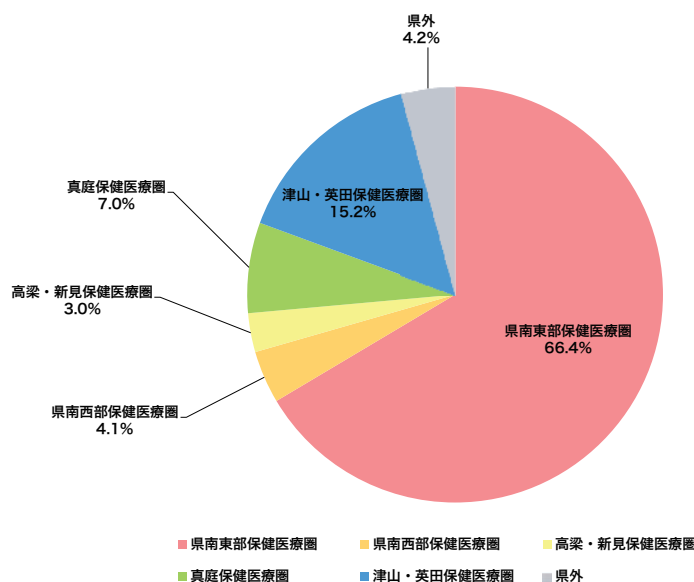
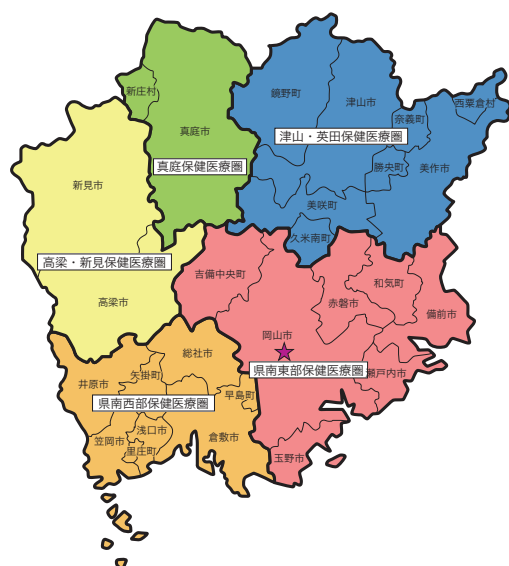
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
66.4%

県内担当医療圏外の割合
29.4%

県外患者住所の割合
4.2%



倉敷中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
所 在 地	〒710-8602 岡山県倉敷市美和 1-1-1
電話（代表）	086-422-0210
ホームページ	https://www.kchnet.or.jp/
交通アクセス	倉敷駅より徒歩 10 分、山陽自動車道倉敷 IC より車で 10 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、消化器内科、腫瘍内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、リウマチ科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、形成外科、美容外科、皮膚科、放射線診断科、放射線治療科、放射線科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア外科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、心臓血管外科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科 合計 41 診療科		
病 床 数※1	1,172 床	平均在院日数※2	11.5 日
入院患者延べ数※3	349,219 人	外来患者延べ数※4	626,442 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 6 名（中級者 4 名 初級者 1 名）		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-422-0210（内線 2960）
対応時間	月～金 9：00～17：00（休診日を除く）
ホームページ	https://www.kchnet.or.jp/departments/cancer_support_center/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	☐
院内図書館	☐



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院





倉敷中央病院 院長

寺 井 章 人

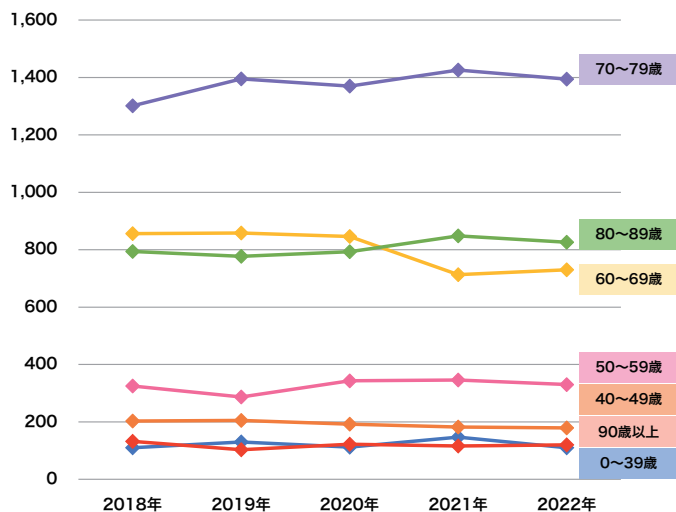
当院は、がん医療に関しては2003年に地域がん診療連携拠点病院に指定され、地域における専門的ながん医療の提供、地域の医療機関とのがん診療の連携協力、がん患者・家族や地域住民への相談支援および情報提供に取り組んできました。2018年にはがんゲノム医療連携病院の指定を受け、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院と連携して、がんゲノム医療を提供できる体制を構築しました。2015年にオンコロジーセンターを設立し、臨床腫瘍外来の運用および多診療科・多職種によるオンコロジーボードの定期的開催を開始しました（2024年は97件）。2021年に腫瘍内科主任部長がセンター長に就任してからは、オンコロジーサポートチームが発足し、がんゲノム外来、妊孕性温存、AYA支援、がん診療に関する地域連携など幅広く取り組んでいます。がん遺伝子パネル検査は徐々に増加し、2024年は88件実施しました。また、緩和医療については、2013年に稼働開始した緩和ケア病棟だけでなく、緩和ケアチームにより一般病棟においても質の高い緩和ケアを提供しています。さらにがん相談支援センター、がんサロン、就労支援や療養環境の相談なども行っています。

がんに対する標準的治療法として手術、放射線治療、化学療法の3つがあります。当院では2016年にロボット支援手術を導入し、現在はダヴィンチ Xi 2台体制で、保険適用となっている各種がんに対し2024年は約400件のロボット支援手術を行いました。放射線治療はリニアック3台体制で高精度放射線治療を実施しており、2024年は外来で6,173件、入院で5,306件の放射線治療を行いました。また、外来化学療法センターでは、患者さんが社会生活やQOLを維持しながら通院でがん化学療法を受けられる環境を整え、2024年には17,069件の外来化学療法を施行しました。2021年には血液がんに対するCAR-T療法も開始しました。

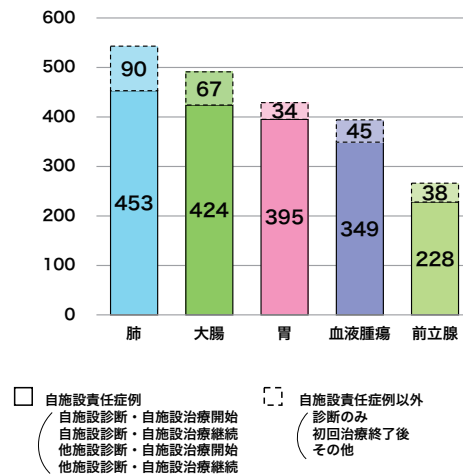
院内がん登録においては、当院のがん登録件数は、2018年3,721件、2019年3,755件、2020年3,778件、2021年3,788件、2022年3,689件とコロナ禍でも減少することなくほぼ一定しており、全国集計でも約850施設中20～25番目の症例数となっています。年齢別では70歳代が最も多くなっていますが、0～39歳の患者も増加しており、小児・AYA世代のがん診療も積極的に行っています。

当院は2023年に創立100周年を迎えました。創立者である大原孫三郎の想いを受け継ぎ、「患者本位の医療」、「全人医療」、「高度先進医療」の基本理念のもとに、質の高い高度先進医療、救命救急医療、予防・先制医療などを中心に、地域の皆さまの健康を支え、安心して暮らせる毎日を届けられるよう日々努力してまいります。

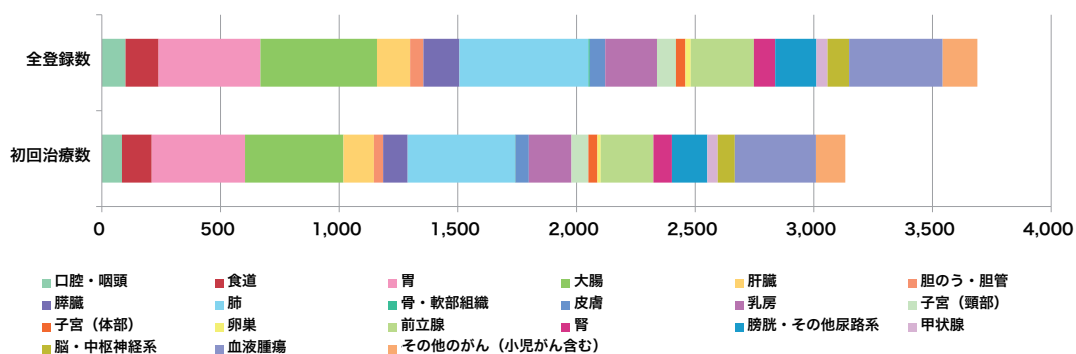
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



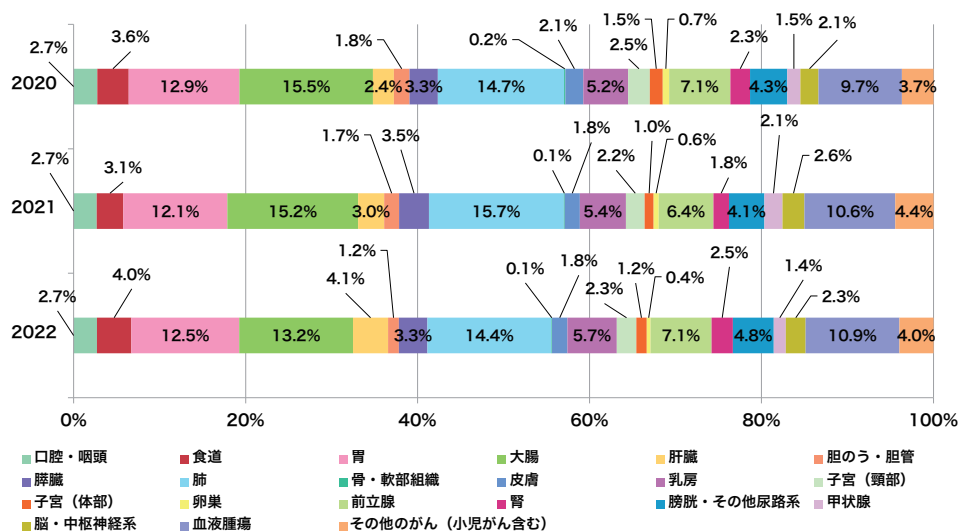
全登録数・初回治療数



全登録数・・・自施設における院内がん登録数

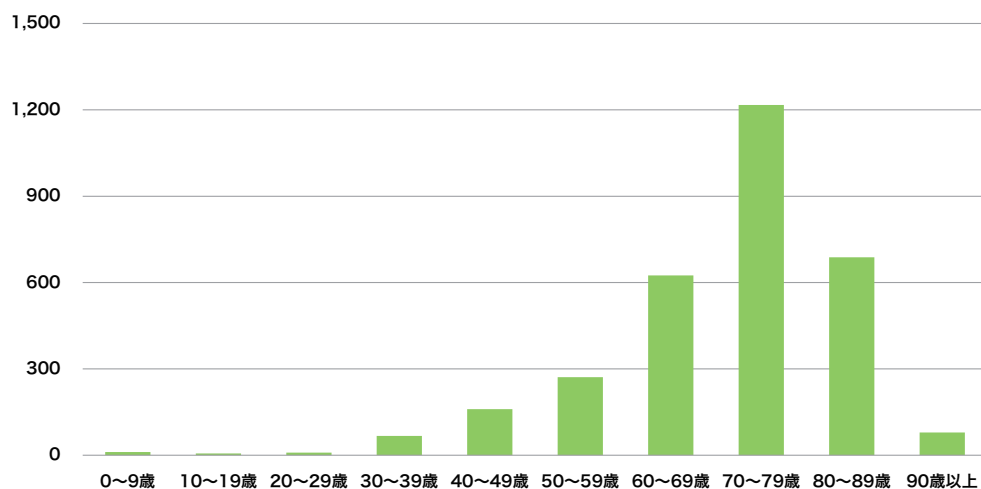
初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

初回治療数 臓器別割合

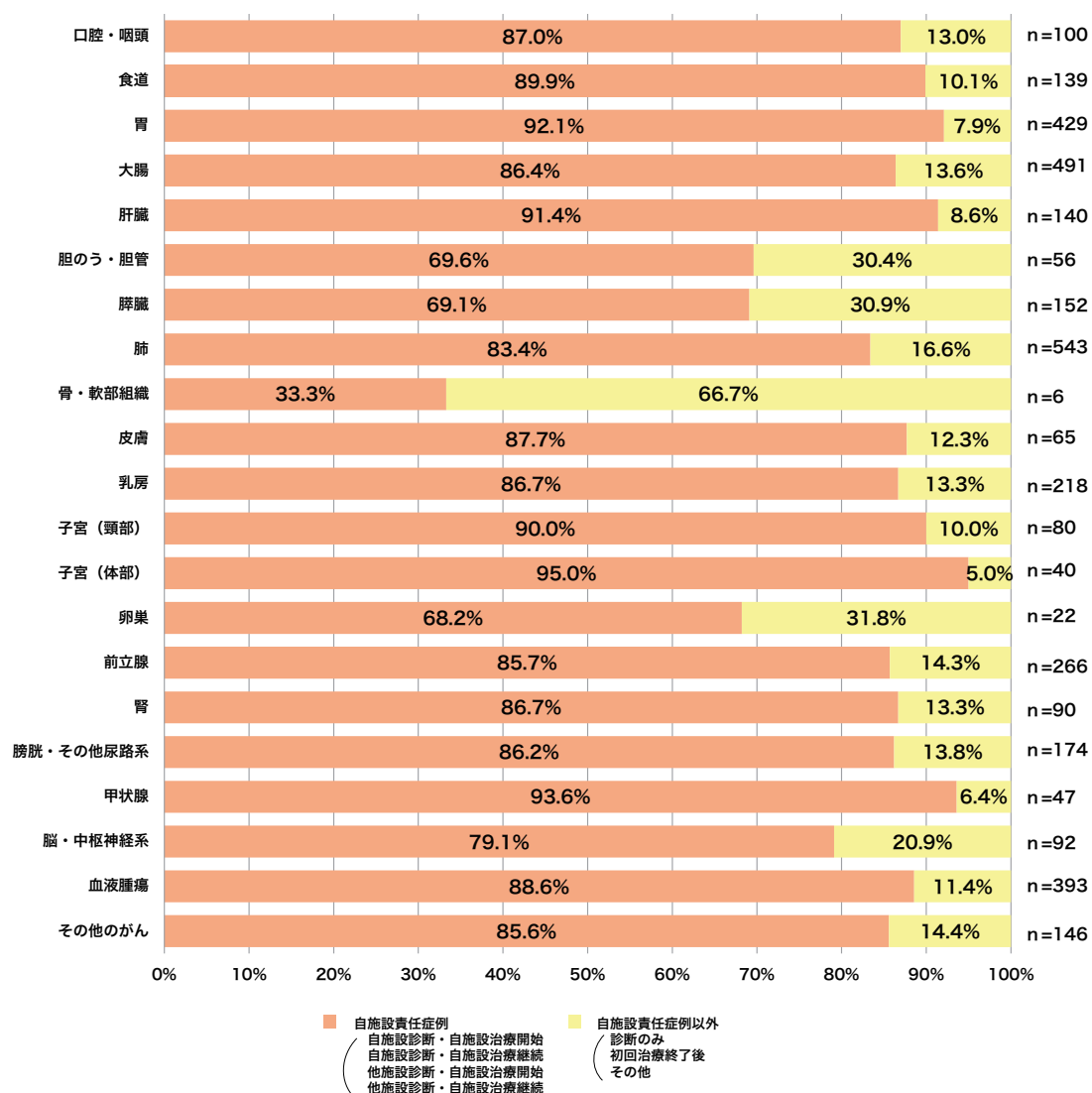


凡例: 口腔・咽頭, 食道, 胃, 大腸, 肝臓, 胆のう・胆管, 膵臓, 肺, 骨・軟部組織, 皮膚, 子宮(体部), 卵巣, 前立腺, 腎, 膀胱・その他泌尿系, 脳・中枢神経系, 血液腫瘍, その他のがん(小児がん含む), 甲状腺

年齢階級別 初回治療数

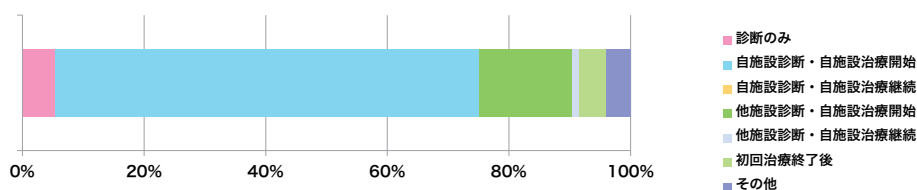


症例区分 部位別の責任症例の割合



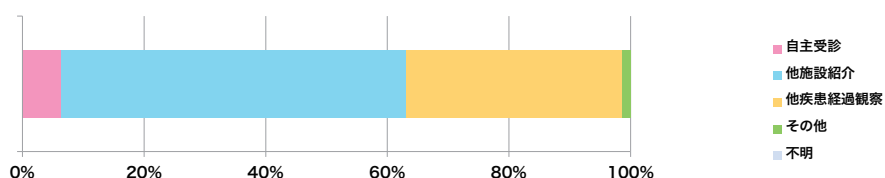
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	199 (5.4%)
自施設診断・自施設治療開始	2,572 (69.7%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	561 (15.2%)
他施設診断・自施設治療継続	42 (1.1%)
初回治療終了後	168 (4.6%)
その他	147 (4.0%)
合計	3,689 (100.0%)



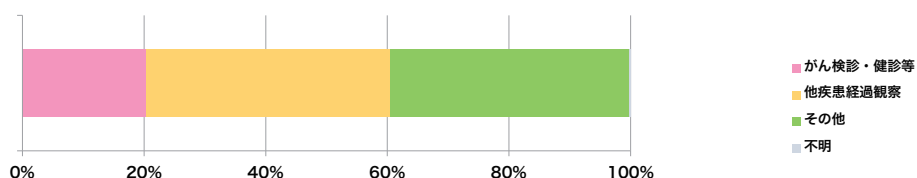
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	199 (6.4%)
他施設紹介	1,781 (56.8%)
他疾患経過観察	1,109 (35.4%)
その他	44 (1.4%)
不明	0 (0.0%)
合計	3,133 (100.0%)

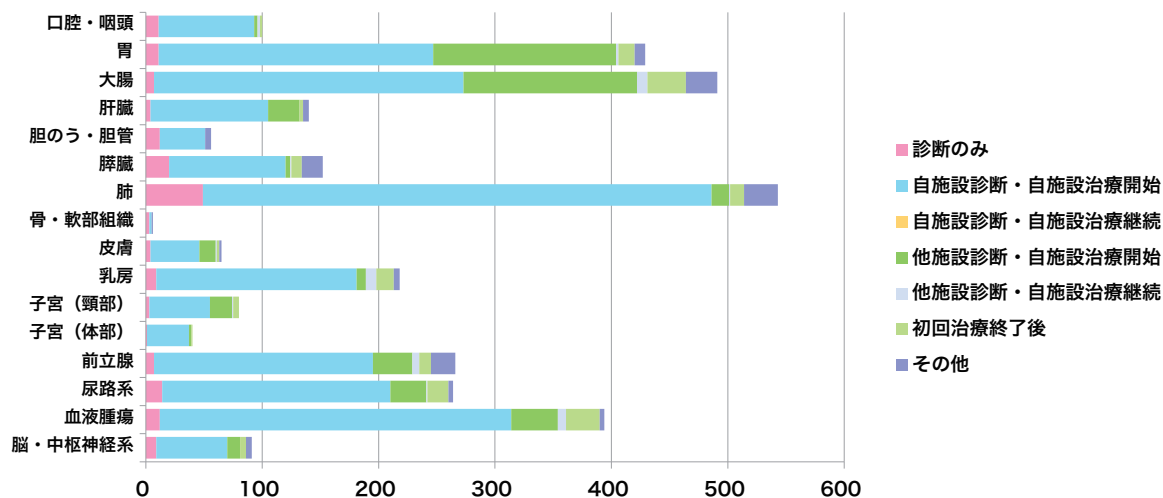


発見経緯別 初回治療数と登録割合

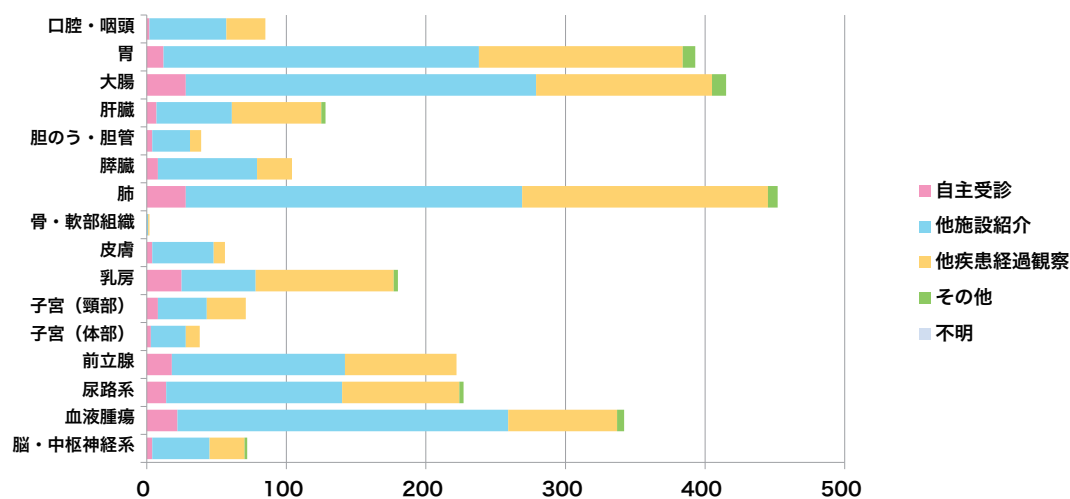
	登録数
がん検診・健診等	637 (20.3%)
他疾患経過観察	1,257 (40.1%)
その他	1,232 (39.3%)
不明	7 (0.2%)
合計	3,133 (100.0%)



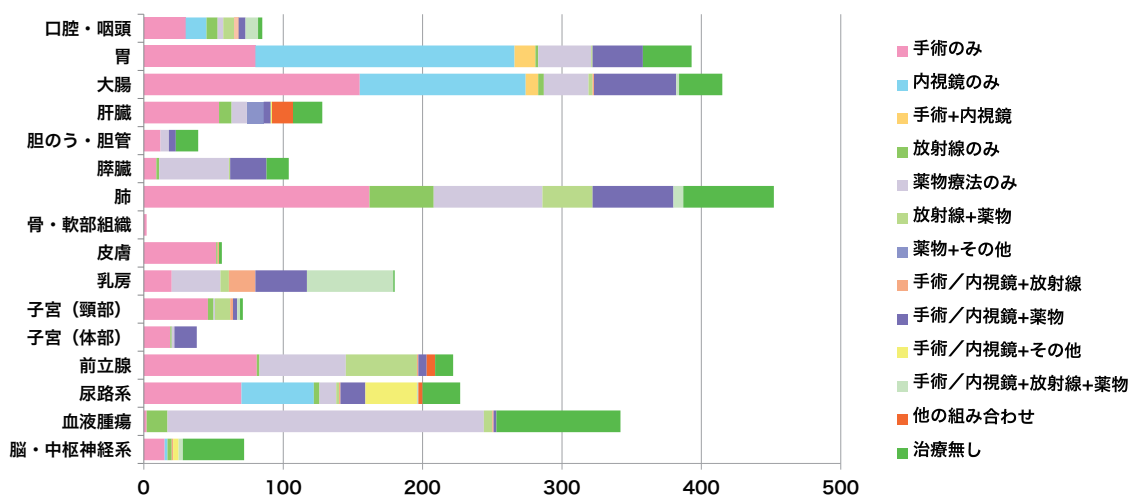
部位別 症例区分別 全登録数



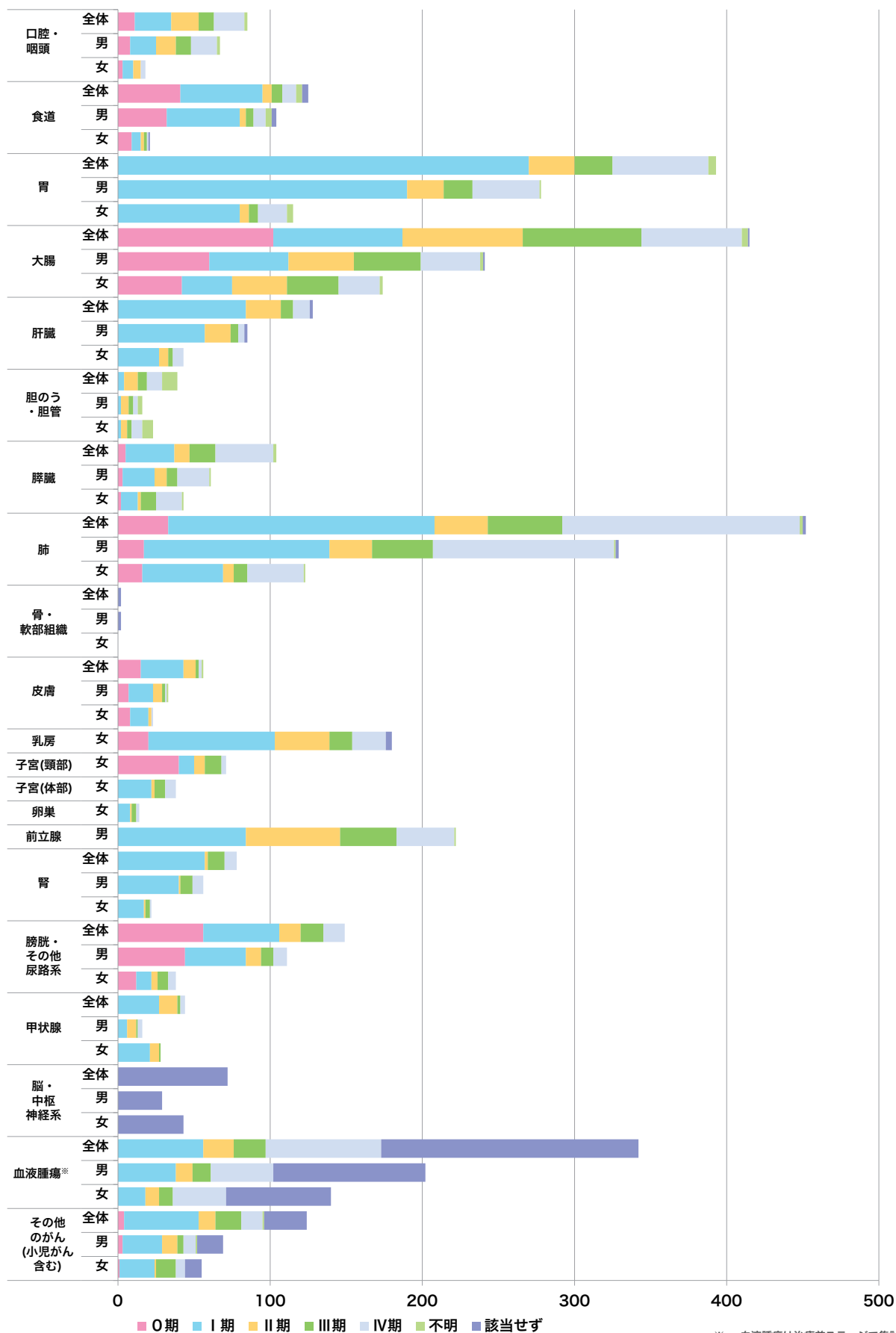
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※・・・血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	169	4.6%	岡山市	120
			玉野市	34
			備前市	5
			瀬戸内市	2
			赤磐市	2
			和気郡和気町	1
			加賀郡吉備中央町	5
県南西部保健医療圏	3,088	83.7%	倉敷市	2,203
			笠岡市	147
			井原市	72
			総社市	338
			浅口市	162
			都窪郡早島町	29
			浅口郡里庄町	61
			小田郡矢掛町	76
高梁・新見保健医療圏	203	5.5%	高梁市	113
			新見市	90
真庭保健医療圏	17	0.5%	真庭市	17
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	27	0.7%	津山市	20
			美作市	2
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	3
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	2
県外	185	5.0%		185
			合計	3,689

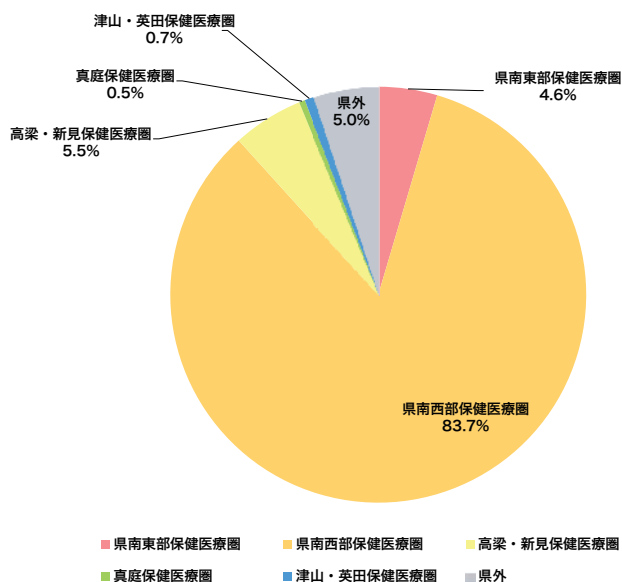
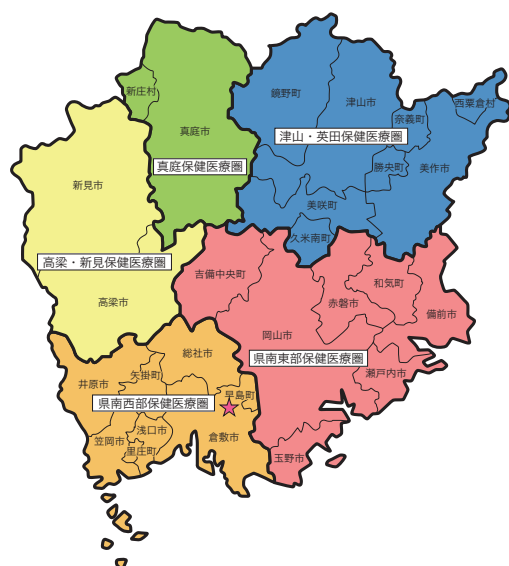
担当医療圏

担当医療圏
県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
83.7%

県内担当医療圏外の割合
11.3%

県外患者住所の割合
5.0%



川崎医科大学附属病院

基 本 情 報	
病 院 名	川崎医科大学附属病院
所 在 地	〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
電話（代表）	086-462-1111
ホームページ	https://h.kawasaki-m.ac.jp/
交通アクセス	JR 山陽本線・伯備線「中庄（なかしょう）駅」下車、徒歩 10 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	総合診療科、救急科、臨床感染症科、臨床腫瘍科、循環器内科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、腎臓内科、泌尿器科、血液内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、脳神経内科、脳卒中科、脳神経外科、心療科、小児科、小児外科、産婦人科、乳腺甲状腺外科、皮膚科、リウマチ・膠原病科、整形外科、形成外科・美容外科、リハビリテーション科、消化器内科、消化器外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、歯科・口腔外科、麻酔・集中治療科、放射線診断科、放射線治療科、健康診断センター 合計 34 診療科		
病 床 数※1	1,182 床	平均在院日数※2	12.8 日
入院患者延べ数※3	195,293 人	外来患者延べ数※4	353,730 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※1	実務者 5 名（中級者 5 名 初級者 0 名）		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-462-1111（内線 22616）
対応時間	平日 9：00～17：00、土曜日 9：00～12：30
ホームページ	https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/canc_02_05/feature_dtl/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	☐
院内図書館	☐





川崎医科大学附属病院 病院長

永井 敦

当院におけるがん診療

当院は1973（昭和48）年12月に開院し、50年が過ぎました。「医療は患者のためにある」という病院の基本理念を継承し、がんを含むすべての疾患に対してチーム医療を展開し、安心・安全な医療を心がけています。2008年には地域がん診療連携拠点病院に指定され、すべての領域のがん診療に対応できる体制を整備しています。

当院は外来と病棟が臓器疾患・機能別編成となっており、診療科間の垣根を低くし、がん診療においても良好な協力体制が構築されています。ロボット支援下手術は2017年に導入され、悪性腫瘍に対する治療は、前立腺がん、腎細胞がん、腎・尿管がん、膀胱がん、胃がん、直腸がん、そして子宮体がんに対して実績があります。2014年に造血細胞移植センターを開設、2018年にはがんゲノム医療連携病院、遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設に指定され、遺伝子情報に基づいた医療に対応しています。同年、緩和ケア病棟も開設しました。2020年にがんゲノム医療センターを設置しています。2023年には最新鋭の高精度X線治療装置を導入し、患者ごとに適した高精度の放射線治療も提供しています。

当院のがん登録（2022年）

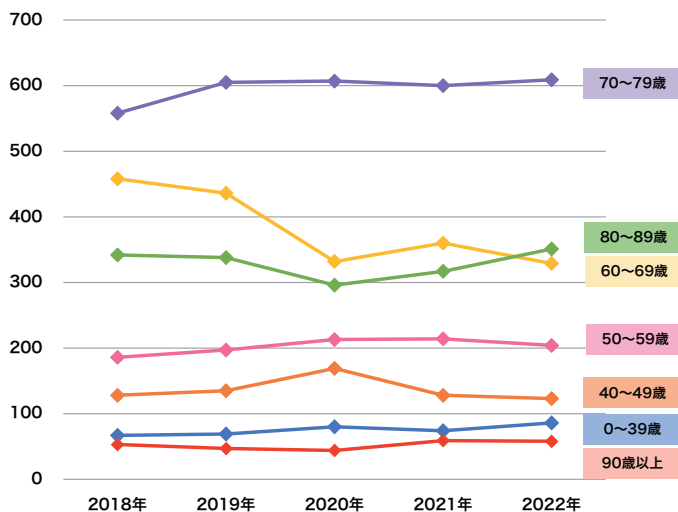
当院のがん登録件数は2017年1,684件、2018年1,792件、2019年1,827件と年々増加していました。しかし新型コロナウイルス禍で、2020年1,741件、2021年1,752件、そして2022年は1,760件でコロナ前と比べて減少しています。2022年の医療圏別登録数は、当院の存在する岡山県南西部からの患者割合が60.1%と最も多く、県南東部が17.1%、県北部3医療圏が13.0%、岡山県外が9.8%でした。がん初回治療開始症例の他施設からの紹介率は64.7%でした。

2022年の部位別がん登録件数は乳がんが303件で、2021年の239件から大きく増加しています。次いで大腸がん197件、肺がん166件、血液腫瘍147件、胃がんが141件でした。

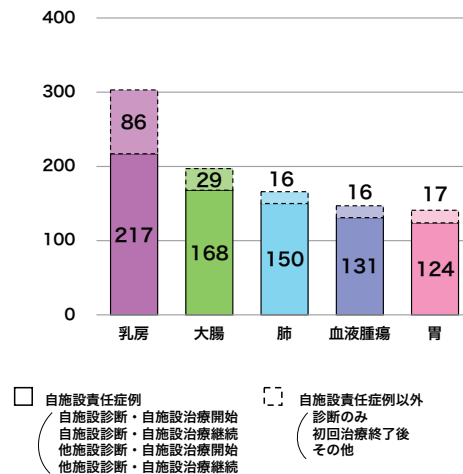
今後の課題

やはり、がんの早期発見や早期治療の機会を逸することにならないよう、検診受診率の向上をはかり、がん患者の命を守ることが継続した課題だと思っています。また、岡山県においてもがん治療施設の偏在化があります。医療施設の少ない圏域でのがん医療を充実させることも重要な課題の一つだと思います。地域の医療機関と連携を強化することも大切です。医師の働き方改革下での充実した地域医療の提供など、まだまだ大きな課題を抱えていますが、がんを含めたすべての患者の命を守る適切な方策について知恵を出して進みたいと思います。

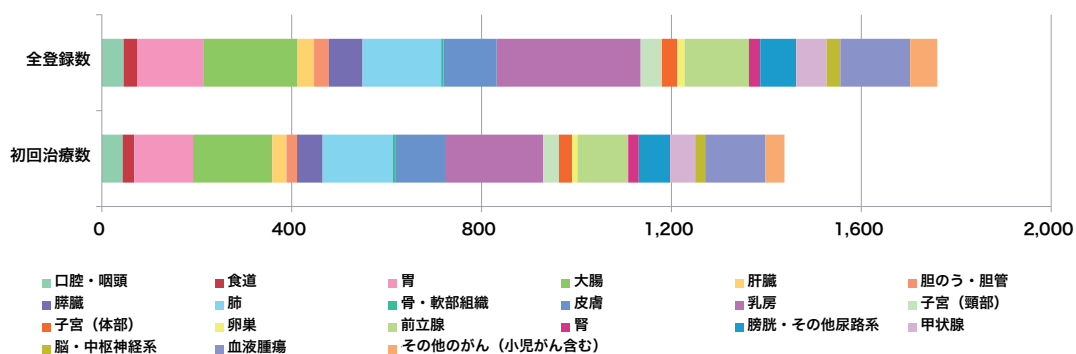
全登録数の推移



部位別登録数の上位5部位



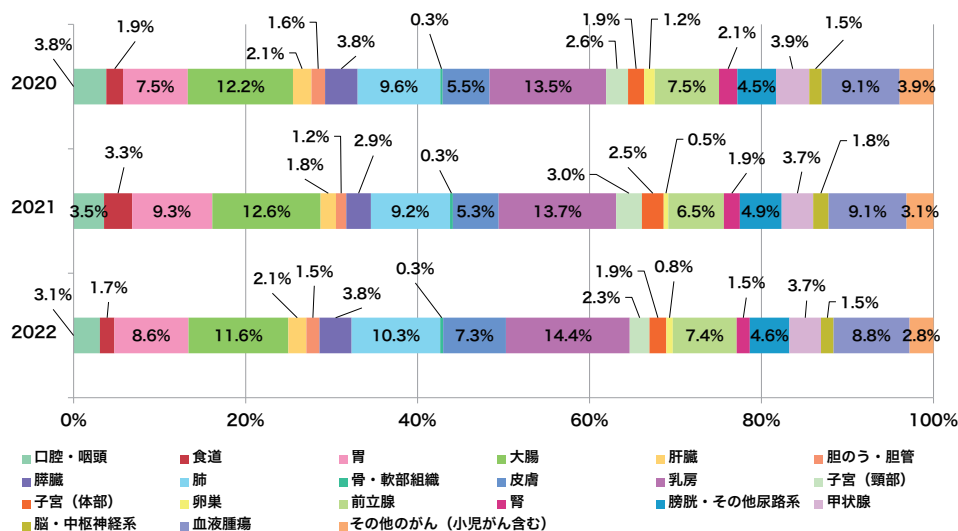
全登録数・初回治療数



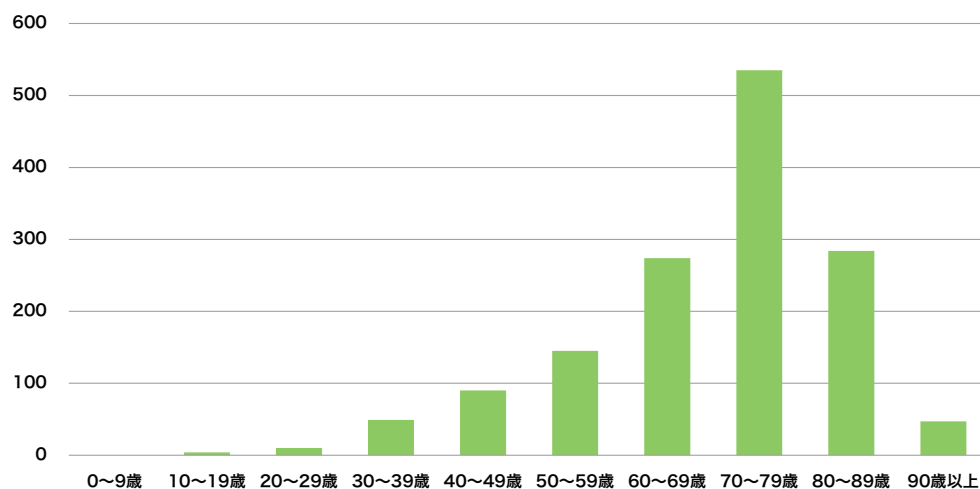
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

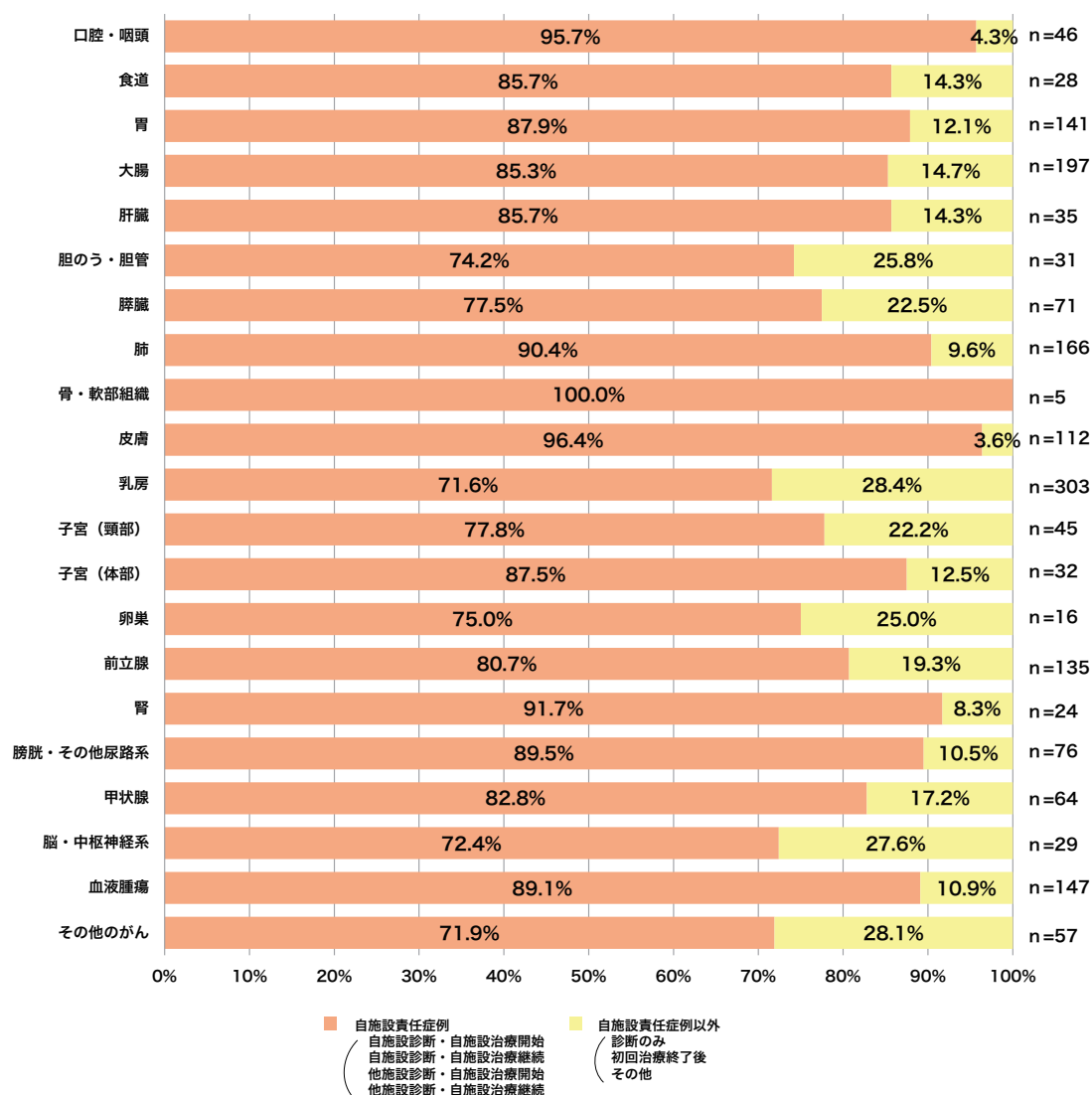
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

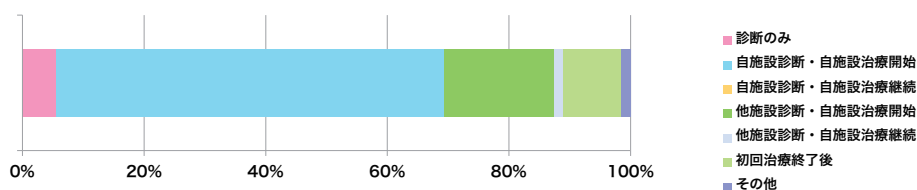


症例区分 部位別の責任症例の割合



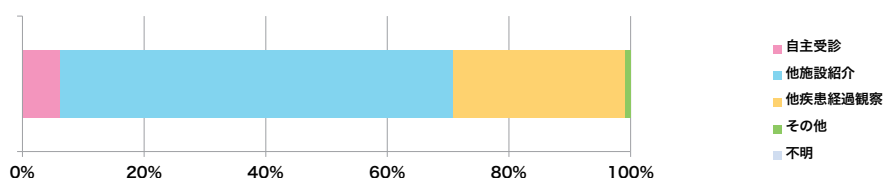
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	98 (5.6%)
自施設診断・自施設治療開始	1,122 (63.8%)
自施設診断・自施設治療継続	2 (0.1%)
他施設診断・自施設治療開始	316 (18.0%)
他施設診断・自施設治療継続	28 (1.6%)
初回治療終了後	165 (9.4%)
その他	29 (1.6%)
合計	1,760 (100.0%)



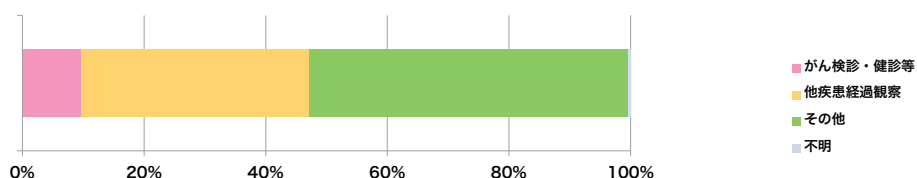
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	88 (6.1%)
他施設紹介	931 (64.7%)
他疾患経過観察	406 (28.2%)
その他	13 (0.9%)
不明	0 (0.0%)
合計	1,438 (100.0%)

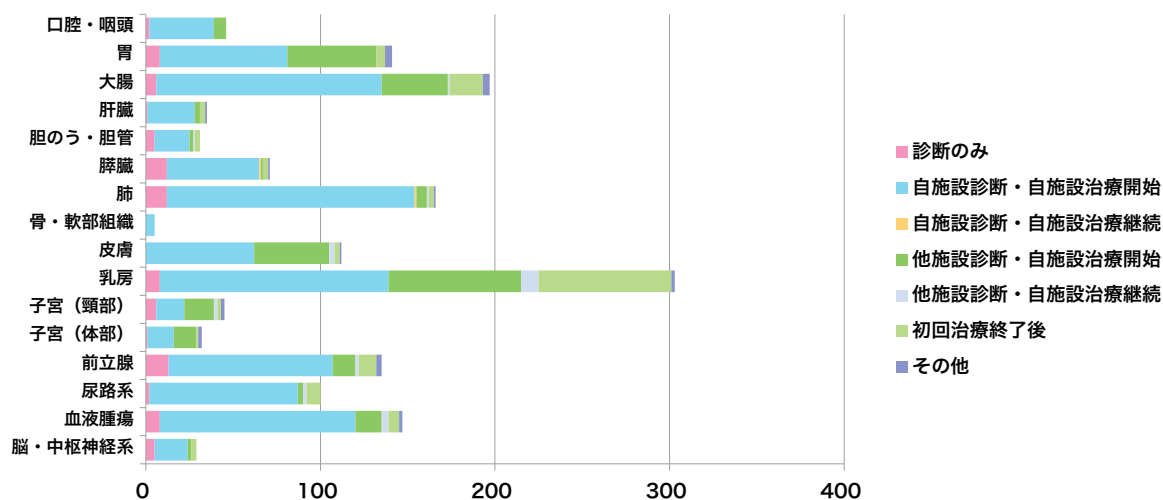


発見経緯別 初回治療数と登録割合

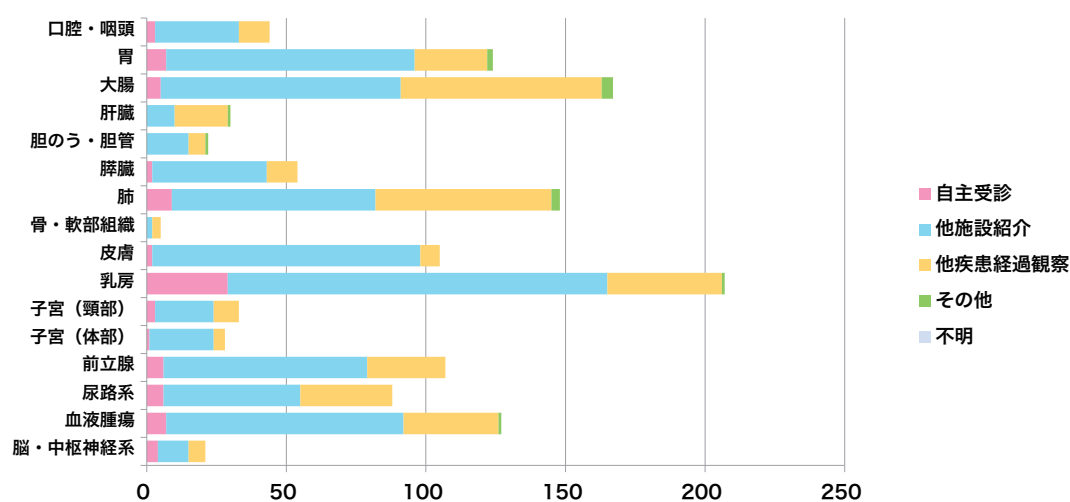
	登録数
がん検診・健診等	139 (9.7%)
他疾患経過観察	538 (37.4%)
その他	754 (52.4%)
不明	7 (0.5%)
合計	1,438 (100.0%)



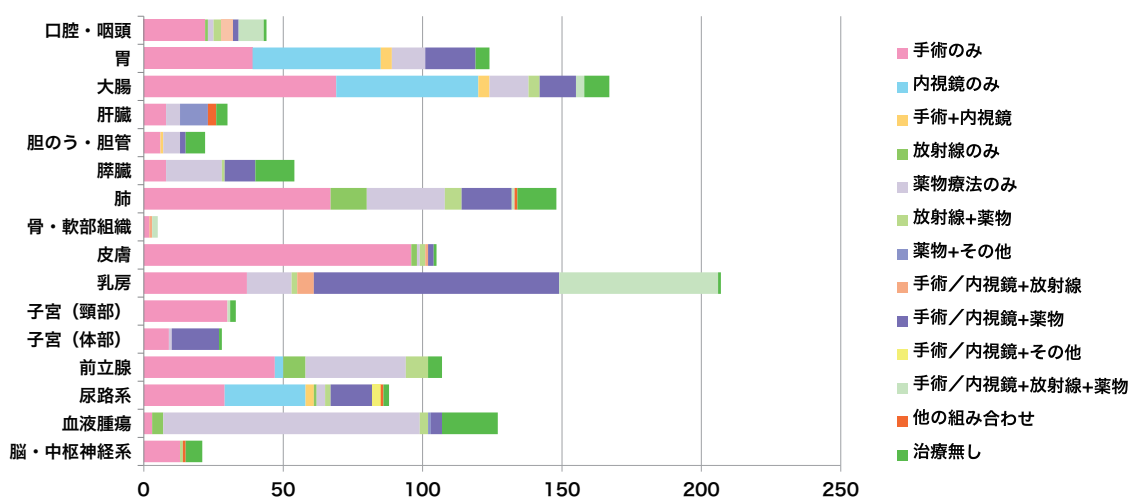
部位別 症例区分別 全登録数



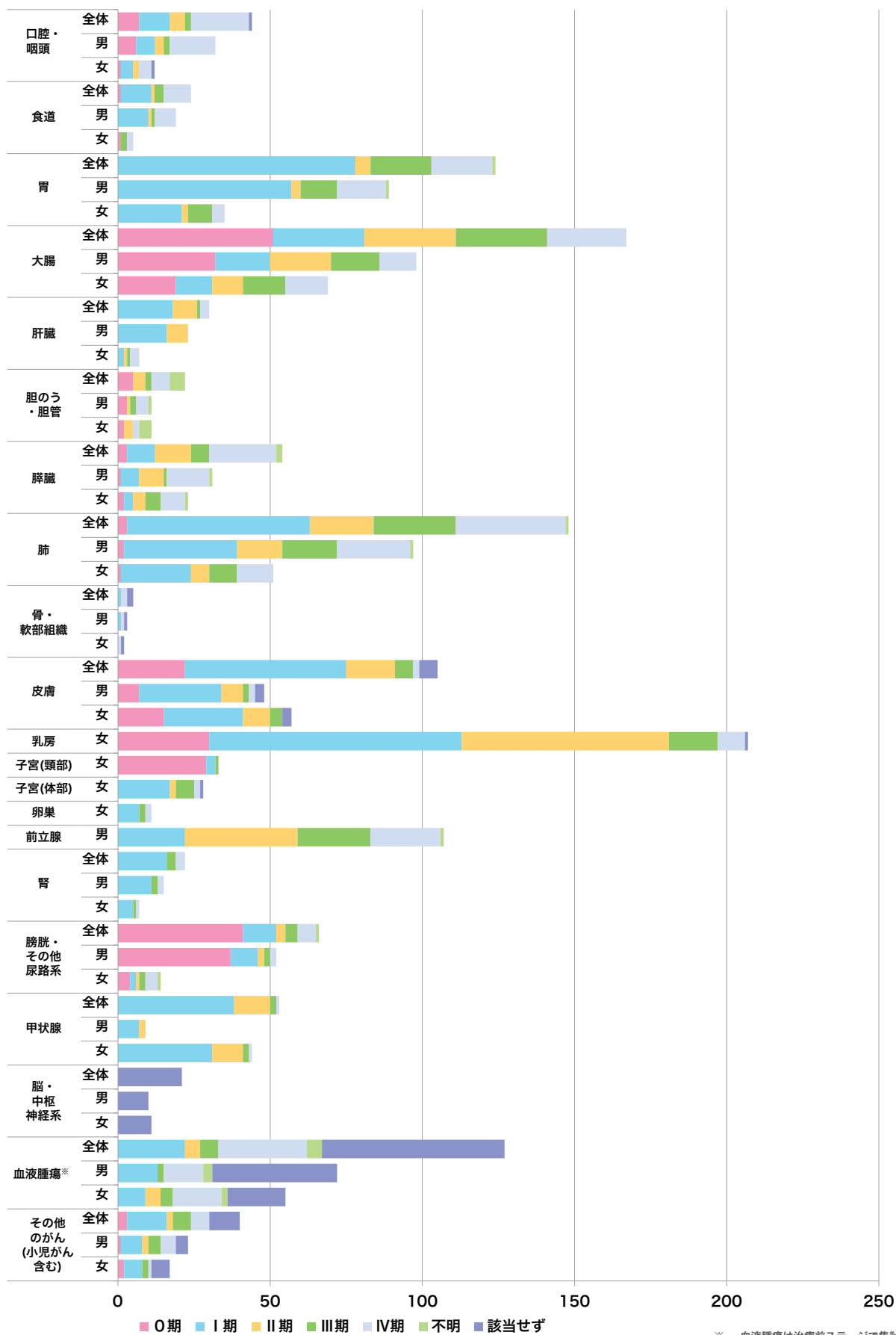
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※...血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	301	17.1%	岡山市	257
			玉野市	12
			備前市	5
			瀬戸内市	5
			赤磐市	1
			和気郡和気町	4
			加賀郡吉備中央町	17
県南西部保健医療圏	1,058	60.1%	倉敷市	644
			笠岡市	66
			井原市	30
			総社市	146
			浅口市	72
			都窪郡早島町	37
			浅口郡里庄町	26
			小田郡矢掛町	37
高梁・新見保健医療圏	122	6.9%	高梁市	57
			新見市	65
真庭保健医療圏	52	3.0%	真庭市	50
			真庭郡新庄村	2
津山・英田保健医療圏	54	3.1%	津山市	24
			美作市	9
			苫田郡鏡野町	4
			勝田郡勝央町	6
			勝田郡奈義町	1
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
久米郡美咲町	10			
県外	173	9.8%		173
			合計	1,760

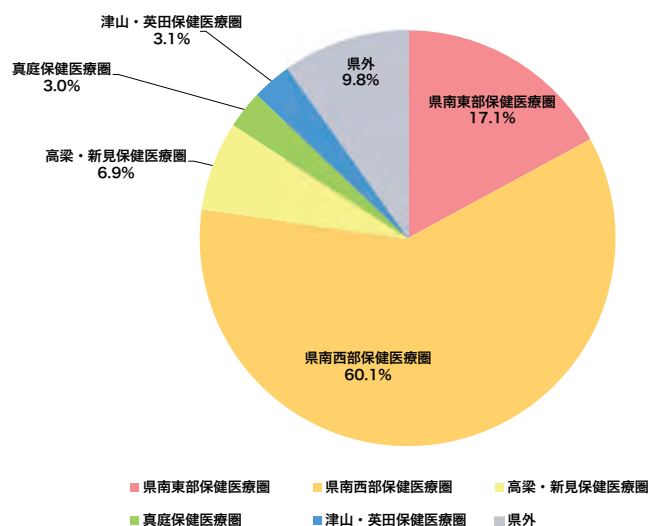
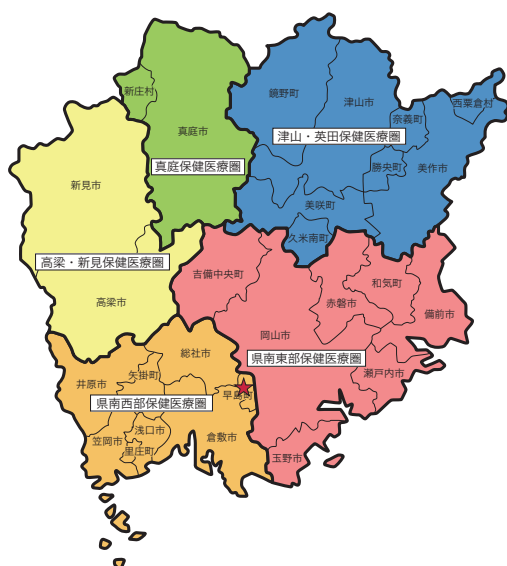
担当医療圏

担当医療圏
 県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
 患者住所の割合
 60.1%

県内担当医療圏外の割合
 30.1%

県外患者住所の割合
 9.8%



基 本 情 報	
病 院 名	一般財団法人津山慈風会 津山中央病院
所 在 地	岡山県津山市川崎 1756
電 話 (代 表)	0868-21-8111
ホームページ	http://www.tch.or.jp/
交通アクセス	津山駅より車で 15 分、津山 IC より車で 5 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、感染症内科、糖尿病内科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、救急科、眼科、歯科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科 合計 30 診療科		
病 床 数※1	515 床	平均在院日数※2	12.3 日
入院患者延べ数※3	134,615 人	外来患者延べ数※4	229,020 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 4 名 (中級者 1 名 初級者 3 名)		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	0868-21-8111
対応時間	月曜日～金曜日 09:00～16:00
ホームページ	https://tch.or.jp/cancer_resource_center.html

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 (がん患者サロンなど)	☐
院内図書館	☐





津山中央病院 院長

林 同 輔

1954年に県北初の総合病院として誕生した津山中央病院は、1999年12月に現在の津山市川崎に新築移転し、県北唯一の救命救急センターを併設した高度急性期病院として発展してきました。開院以来、「お断りしない救急」と「最先端のがん診療の提供」を2本の柱とし、2010年には「地域がん診療連携拠点病院」の指定も受け、がんの早期発見から検査・診断・治療・緩和まで一貫したがん診療に取り組んでいます。

当院のがん治療の大きな目玉に、中四国で唯一となる「がん陽子線治療センター」があります。陽子線の保険適応疾患も徐々に増えており、小児がん・骨軟部腫瘍・非扁平上皮の頭頸部がん・前立腺がん、肝細胞がん（長径4cm以上）・肝内胆管がん・局所進行性膵がん・局所大腸がん（手術後の再発）に加え、手術による根治的な治療が困難な早期肺がん（Ⅰ期からⅡA期）が認められました。それ以外の疾患でも先進医療として照射を行っており、コロナ後は海外からのインバウンドの症例も増加しています。

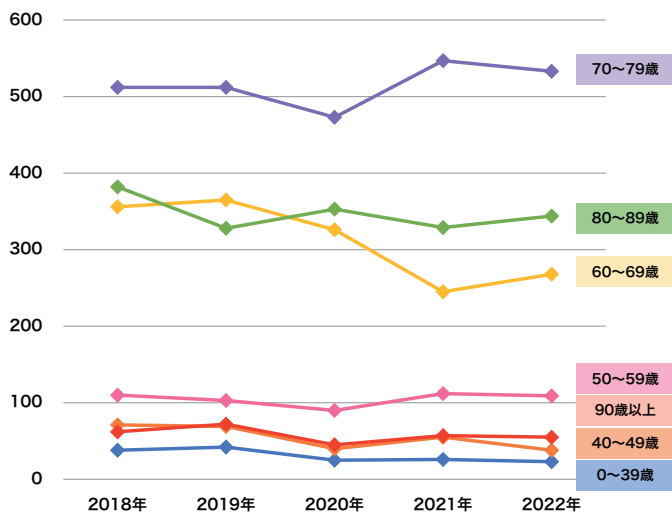
近年のがんの薬物療法の進歩は凄まじく、従来の抗がん剤に加え、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤に代表される免疫療法などが次々に開発されています。当院でも20ベッドの化学療法センターがフル活用しており、年間5000件弱の化学療法を行っています。また、2023年にはがんゲノム連携病院の認定を受け、がんゲノム診療を推進する第一歩を踏み出すと共に、最先端のゲノム医療を患者さんに届けられるよう努力しています。

がん治療だけでなく、患者さんの身体的・精神的苦痛を和らげるための緩和ケアにも力を入れており、緩和ケアチームを中心とした入院患者さんのサポートや外来緩和ケア相談窓口の運用、がんサロン「なごみ」の開催等、医師・看護師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・薬剤師等の多職種が協力して行っています。新病棟に建設していた全室個室で14床の緩和ケア病棟も2023年にオープンすることが出来、がんに苦しむ患者さんが自分らしい人生を全うする一助になると期待しています。

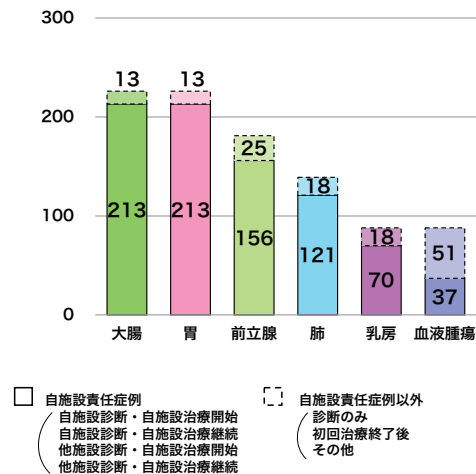
がん手術の低侵襲化も進んでおり、多くのがん手術に内視鏡手術を適用すると共に、2019年より開始したロボット手術も順調に増加しています。増設した新手術室にはロボット手術用の広い部屋を確保しており、前立腺がん・腎がん・肺がん・胃がん・結腸がん・直腸がんなどを中心に症例を増やしています。また、早期の食道がんや胃がん・大腸がんに対しては、内視鏡的切除を積極的に行っており、患者さんのQOLの維持に努めています。

岡山県北は少子高齢化の波が押し寄せている地域であり、若者の減少に伴い人員確保に難渋するという問題があります。今後も地域の医療機関と連携しながら引き続き県北の医療を支えていきたいと考えていますので、なお一層のご支援をお願いいたします。

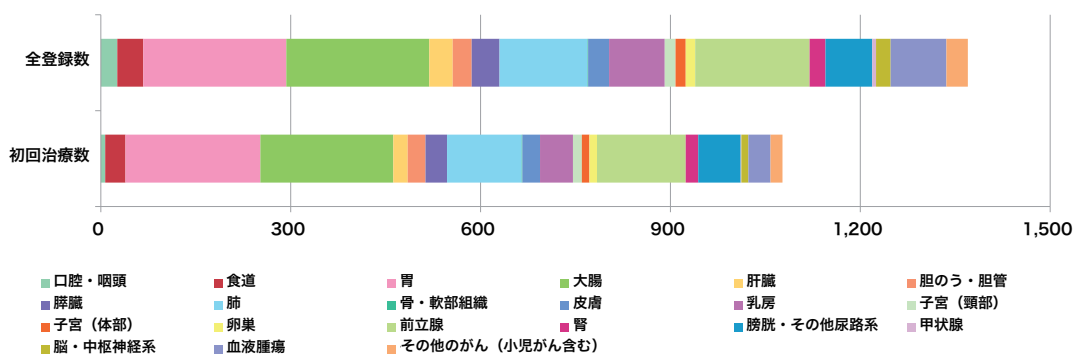
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



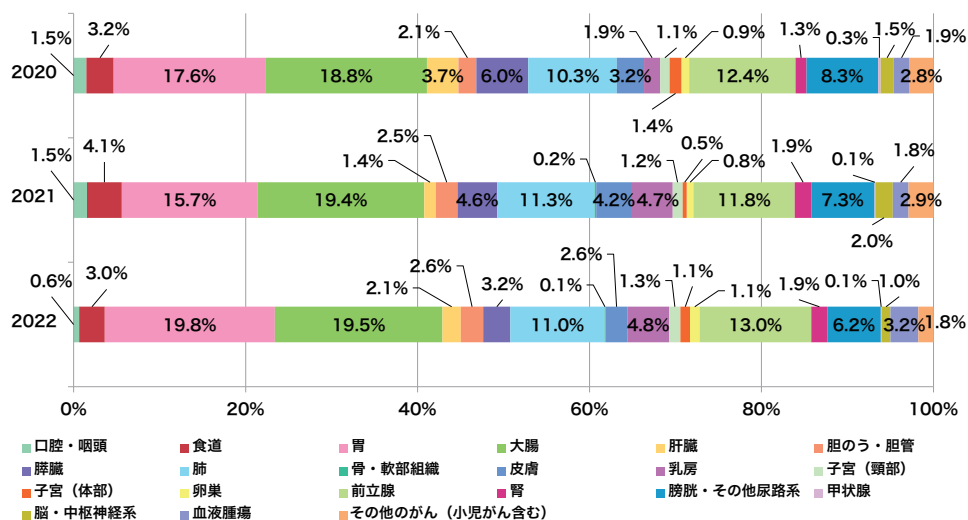
全登録数・初回治療数



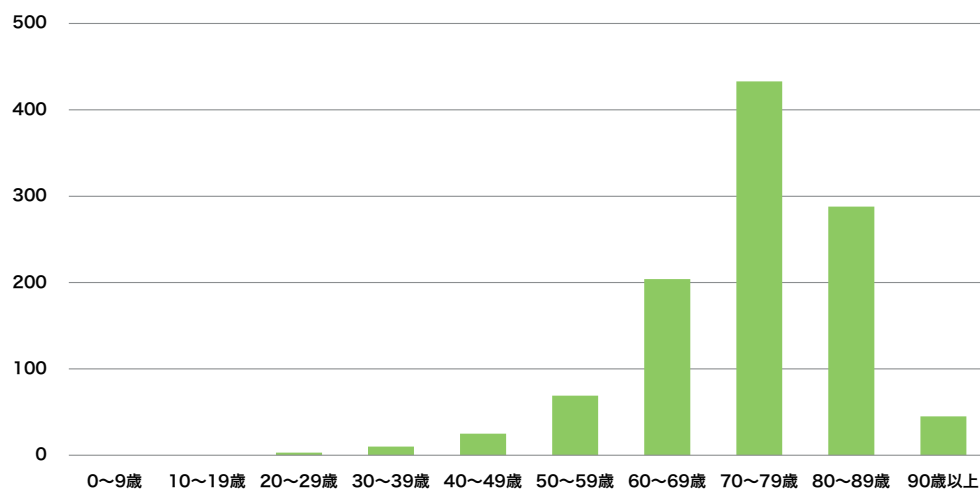
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

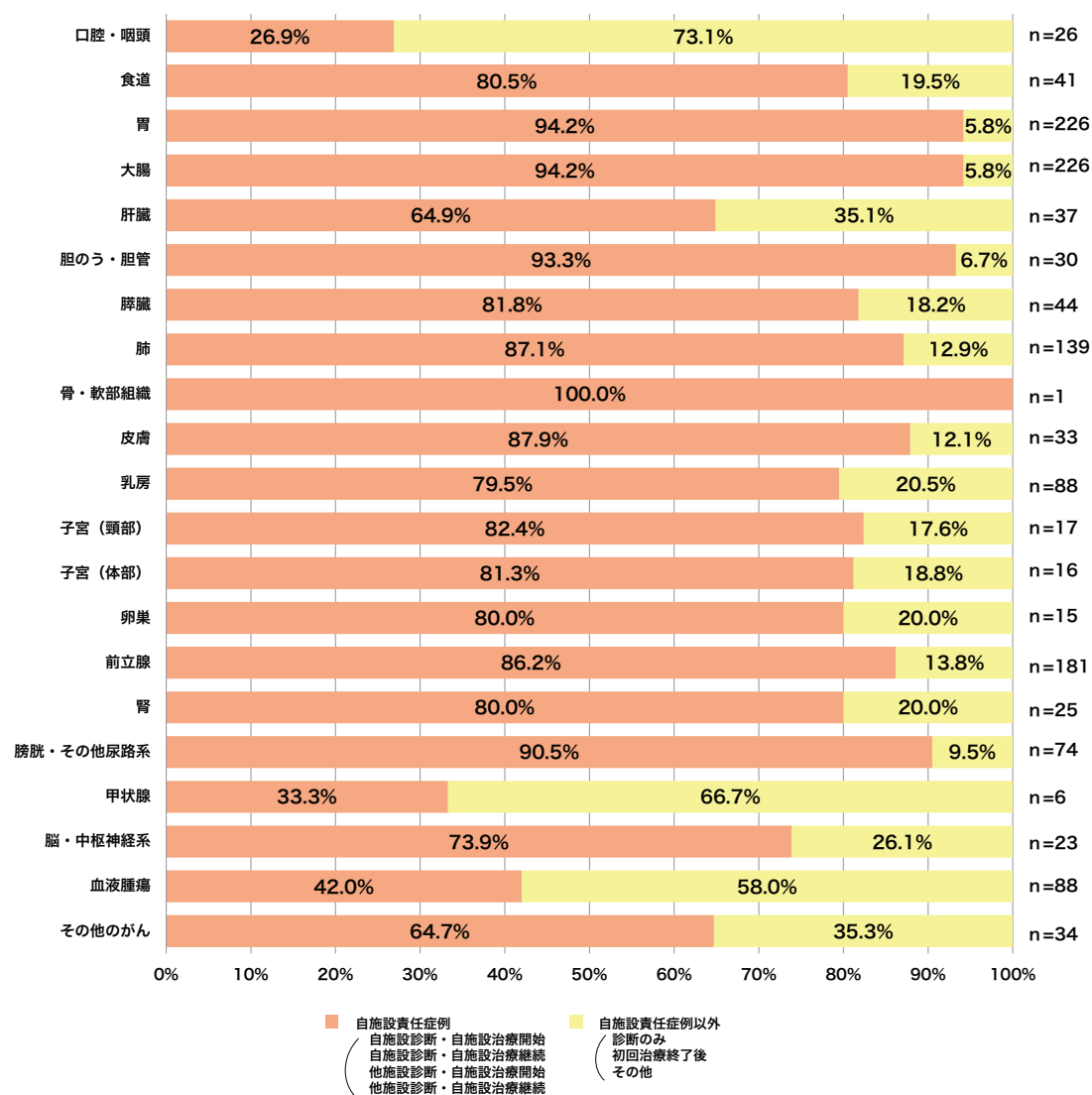
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

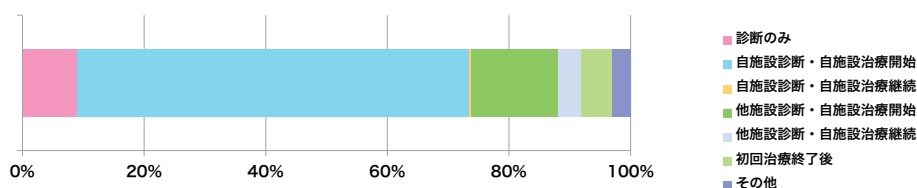


症例区分 部位別の責任症例の割合



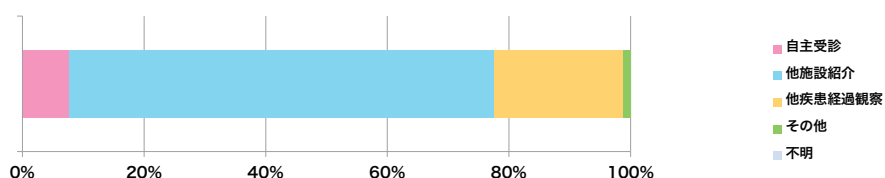
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	124 (9.1%)
自施設診断・自施設治療開始	882 (64.4%)
自施設診断・自施設治療継続	6 (0.4%)
他施設診断・自施設治療開始	195 (14.2%)
他施設診断・自施設治療継続	52 (3.8%)
初回治療終了後	70 (5.1%)
その他	41 (3.0%)
合計	1,370 (100.0%)



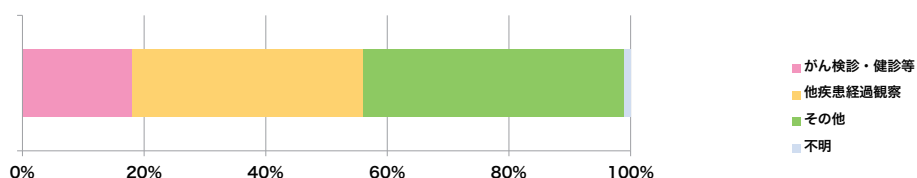
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	82 (7.6%)
他施設紹介	754 (70.0%)
他疾患経過観察	227 (21.1%)
その他	14 (1.3%)
不明	0 (0.0%)
合計	1,077 (100.0%)

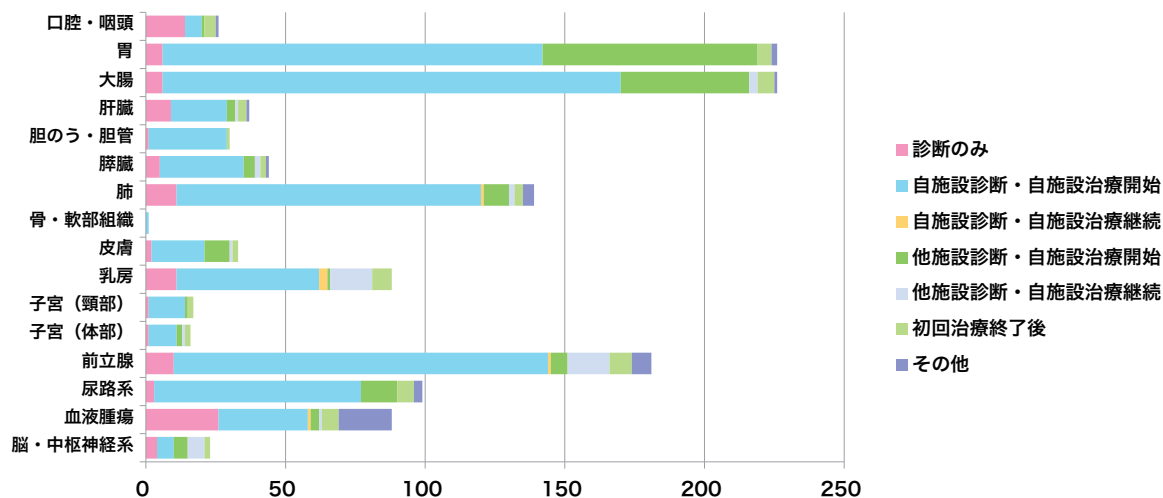


発見経緯別 初回治療数と登録割合

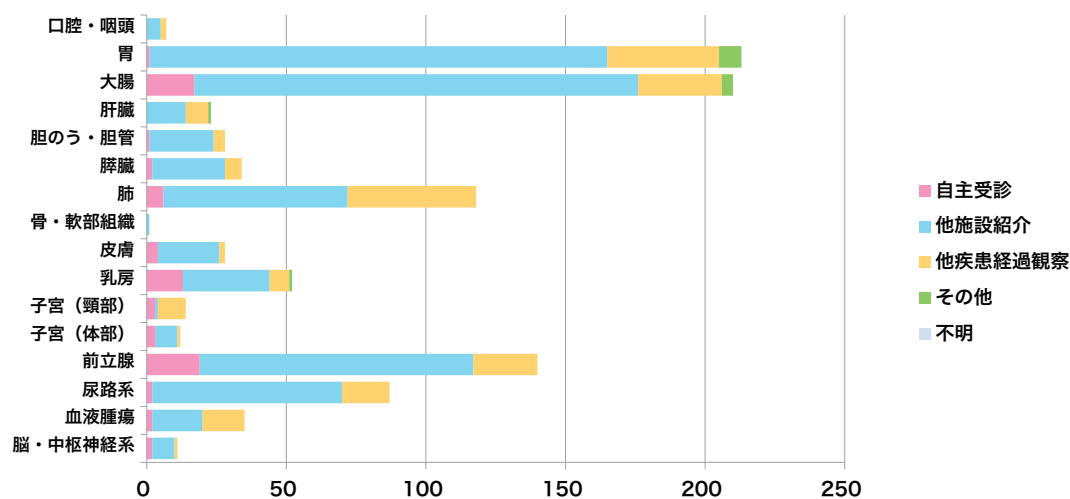
	登録数
がん検診・健診等	194 (18.0%)
他疾患経過観察	410 (38.1%)
その他	462 (42.9%)
不明	11 (1.0%)
合計	1,077 (100.0%)



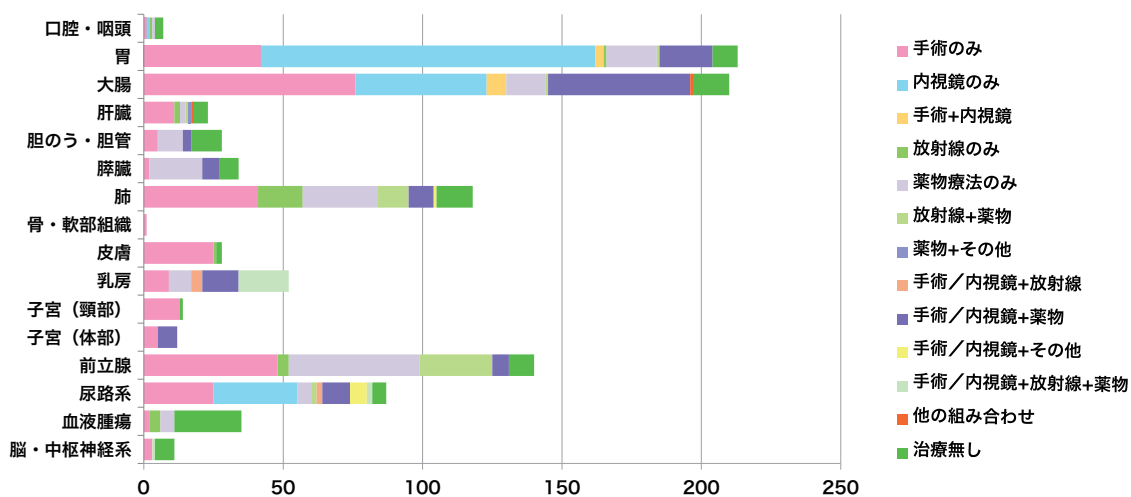
部位別 症例区分別 全登録数



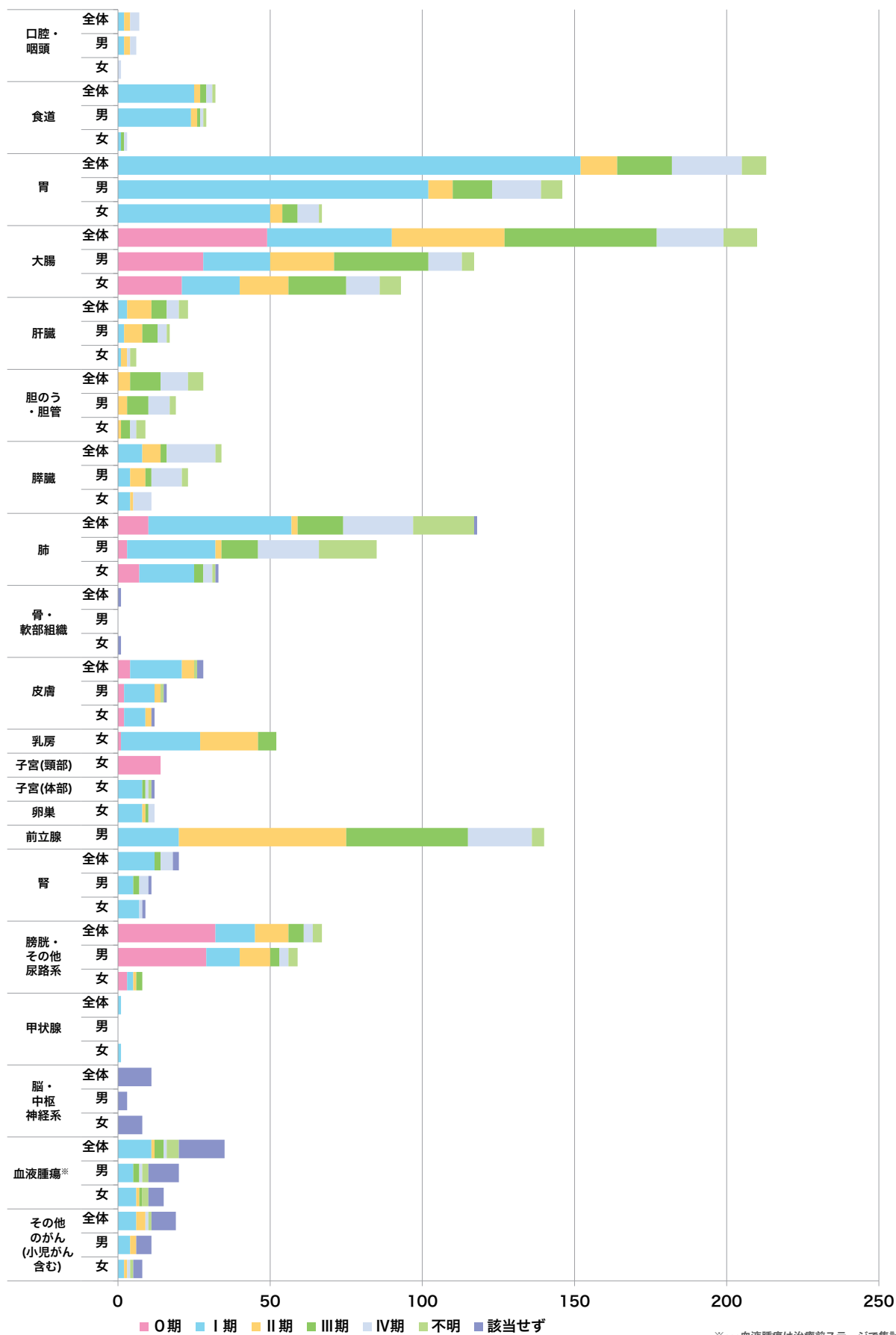
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※...血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	20	1.5%	岡山市	12
			玉野市	0
			備前市	1
			瀬戸内市	0
			赤磐市	5
			和気郡和気町	1
			加賀郡吉備中央町	1
県南西部保健医療圏	1	0.1%	倉敷市	0
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	1
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	14	1.0%	高梁市	0
			新見市	14
真庭保健医療圏	161	11.8%	真庭市	160
			真庭郡新庄村	1
津山・英田保健医療圏	1,123	82.0%	津山市	630
			美作市	202
			苫田郡鏡野町	86
			勝田郡勝央町	60
			勝田郡奈義町	39
			英田郡西粟倉村	4
			久米郡久米南町	19
			久米郡美咲町	83
県外	51	3.7%		51
			合計	1,370

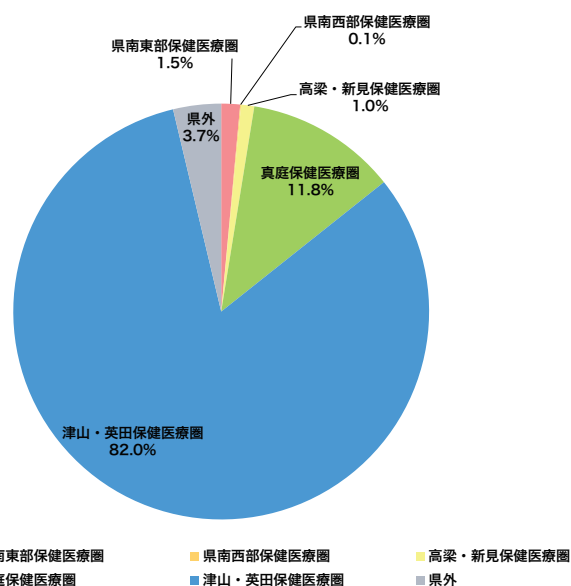
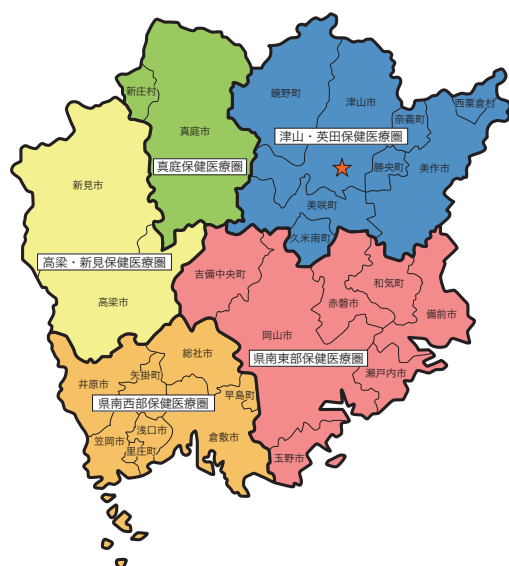
担当医療圏
津山・英田保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
82.0%

県内担当医療圏外の割合
14.3%

県外患者住所の割合
3.7%

担当医療圏



金田病院

基 本 情 報	
病 院 名	金田病院
所 在 地	岡山県真庭市西原 63 番地
電話（代表）	0867-52-1191
ホームページ	https://www.kaneda-hp.or.jp
交通アクセス	美作落合駅から徒歩 5 分 まにわくん・さくらバス金田病院前からすぐ

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、循環器内科、糖尿病内科、脳神経内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、乳腺外科、眼科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 合計 17 診療科		
病 床 数※1	120 床	平均在院日数※2	25.3 日
入院患者延べ数※3	35,220 人	外来患者延べ数※4	67,952 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 2 名（中級者 2 名 初級者 0 名）		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	0867-52-1191
対応時間	月～金 8：30～17：30 土 8：30～12：30 休日 日祝日 土曜日午後
ホームページ	https://www.kaneda-hp.or.jp/gan/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	○
院内図書館	×





金田病院 院長

水 島 孝 明

日本では2人に1人はがんを患い、3人に1人はがんで死亡される時代となり、全国どこでも標準的ながん診療を受けられる事を目的にがん診療拠点病院制度ができました。また、わが国のがん診療の質を高める事を目的に、がん対策基本法が施行されました。これらの理念は、当院の理念と合致するものです。

当院は、岡山県北部の真庭市西原（旧落合町地区）に昭和26年に開設され、平成24年4月1日より、がん診療連携推進病院に認定され、県内のがん治療拠点病院と連携して、真庭地域を中心としたがん患者の診療に取り組んでまいりました。平成27年4月1日からは岡山県北部中央地区の地域がん診療連携拠点病院に認定され、独立行政法人岡山医療センターおよび一般財団法人津山慈風会津山中央病院と連携し、がんの検査、治療、手術、化学療法に加え、緩和ケアの提供や緩和ケア研修会の開催、がん相談支援、セカンドオピニオン、がん情報提供、一般向けや医療者向けの講演会、患者会、がん登録を行っております。現在の許可病床は120床で、内科、外科、脳神経外科、整形外科の診療科を中心に、急性期一般病床、地域包括ケア病床、医療療養病床で構成しております。また岡山大学や川崎医科大学からの非常勤医師の派遣を通じて、多くの診療科に対応する体制を整えております。地域の病院・診療所と連携を取りながら、院内の勉強会、地区医師会の研究会の開催などを通じて、様々な状況の患者様に対して適切な医療を提供できるよう体制を整えていきたいと思っております。

当院は、人間ドック学会認定の人間ドック検診施設を併設しており、がんの早期発見、治療も力を入れて取り組んでおります。

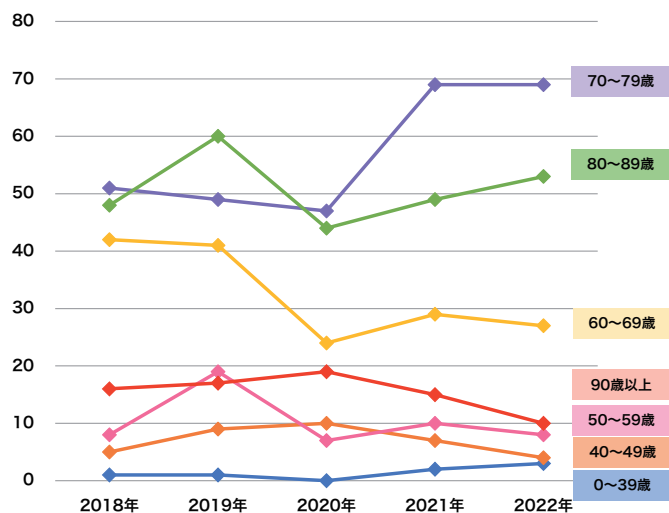
あらゆるがん患者さんの治療に関し、外科、内科専門医のカンファレンスを通し、また、高難度症例に対しては専門病院と連携を行い、患者様とご家族に対し、最善かつ質を重視した治療を行うように心がけています。

さらに在宅におけるがん医療や緩和ケア、相談支援など一層の充実が課題となっている中で、訪問診療、みどり訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所みどりと連携し、在宅の患者様に対するがん治療についても取り組んでおります。

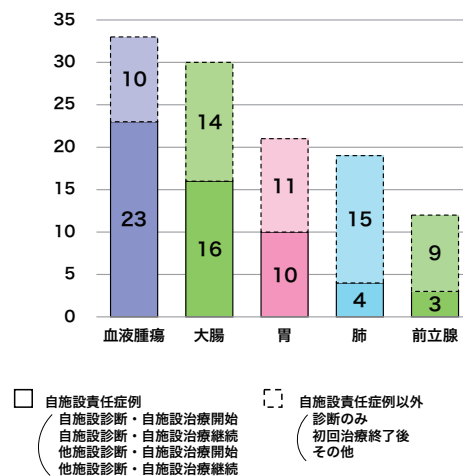
また医学部学生、看護学生、初期臨床研修医、内科学会総合内科専門医研修専攻医、日本プライマリケア連合学会専門医研修専攻医の受け入れを行っており、地域におけるがん診療を行う医師、看護師等の養成にも取り組んでおります。

最後に医科の皆様におかれましては、より一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

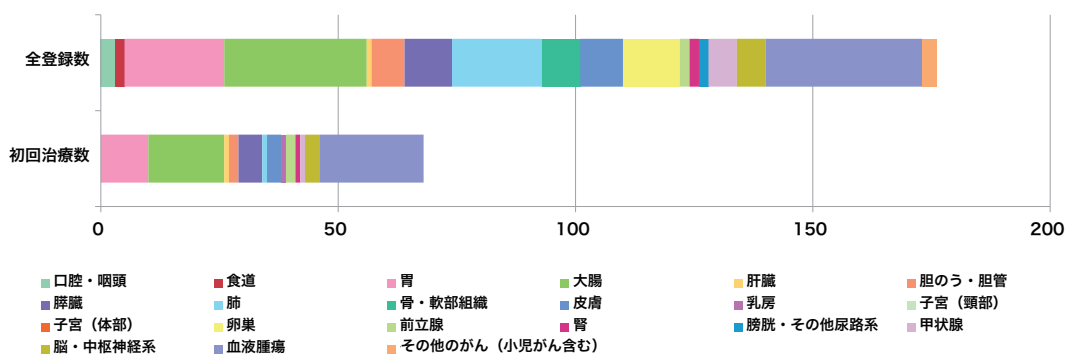
全登録数の推移



部位別登録数の上位5部位



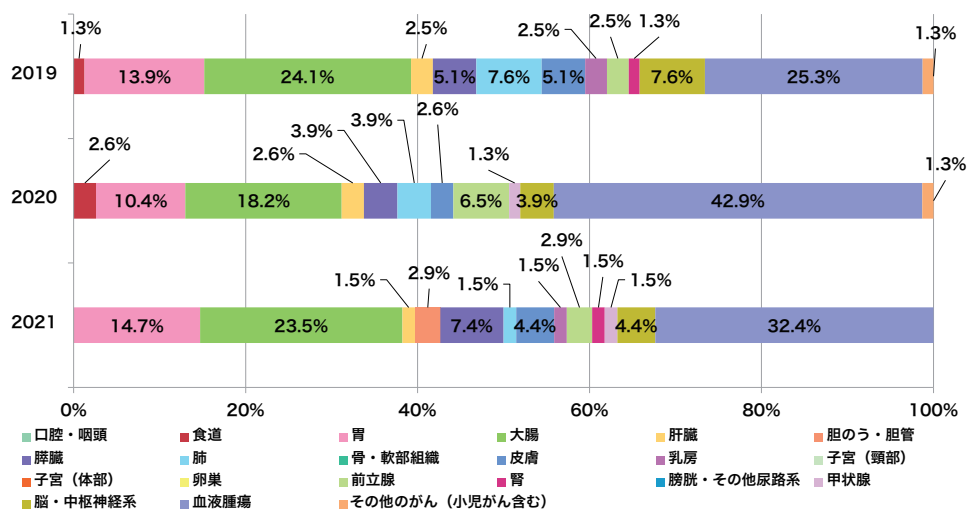
全登録数・初回治療数



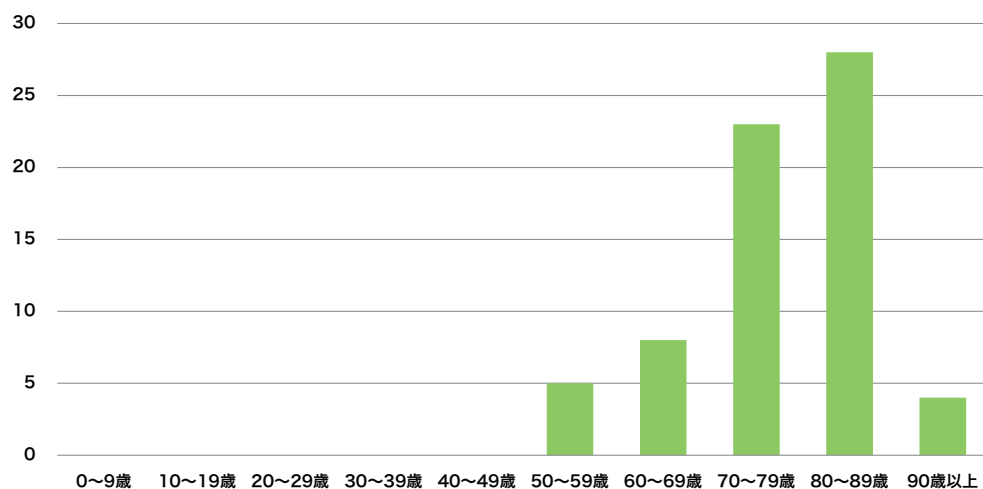
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

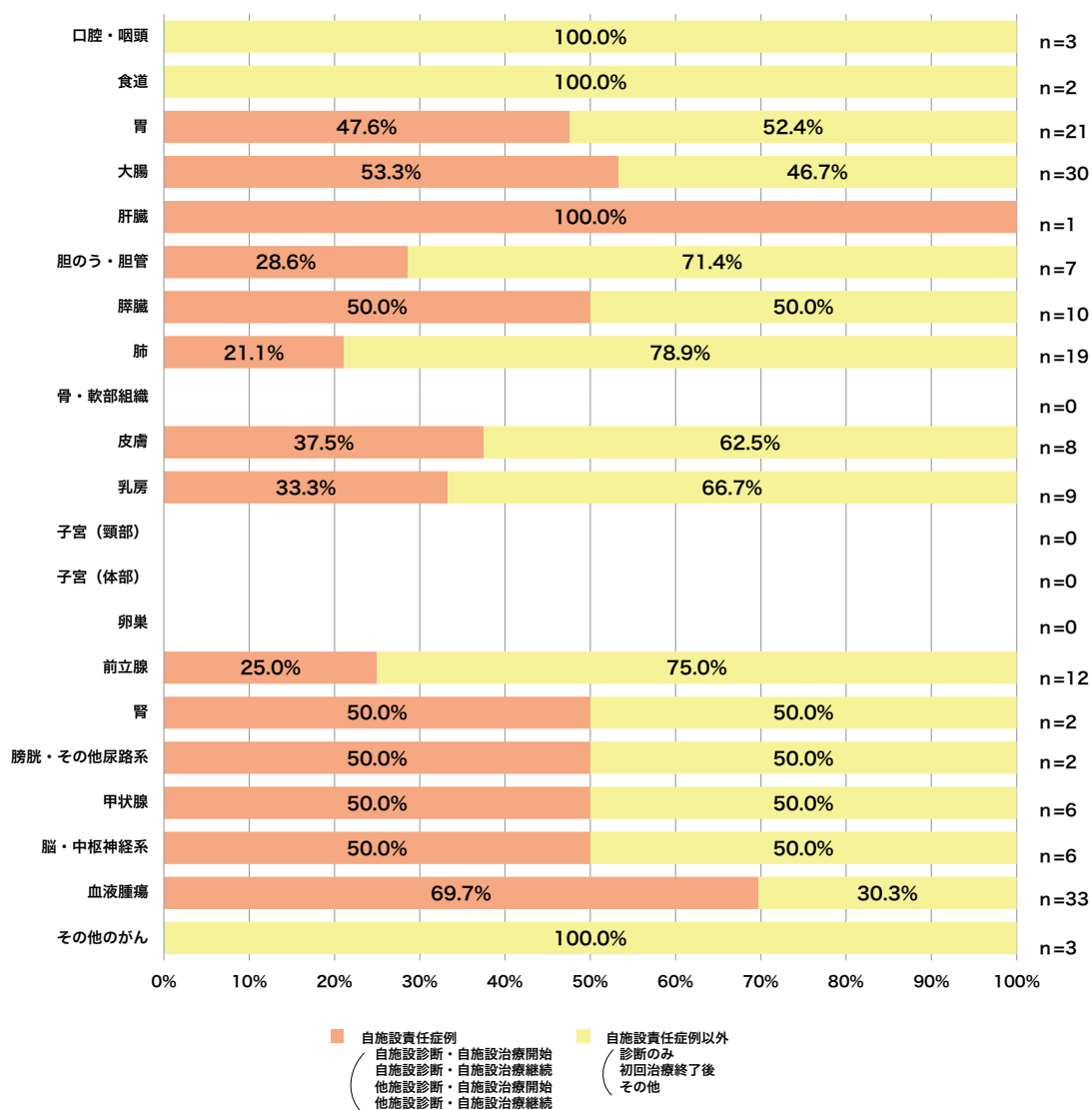
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

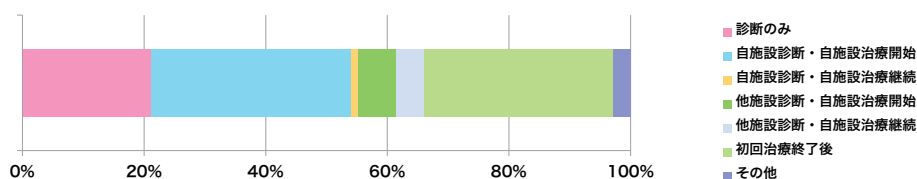


症例区分 部位別の責任症例の割合



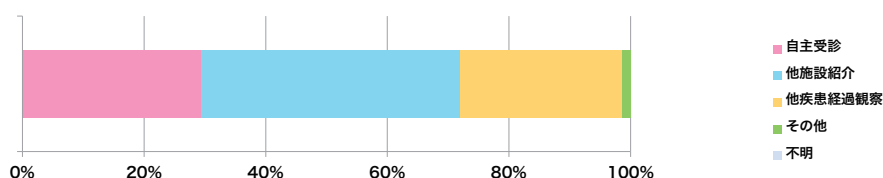
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	37 (21.3%)
自施設診断・自施設治療開始	57 (32.8%)
自施設診断・自施設治療継続	2 (1.1%)
他施設診断・自施設治療開始	11 (6.3%)
他施設診断・自施設治療継続	8 (4.6%)
初回治療終了後	54 (31.0%)
その他	5 (2.9%)
合計	174 (100.0%)



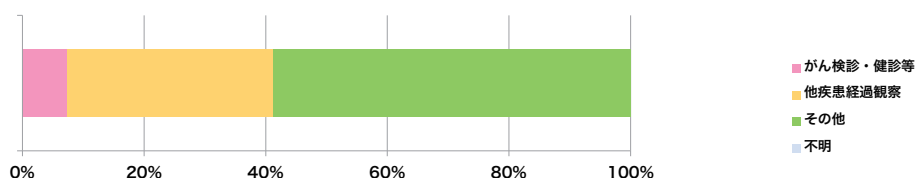
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	20 (29.4%)
他施設紹介	29 (42.6%)
他疾患経過観察	18 (26.5%)
その他	1 (1.5%)
不明	0 (0.0%)
合計	68 (100.0%)

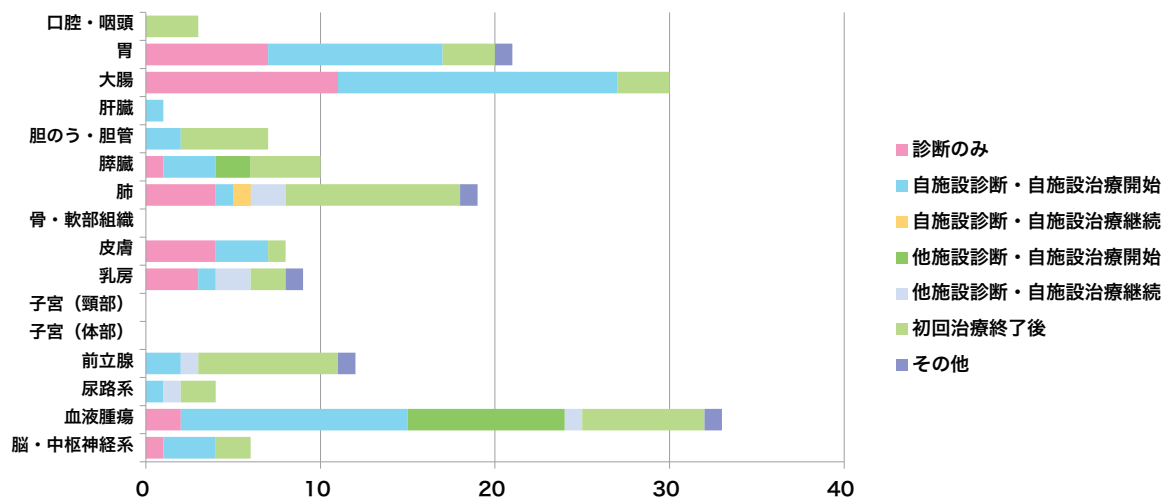


発見経緯別 初回治療数と登録割合

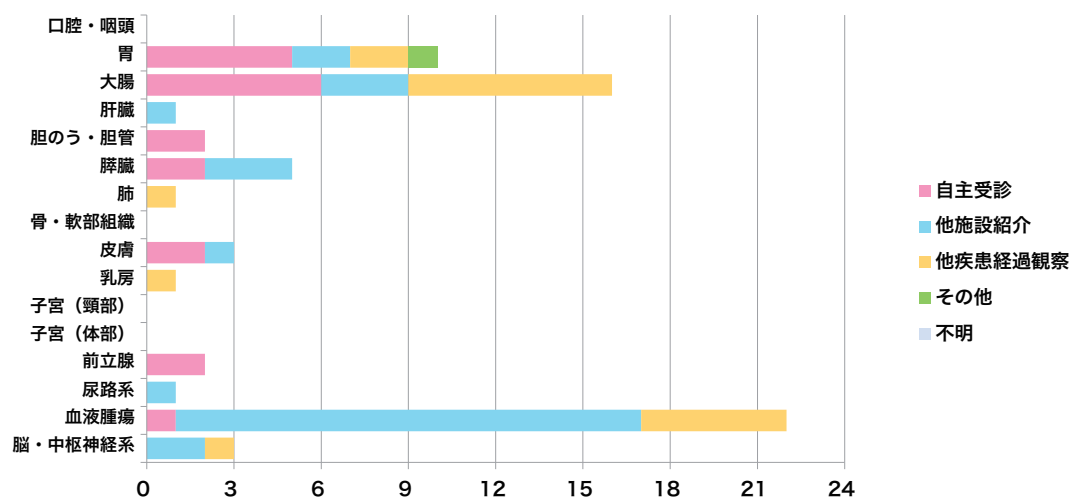
	登録数
がん検診・健診等	5 (7.4%)
他疾患経過観察	23 (33.8%)
その他	40 (58.8%)
不明	0 (0.0%)
合計	68 (100.0%)



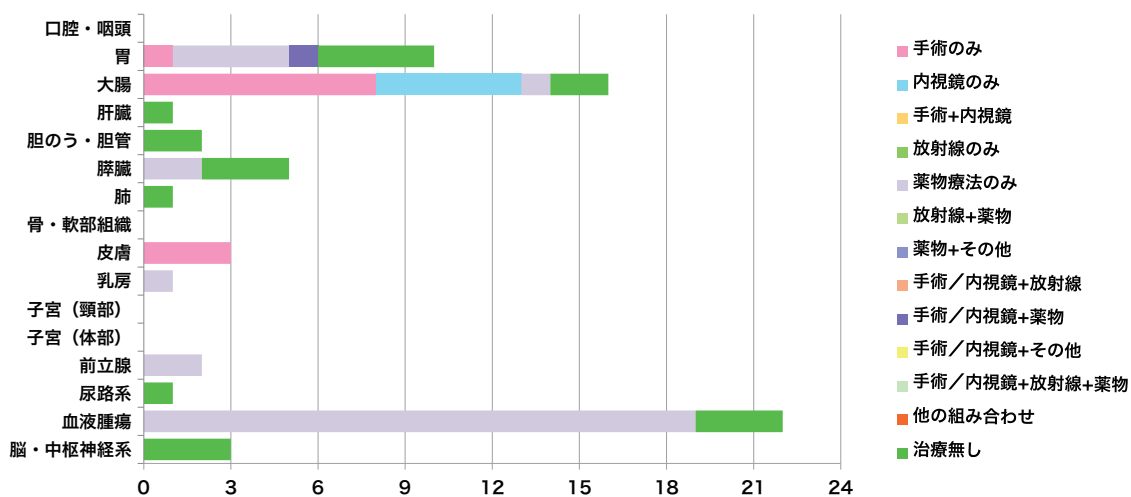
部位別 症例区分別 全登録数



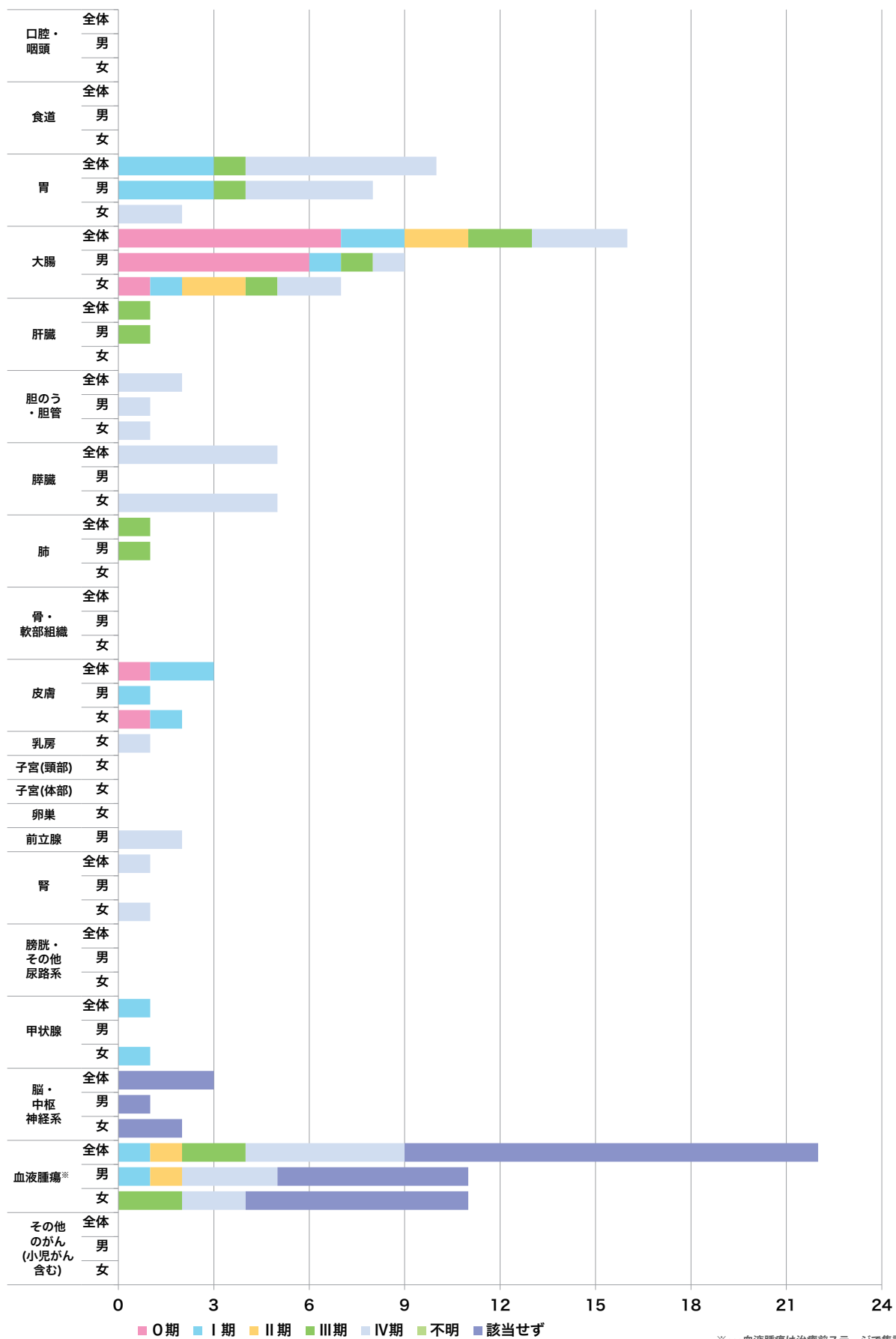
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※・・・血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏			岡山市	0
			玉野市	0
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	0
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	0
県南西部保健医療圏			倉敷市	0
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	0
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	10	5.7%	高梁市	0
			新見市	10
真庭保健医療圏	129	74.1%	真庭市	128
			真庭郡新庄村	1
津山・英田保健医療圏	34	19.5%	津山市	16
			美作市	3
			苫田郡鏡野町	2
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	1
			久米郡美咲町	12
県外	1	0.6%		1
			合計	174

担当医療圏

真庭保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

74.1%

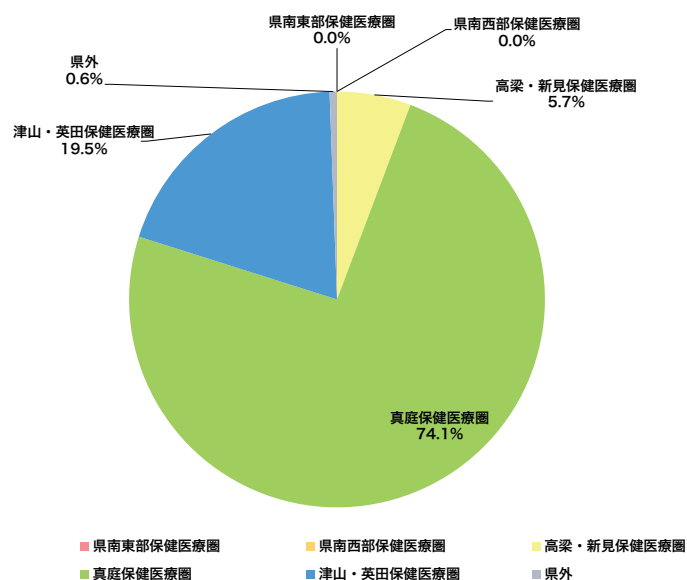
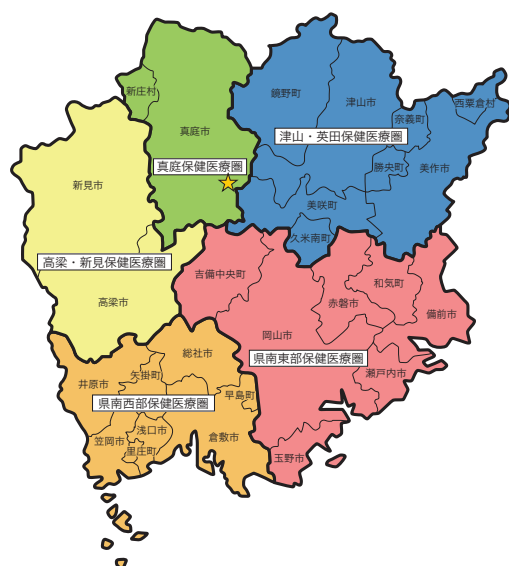
県内担当医療圏外の割合

25.3%

県外患者住所の割合

0.6%

担当医療圏



高梁中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	医療法人清梁会 高梁中央病院
所 在 地	岡山県高梁市南町 53
電 話 (代 表)	086-22-3636
ホームページ	https://seiryokai.jp/
交通アクセス	備中高梁駅より徒歩 5 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、外科、消化器内科、消化器外科、脳神経外科、肛門外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、眼科、循環器内科、皮膚科、心療内科、精神科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、糖尿病内科、内分泌内科、呼吸器外科、リウマチ科、肝臓内科、胆のう・膵臓内科、耳鼻咽喉科、乳腺・内分泌外科、婦人科 合計 26 診療科		
病 床 数※1	160 床	平均在院日数※2	30.3 日
入院患者延べ数※3	55,328 人	外来患者延べ数※4	98,531 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 2 名 (中級者 1 名 初級者 1 名)		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	0866-56-3939
対応時間	9:00～12:00 13:00～16:00 (土曜日・年末年始・祝日を除く)
ホームページ	https://seiryokai.jp/cancer_reatment.html

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 (がん患者サロンなど)	○
院内図書館	×



医療法人 清梁会 高梁中央病院

SEIRYOKAI GROUP

見つめているのは命、未来。



高梁中央病院 院長

戸 田 桂 介

平素より当院に格別なご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。当院は岡山県における高梁・新見保健医療圏内において中核病院としての役割を担っており、地域に根ざした病院としてより質の高い医療の提供と連携を目指し、地域医療への貢献に努めています。

病床の規模としては急性期一般、地域包括ケア、障害者施設等一般、医療療養のケア・ミックス型で構成されています。平成 20 年には地域災害医療センターとして指定を受け、平成 23 年にはおかやま DMAT 指定医療機関を拝命する等、地域の災害医療にも対応できるよう体制を整えています。

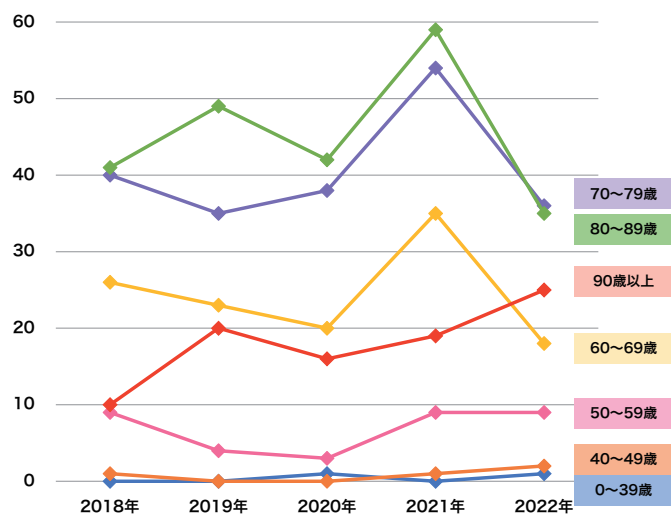
そして平成 27 年より地域がん診療病院の指定を受け、当該地域におけるがん診療を更に幅広く担うこととなりました。当院の役割としては、がん診療連携拠点病院とよばれる高度ながん診療を行うことができる医療機関とグループ指定を結ぶことで、当院が所属する医療圏内における患者さんを連携してカバーできる体制作りが主となります。当該地域にお住まいの患者さんの初期診療から、連携している拠点病院で高度ながん診療を終えてからのフォローまで当院で行えるという連携体制をとっています。また、患者さんの悩みに幅広く対応する窓口としてがん相談支援センターを立ち上げ、患者さんやご家族と気兼ねなく話し合える「がんサロンたかはし」を定期的で開催しています。

中枢のメンバーとして院内にがん診療推進室を立ち上げ、緩和ケア、化学療法、がん相談支援、がん登録など、それぞれ役割に応じたチームを編成し、地域がん診療病院としてのがん診療の質の向上を図るため日々業務に取り組んでいます。本誌における院内がん登録では、実務者を中心としたがん登録チームが平成 25 年の症例より運用を開始しています。実務内容としては、例年の国立がん研究センターでの院内がん登録全国集計への参加・統計分析協力と、並行して岡山県の地域がん登録（現在は全国がん登録）においても同様の協力をさせて頂いています。

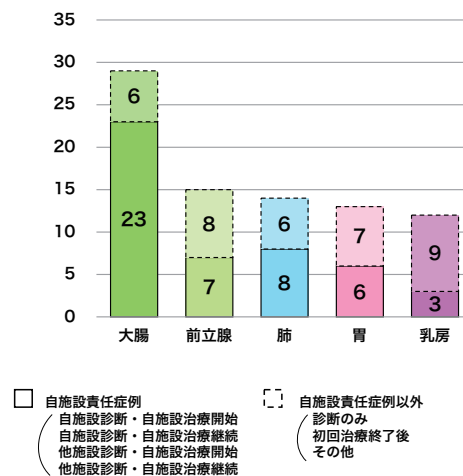
医療分野においてもビッグデータ等による分析が求められている昨今、情報活用におけるがん登録事業は非常に重要な意味を持っています。今やがんは国民病とも呼ばれ、がん診療は各地域になくてはならないものとして認識され、各地域に整備されています。

今後も地域の皆さんと個々との通い合う信頼関係を築いていくため、がん診療における当院の役割をしっかりと果たせるよう職員一同、尽力して参る所存です。

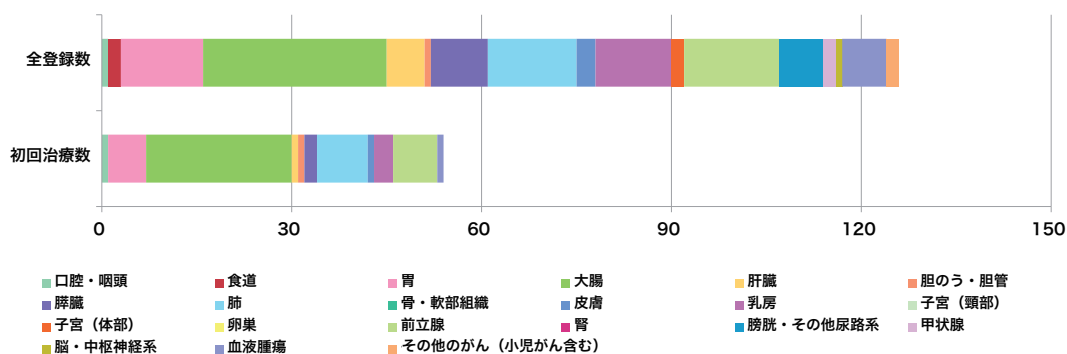
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



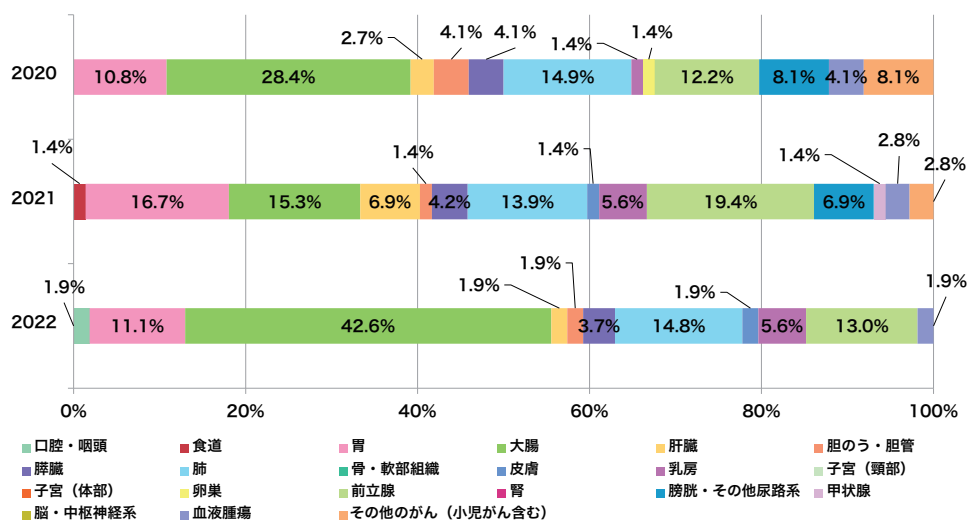
全登録数・初回治療数



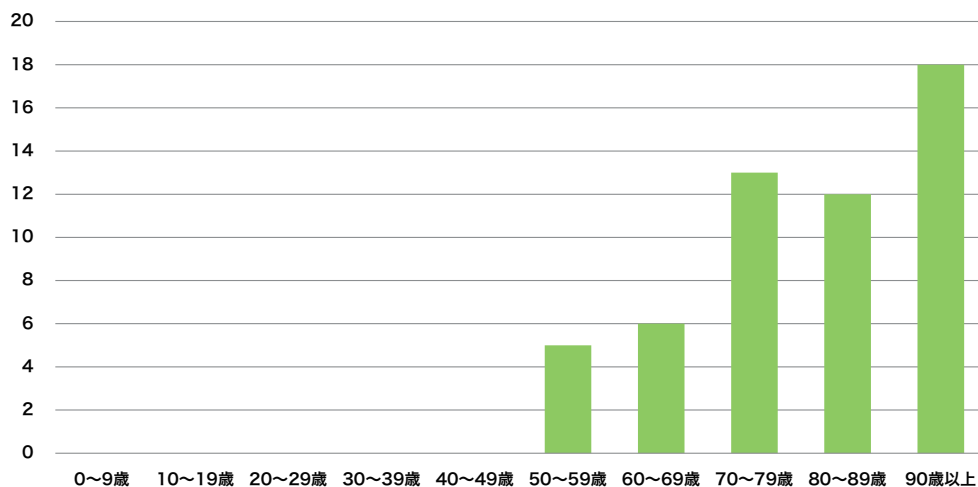
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

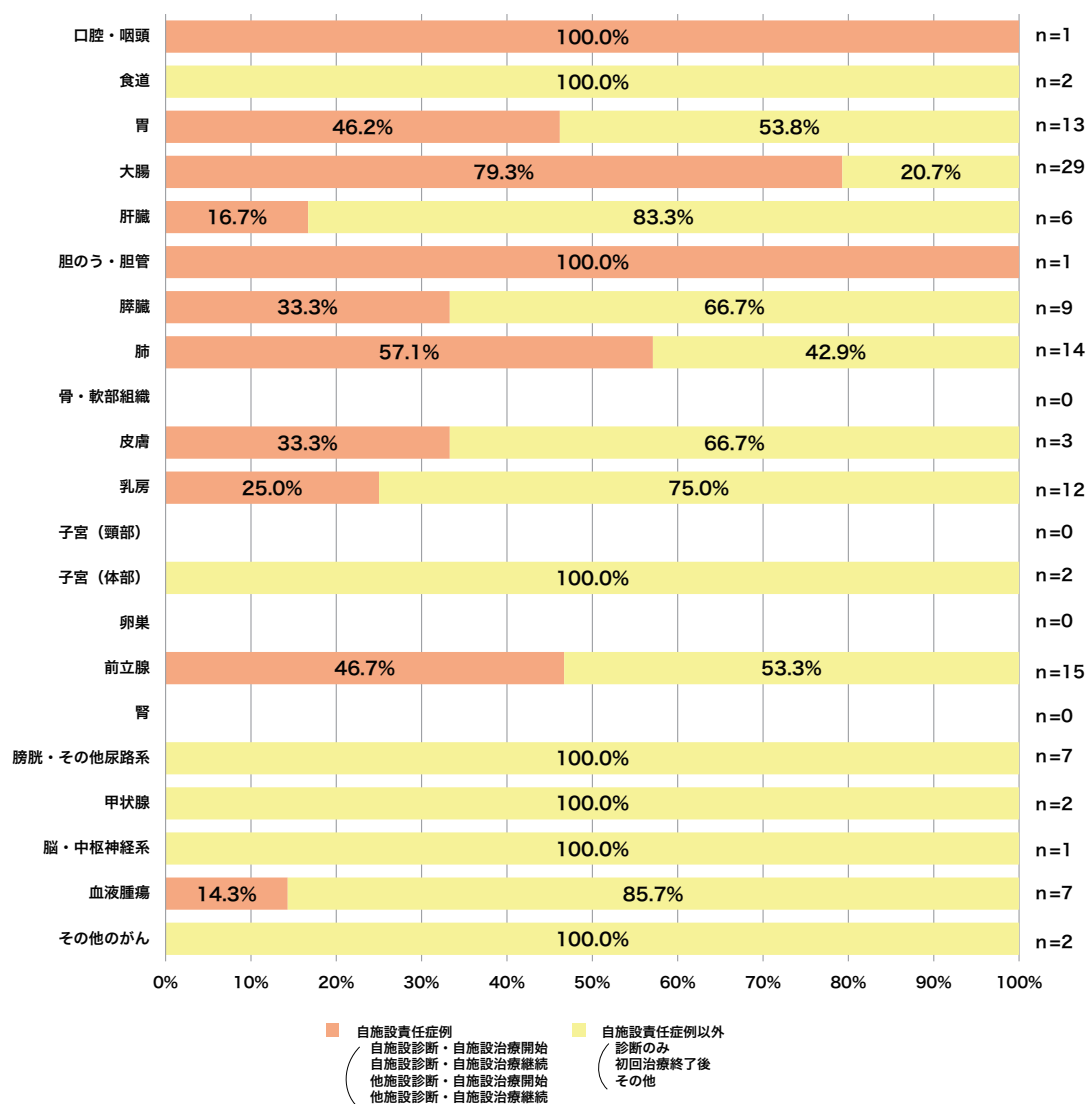
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

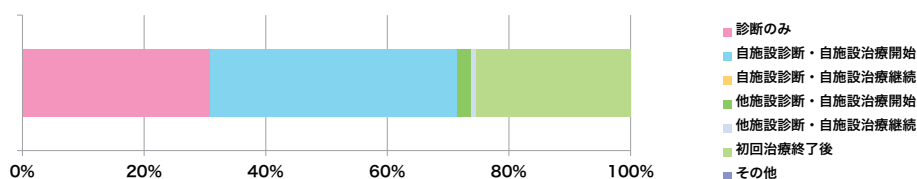


症例区分 部位別の責任症例の割合



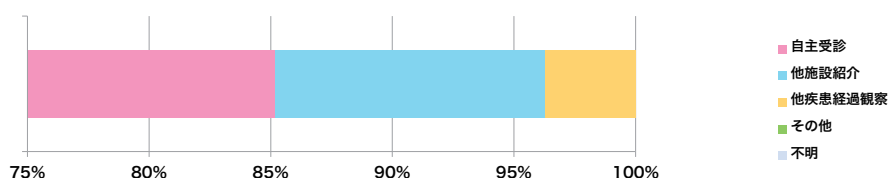
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	39 (31.0%)
自施設診断・自施設治療開始	51 (40.5%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	3 (2.4%)
他施設診断・自施設治療継続	1 (0.8%)
初回治療終了後	32 (25.4%)
その他	0 (0.0%)
合計	126 (100.0%)



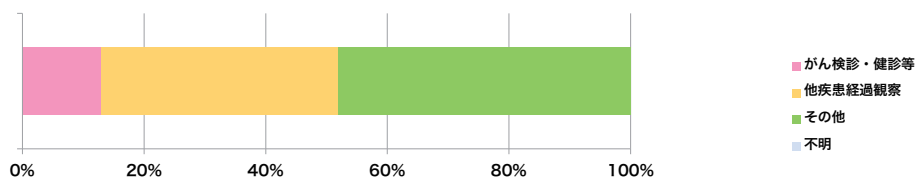
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	46 (85.2%)
他施設紹介	6 (11.1%)
他疾患経過観察	2 (3.7%)
その他	0 (0.0%)
不明	0 (0.0%)
合計	54 (100.0%)

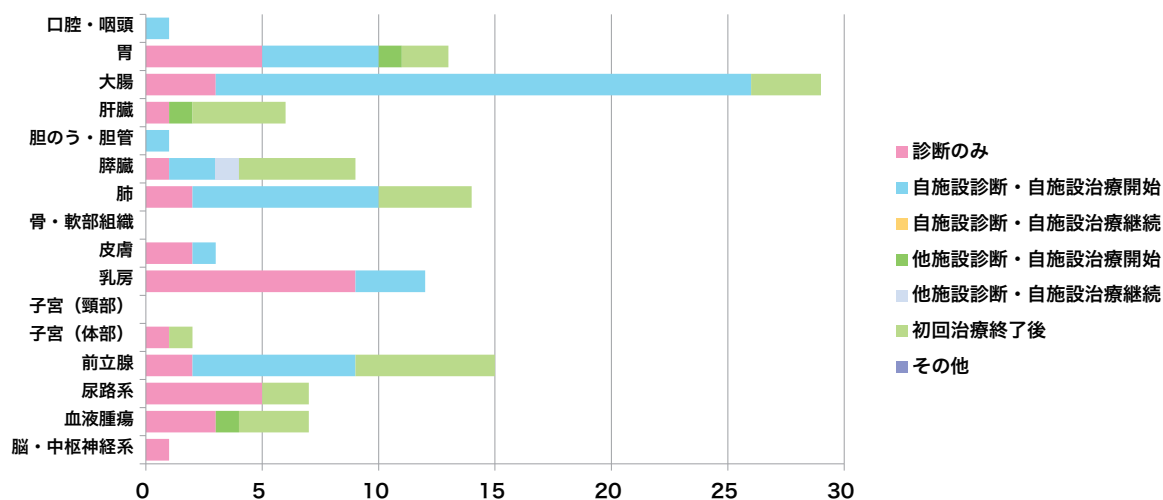


発見経緯別 初回治療数と登録割合

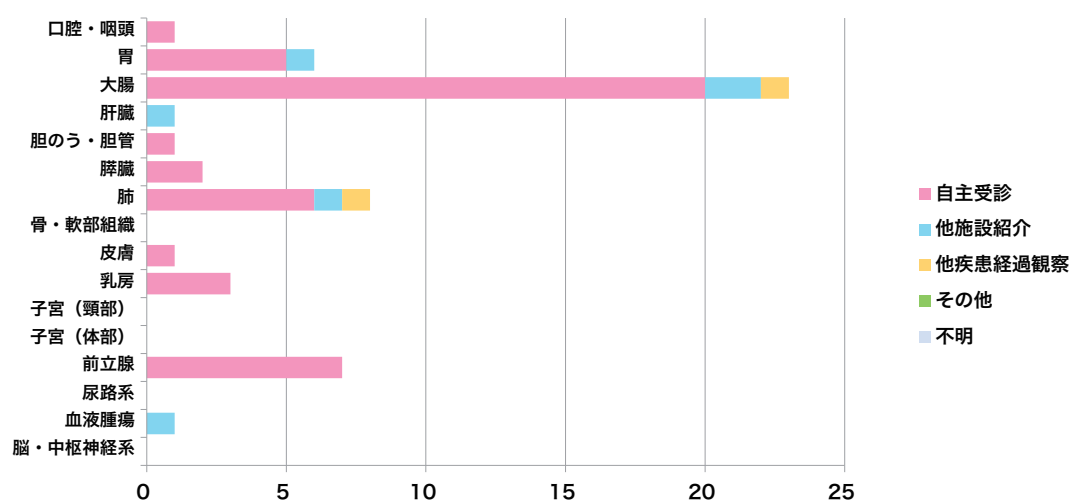
	登録数
がん検診・健診等	7 (13.0%)
他疾患経過観察	21 (38.9%)
その他	26 (48.1%)
不明	0 (0.0%)
合計	54 (100.0%)



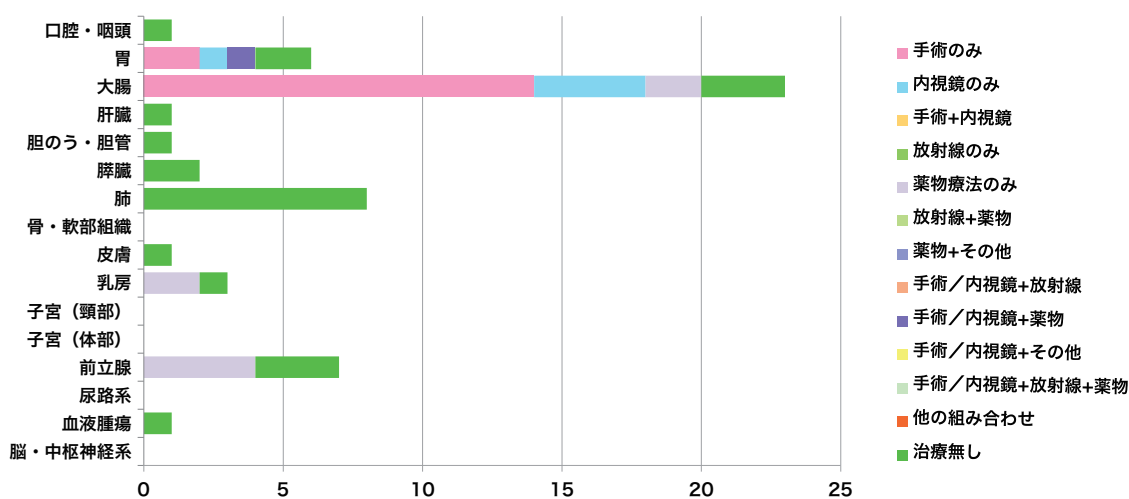
部位別 症例区分別 全登録数



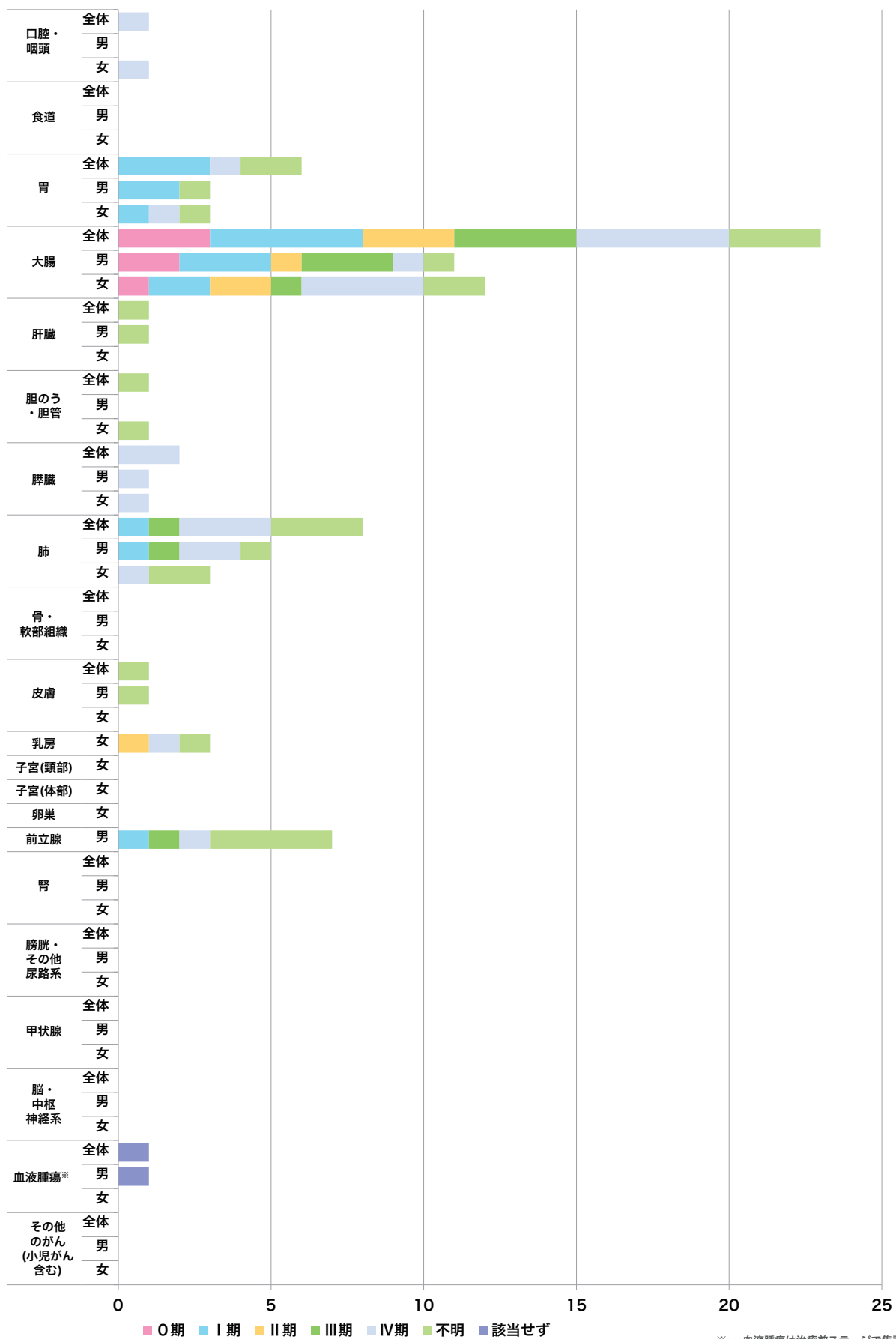
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※・・・血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	9	7.1%	岡山市	0
			玉野市	0
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	0
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	9
県南西部保健医療圏	1	0.8%	倉敷市	0
			笠岡市	0
			井原市	1
			総社市	0
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	112	88.9%	高梁市	110
			新見市	2
真庭保健医療圏	1	0.8%	真庭市	1
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏			津山市	0
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	0
県外	3	2.4%		3
			合計	126

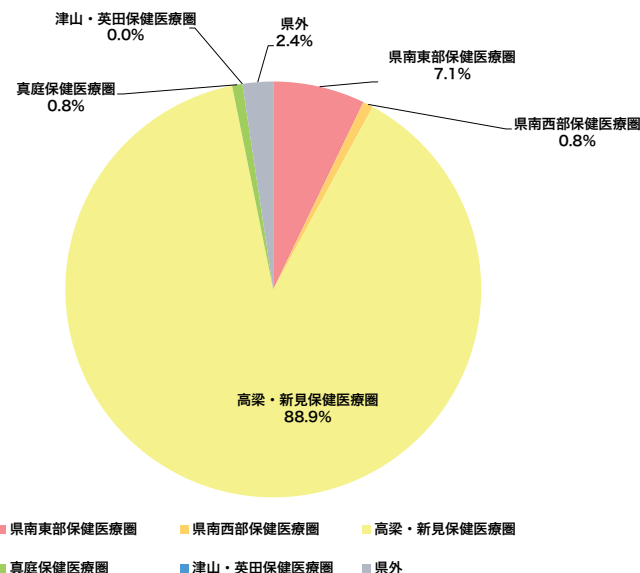
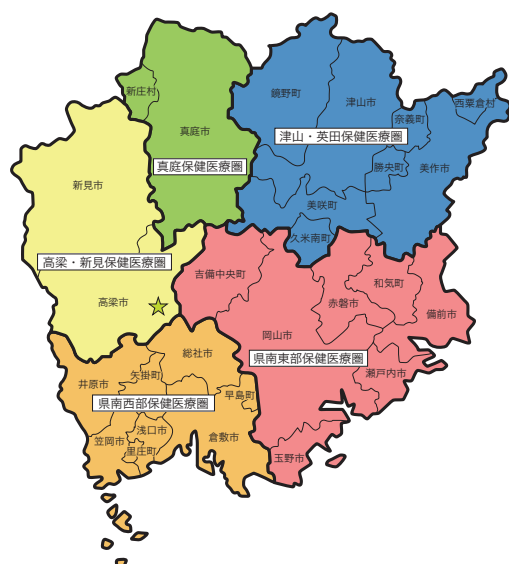
担当医療圏
高梁・新見保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
88.9%

県内担当医療圏外の割合
8.7%

県外患者住所の割合
2.4%

担当医療圏



岡山労災病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山労災病院
所 在 地	〒702-8055 岡山県岡山市南区築港緑町 1-10-25
電話（代表）	086-262-0131
ホームページ	https://www.okayamah.johas.go.jp/
交通アクセス	岡山駅より岡電バス「岡山ろうさい病院」行きに乗車後 35 分程度

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、精神科、心療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科 合計 22 診療科		
病 床 数※1	358 床	平均在院日数※2	14.4 日
入院患者延べ数※3	94,215 人	外来患者延べ数※4	170,619 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 3 名（中級者 1 名 初級者 1 名）		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-262-0131
対応時間	平日 8：15～17：00
ホームページ	https://www.okayamah.johas.go.jp/bumon/gansupport.php

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	○
院内図書館	×





岡山労災病院 院長

伊 達 勲

岡山労災病院の2022年がん登録についてご報告申し上げます。岡山労災病院は岡山県から指定された「がん診療連携推進病院」の1つです。岡山市南区に位置する唯一の地域医療支援病院として、主に南区とその南にある玉野市の急性期・地域医療を担っています。2022年の悪性腫瘍全登録数は531例であり、南区を中心とする岡山市が362例（68%）、玉野市が126例（24%）と大半を占めます。自施設診断・自施設初回治療開始は379例であり、他施設診断・自施設初回治療開始は42例でした。

当院は22診療科からなる総合病院であり、放射線治療機器も有していることから、ほとんどの腫瘍の診断並びに外科的治療、化学療法、放射線治療を行っています。臓器別腫瘍の全登録数と初回治療数は、食道がん・胃がん・大腸がん・肝胆膵などの消化器系がんが202例と164例と最も多く、肺がん・胸腺・胸膜・縦隔などの呼吸器系腫瘍が87例と77例、泌尿器系が110例と92例、乳がん・甲状腺がんが38例と37例、血液系腫瘍が47例と39例、皮膚がん・軟部組織腫瘍が15例と15例、脳腫瘍が13例と8例、女性生殖器がんが11例と6例、頭頸部がんが6例と2例、その他が2例と1例でした。臓器別の比率割合は概ね例年と同様でした。

当院は全国の労災病院の中で、唯一アスベスト研究・研修センターを有しており、アスベスト関連胸膜疾患が全国から紹介されてきます。悪性胸膜中皮腫の治療実績は全国トップクラスです。

外科的処置については低侵襲を心掛けており、食道がん・胃がん・大腸がんなどの消化管系粘膜内がんに対しては、内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）を行っています。比較的早期の消化器系がん・肺がん・縦隔腫瘍においては腹腔鏡や胸腔鏡を用いた切除術を行っています。完全胸腔鏡下肺葉切除術も行っています。進行がんに対しては標準的な開腹・開胸術を行います。必要に応じて放射線治療科・腫瘍内科と共に集学的治療を行っています。

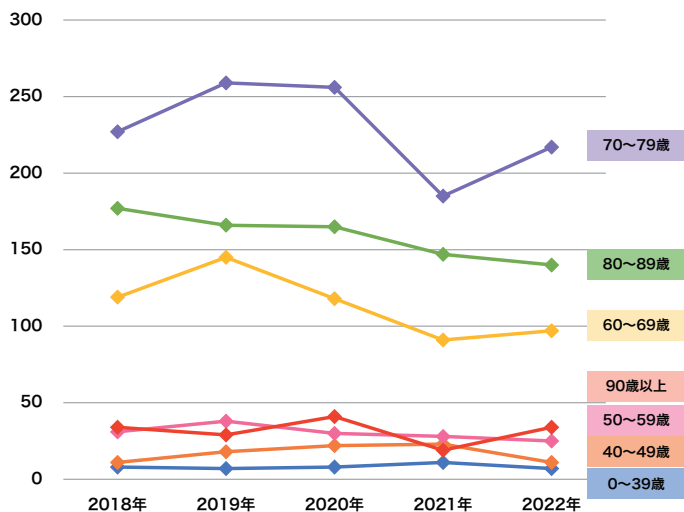
内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた手術を2024年8月から大腸がんに対して始めました。2025年には前立腺がんに対してもこの手術を始める予定です。

外科治療の適応のない進行がんでは化学療法・分子標的薬剤やチェックポイント阻害剤を用いた新たな薬物治療も行っています。また、外来に化学療法センターを設置し、可能な限り患者の皆さんのQOLを保ちながら外来化学療法を行っています。

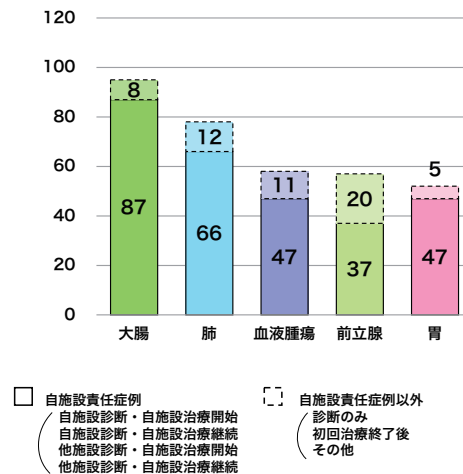
当院にはグリオーマサポートセンターという悪性脳腫瘍のグリオーマに対するユニークな治療センターがあります。岡山大学と連携して、手術・化学療法・放射線療法・交流電場治療・リハビリなどを行い、必要に応じて在宅介護、訪問介護などの施設とも連携してQOLをできるだけ維持した治療を行っています。

全国の労災病院は治療と就労の両立支援に力を入れて取り組んでおり、当院におきましても、特にがん治療患者に対する職場復帰支援に取り組んでいます。

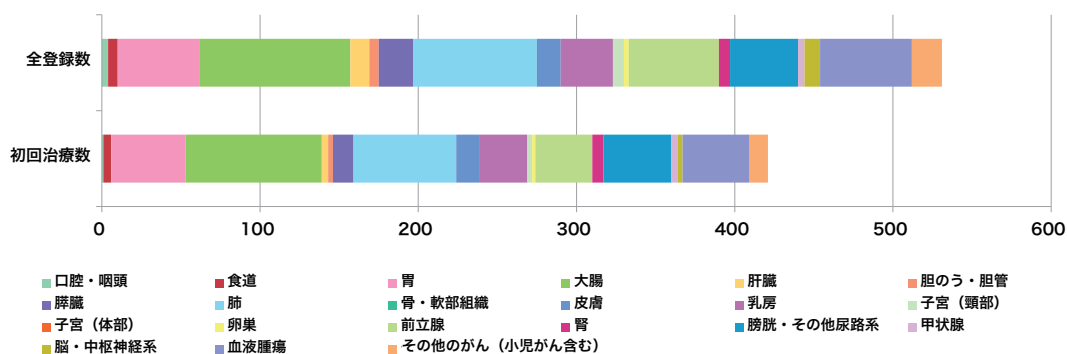
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



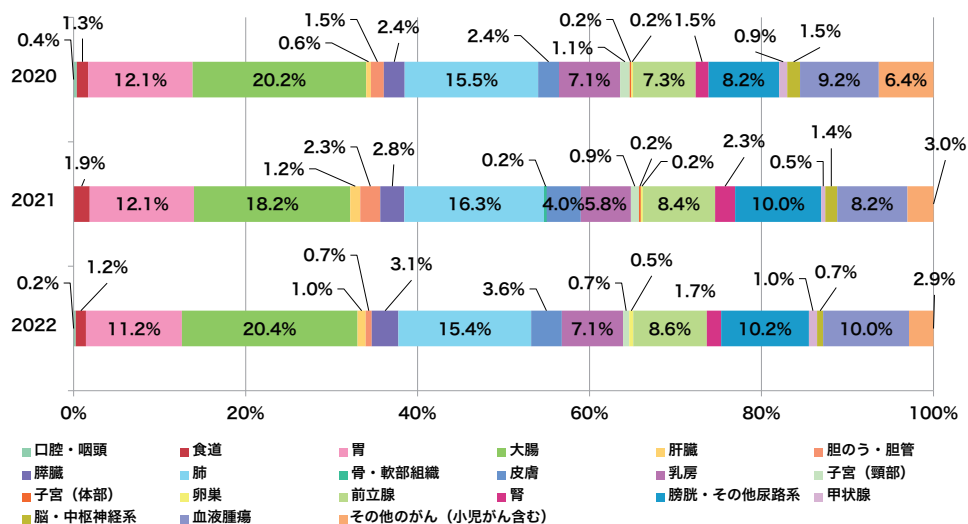
全登録数・初回治療数



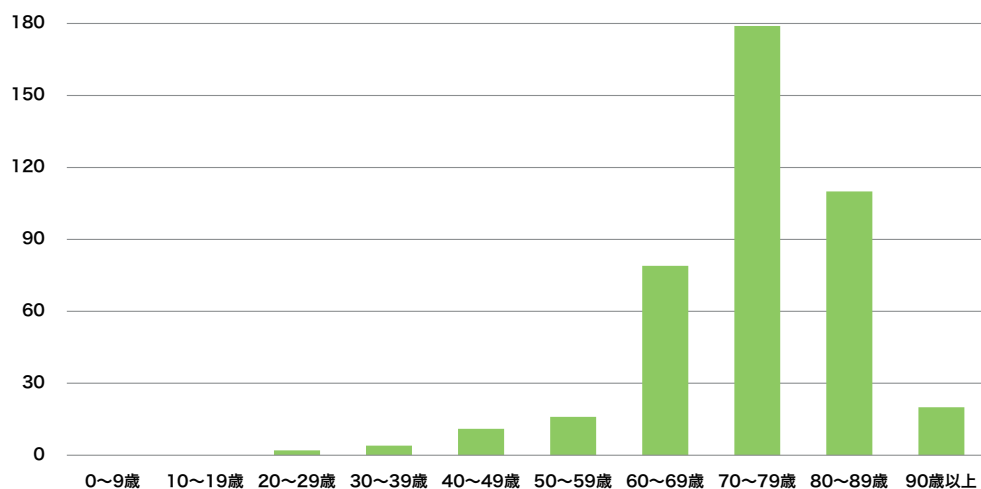
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

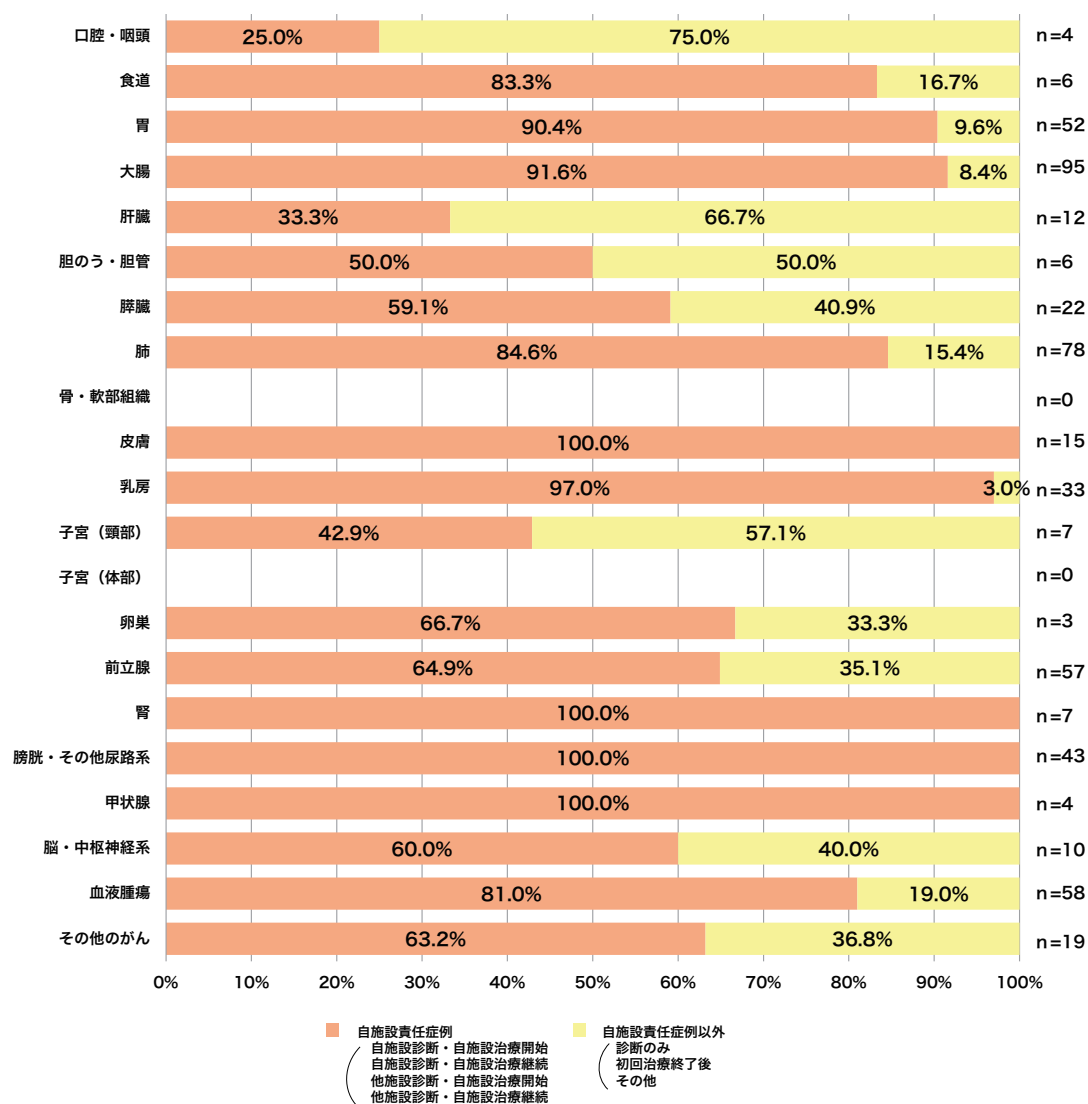
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

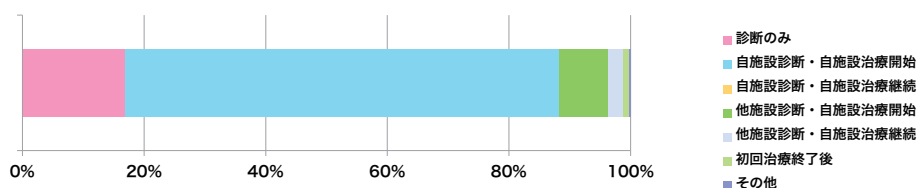


症例区分 部位別の責任症例の割合



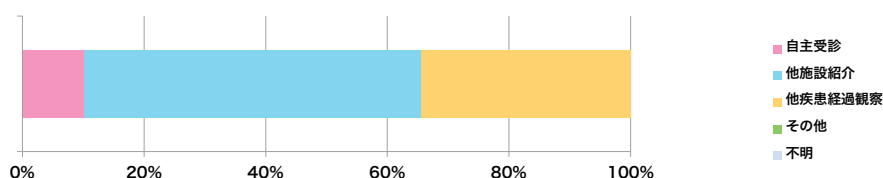
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	90 (16.9%)
自施設診断・自施設治療開始	379 (71.4%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	42 (7.9%)
他施設診断・自施設治療継続	13 (2.4%)
初回治療終了後	6 (1.1%)
その他	1 (0.2%)
合計	531 (100.0%)



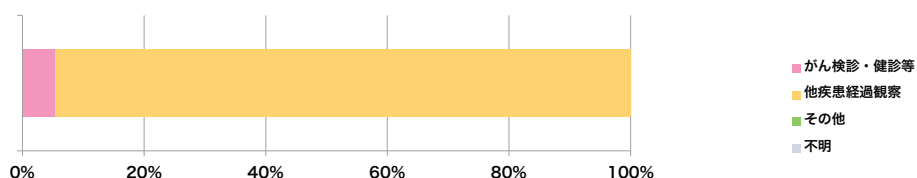
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	43 (10.2%)
他施設紹介	233 (55.3%)
他疾患経過観察	145 (34.4%)
その他	0 (0.0%)
不明	0 (0.0%)
合計	421 (100.0%)

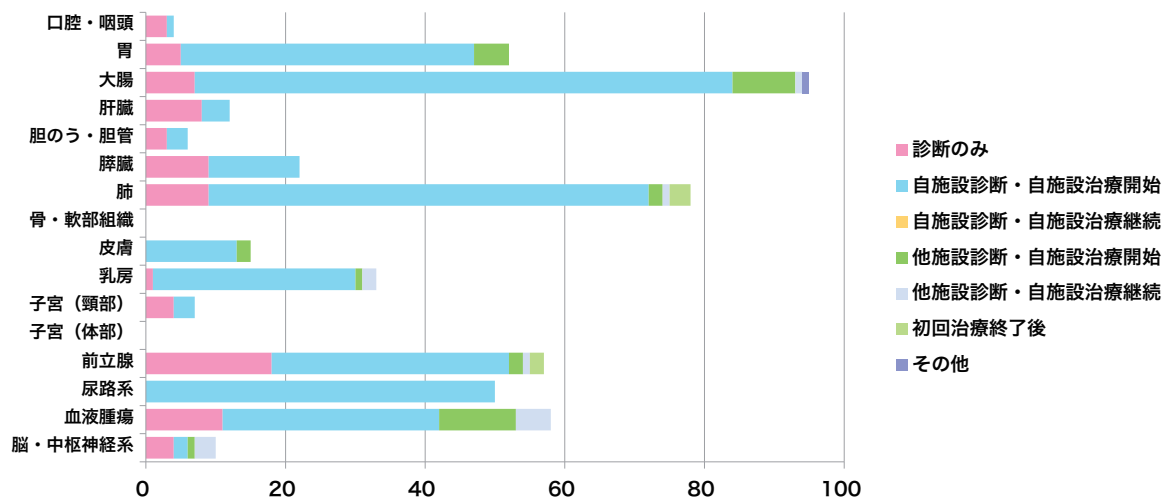


発見経緯別 初回治療数と登録割合

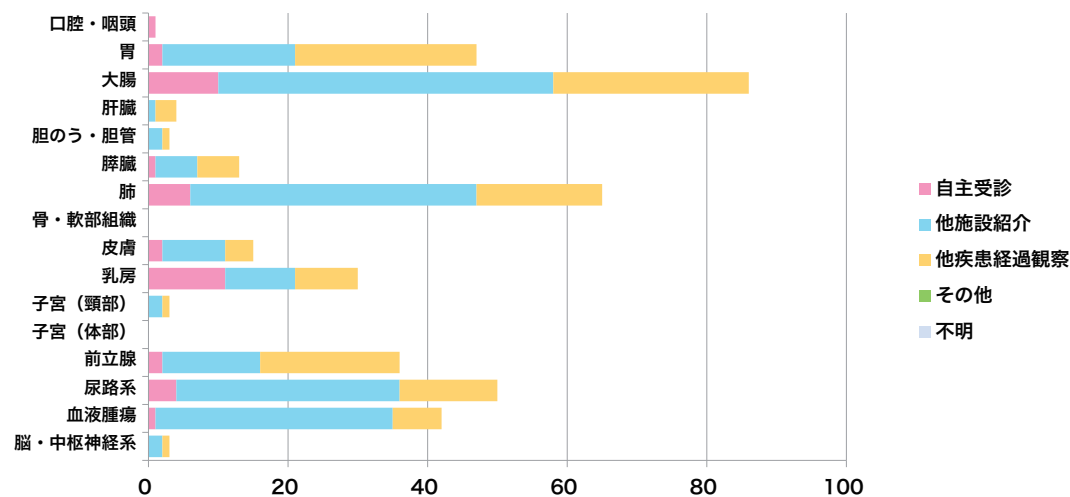
	登録数
がん検診・健診等	23 (5.5%)
他疾患経過観察	398 (94.5%)
その他	0 (0.0%)
不明	0 (0.0%)
合計	421 (100.0%)



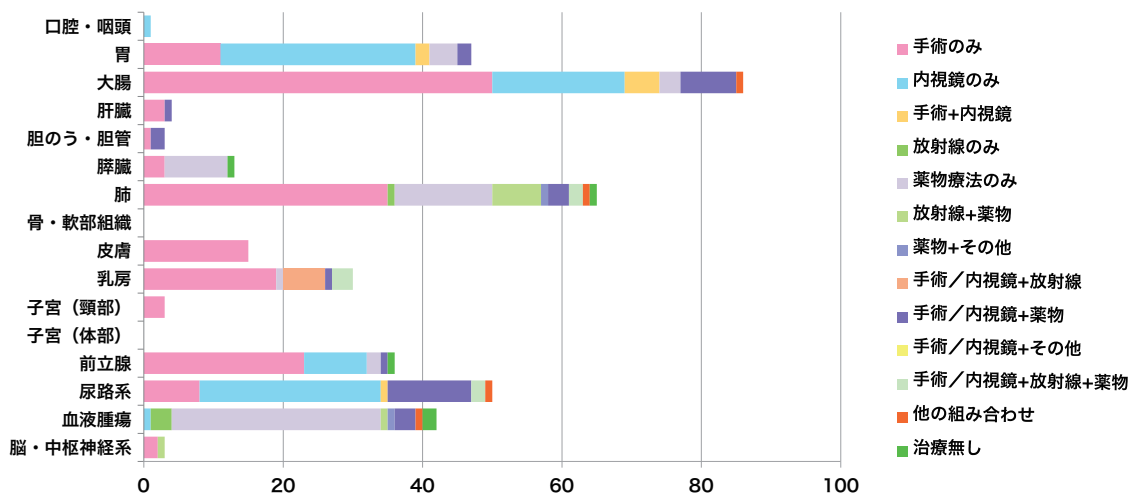
部位別 症例区分別 全登録数



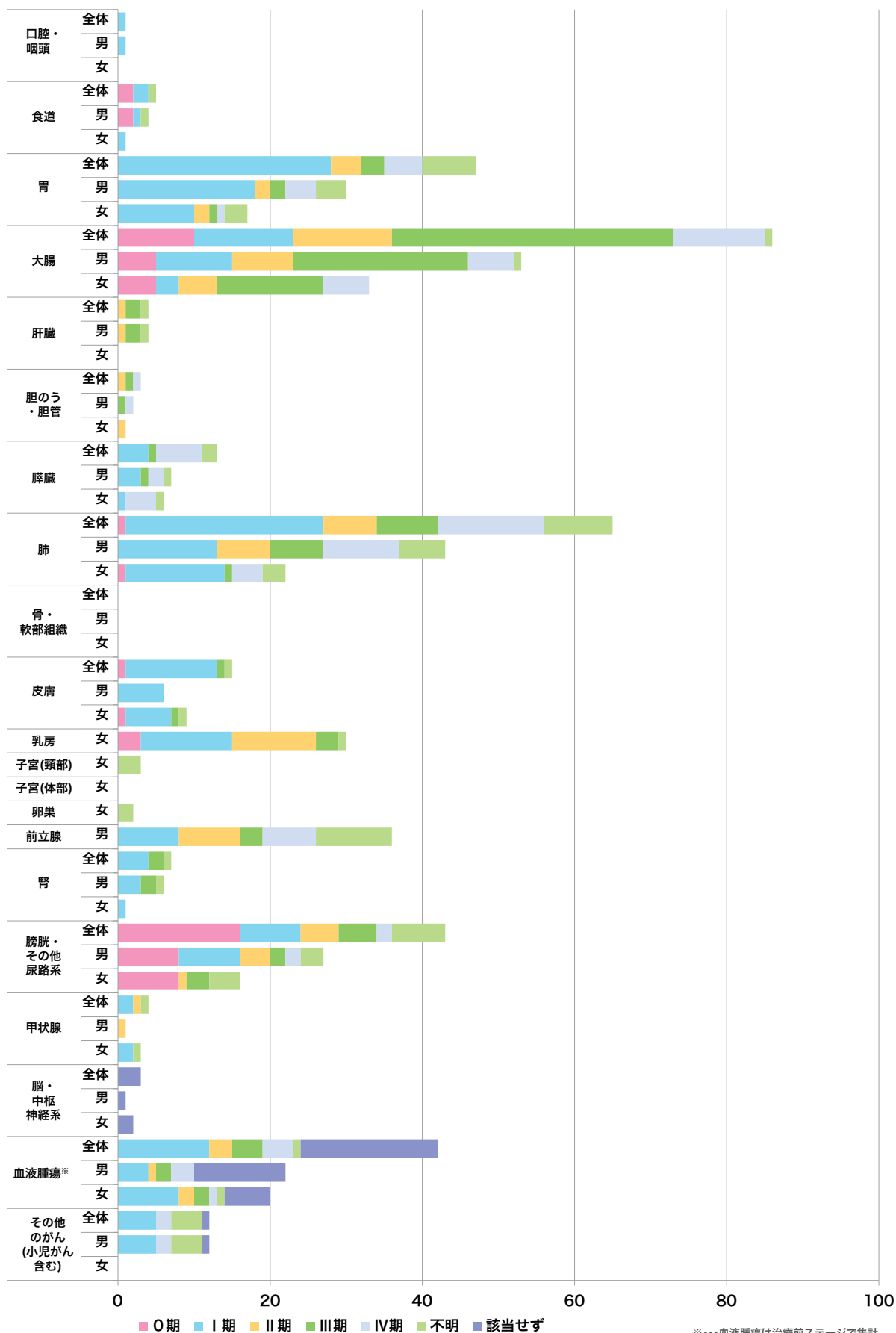
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※...血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	507	95.5%	岡山市	362
			玉野市	126
			備前市	8
			瀬戸内市	7
			赤磐市	1
			和気郡和気町	2
			加賀郡吉備中央町	1
県南西部保健医療圏	14	2.6%	倉敷市	7
			笠岡市	3
			井原市	0
			総社市	3
			浅口市	0
			都窪郡早島町	1
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	1	0.2%	高梁市	1
			新見市	0
真庭保健医療圏			真庭市	0
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	3	0.6%	津山市	0
			美作市	3
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	0
県外	6	1.1%		6
			合計	531

担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

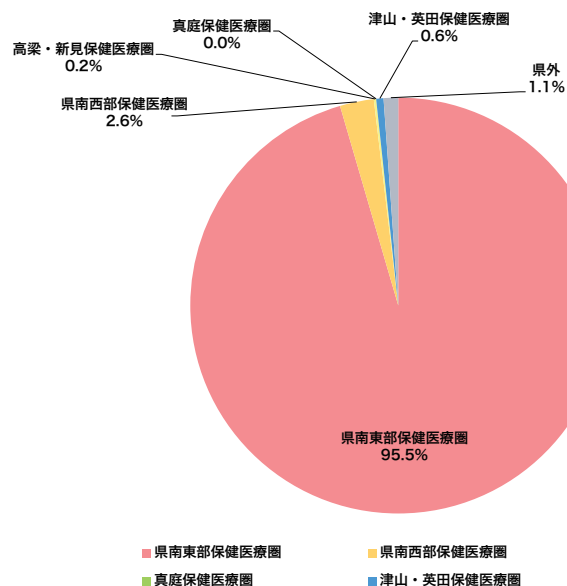
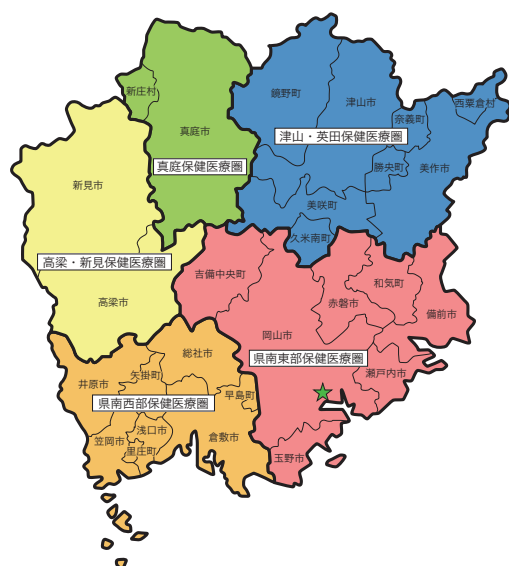
95.5%

県内担当医療圏外の割合

3.4%

県外患者住所の割合

1.1%



岡山市立市民病院

基 本 情 報	
病 院 名	地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
所 在 地	岡山県岡山市北区北長瀬表町 3-20-1
電 話 (代 表)	086-737-3000
ホームページ	https://okayama-gmc.or.jp/shimin/
交通アクセス	山陽本線で岡山駅より北長瀬駅まで約 4 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※1	内科、消化器内科、呼吸器内科、アレルギー科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、心療内科、精神科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、小児科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科、病理診断科、救急科、感染症内科 合計 32 診療科		
病 床 数※1	400 床	平均在院日数※2	13.2 日
入院患者延べ数※3	124,365 人	外来患者延べ数※4	141,756 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 1 名 (中級者 1 名 初級者 0 名)		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-737-3000 【代表】
対応時間	平日 9：00～17：00 (土日祝日、年末年始は除く)
ホームページ	https://okayama-gmc.or.jp/shimin/department/cancer-support

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 (がん患者サロンなど)	○
院内図書館	×



地方独立行政法人岡山市立総合医療センター
岡山市立市民病院



岡山市立市民病院 院長

今 城 健 二



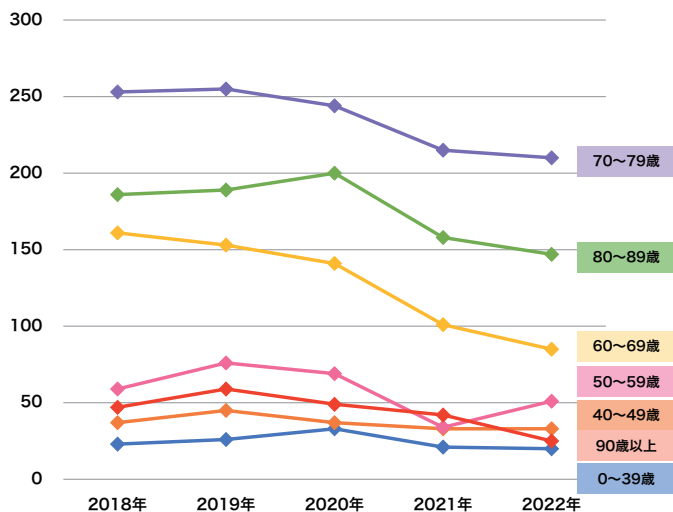
当院は岡山市の設立した公立病院であり、地方独立行政法人として運営しています。岡山市や近隣地域の皆様が安全に安心して暮らし、健康を維持できますよう診療を行っています。また専門診療分野の充実にも取り組んでおり、専門診療科だけでなく臓器や疾患別センターを配備し診療科横断的な診療体制を整えています。脳疾患センターでの脳卒中对応、IVR センターや心不全センターでの循環器疾患対応、糖尿病センター、がん治療サポートセンターによる五大疾病への対応だけでなく、血液・腫瘍センター、人工関節センター、消化器疾患センター、リウマチセンター、低侵襲手術センターなど専門性の高い分野での取り組みにも力を入れています。

当院は平成 24 年にがん診療連携推進病院の指定を受け、質の高いがん治療を提供すべく積極的に取り組んでいます。がん治療の更なる推進や患者さんへのサポートの強化を図る必要性があるために、平成 29 年にがん治療サポートセンターを創設しました。

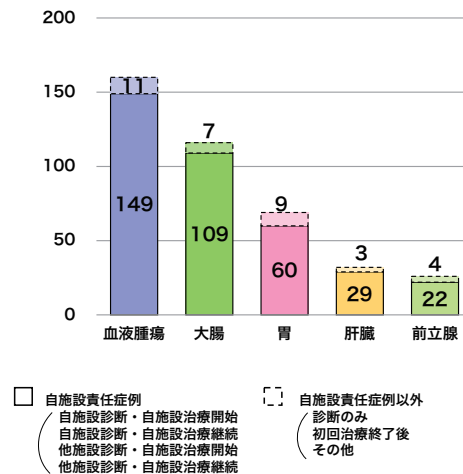
がん治療サポートセンターでは、患者支援、地域・市民への支援、がん診療に携わる医師への支援、他の医療従事者への支援（スタッフ支援）を 4 本の柱とした、がん診療を俯瞰する支援体制をとっています。地域住民の皆様に対しては、がんについての理解を深めていただくため、市民公開講座や WEB マガジン等を通じて情報提供を行うとともに、ホームページで当院のがん治療成績を公開するなど、開かれた医療の実現を目指しております。また患者さんやご家族に対しては、交流の場としてのがんサロンを定期的で開催し、治療や闘病生活に関する悩みや不安を気軽に相談できる場を設けています。個別の相談に対しては専門スタッフが担当するなど、安心して治療を受けていただける体制をとっております。

「この町であなたと生きる 岡山市立市民病院」の標語のもと、がん診療についても万全の態勢で診療にあたっておりますので、遠慮なくご相談ください。

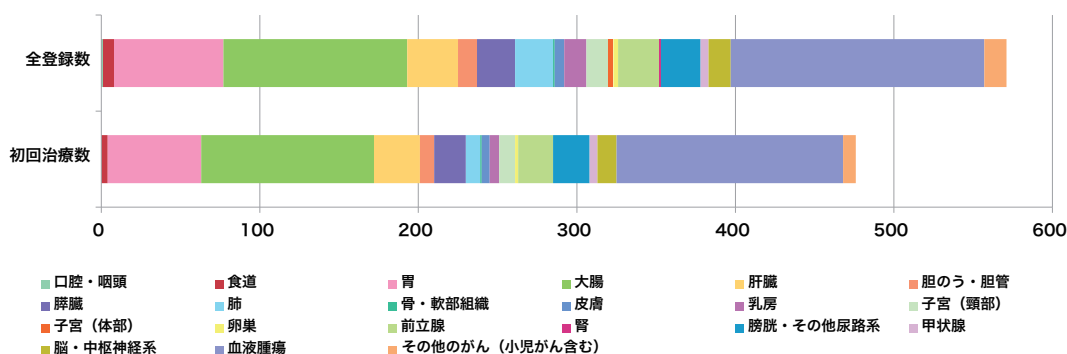
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



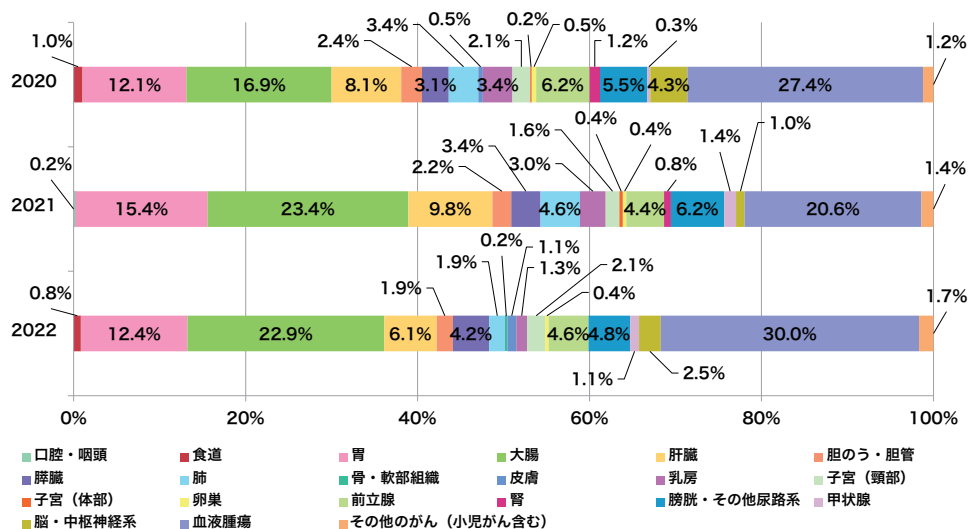
全登録数・初回治療数



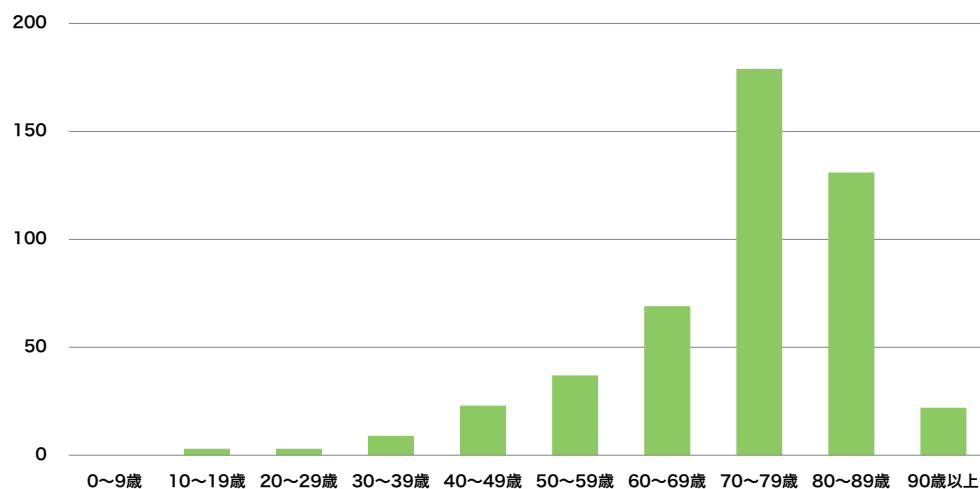
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

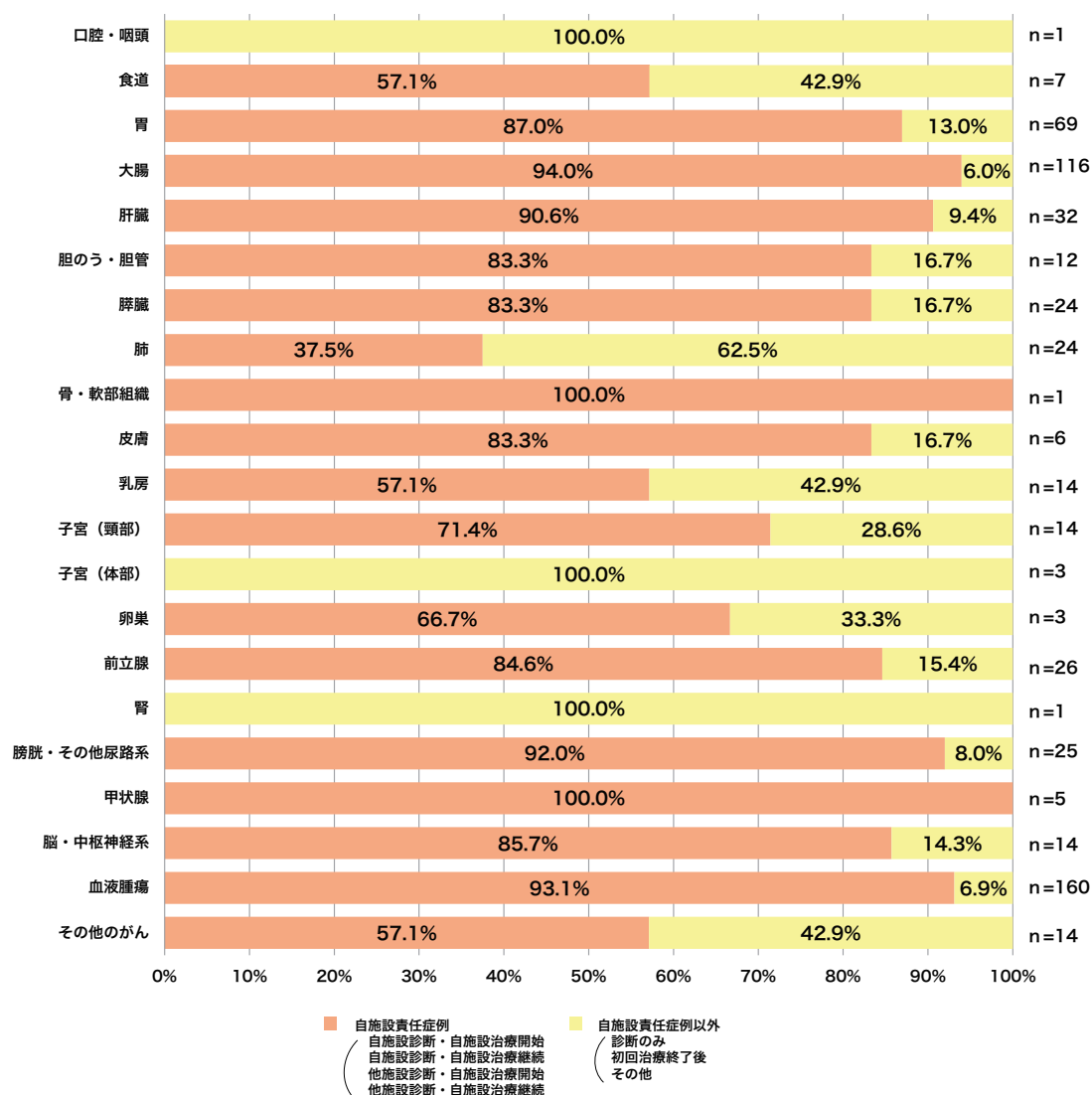
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

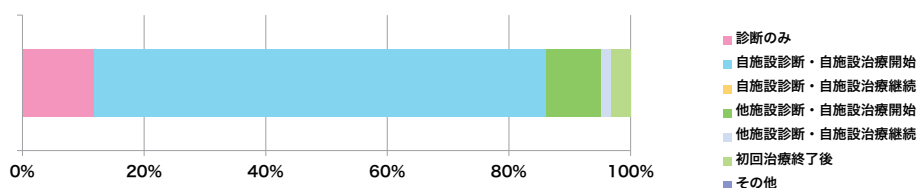


症例区分 部位別の責任症例の割合



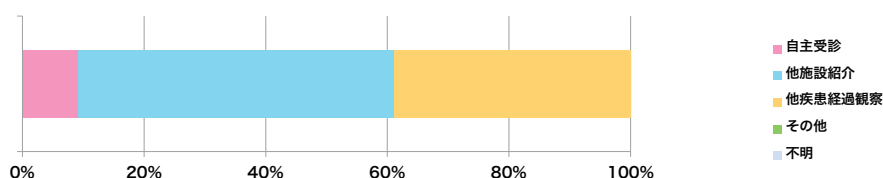
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	67 (11.7%)
自施設診断・自施設治療開始	425 (74.4%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	51 (8.9%)
他施設診断・自施設治療継続	10 (1.8%)
初回治療終了後	18 (3.2%)
その他	0 (0.0%)
合計	571 (100.0%)



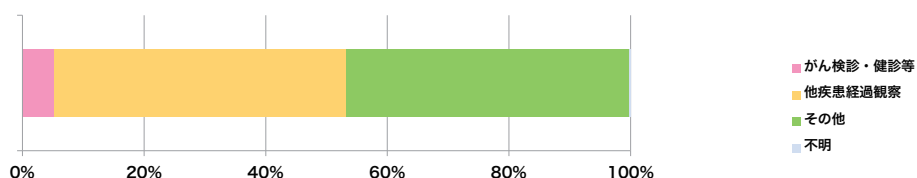
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	44 (9.2%)
他施設紹介	247 (51.9%)
他疾患経過観察	185 (38.9%)
その他	0 (0.0%)
不明	0 (0.0%)
合計	476 (100.0%)

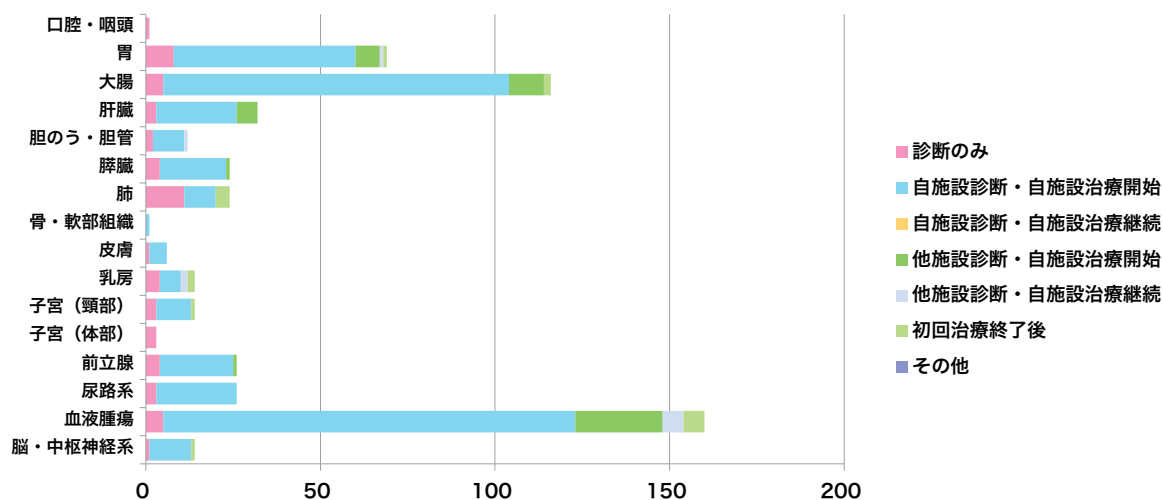


発見経緯別 初回治療数と登録割合

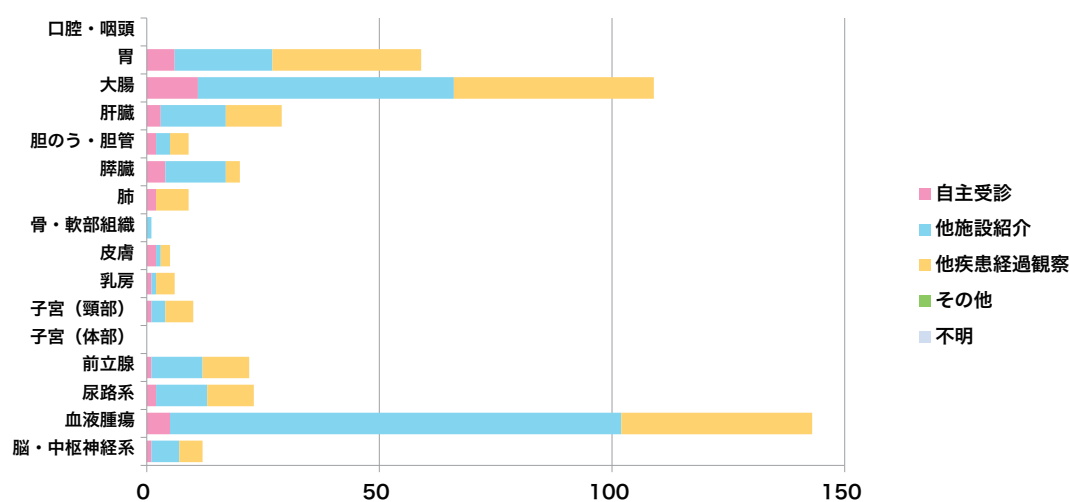
	登録数
がん検診・健診等	25 (5.3%)
他疾患経過観察	228 (47.9%)
その他	222 (46.6%)
不明	1 (0.2%)
合計	476 (100.0%)



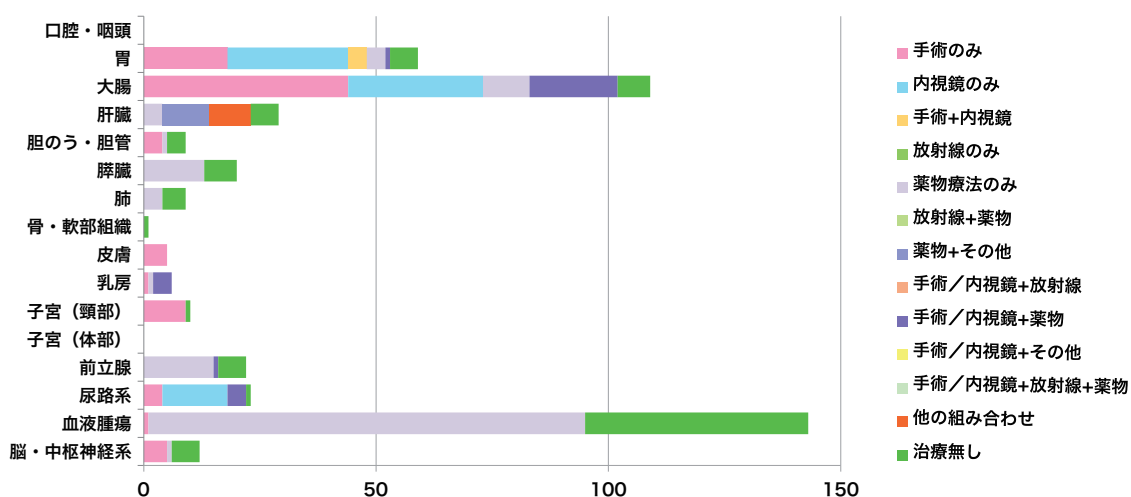
部位別 症例区分別 全登録数



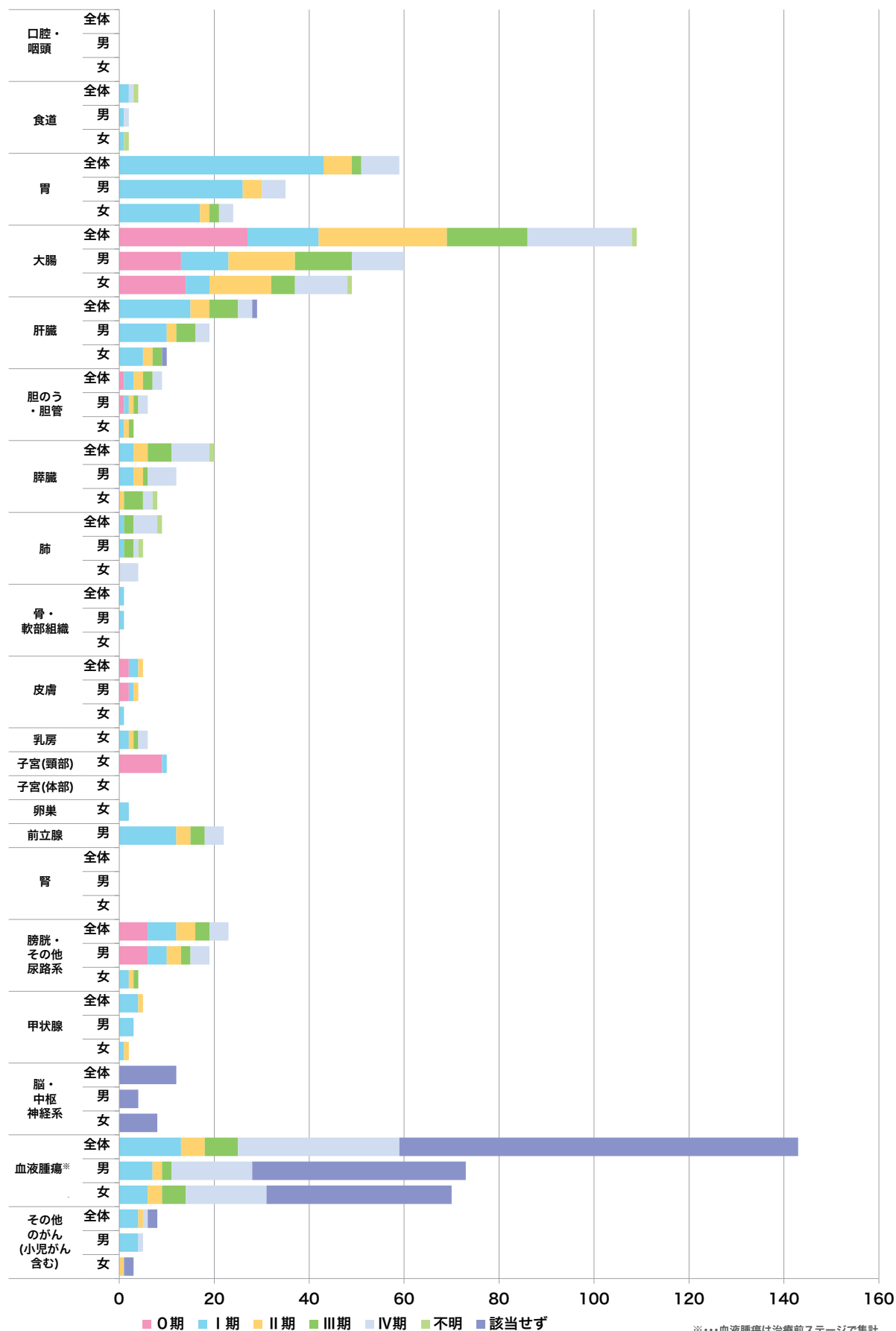
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※...血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	510	89.3%	岡山市	473
			玉野市	8
			備前市	5
			瀬戸内市	13
			赤磐市	9
			和気郡和気町	2
			加賀郡吉備中央町	0
県南西部保健医療圏	31	5.4%	倉敷市	25
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	3
			浅口市	1
			都窪郡早島町	2
			浅口郡里庄町	0
高梁・新見保健医療圏	2	0.4%	高梁市	2
			新見市	0
真庭保健医療圏	7	1.2%	真庭市	7
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	16	2.8%	津山市	7
			美作市	3
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	2
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	2
			久米郡美咲町	2
県外	5	0.9%		5
			合計	571

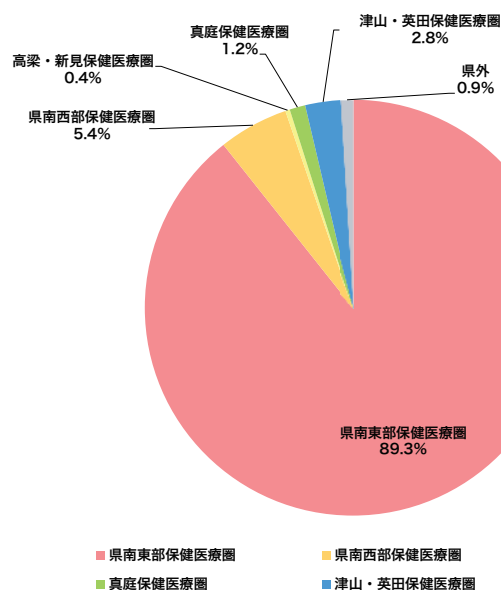
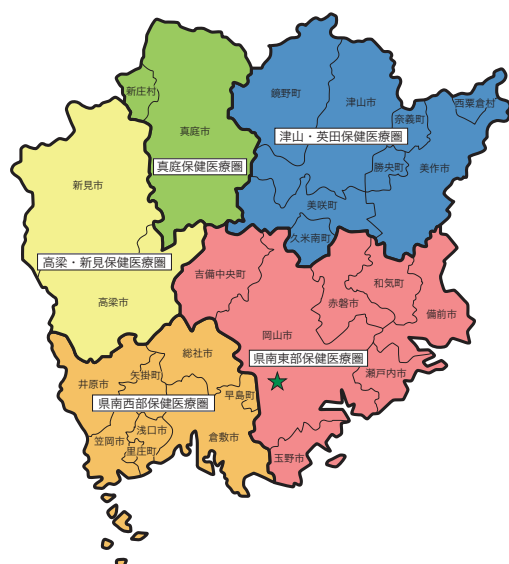
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
89.3%

県内担当医療圏外の割合
9.8%

県外患者住所の割合
0.9%



川崎医科大学総合医療センター

基 本 情 報	
病 院 名	川崎医科大学総合医療センター
所 在 地	〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下二丁目6番1号
電話（代表）	086-225-2111
ホームページ	https://g.kawasaki-m.ac.jp/
交通アクセス	岡山駅よりバス、タクシー、路面電車で約5～10分

集計期間：2023年4月1日～2024年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※1	救急科、内科、脳神経内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、老年内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、精神科、心療内科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、産婦人科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科 合計 29 診療科		
病 床 数※1	647 床	平均在院日数※2	13.1 日
入院患者延べ数※3	117,450 人	外来患者延べ数※4	198,668 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 2 名（中級者 2 名 初級者 0 名）		

※1 2024年11月1日現在

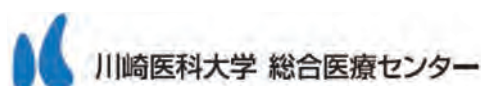
※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-225-2111（代表）
対応時間	平日：9：00～17：00、土曜日：9：00～12：30
ホームページ	https://g.kawasaki-m.ac.jp/dept/gansoudan/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	☐
院内図書館	☐



川崎医科大学 総合医療センター





川崎医科大学総合医療センター 病院長

猶 本 良 夫

本報告書の作成に当たり、日々、正確なデータを収集・管理し、尽力されている皆様に深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

当院は、昨年春より厚生労働省指定の「地域がん診療連携拠点病院」として新たな役割を担うこととなりました。これまで、専門的ながん治療の提供、緩和ケアの充実、地域の医療従事者への研修などを行ってまいりましたが、拠点病院としての責務を果たすべく、より一層の努力を重ねております。特に、がん患者さんが住み慣れた地域で適切な診療を受けられるよう、医療機関間の情報共有や診療支援の体制整備に注力しています。

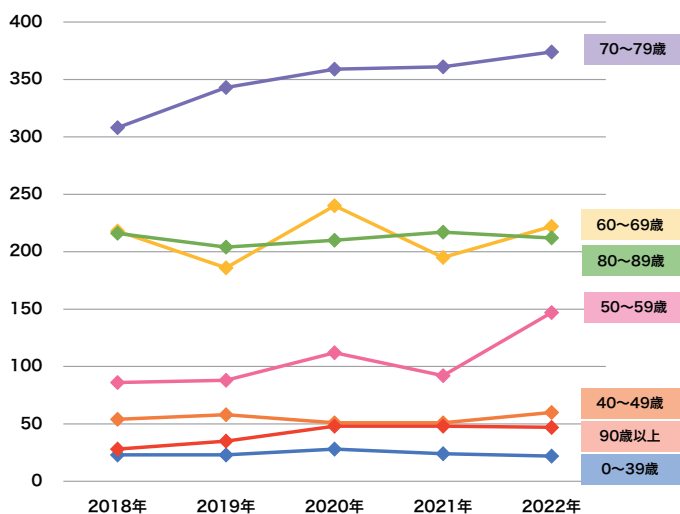
また、本年は「がんゲノム医療連携病院」にも指定され、がんゲノム医療の推進に取り組んでいます。近年、がん治療は大きな進展を遂げており、従来の標準治療に加え、個々の患者さんの遺伝情報をもとに最適な治療法を選択する「個別化医療」の時代が到来しました。遺伝子パネル検査を用いた診断技術が進歩し、これまで治療の選択肢が限られていた患者さんにも新たな可能性が開かれています。当院では、がんゲノム医療の専門医やカウンセラーを含む多職種チームが連携し、患者さんおよびご家族に十分な情報提供と支援を行いながら、より質の高い医療を提供できるよう努めています。

このようながん医療の進歩が見られる一方で、最近のデータから、東アジア、特に日本において若年層のがんが増加していることが明らかになってきました。これまでがんは高齢者に多い疾患とされてきましたが、ライフスタイルの変化、環境要因、遺伝的背景などが影響し、若年層でも発症率が上昇しています。働き盛りや子育て世代の方々ががんに罹患することで、生活や社会的役割に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。早期発見・早期治療を促進する検診の充実に加え、若年がん患者の心理的・社会的サポート体制を強化することが重要です。こうした新たな動向を踏まえ、適切な医療を提供できるよう努めてまいります。

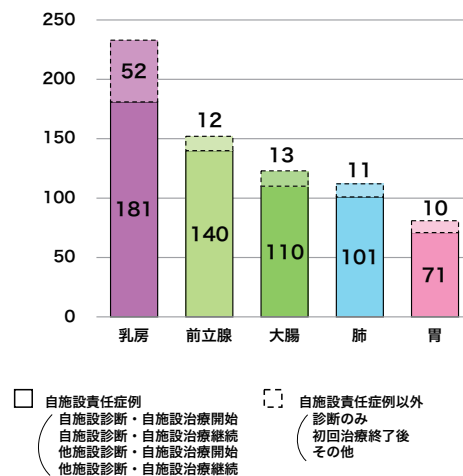
また、がん診療のみならず、地域医療全体が人口減少という大きな課題に直面しています。少子高齢化が進む中で、医療従事者の確保が困難になり、地域における医療提供体制の維持が厳しくなっています。特に地方では、医療資源の偏在や病院の統廃合などが進み、患者さんが必要な医療を受けるためのアクセスが制限されるケースも増えてきています。このような状況において、がん診療の充実と持続可能な地域医療の確保は、今後の大きな課題となります。当院では、医療従事者の育成と確保、ICTを活用した遠隔診療の導入、地域医療機関との協力体制の強化などに取り組みながら、地域の皆様が安心して医療を受けられる環境づくりを進めてまいります。

今後も、がん診療の最前線で患者さんと向き合い、質の高い医療を提供し続ける所存です。本報告書が、岡山県におけるがん医療のさらなる発展に寄与することを願っております。

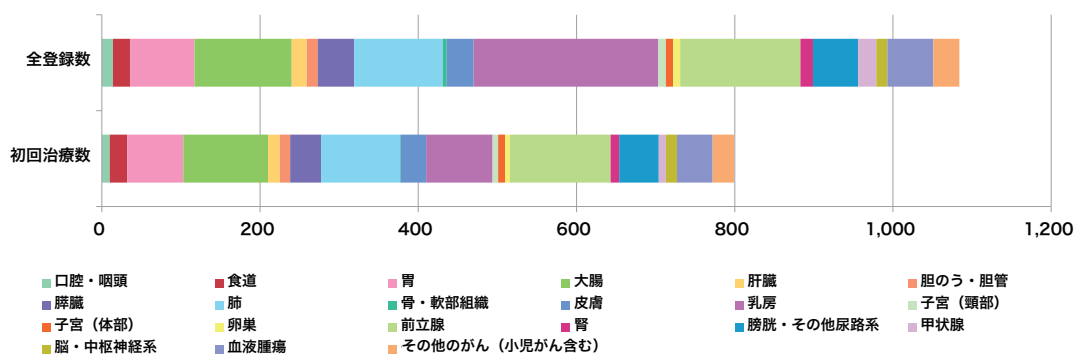
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



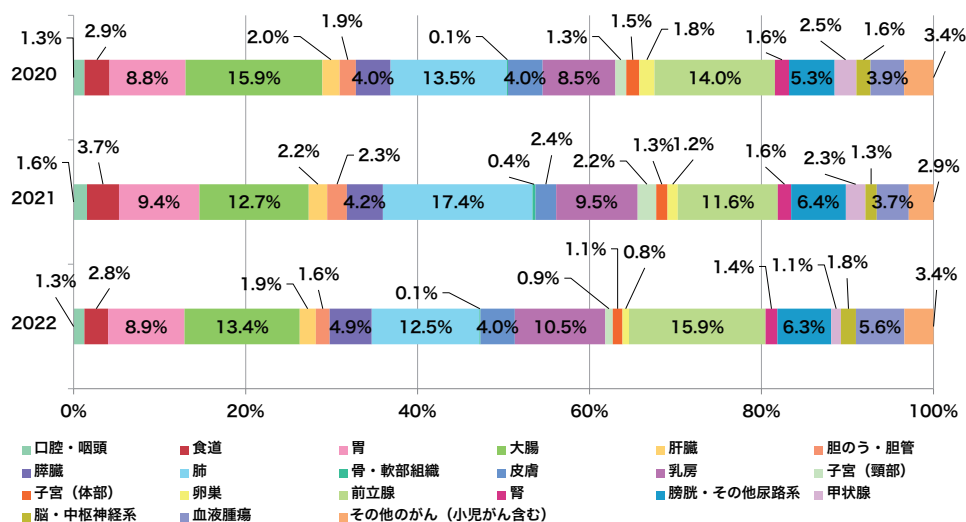
全登録数・初回治療数



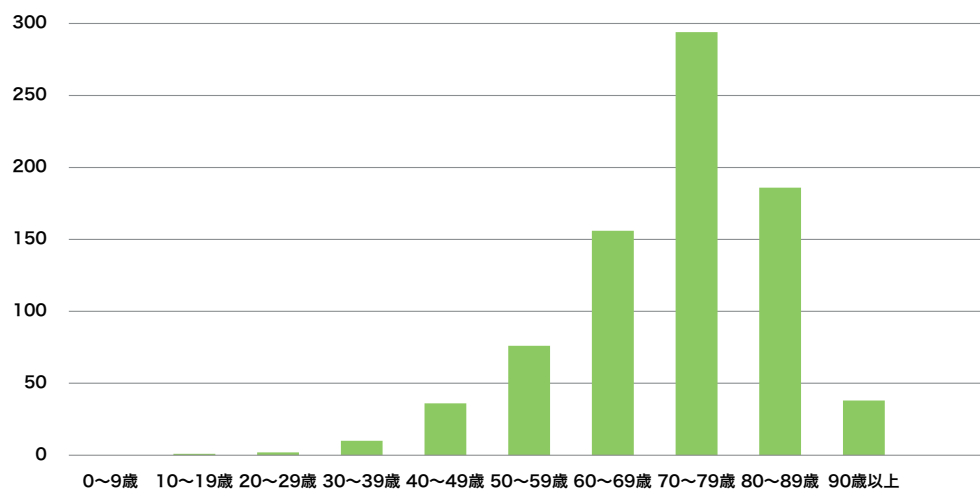
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

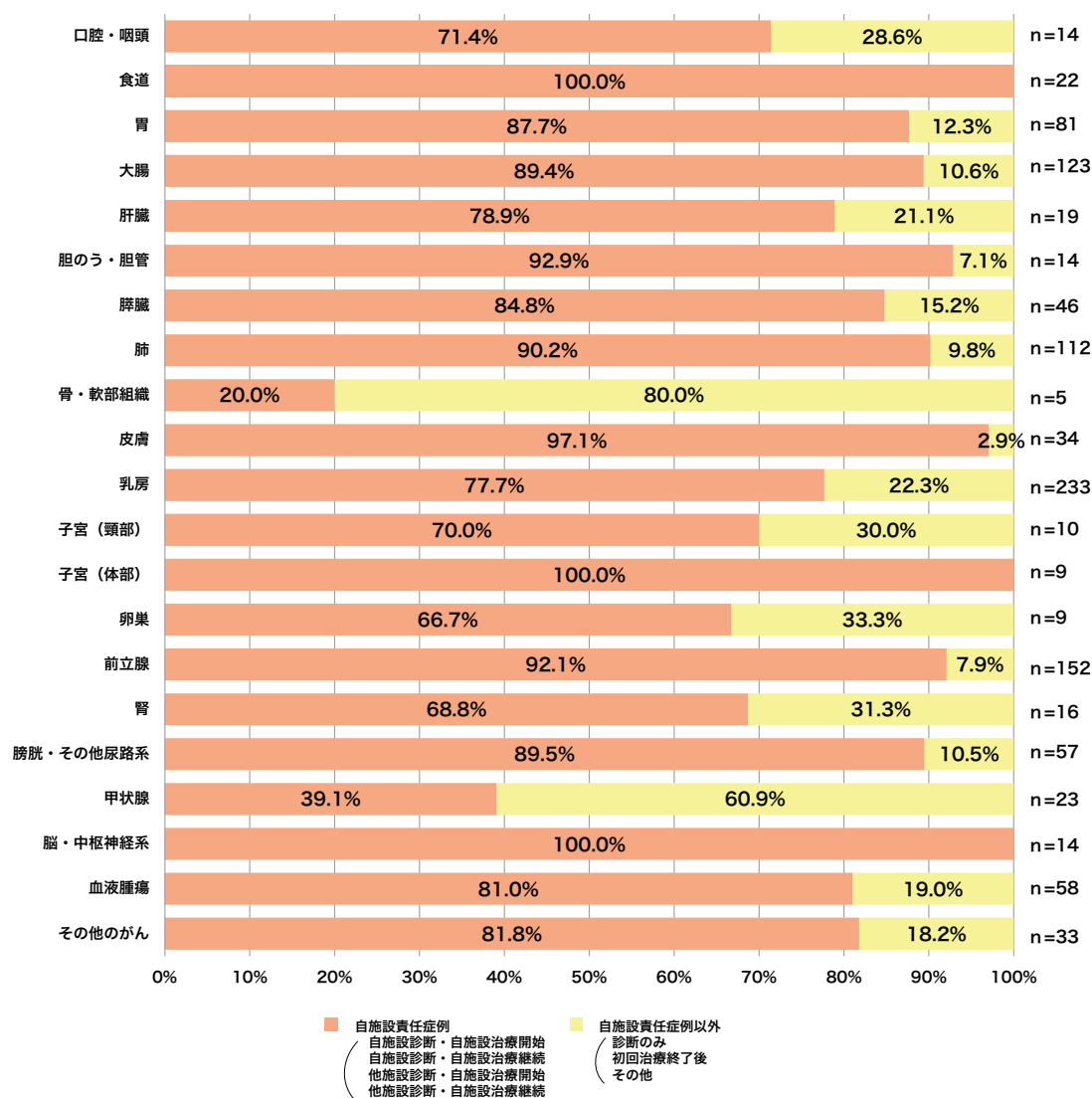
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

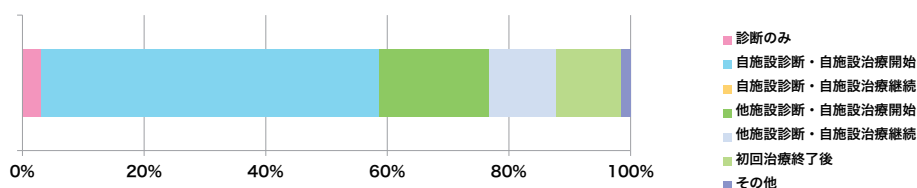


症例区分 部位別の責任症例の割合



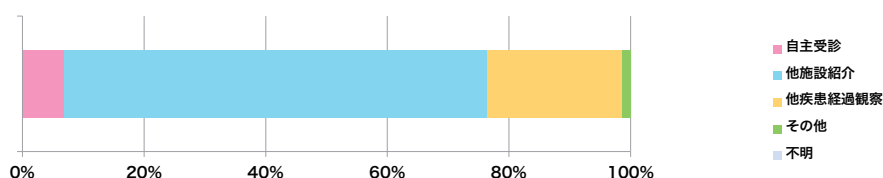
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	34 (3.1%)
自施設診断・自施設治療開始	602 (55.5%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	197 (18.2%)
他施設診断・自施設治療継続	118 (10.9%)
初回治療終了後	116 (10.7%)
その他	17 (1.6%)
合計	1,084 (100.0%)



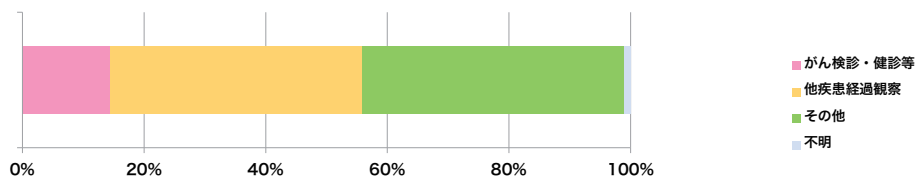
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	55 (6.9%)
他施設紹介	555 (69.5%)
他疾患経過観察	178 (22.3%)
その他	11 (1.4%)
不明	0 (0.0%)
合計	799 (100.0%)

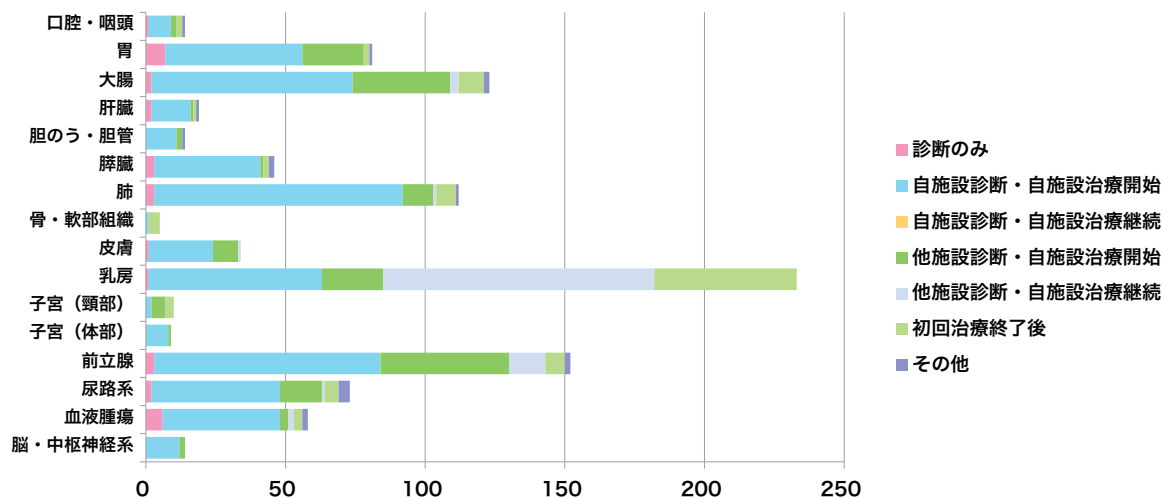


発見経緯別 初回治療数と登録割合

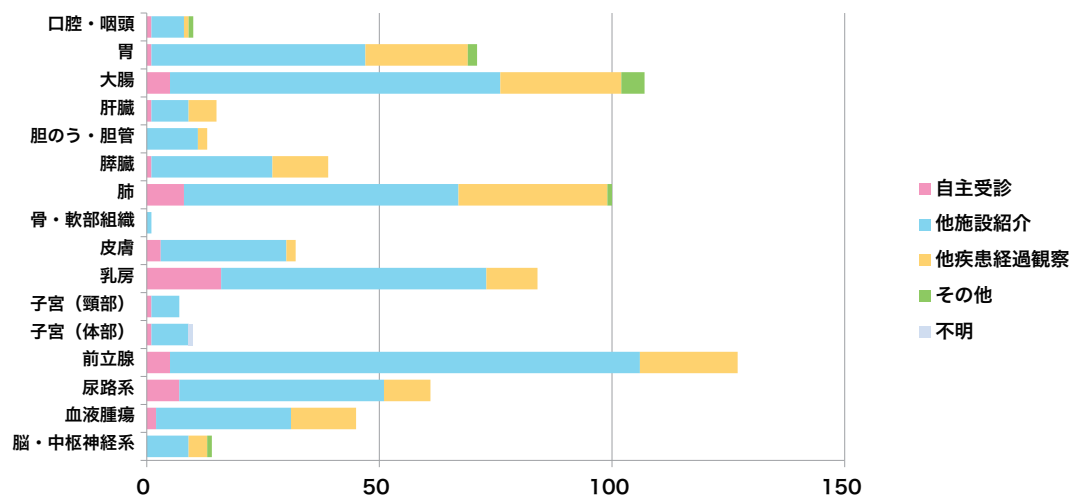
	登録数
がん検診・健診等	116 (14.5%)
他疾患経過観察	330 (41.3%)
その他	344 (43.1%)
不明	9 (1.1%)
合計	799 (100.0%)



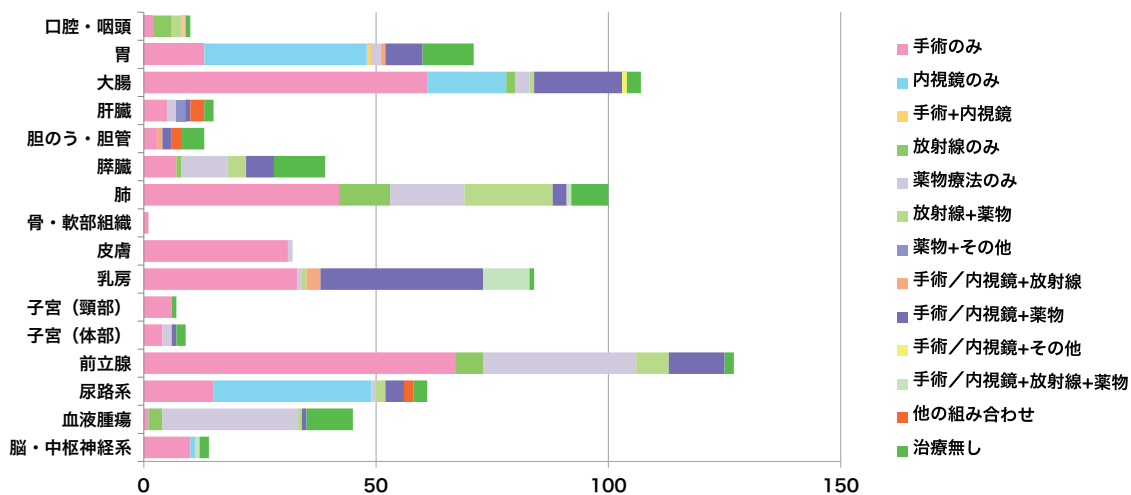
部位別 症例区分別 全登録数



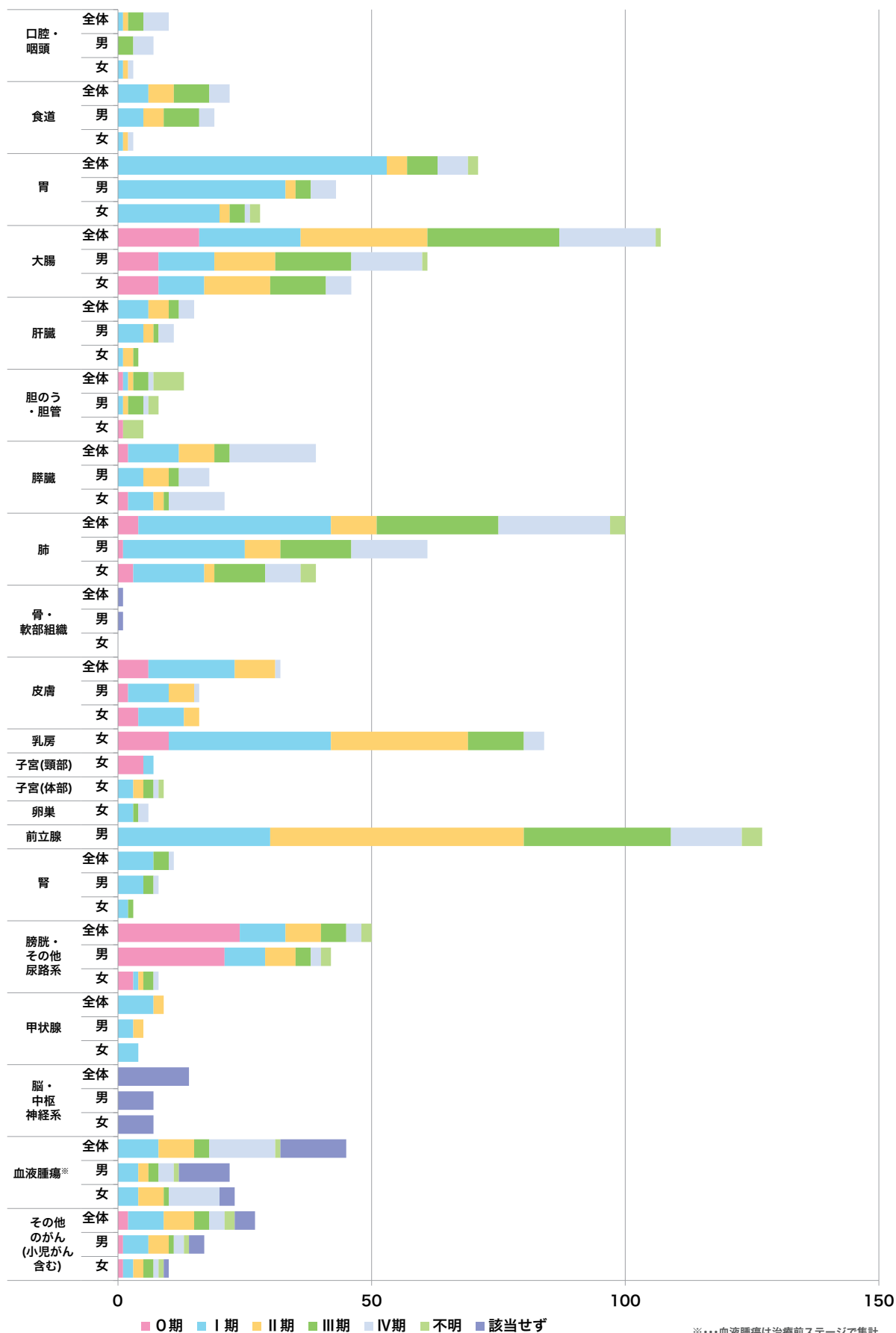
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



※...血液腫瘍は治療前ステージで集計

医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	868	80.1%	岡山市	711
			玉野市	33
			備前市	38
			瀬戸内市	41
			赤磐市	34
			和気郡和気町	7
			加賀郡吉備中央町	4
県南西部保健医療圏	73	6.7%	倉敷市	48
			笠岡市	4
			井原市	3
			総社市	7
			浅口市	7
			都窪郡早島町	1
			浅口郡里庄町	3
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	37	3.4%	高梁市	11
			新見市	26
真庭保健医療圏	10	0.9%	真庭市	10
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	37	3.4%	津山市	14
			美作市	8
			苫田郡鏡野町	1
			勝田郡勝央町	5
			勝田郡奈義町	1
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	2
			久米郡美咲町	6
県外	59	5.4%		59
			合計	1,084

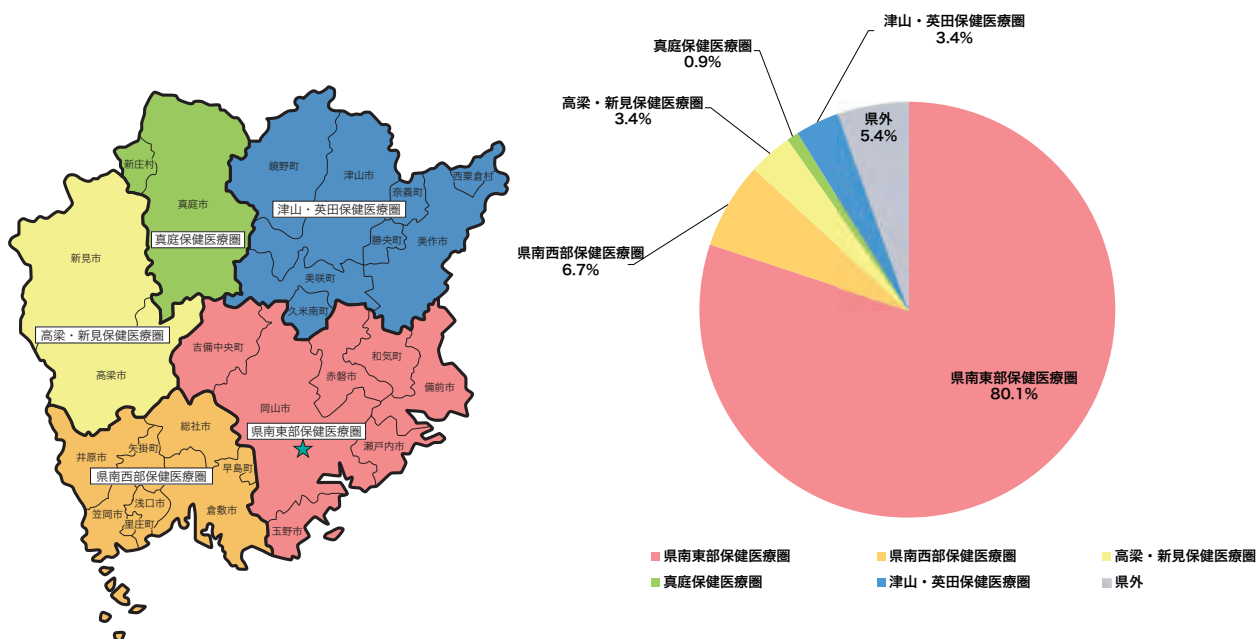
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
80.1%

県内担当医療圏外の割合
14.5%

県外患者住所の割合
5.4%



倉敷成人病センター

基 本 情 報	
病 院 名	一般財団法人 倉敷成人病センター
所 在 地	岡山県倉敷市白楽町 250 番地
電話（代表）	086-422-2111
ホームページ	http://www.fkmc.or.jp/
交通アクセス	倉敷駅より徒歩約 20 分、バスまたはタクシーで約 5 分

集計期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科 ^{※1}	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、麻酔科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、放射線治療科、女性泌尿器科、緩和ケア内科、腫瘍内科、臨床検査科 合計 25 診療科		
病 床 数 ^{※1}	269 床	平均在院日数 ^{※2}	5.8 日
入院患者延べ数 ^{※3}	77,413 人	外来患者延べ数 ^{※4}	297,714 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数） ^{※1}	実務者 2 名（中級者 1 名 初級者 1 名）		

※1 2024 年 11 月 1 日現在

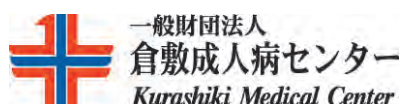
※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数（24 時時点）

※4 初再診合わせた患者延べ数

が ん 相 談	
名 称	がん相談支援センター
電話番号	086-422-2152（直通）
対応時間	平日 9：00～16：00
ホームページ	https://www.fkmc.or.jp/cancer/

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	☐
院内図書館	☐



倉敷成人病センター 病院長

梅 川 康 弘



当院は、2012年に「がん診療連携推進病院」の指定を受け、婦人科、泌尿器科、外科、乳腺科、呼吸器外科などを中心に、質の高いがん診療の提供に積極的に取り組んでいます。

2021年には高精度放射線治療装置「TrueBeam」を導入し、乳がん・子宮頸がん・前立腺がん・肺がん・食道がんなどに対する根治治療だけでなく、痛みを和らげる緩和治療にも広く対応しています。前立腺がんに対しては、岡山県内で2施設目となる永久刺入密封小線源療法を導入し、より低侵襲な治療を実施しています。さらに、2025年3月よりフュージョンバイオプシーを導入し、前立腺がんの診断精度向上に取り組めます。この技術により、MRI画像と超音波画像を融合させることで、従来の生検では発見が難しかった前立腺がんの早期発見が期待され、より適切な治療につなげることができると考えています。

2022年2月には、包括的がん治療の実施のため、倉敷市では3施設目となる緩和ケア病棟を全室個室（部屋代無料）で設置しました。放射線治療での緩和照射も活用しながら、緩和ケア病床が不足している県南西部エリアの改善に貢献していきたいと考えています。

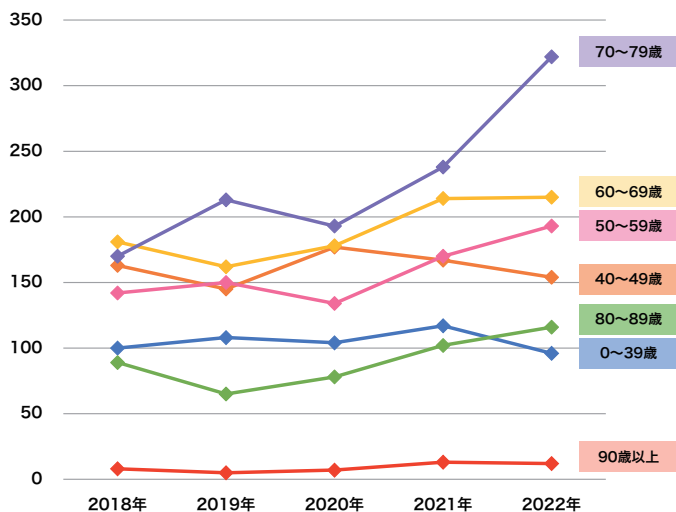
化学療法は新棟へ拡大移転した通院治療センターで行っています。患者さんやご家族がゆっくり過ごしていただけるようプライバシーに配慮した治療ブースを構え（現在はコロナ禍の影響でご家族の付き添いはご遠慮いただいています）、治療当日の院内移動を最小限にとどめられるよう診察室や検査室を併設しています。医師はもちろんのこと、薬剤師、看護師、診療放射線技師はがんに特化した専門スタッフを配置し、チーム医療で患者さんをサポートしています。

また、低侵襲な手術を目指し、2023年6月には西日本初となる単孔式手術支援ロボット「ダヴィンチSP」を導入しました。現在、子宮体がんや前立腺がんの手術に活用しています。さらに、2025年1月からは国産手術支援ロボット「hinotori」を導入し、手術支援ロボットを計4台体制に強化しました。外科では、直腸がんに加え、2024年4月から結腸がんおよび肺がんのロボット手術も開始しており、より多くの患者さまに低侵襲な手術を提供できる体制を整えています。

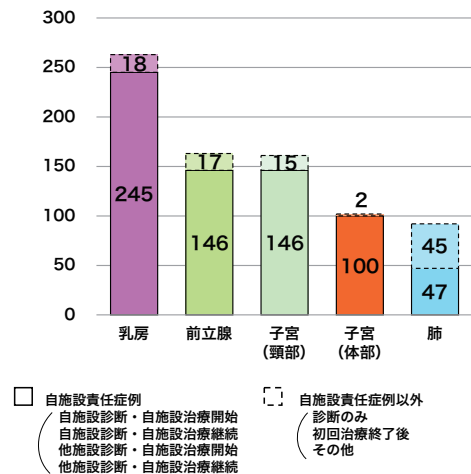
2020年8月に開設したプレストセンターでは乳腺科、乳腺外科、放射線科、病理診断科の各専門医に加えて、診療放射線技師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの専門スタッフが協力し、総合力を生かしたチーム医療で効率的で質の高い乳がん診療を行っています。がんを疑う病変には初診日にできるだけ細胞診あるいは針生検を実施することで、迅速な診断を心掛け、悪性と診断された場合は乳腺外科の担当となり、患者さんへの十分な説明とケアを行いながら、ガイドラインに沿った治療を多職種協働で丁寧に行っています。

今後も当院の特色を生かした質の高いがん診療を提供していくとともに、がん診療拠点病院と密に連携して岡山県内のがん診療連携の推進およびがん医療水準の向上に取り組んでまいります。

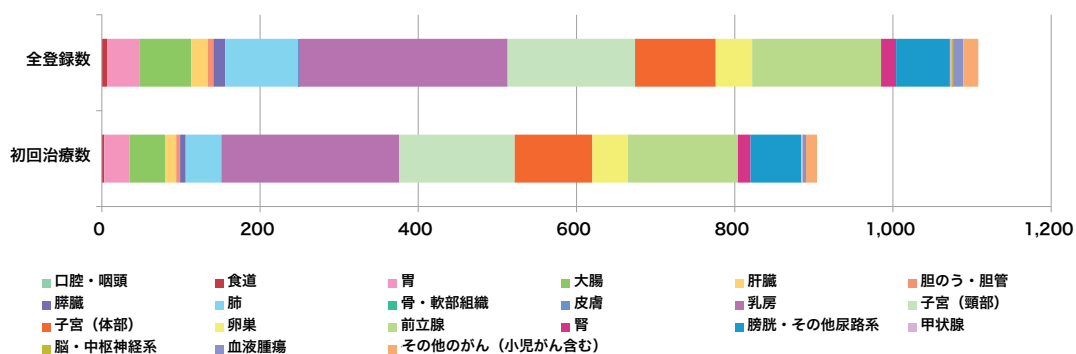
全登録数の推移



部位別登録数の上位 5 部位



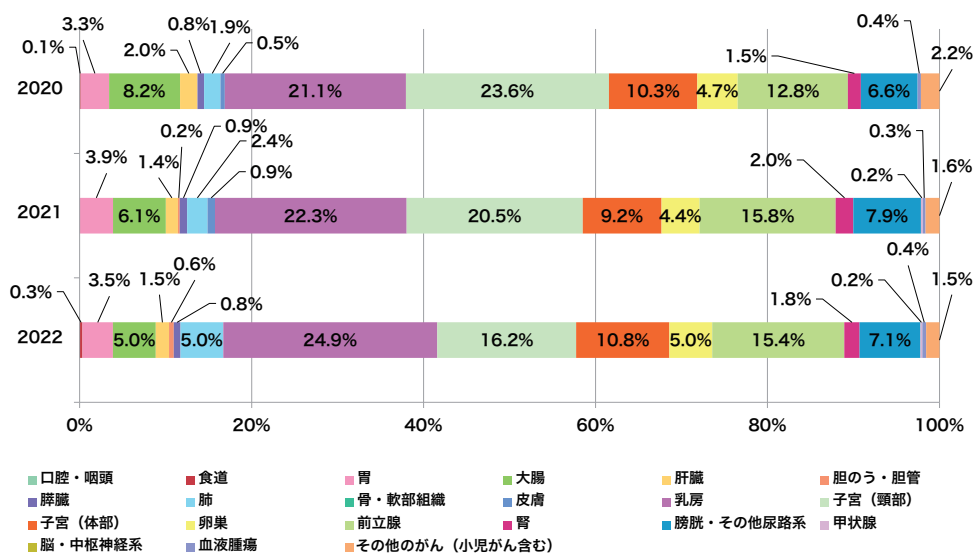
全登録数・初回治療数



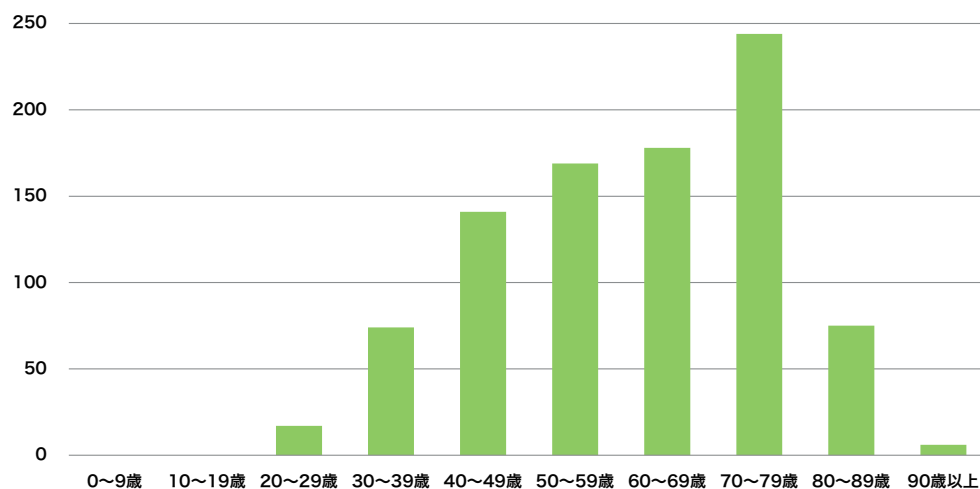
全登録数・・・自施設における院内がん登録数

初回治療数・・・自施設診断他施設診断問わず、自施設で初回治療を開始した症例数

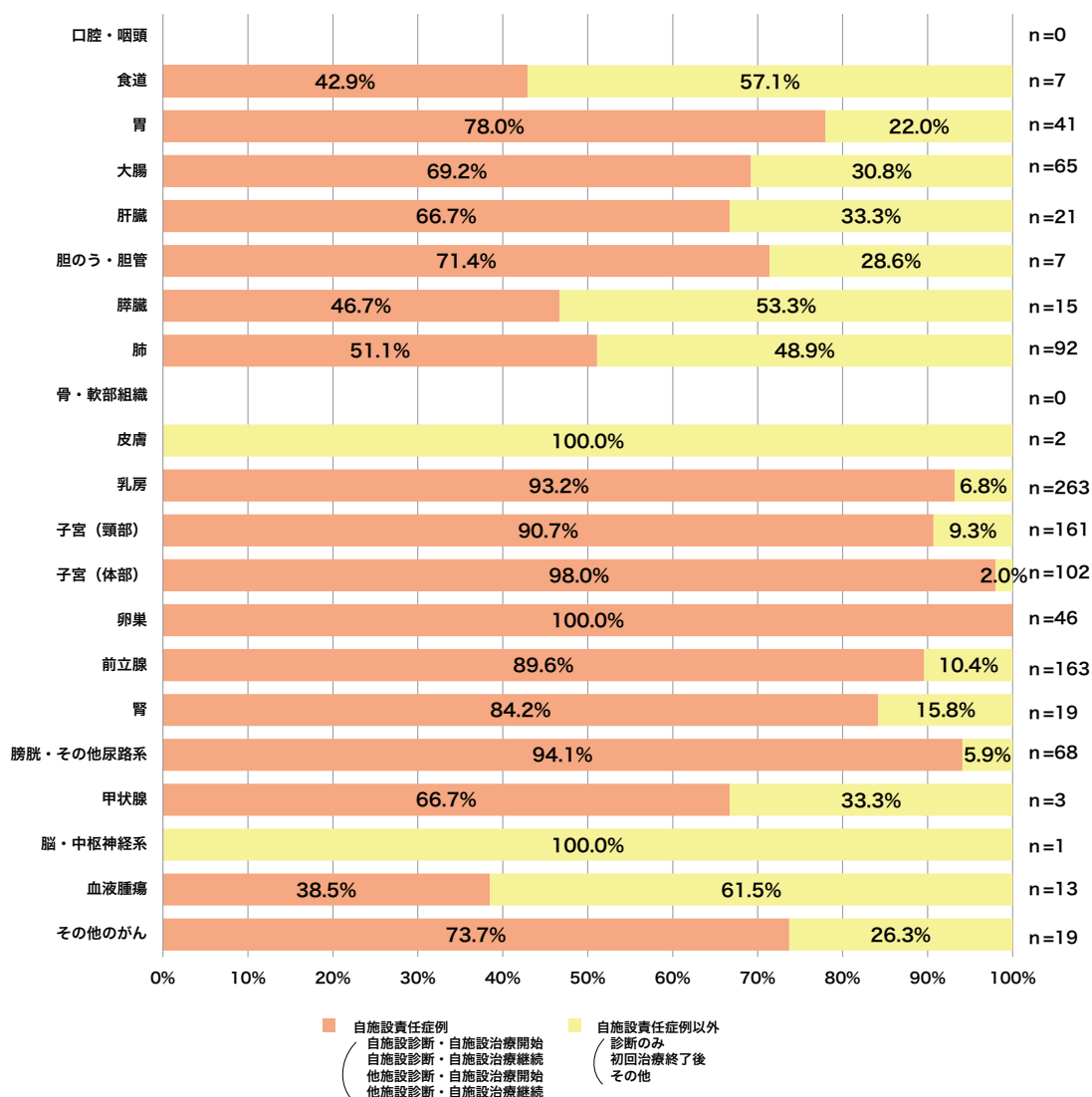
初回治療数 臓器別割合



年齢階級別 初回治療数

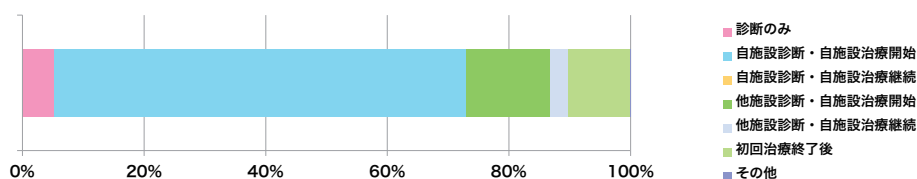


症例区分 部位別の責任症例の割合



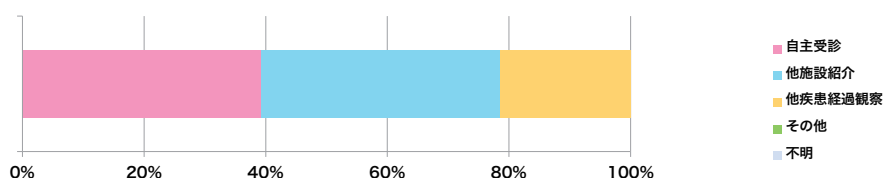
症例区分別 全登録数と登録割合

	登録数
診断のみ	57 (5.1%)
自施設診断・自施設治療開始	752 (67.9%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	152 (13.7%)
他施設診断・自施設治療継続	33 (3.0%)
初回治療終了後	113 (10.2%)
その他	1 (0.1%)
合計	1,108 (100.0%)



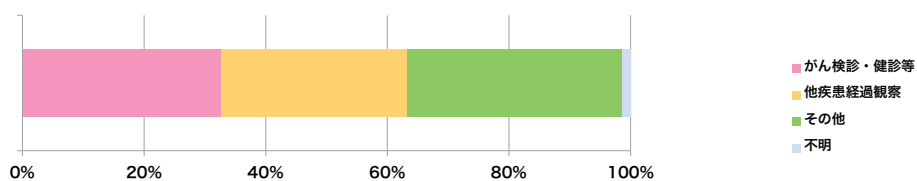
来院経路別 初回治療数と登録割合

	登録数
自主受診	355 (39.3%)
他施設紹介	355 (39.3%)
他疾患経過観察	194 (21.5%)
その他	0 (0.0%)
不明	0 (0.0%)
合計	904 (100.0%)

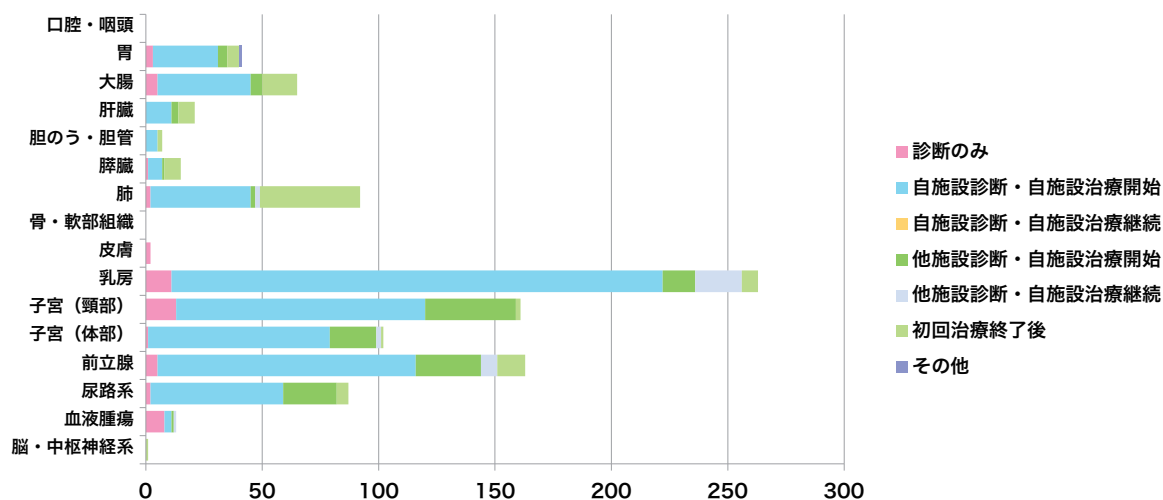


発見経緯別 初回治療数と登録割合

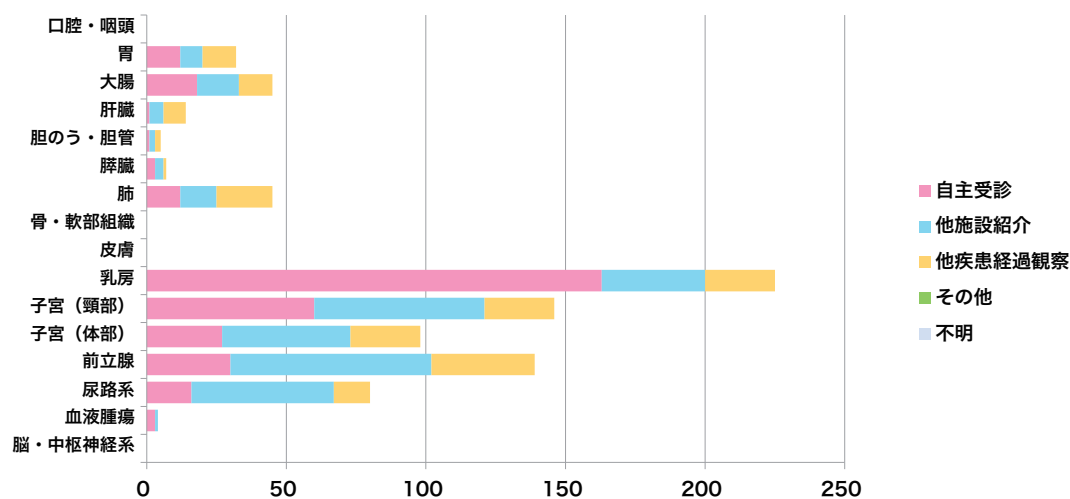
	登録数
がん検診・健診等	295 (32.6%)
他疾患経過観察	277 (30.6%)
その他	319 (35.3%)
不明	13 (1.4%)
合計	904 (100.0%)



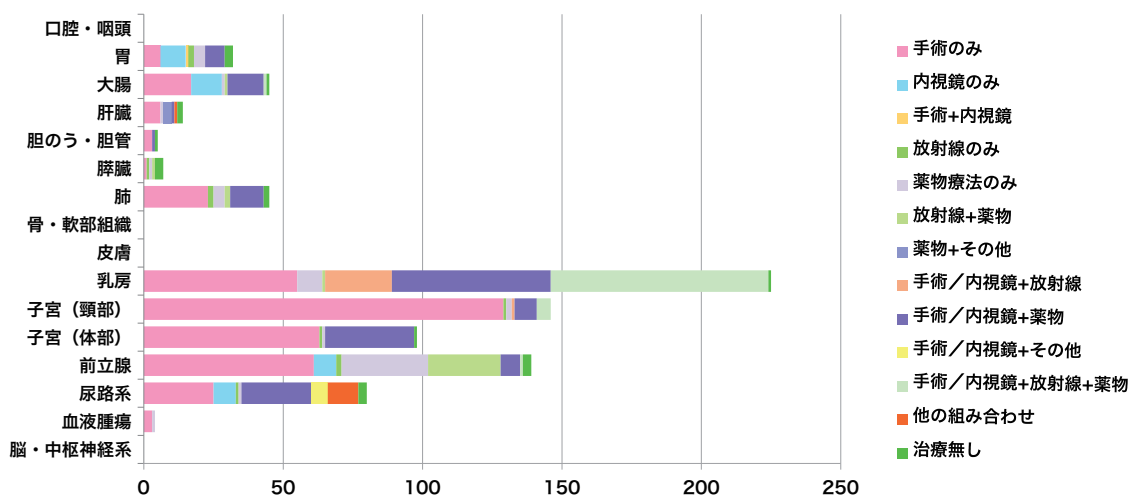
部位別 症例区分別 全登録数



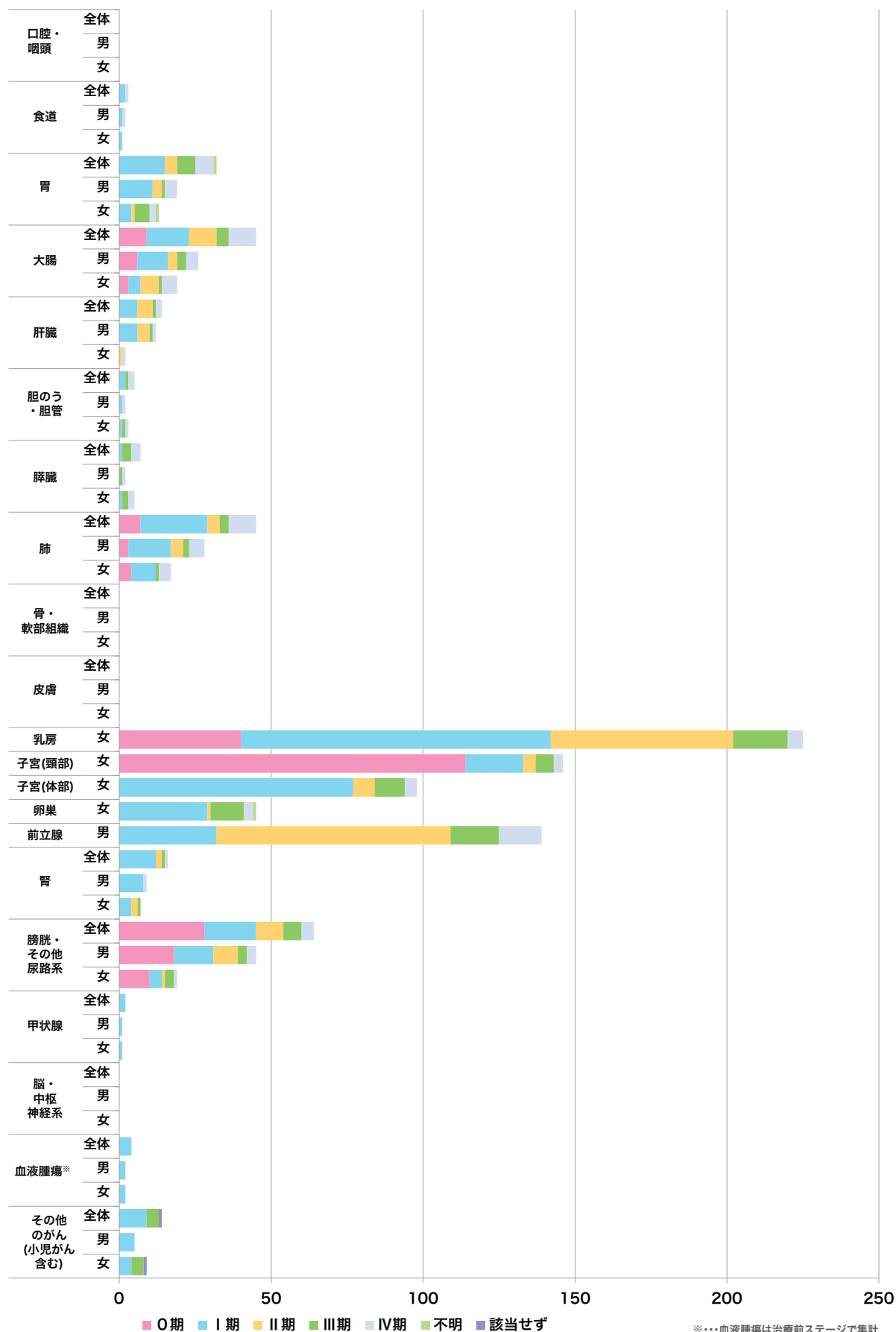
部位別 来院経路別 初回治療数



部位別 初回治療法



部位別、全体数・男性・女性の総合ステージ別



医療圏内 県内市町村内訳

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	80	7.2%	岡山市	55
			玉野市	15
			備前市	1
			瀬戸内市	0
			赤磐市	4
			和気郡和気町	2
			加賀郡吉備中央町	3
県南西部保健医療圏	883	79.7%	倉敷市	694
			笠岡市	28
			井原市	13
			総社市	61
			浅口市	44
			都窪郡早島町	16
			浅口郡里庄町	11
			小田郡矢掛町	16
高梁・新見保健医療圏	39	3.5%	高梁市	28
			新見市	11
真庭保健医療圏	1	0.1%	真庭市	1
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	14	1.3%	津山市	9
			美作市	2
			苫田郡鏡野町	2
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1
県外	91	8.2%		91
			合計	1,108

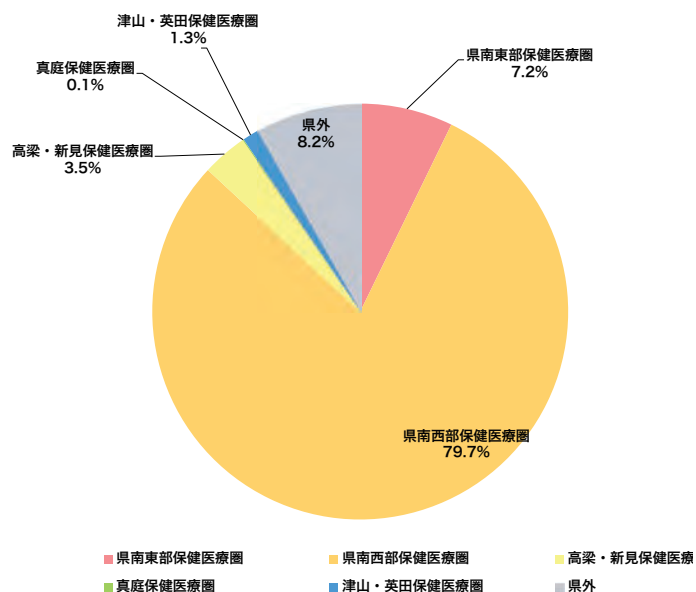
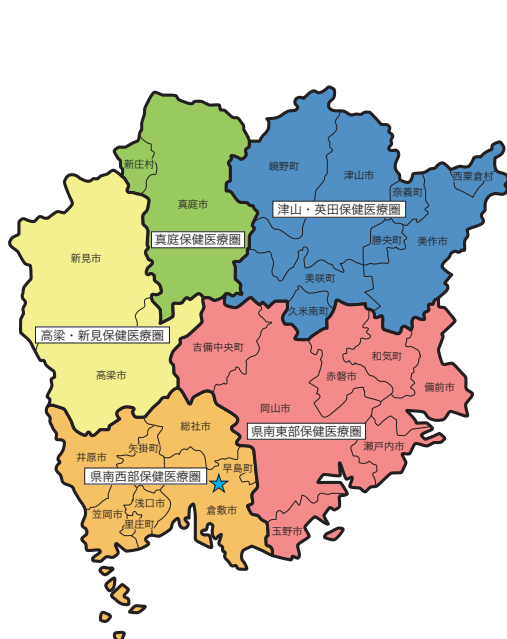
担当医療圏

担当医療圏
県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
79.7%

県内担当医療圏外の割合
12.1%

県外患者住所の割合
8.2%



発 行 岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）
発行日 2025 年 3 月
本報告書に関する問合せ先
岡山県がん診療連携協議会事務局 岡山大学病院医事課
〒 700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
電話 086-235-7072
印 刷 友野印刷株式会社